

全学共通科目履修の手引き

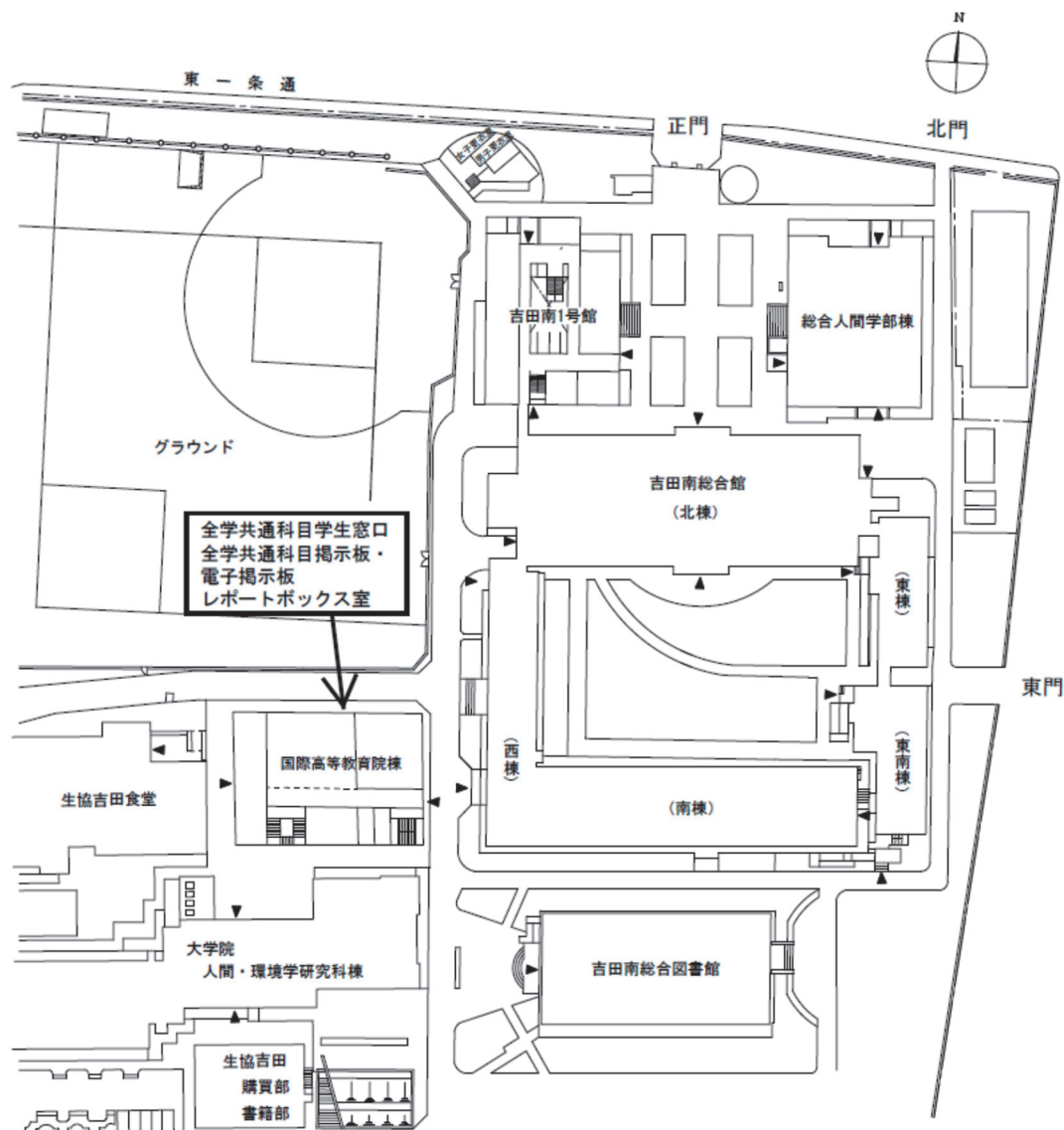
Handbook of Liberal Arts and Sciences Courses

令和7（2025）年度

京 都 大 学

Kyoto University

KULASIS を常時確認するように心掛けてください。



◆ 全学共通科目に関する問い合わせ先 ◆

全学共通科目学生窓口（国際高等教育院棟1階）

受付時間

【授業開始日から履修登録確定日までの期間および試験期間】

8時30分～18時45分

【その他の授業期間】

8時30分～17時15分

【授業期間以外】

8時30分～12時00分、13時00分～17時15分

※ただし、土曜日・日曜日・祝日・創立記念日・

8月第3週月曜日～水曜日・年末年始(12月29日～1月3日)は休止します。

また、事前に掲示で周知の上、臨時で休止することがあります。

◆ 全学共通科目レポートボックス室 ◆

開室時間

【授業期間、試験期間およびフィードバック期間】

平日8時30分～18時45分

◆ KULASIS（京都大学教務情報システム）◆

全学生共通ポータル： <https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

令和7（2025）年度 全学共通科目授業日程

【前期】

調整期間: 4月1日(火)～4月7日(月)
 入学式: 4月7日(月)
 授業期間: 4月8日(火)～7月22日(火)
 月曜日授業の振り替え実施日: 7月17日(木)
 創立記念日(授業休止日): 6月18日(水)
 TOEFL ITP試験: 4月12日(土)[学部1回生のみ](予定)
 試験期間: 7月23日(水)～7月29日(火) ※1
 フィードバック期間: 7月30日(水)～8月5日(火)

【後期】

授業期間: 10月1日(水)～1月26日(月)
 月曜日授業の振り替え実施日: 10月15日(水)及び11月6日(木)
 11月祭に伴う授業休止日: 11月21日(金)～11月25日(火)
 休業日: 12月27日(土)～1月4日(日)
 大学入学共通テスト準備に伴う授業休止日: 1月16日(金) ※2
 TOEFL ITP試験: 12月6日(土)[学部1回生のみ](予定)
 試験期間: 1月27日(火)～2月2日(月) ※1
 フィードバック期間: 2月3日(火)～2月9日(月)
 卒業式: 3月23日(月)

※1 試験期間に試験を実施する科目は、KULASIS及び掲示で周知します。
 ※2 大学入学共通テスト前日(1月16日(金))の授業は、**全て**休止となります。

令和7（2025）年度 授業日カレンダー

前期・後期とも、各曜日14回の授業日と1週の試験期間及び1週のフィードバック期間を設けています。

【前期】 4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30											29	30					

【前期】 7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2		1	2	3	4	5	6	
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

【後期】 10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1		1	2	3	4	5	6	
6	7	8	9	10	11	12	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			

令和8年1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30									29	30	31				

- 調整期間
- 授業日
- 試験期間
- フィードバック期間
- 休講等による振り替え授業可能日
- 月曜日授業の振り替え実施日

《履修登録》

	前 期	後 期
各 予 備 登 録 期 間	外国語、履修(人数)制限科目、ILASセミナー等予備登録は、前期・後期とも授業期間の前に実施 (日程等の詳細は、KULASIS及び掲示で周知します。)	
履 修 登 録 ペ ー ジ 公 開 日	4月2日(水)	9月17日(水)
履 修 登 録 期 間	4月17日(木)・4月18日(金)	10月10日(金)～10月14日(火)
履 修 登 録 確 認・修 正 期 間	4月23日(水)・4月24日(木)	10月17日(金)～10月20日(月)
履 修 登 録 確 定	4月28日(月)	10月22日(水)
履 修 取 消 期 間	6月2日(月)・6月3日(火)	12月1日(月)・12月2日(火)

《授業時間・月曜日～金曜日》

時 限	1限	2限	3限	4限	5限
授 業 時 間	8:45～10:15	10:30～12:00	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15

この日程は、全学共通科目のみに適用されます。学部・大学院科目は各学部・研究科等の授業日程に従ってください。

全学共通科目履修の手引き 目次

ごあいさつ	1
I. 全学共通科目について	
1. 京都大学の教育課程と教養・共通教育	3
2. 全学共通科目の編成方針と学修の方法	4
3. 全学共通科目の科目群・分野の概要	9
II. 全学共通科目の履修について	
1. 授業に関する連絡等について	41
2. 授業クラス	42
3. 授業について	43
4. 履修登録について	45
5. 外国語の履修について	53
6. E科目（英語関連科目）の履修について	68
7. 履修（人数）制限科目の履修について	73
8. スポーツ実習科目の履修について	75
9. 実験・実習の履修について	78
10. 情報学科目の履修について	81
11. ILAS セミナー・統合型複合科目等の履修について	82
12. 大学コンソーシアム京都単位互換科目について	87
13. 大学院共通科目群、大学院横断教育科目群科目の履修について	88
14. 定期試験について	93
15. レポートの作成について	95
16. 不正行為について	97
17. 公正な研究について	98
18. 成績について	99
19. 気象警報等に伴う授業・試験の取扱いについて	101
20. 地震等の発生時の避難方法について	104
21. 学内ネットワークへの接続について	104
22. 授業情報の守秘について	104
III. 全学共通科目授業科目	
1. 科目一覧の見方	106
2. 全学共通科目一覧	107
3. 授業一覧の見方	125
4. 全学共通科目授業一覧	126
IV. 全学共通科目授業時間割	
1. 授業時間割について	169
2. クラス別時間割（学部1回生）	170
3. クラス指定科目早見表（学部2回生）	178
V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数	
1. 平成28年度以降入学者用	181
2. カリキュラム再編に伴う科目群の読み替えおよび単位の取り扱いについて	259
3. 平成25～27年度入学者用	261
VI. その他	
1. 転学部および転学科	269
2. 教育職員免許状の取得について	269
3. 学芸員となる資格取得について	270
4. 吉田南総合図書館の利用案内	271
VII. 建物配置図等	
1. 京都大学吉田キャンパス建物配置図	274
2. 吉田南構内の安全通行について	275
3. 吉田南構内建物等配置図・交通規制・駐輪駐車図	276
4. 吉田南構内教室等配置図	277

ごあいさつ

国際高等教育院長

大 嶋 正 裕



学生の皆さんへ

大学での学びは、高校までとは異なり、自分で学びたいことを選べるのが特徴です。たとえ進路が明確であっても、ぜひ食欲にさまざまな学問に挑戦してください。まだ学びたいことが明確でない場合も、さまざまな分野に触れる絶好の機会です。人間のこと、社会のこと、自然の法則など、多角的な視点から考えることができるのは、大学生の特権かもしれません。この貴重な時間を大切に、将来のための経験を積んでください。

国際高等教育院のサポート

国際高等教育院は、皆さんが充実した大学生活を送れるよう、全力でサポートします。まず、大学に入って最初の段階として、学部1・2年次を主な対象に約1,000科目、3,000コマ近くの教養教育科目を提供しています。人文・社会科学、自然科学をはじめ、京都大学には多様な学問が共存しています。皆さんには、専門分野以外の学問にも触れ、多様な問題や学問的方法論を理解してほしいと考えています。そのため、幅広い教養科目や自然科学分野の基礎科目を用意しています。また、科目の多様性に加えて、少人数制の「ILAS セミナー」を多数開講し、教員と直接対話できる機会を提供しています。さらに、「統合科学」という科目では、現代社会における学問の意味について、教員とともに考え、議論を深めます。今年度からは、この統合科学の分類に、主として新入生向けに、少人数セミナーと講義を同一テーマで融合させた「統合型複合科目」を複数開講します。新入生の皆さん全員が履修できるわけではありませんが、今後も拡充し、将来的には新入生全員が履修できるようにする予定です。

これらの京都大学ならではの学びの機会を活用し、積極的に他の学生や教員と対話・議論を重ねてください。そして、「自分の頭で考える力」「思考の方法」「自分の意見を形成する力」を身に付けてください。

語学教育と国際経験

国際高等教育院では、語学教育にも力を入れています。英語の少人数クラスや自習教材を活用したリスニング学習など、「聞く・読む・書く・話す」の4技能を向上させるサポートを提供しています。また、英語に限らず、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語なども学べます。さらに、「多文化教養演習：見・聞・知」「海外実地セミナー」と呼ばれる単位付与を伴う海外研修プログラムも用意されています。海外研修を経験した学生の多くは、研修前後で視野が広がって大きく成長していることが観察されます。ぜひ、積極的に挑戦してください。“求めれば道は開かれます”。異なる言語を学び、世界に飛び出しましょう。皆さんが学部4年次や大学院に進学した際には、国際学会で自身の研究成果を発表する機会も訪れるでしょう。その先には、世界を舞台に活躍する未来が待っています。今からしっかり準備を進めてください。

これからの時代を生きる皆さんへ

皆さんは、生成AIやロボットが社会のさまざまな場面で活躍し始める時代を生きようとしています。大学生活の中でも、生成AIを活用する機会が増えるでしょう。しかし、AIはデータから最適解を導き出すことはできても、「何が正しいのか」「何が人の幸せにつながるのか」を決定することはできません。最終的に判断を下すのは、私たち人間です。技術の進展に伴い、「人間とは何か」「社会とはどうあるべきか」を深く考え、行動することが、ますます求められるでしょう。

最後に

繰り返しになりますが、皆さんの大学生活が充実したものとなるよう、私たちは全力でサポートします。何か質問や疑問があれば、遠慮なく声をかけてください。一緒に学び、一緒に成長していきましょう！

I. 全学共通科目について

1. 京都大学の教育課程と教養・共通教育

京都大学は、あらゆる学問分野の不断の発展を先導する先端的学術研究を進めるとともに、これを担い、また我が国のみならず国際社会において指導的役割を果たすことができる優れた人材の育成を任務としています。現代社会が直面する重要な課題が、より複合的で深刻な価値観の対立を含むものとなってきている現代にあつて、個々人が指導的な活躍をしていくためには、多様な専門分野間での共同が必要であり、異なる価値観や視点の共存を図ることが重要です。

学生の皆さんには、それぞれが志す分野の専門的知識や学問の方法を学ぶことは言うまでもありませんが、専門的知識・能力を十全に発揮していくためには、自らの専門性を全体の中に的確に位置づけ、異なる見方・考え方と対話し、多角的な視点で考察する能力ならびに歴史の脈絡の中でとらえる能力が要請されます。そして、健全な良識と深い人間的洞察力、そして高い責任感・倫理感をもって、自由で公正な民主社会の担い手となることが求められます。

本学の「基本理念」は、教育に関する項において、

1. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
2. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

と述べています。また、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」として、以下のとおり定めています。

1. 豊かな知性と人間性を育む教養教育を実施し、新たな知の創造につながる専門教育を積み上げ、社会の各方面で指導的な役割を果たしうる人材を育成する。
2. 多様でかつ調和のとれた教養教育を実施し、高度な教養と豊かな人間性、強固な責任感と高い倫理性を得させる。
3. 高等学校教育からの連続性に留意した基礎教育を実施する。その上に専門的知識を修得させ、総合的判断力の基礎となる知力を確実に育成するとともに、最先端の研究の場での積極的な活動を通じて専門的知識を深化させる。
4. 地域社会、そして全地球的な環境において指導的な活躍ができるよう、その基礎となる国際的視野や異文化理解能力、そしてコミュニケーション能力を養わせる。
5. 社会の変化に際しても自主的、積極的に対応できる能力を獲得させるため、対話を根幹とした自学自習の姿勢を効果的に修得させる。

このような基本姿勢に基づいて、学生の皆さんは各学部において具体化された教育課程に沿って学修することになりますが、大学における学修は皆さんがこれまでに学んできた初等中等教育の学習とは異なり、各自の志にもとづいて自ら設計して取り組むものです。大学が提供する教育課程や授業はこれに指針を与え、皆さんの学びを支援するものにほかなりません。「自学自習」とはこのことを指しています。また、十全な知識・技能を修得し、広い視野、深い洞察力、豊かな人間性を育むことは、単に教室での受動的な学習や書籍のみから得られるものではなく、教員、先輩、同僚など様々な経験、立場の人々との交流、協同、相互批判を通して実現するものです。このために、あらゆる学問分野の指導的な専門家と、歴史的に築かれた知の蓄積を擁している本学の優れた条件を活用することができます。「対話を根幹として」とは、このことを指しています。

学生の皆さんには、教養・共通教育において、先人の学びの発想と展開の脈略、その知と技法を自律的、順次的、体系的に学ぶとともに、交流を通して構想豊かに考える力を培い、専門教育においては、学術の最前線に触れながら専門の学芸を深めることにより、これらの総合力をもって自らの志に果敢にチャレンジするという、本学伝統のスピリットをよりどころに、次代を先見・先取する社会のリーダー、さらにまた未踏の学術領域の開拓者としての活躍が期待されています。

2. 全学共通科目の編成方針と学修の方法

◆ 科目の編成方針

京都大学の教養・共通教育は、主として「全学共通科目」によって担われています。全学共通科目の多くは、各学部の枠を越えて原則として全学部の学生を対象として開講される授業科目です。

先に述べた京都大学の基本理念と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に沿って、教養・共通教育においては以下のような方針により科目を編成しています。

1. 高度な教養、豊かな知性と人間性を涵養する。
2. 学部、大学院での専門教育を受けるための基礎となる知力を育成する。
3. 国際的な広い視野や異文化理解能力、コミュニケーション能力を養う。
4. 社会の変化に対応し活躍するための知識や能力を身に付ける。
5. 対話を根幹とした自学自習の姿勢を修得させる。

これらの教育目標を総合的に実現するため、全学共通科目は異なる教育目的をもつ8つの科目群に区分されています。

① 人文・社会科学科目群

学生が自らを確立し、社会の一員として共生する中で充実した人生を送ることができるよう、人間や社会に対する洞察力や、他者との相互理解を通じて自己のあり方を問う力の涵養を目的としています。

② 自然科学科目群

理系学部の基礎教育としては、理論教育と実験・実習教育の両輪により、自然科学の基本的な知識・思考方法を修得させることを目的としています。また、教養教育としては、仮説と検証により原理・法則に到達することを求める自然科学的な方法論を修得させることを目的としています。

③ 外国語科目群

外国語教育科目は英語と初修外国語で構成されています。教養・共通教育での英語を「一般学術目的の英語」と位置付け、国際共通語である英語によるコミュニケーション力を育成します。初修外国語では、英語以外の言語の習得を通じて、文化や慣習および価値観などの相違を理解し、それぞれの言語圏で蓄積された英知を体得するとともに、より多面的な世界観を持つことを期待します。

④ 情報学科目群

コンピューターや情報リテラシーなど情報活用能力の獲得、情報科学や技術の基礎的概念の理解、および高度情報化社会の課題の考察を目的に科目を展開します。

⑤ 健康・スポーツ科目群

スポーツ実習では、体力向上や健康維持、あるいは正しい生活習慣の確立のために必要な知識を実習を通して理解させます。また理論と実技を連携させる学習を行うとともに、健康、医療あるいは介護についても学ぶことを目的に、科目群を編成しています。

⑥ キャリア形成科目群

キャリア形成科目群は、将来のキャリアに関連した科目を、コンプライアンス、国際コミュニケーション、学芸員課程、多文化理解、地域連携、その他キャリア形成という分野で構成しています。

⑦ 統合科学科目群

環境・エネルギー・自然災害、生命科学や人口動態に関する問題など、現代社会が直面する複合的な課題を多様な視点から検討し、学問分野を統合する形でその解決策を考察する科目として編成しています。

⑧ 少人数教育科目群

問題を見つけ解決するという学問のプロセスを体験する場として、少人数での教育を位置付けています。とりわけ教養・共通教育では、高校での学びとの違いに気づいてもらうことを目的として実施します。

平成30年度から上記の8つの科目群に加えて、本学大学院における共通・横断教育として、

⑨ 大学院共通科目群

大学院共通科目群は、大学院生が、専門学術以外にも素養として備えるべき知識を養成することを目的としています。

⑩ 大学院横断教育科目群

研究科等を横断する学際領域において、他研究科等の大学院生にも公開し、履修を推奨する科目として開講されます。の2つの科目群が設けられ、大学院生を対象とした科目が開講されています。大学院生も上記①から⑧の科目を履修できますが、学部生を優先する科目があるほか、大学院生は履修対象外の科目があります。両科目群は、令和3年10月より、国際高等教育院に代わり大学院教育支援機構において実施されています。

科目群の詳細な内容は、次の「科目群・分野の概要」の節で説明しています。

ロシア語		4	人文社会科学系		0
イタリア語		5	自然科学系		1
スペイン語		6	統計・情報・データ科学系		2
朝鮮語		7	健康・医療系		3
アラビア語		8	キャリア形成系		4
日本語		9	複合領域系		5

④ レベルコード

コード	レベル・対象学年	学部・大学院
1	導入的な内容の科目 (基礎科目、総論科目)	学部
2	基礎的な内容の科目 (各論科目、発展科目、初修外国語中級以上)	
8	大学院共通内容の科目 (大学院共通科目群・大学院横断教育科目群)	大学院

⑤ 通し番号

③および④の計3桁コードが変わるごとに0001から付番しています。

(3) 属性コード詳細

⑥ 授業形態コード

コード	授業形態
L	講義
S	演習
P	実習
E	実験
F	フィールドワーク
O	その他

⑦ 言語コード

コード	言語
J	日本語で行う授業
E	英語で行う授業
B	日本語および英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
O	英語以外の外国語で行う授業、その他

⑧ 学問分野コード（数字2桁）

- ・「学問分野コード」は、国際高等教育院ウェブサイトの履修科目一覧ページに掲載している「ナンバリングについて」の文書で確認してください。
- ・複数分野にまたがる授業科目については、1つの授業科目に3つまで「学問分野コード」を付与しています。

◆ 学修の方法

京都大学では、各学部がそれぞれの学士課程について一貫して責任をもつ体制をとるとともに、専門教育と教養・共通教育を並列して展開するカリキュラムを編成しています。各学部は、そのカリキュラムポリシーに基づいて、入学から卒業まで、各学年で修得すべき全学共通科目の単位数を定めています。どの科目群から何単位を修得するかは、各学部の卒業要件を満たすように計画してください。

各年次にわたって偏ることがないように適切に履修を進めるために、一年間又は一学期に履修科目として登録できる単位数が決められています。皆さんが所属する学部の枠組みの中で、自らの興味や伸ばしたい能力をよく考え、計画的に履修してください。教養・共通教育として極めて多くの全学共通科目が用意されています。

それぞれの科目群には、基礎から高度な内容にわたる多様な科目が提供されていますが、それらの科目の選択は基本的には学生の皆さんの自由な意志に委ねられています。この環境を生かし、限られた時間にいかに効果的に修得するかは、皆さんの主体的な計画性に依るものです。高い志を持ち、学修計画を十分に吟味することを期待します。

(備考)

平成27年度以前入学者については、従来のおりの卒業要件が適用され、p.259の表のおり読み替えられます。一部の科目は、単位を修得しても卒業に必要な単位としては認定されませんので注意してください。

◆ 単位について

(1) 単位数の計算の基準

授業科目の1単位あたりの学修時間は、45時間を標準とし、おおむね15～45時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって定められています（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）による）。

本学では、1限（90分）は2時間（1コマ）に相当し、一開講期15週、通年30週として計算します。各科目の単位数は「全学共通科目授業一覧」（p.126～）に示しています。

(2) 単位の認定

単位の認定は、履修した科目の成績によって認定されます。なお成績評価は、平成27年度より100点満点の素点で成績評価がなされ60点以上の成績で単位が認定されます（詳細は下記【成績の対応表】参照）。

なお、履修登録をしていない授業科目の単位は認定されず、履修した科目の開講期（前期：4月1日～9月30日、後期：10月1日～3月31日）に休学した場合も、単位は認定されません。

同じ科目名の科目を修得した場合は、一部科目を除き、修得年度・修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として認定されません（科目名変更により、科目名が異なっても同一科目として扱われる科目を含みます）。

◆ 成績評価の方針

全学共通科目の成績評価は、次の方法によることを標準とします。科目の性質や授業方法に応じて担当教員がその詳細を決定し、成績評価の方法を各科目のシラバスに記載します。

- ① 成績評価は、期末試験（筆記試験、又はレポート試験）と平常点の2区分により行います。期末試験を実施する場合は、筆記試験又はレポート試験を実施し、期末試験と平常点の配点割合を定めます。
- ② 最低出席回数を単位付与の条件とすることがあります。しかし出席の事実だけで加点することはありません。
- ③ 平常点を用いる場合、「小テスト」、「中間テスト」、「課題レポート提出」、「コメントシート提出」、「出席と参加の状況」等の評価の観点と方法（観点毎の割合や点数の計算方法等）をシラバス等で明示します。

授業科目の成績は、100点満点の素点で評価されます。すなわち、合格基準に相当する素点を60点とし、100点を満点とする総合評価で行います。成績証明書には素点を6段階の評語に変換して記載します。素点と評語の対応および評語の適用基準は以下の対応表に記載されている通りです。

【成績の対応表】

◎令和2年度以降に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される者

素点	評語	適用基準	
96～100点	A+	合格基準に達している。	学修の高い効果が認められ、傑出した成績である。 ／ Outstanding
85～95点	A		学修の高い効果が認められ、特に優れた成績である。 ／ Excellent
75～84点	B		学修の高い効果が認められ、優れた成績である。 ／ Good
65～74点	C		学修の効果が認められる。 ／ Fair
60～64点	D		最低限の学修の効果が認められる。 ／ Pass
0～59点	F	合格基準に達していない。	不合格。／ Fail

◎平成 27 年度以降令和元年度以前に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される者

素点	評語	意 味
96～100 点	A+	極めて優れている。／ Outstanding
85～95 点	A	特に優れている。／ Excellent
75～84 点	B	優れている。／ Good
65～74 点	C	合格基準に達しており、学修の効果が認められる。／ Fair
60～64 点	D	合格基準に達しているが、更なる努力が求められる。／ Pass
0～59 点	F	不合格。／ Fail

その他、成績に関する詳細は、「Ⅱ. 全学共通科目の履修について」の「18. 成績について」(p.99～)を参照してください。

3. 全学共通科目の科目群・分野の概要

①人文・社会科学科目群 <注：「ILAS^{アイラス}セミナー」は少人数教育科目群の科目として開講される>

(1) 哲学・思想分野

哲学・思想分野科目は、この分野に属する学問諸領域の基盤となる内容を紹介する「基礎」科目と、より専門的で限定された範囲の授業を講義形式で展開する「各論」の講義科目、および教員との双方向的なやりとりの可能な少人数でテキストの講読や研究発表などを行うゼミナール形式の科目（具体的には「〇〇基礎ゼミナール」、「ILAS セミナー」）の三種類に分かれています。

- 「基礎」科目は必ずしも当の学問全体の紹介や体系的な紹介とはかぎりません。「基礎」は初歩的であるということの意味するのではなく、当の学問の基礎・土台となるような根源的な内容を紹介し、その基本的精神を理解してもらうことを目標としています。ただし、まったくその学問の知識をもたない人でも十分理解できるように配慮されています。
- ゼミナール形式の科目は原則的に「基礎」科目と対応していて（たとえば基礎科目「哲学」（Ⅰ・Ⅱ）に対してゼミナール形式の科目「ILAS セミナー：哲学」（前期）、「哲学基礎ゼミナール」（後期）があります）、多くは「基礎」の担当者が担当しています。この授業を履修することで「基礎」科目の内容をさらに深く、教員の個人的な薫陶をうけながら学んでいけるようになっていきます。ただ、関連する「基礎」を履修していなくても理解できるように配慮されています。
- 「各論」の講義科目は「基礎」の内容を深めていく形をとっていて、「基礎」担当者が担当しているものも多くあります。「基礎」科目を履修して興味を抱いた学生の皆さんは、ぜひ履修してください。一部の科目については、関係する「基礎」を履修していることが履修要件になっているうえに、2 回生以上指定の科目もあるので注意してください。

(2) 歴史・文明分野

① 日本史関係科目の分類

日本史関係科目は、日本の歴史理解に関する基礎的な内容を取り上げる「日本史Ⅰ・Ⅱ」と、より限定されたテーマを取り上げる「日本史各論」、および少人数で講読・研究発表などを行う「基礎ゼミナール」（前期は ILAS セミナー）で構成されています。

「日本史Ⅰ・Ⅱ」は、大局的な視点から日本の歴史を概観するものです。担当者の専門によって、取り上げる時代・テーマが異なっていますので、内容についてはシラバスで確認してください。「基礎ゼミナール」（前期は ILAS セミナー）も、研究入門的な性格の科目です。これらの科目は、理系学生や、高校段階で日本史を履修していない受講者にも配慮する内容となっています。

「日本史各論」は、テーマがやや絞られており、なかには専門性の高い内容もあります。しかし、その分、日本史の研究における分析手法や考え方を、直接的に学ぶことのできるものとなっています。内容についてはシラバスで確認してください。

② 東洋史関係科目の分類

東洋史関係科目は、「基礎」科目の「東洋史Ⅰ・Ⅱ」（それぞれ前・後期開講）と「各論」科目の「東洋史基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」に分かれます。基礎科目の「東洋史」は、おおむね「古代～中世史」、「近世史」「近代～現代史」に分けて開講されます。詳細については、シラバスを参照していただきたく思います。高校段階で世界史を履修していない人にも配慮した内容となっていますので、各人の興味と関心に応じて積極的に履修してください。

各論の「東洋史基礎ゼミナール」（後期開講）は、少人数授業の形式を取ります。テーマが多少絞られていたり、若干専門性が高かったりすることもあるでしょうが、世界史の教科書とかけ離れた内容ではありませんので、果敢に挑戦していただきたく思います。少人数で行う文献講読やゼミ形式の授業では、受講者の主体的な授業参加が求められます。その分、厳しい要求をされることもあるでしょうが、それは必ずや皆さんの成長の糧となるはずです。

なお、後期開講の「東洋史基礎ゼミナール」は、前期開講の ILAS セミナー「中国史の基礎資料」および「東洋史入門」で学んだことを基礎とし、それを発展させた内容を含んでいます。両者を連続して受講することで、より充実した学習を期待することができるでしょう。

③ 西洋史関係科目の分類

西洋史関係科目は、ヨーロッパ社会の歴史理解に関する基礎的な内容を取り上げる「西洋史Ⅰ・Ⅱ」と、少人数で講読・プレゼンテーションを行う「基礎ゼミナール」（前期は ILAS セミナー）で構成されています。

「西洋史Ⅰ・Ⅱ」は、原則として、ヨーロッパの固有の文明と文化の起源や成立や発展に幅広くかかわるものですが、担当者の専門によって重点を置くテーマ、地域、時代が異なりますので、内容についてはシラバスで確認してください。また、これらの科目は、理系学生や、高校段階で世界史を履修していない人にも理解してもらえるように配慮します。

基礎ゼミナールは、おおむね時代や地域・国家を特定しており、中には専門性の高い内容もありますが、西洋史Ⅰ・Ⅱと同様に、西洋史学の基礎的な学びが身に着くよう初学者にも十分に配慮しています。その内容についてはシラバスで確認してください。

④ 現代文明論科目の分類

現代文明論科目は、現代文明の課題を思想史の観点から明らかにする「現代文明Ⅰ」と、現代社会に特有の構造・現象をとりあげる「現代文明Ⅱ」で構成されています。狭義の歴史学に取まらない分野横断的な視点から近代国家、ナショナリズム、資本主義の複合的な関係を探る科目ですが、講義は予備知識のない学生にも理解できるよう配慮しています。

(3) 芸術・文学・言語分野

① 芸術関係科目の分類

芸術関連科目では、主に西洋と東洋と日本の美術や音楽について、理解を深め、感性を磨くことを目指します。さらに、「美」とは何か、「芸術」とは何か、「創造性」とは何か、といった根本的なテーマについて受講生とともに考えていく科目構成になっています。

「基礎」は、「芸術学Ⅰ・Ⅱ」、「音楽芸術論Ⅰ・Ⅱ」、「東洋美術史Ⅰ・Ⅱ」からなります。「芸術学」では、古代から現代までの具体的な芸術作品や美学思想を分かりやすく解説しながら、アートに親しんで感性を磨いていく内容になっています。「音楽芸術論Ⅰ・Ⅱ」では、作品鑑賞等を通じて音楽の歴史と魅力に迫り、「東洋美術史Ⅰ・Ⅱ」ではインドや中国等の仏教美術の原点に触れます。いずれも理系系の学生にもぜひ受講してほしい内容です。

「各論」は、「創造行為総論A・B」、「近代芸術論A・B（隔年開講）」、「創造ルネッサンス論A・B」からなります。「創造行為総論A・B」では、芸術と社会の関係をさまざまな観点から考察するほか、芸術や美について著わされた優れた著作を取り上げ、偉大な美の思索家たちの思想に触れます。「近代芸術論A・B（隔年開講）」は明治期の芸術を同時代の社会的背景を踏まえて俯瞰し、「創造ルネッサンス論A・B」ではルネッサンスおよびバロック時代に制作された芸術作品を主に取り上げて表現や技法の特徴を分析し、さらには保存や展示、修復をめぐる問題についても考えます。

「基礎ゼミナール」の「創造ルネッサンス論基礎ゼミナール」では、少人数のゼミ形式で行います。美術作品をただ「見る」ことからステップアップして、注意深く対象を観察し解釈する術を身につけ、情報を言語化する「作品記述（ディスクリプション）」の方法論を学びます。「創造行為論講読演習」では、美学や芸術学の基本文献を外国語で読み込む力を養います。

② 国語国文学関係科目の分類

国語国文学関係科目には、基礎的な内容を中心として、幅広く古典文学を取り上げる「国語国文学」Ⅰ・Ⅱ、同じく近代文学を取り上げる「日本近代文学」Ⅰ・Ⅱ、中国古典文学を取り上げる「漢文学」Ⅰ・Ⅱ、日本語を取り上げる「言学」Ⅰ・Ⅱがあります。「国語国文学」「日本近代文学」は、『万葉集』『古事記』など上代文学の始まりから平安時代の和歌や物語、中世の説話、近世の俳諧、さらには明治・大正・昭和期の文学について、日本語学の知見とも関連させながら入門的講義を行っています。また、日本の文化と日本語に大きな影響を及ぼした中国古典文学をカバーする「漢文学」は、高等学校で用いられたなじみある教材を用いた入門的講義で、より深い理解を獲得することを目指しています。

「言学」は、日本古典文学の知見を踏まえた、日本語に関する入門的講義です。いずれも、理系学生にも配慮した内容となっています。

より限定されたテーマを取り上げる「各論」科目には、日本や中国の専門書・古典を読む「日本語学文献講読論」Ⅰ・Ⅱや「日本古典講読論」Ⅰ・Ⅱ（いずれも2回生以上向け）などがあります。中には専門性の高い授業もありますので、その内容・履修条件についてはシラバスで確認してください。

後期開講の「日本近代文学基礎ゼミナール」は、前期開講のILASセミナー「日本近代文学」ともども、少人数で講読や研究発表を行うゼミ形式の授業であり、受講者には主体的な授業参加が求められます。

③ 言語関係科目の分類

言語関係科目は、言語を人間の思考とコミュニケーションの主要なツールと考え、思考とコミュニケーションのプロセスとメカニズムを解明し人間性の理解に迫ることを目標に、次のように体系化されています。

「言語科学Ⅰ」「言語科学Ⅱ」では、入門的な内容ながら、音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論・異文化間コミュニケーションおよび言語教育への応用といった、言語学の主要分野を網羅的に扱います。これらに続くものとして、2回生以上向けの「言語構造機能論」・「言語比較論Ⅰ」・「言語比較論Ⅱ」・「言語認知論」・「少数言語論」が提供されて

います。いずれも、ことばに関する知的関心に沿った、わかりやすい授業内容ですが、自身の興味に応じた中身かどうかはシラバスで十分に確認してください。担当教員と事前に（あるいは初回の授業時に）相談してもらうことが望まれます。

(4) 教育・心理・社会分野

① 教育学関係科目の分類

教育学関係科目は、基礎的な内容を中心とする「基礎」としての「教育学Ⅰ・教育学Ⅱ」と、より応用的なテーマを取り上げる講義科目や、少人数で講読・研究発表などを行う基礎ゼミナール（「教育学基礎ゼミナール」と「ジェンダー論基礎ゼミナール」）からなる「各論」で構成されています。

「教育学Ⅰ」は、長い射程で教育そのものを論じながら、教育を見る眼を鍛えていくことをめざしており、「教育学Ⅱ」は、現代教育が抱えている国内・外の諸課題の把握・理解をめざすものです。「教育学Ⅰ・教育学Ⅱ」を担当している教員は、教育社会学・教育史・教育哲学を専攻しており、それぞれの学問の方法論にのっとり教育という事象を考察しています。学問的な方法論の違いによって授業内容は大きく異なりますので、詳細はシラバスで十分確認してください。教育は学生のみなさんにとって身近なテーマであると思われるが、教育現象を学問の対象とすることの意義とそのためにも不可欠な理論や方法への理解を深めることが、教育学のめざすところです。

「各論」の講義科目は、テーマがやや絞られており、専門性の高い授業もありますが、興味をもった科目については、内容をシラバスで確認した上で、積極的に受講してください。また、「基礎」や「各論」には英語講義も複数存在していますので、これらの受講にも果敢に挑戦してください。

基礎ゼミナールは、教員と学生との間での双方向的なやりとりが可能な少人数で行うもので、受講者には主体的な授業参加が求められます。ゼミ形式で報告と討論を行い、そのことを通して、教育学やジェンダー論のより深い理解ならびに問題意識の醸成をめざしています。なお、基礎ゼミナールは後期に開講されていますが、前期には教育学関係の ILAS セミナーとして「教育・社会・国家」「ジェンダー論」が開講されています。ゼミ形式の授業に興味がある人は、基礎ゼミナールだけでなく、これらの ILAS セミナーを履修することも推奨します。

② 心理学関係科目の分類

心理学関係科目は、心理学に関連する幅広いトピックの中から、心理学を学んだことのない学生にも興味・関心を持てるようなものを選び、入門的に概説する「基礎」科目、心理学の各分野別に体系的に基礎内容を解説していく講義と、演習形式でしか身に付けることのできない心理学的思考法・方法論等を学ぶ基礎ゼミナールからなる「各論」科目、および ILAS セミナーという「少人数」科目の3種類からなります。

「基礎」科目では、心理学という学問分野の幅広い問題領域（ないしは応用領域）に触れてもらうとともに、心理学の基本的な考え方を理解してもらうことを目標としています。心理学は、生物としてのヒトを対象とする心理学と、人生を生きる人間を対象とする心理学に大別することができますが、心理学Ⅰは前者に、心理学Ⅱは後者に、大まかに対応しています。

「各論」科目は、講義と基礎ゼミナールからなっています。講義は、講義担当者が専門としている分野に関する基礎的な内容を扱う講義であり、その分野の基礎的な知見から最先端の研究動向までを見据え、その分野の一通りの体系に触れてもらうことを目標としています。基礎ゼミナールでは、演習形式で、心理学の各分野の研究法を学んだり、心理学的思考法を応用して関連する諸現象を分析したり、文献講読を通じて最先端の知見を学んだりすることができます。各担当者の開講する講義と基礎ゼミナールは基本的に対応していますが、それぞれ独立して履修することができるように配慮されています。

「少人数」科目は、ILAS セミナーであり、基礎ゼミナールと同様、少人数の演習形式で心理学の各分野の入門的内容を実践的に学ぶことができます。

心理学は、対象に関しても、方法論や研究スタンスに関しても、きわめて幅広い分野です。授業の詳細をシラバスで確認の上、ぜひ多様な「心理学」を履修してください。

精神分析学・精神病理学関係の科目のうち、精神分析学関係の科目は、歴史的展開を踏まえて精神分析の基礎的な考え方を学ぶ「精神分析学」と、精神分析の考え方を応用しながら芸術や集団心理を理解する「精神分析Ⅰ・Ⅱ」、また、研究的接近のとは口となる「精神病理学・精神分析学講読演習」とから成ります。

また、精神病理学関係の科目は、精神疾患からの社会復帰の課題を考える「行動病理学Ⅰ・Ⅱ」、研究的接近を講読によって試みる上記の「精神病理学・精神分析学講読演習」とから成ります。このうち「行動病理学Ⅰ・Ⅱ」では、複数部局と非常勤講師の協力のもとに、共生の理念のもとで、現在の精神障害者福祉の在り方に触れます。

精神病理学と精神分析学は、独立した人間理解の体系を成すと同時に、臨床活動において密接な協力関係があり、それゆえ一つの科目群として履修してもらうこととなっています。特に、講読を通じてテーマを見つけてゆくための「精神病理学・精神分析学講読演習」は、単一の講読科目に総合されています。

③ 社会学関係科目の分類

社会学関係科目は、基礎的な内容を中心とする「社会学」（Ⅰ、Ⅱ）、より応用的なテーマを取り上げる「社会学各論」（Ⅰ、Ⅱ）、および少人数で論文の講読・紹介発表などを行う「ILASセミナー：社会学」（Ⅰ、Ⅱ）、「社会学基礎ゼミナール」（Ⅰ、Ⅱ）で構成されています（「ILASセミナー：社会学」は少人数教育科目群に属します）。

「社会学」は、社会学理論の基本的な概念と学説を紹介する「社会学Ⅰ」（前期開講、計3コマ）と、それらの基本概念・学説に基づく社会学の経験的研究を幅広く紹介する「社会学Ⅱ」（後期開講、計5コマ）から成ります。いずれも、大学で初めて学ぶ社会学という学問の基本的な視点や思考方法の意義、またそれによって現代社会の現実をどのように社会学独自の観点から捉えることができるかということ、理系学生も含めた初学者に体得してもらうことを目標としており、（高校の公民科などの）特別な予備知識は必要としません。

「社会学各論」は、「社会学各論Ⅰ」（1コマ）が前期に、「社会学各論Ⅱ」（1コマ）が後期に、それぞれ開講されます。これらは、「社会学Ⅰ・Ⅱ」の応用として、領域をより限定した社会学の専門的研究を、やや深く掘り下げて紹介します。具体的な内容は年度によって変化しますので、内容および履修条件についてはシラバスで確認してください。

少人数科目は、「ILASセミナー：社会学Ⅰ」（1コマ）が前期に、「社会学基礎ゼミナールⅠ」「社会学基礎ゼミナールⅡ」（各1コマ）が後期に、それぞれ開講されます。いずれも少人数で論文の講読や紹介発表を行うゼミ形式の授業であり、受講者には主体的な授業参加が求められます。扱う論文等は年度によって変化しますので、内容についてはシラバスで確認してください。ただし、いずれも社会学の初学者を対象としており、特別な予備知識を必要としない点は、「社会学Ⅰ・Ⅱ」と同様です。

※「日本観照：多文化環境で学ぶ現代日本社会の諸相」は、人文・社会科学科目群日本理解分野「Current Issues in Japan I」との合同授業として実施されます。

(5) 地域・文化分野

① 人類学関係科目の分類

人類学関係科目は、文化人類学および下位分野の一般的な内容を講義する基礎論（文化人類学Ⅰ・Ⅱ、生態人類学Ⅰ・Ⅱ等）、より限定的な内容を講義する各論（文化人類学各論Ⅰ・Ⅱ、宗教人類学等）の講義科目、少人数で講読や発表を行う調査演習・ゼミナールで構成されています。

講義科目の基礎論・各論ともに、世界各地の多様な環境のもとにある人間の生活を主題としており、知的興味さえあれば文系・理系を問わず、初学者でも受講可能な授業内容となっています。講義で扱う内容は、担当教員の専門により多彩です。そのため、受講希望者は、自身の学習目標を主体的に設定し、シラバスで講義内容を十分に確認した上で、複数の講義科目を選択して履修することが望まれます。

演習・ゼミナールは、講義科目履修者または既修者の受講が望まれます（必須ではありません）。ILASセミナー（文化人類学調査法・社会人類学調査法）および調査演習は、人類学的研究に必須の調査方法であるフィールドワークの基本を学ぶ少人数科目であり、文献講読のほか、調査計画立案、参与観察による資料収集、資料分析と提示の方法を実践的に習得することを目指します。地域研究概論では、人類学的な視座からアジアやアフリカ地域に関する理解を深めます。

② 地理学関係科目の分類

地理学関係科目は、基礎論としての「人文地理学」、「地域地理学」、「自然地理学」と、都市・村落・歴史地理・地理情報・経済地理あるいは日本・欧米・アジア・アフリカに関して踏み込んで考える各論、そして少人数で行う基礎ゼミナールからなります。これに地理学関係教員が担当するILASセミナーが加わります。

高校までの地理教育は、世界の諸地域について事項を学ぶ科目としてとらえられがちですが、大学で学ぶ地理学科目は、世界諸地域の多様性を重視しつつ、環境と地域文化との関連や文化間の相互作用の考察を通して地域の成り立ちを明らかにするものです。基礎論・各論それぞれ対象や方法は幅広く多様ですが、特色として「地図を読む」、「地図で描く」ことを通じた空間的なものの見方の重視をあげることができるでしょう。

基礎ゼミナール科目は、地図の読解・作成や地理情報の利用などの実習を含むものです。ILASセミナーでは、主に文献講読や受講者各自の研究発表を行います。

③ 環境構成論関係科目の分類

環境構成論関係科目は、建築および建築によって構成される環境（都市・集落）を扱う科目群です。とりわけ建築と環境の歴史と現代における計画をテーマとしています。世界遺産登録に象徴されるように、わが国の歴史的環境や資源の保全と活用への期待は、今後ますます高まっていくことが予想されます。そうした動きは現在、遺産学という大きな枠組みで世界レベルの議論へと拡大すると同時に、われわれの身近なまちづくりにおいても必須の要件として認知されるに至っています。また、近年多発する地震や大雨といった災害後の復旧・復興における住宅や集落、コミュニティの

再建・再生は、その理論的な検討と実践が、重要な社会課題となっています。環境構成論科目は、その基礎的事項を講じると同時に、最前線の状況を紹介するものです。「都市空間論」が基盤となる内容を扱う基礎論、「都市空間論各論Ⅰ・Ⅱ」などが個別のテーマを取り上げる各論、「都市空間論基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」が少人数で講読・研究発表・見学会などを行うゼミ形式の科目となっています。担当教員の専門によって、取り上げる建物や地域、また研究の視点や方法論等が異なるため、各科目の内容はシラバスで確認してください。

特に必要となる予備知識はなく、理系・文系を問わず履修することが出来る内容となっています。また、各科目は、それぞれ独立した内容となっており、単独での履修も問題はありません。もちろん、当該分野の幅広い知識を得、かつ理解を深めるためには、連続して履修する、あるいは複数の教員の科目を履修することが望まれます。さらに体系的に学びたい学生は、建築系の科目や環境系の科目と併せて履修することをお勧めします。

(6) 法・政治・経済分野

① 法学関係科目の分類

全学共通科目の法学系科目は、広く法学全体の導入・案内をおこなう基礎的・入門的科目（「基礎」）、いくぶん主題や方法を限定して発展的・専門的内容をあつかう科目や少人数での講読・プレゼンテーションを中心にすすめられる基礎ゼミナール（「各論」）の二種類から構成されています。またこれと合わせ、基礎ゼミナール同様少人数でのきめ細かな指導をめざすILASセミナーも提供します。

ILASセミナーは、前期のみの開講です。現代・過去の法律問題、あるいは社会的・経済的・政治的問題にも広く題材を求めつつ、大学での学習全般への手引き（文献資料の探し方、レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方など）を提供します。人文・社会科学系科目の基本的な学習技術を身につけ、この分野への関心を喚起・発展させる機会として活用してください。

基礎科目・各論科目はいずれも、専門課程において法学を専攻する予定の受講者（法学部生）にとってはその後の法学学習の導入・基礎固めとしての役割を果たすいっぽうで、それ以外の受講者にとっては社会生活上求められる法律に関する基本的な知識と考え方を示すとともに、他の学習分野・学問領域との関連について広い視野を得る機会を提供します。法学それ自体はたくさんの細分化された専門領域からなる広大な学問領域であり、全学共通科目のなかでその全貌を紹介することは不可能ですが、そこに通底する共通の発想や関心のあり方に触れていただき、今後の学習と生活に役立てていただきたいと考えています。

基礎科目は、主として法学についての特別な基礎知識をもたない初学者を前提に、法学学習者に求められる最も基礎的な知識・技術を提供し、特有の発想に親しんでもらうことをめざします。憲法、民法、刑法や民事・刑事訴訟法、行政法、労働法等々個別の法領域だけでなく、六法や判例をはじめとする法情報へのアクセス方法、専門用語に関する基礎的な理解、条文解釈の方法等を提示して、法律・法学への広くバランスのとれた見方を身につけてもらいたいと考えています。

各論科目は、各担当教員の専攻する研究領域に近い内容に特化することで、皆さんの関心に応じた受講が可能になっています（とはいえ、特別な予備知識がなくても受講できるように配慮がなされています）。個々の講義内容は担当教員や開講年次等によって異なるので、くわしくはシラバスで確認してください。

なお、科目・担当教員によっては、指定教科書や参考図書のほかに、六法（『ポケット六法』等のハンディ版）や用語辞典、法令用語の概説書等の携行・参照が求められる場合があります。

一般に法律の世界、法学という学問に対しては、杓子定規で堅苦しいというイメージが付きまといがちですが、実際には、きわめて幅の広い想像力と柔軟な創造力を求められる領域でもあります。法学特有のものの方・考え方に触れることを通じて、皆さんの視野と関心を広げていく一助としてください。

② 政治学関係科目の分類

政治学系科目は、日本をはじめとする先進国における政治の実態や歴史、あるいは、発展途上国を含めた政治的発展の歴史と理論、さらには国際政治の実態や歴史について学びながら、政治学に関する基本的な概念や理論を理解し、それにもとづいて現実の政治現象を解釈・分析できるようになることを目指しています。

「基礎論」は、「政治学Ⅰ」および「政治学Ⅱ」などからなります。これらの講義では、政治学における基本概念（民主主義、権力、政治体制など）やその歴史について説明するとともに、これまで展開されてきた政治学の理論にもとづく政治現象の分析を紹介します。

「各論」は、「国際政治論Ⅰ」、「国際政治論Ⅱ」、「公共政策論Ⅰ」、「公共政策論Ⅱ」、「歴史の中の政治と人間」、「現代政治分析への招待」などからなっており、基礎論にくらべて、より専門性の高いテーマを扱っていますが、特別な予備知識がなくとも履修できるように配慮がなされています。具体的には、国際政治や行政、政治思想などについて講ずるものや、政治現象を分析するためのさまざまなモデルや手法の紹介がなされるものがあります。

「基礎ゼミナール」では、主としてゼミ形式で、基礎的文献の講読や各自の研究報告などをおこなうこととなっています。特別な予備知識などは必要ありませんが、受講者の積極的な参加が望まれます。なお、基礎ゼミナールは後期に

開講されますが、前期には政治学関係の ILAS セミナーとして「公共政策論 I」「国際政治論」が開講されています。ゼミ形式の授業に興味がある人は、基礎ゼミナールだけでなく、これらの ILAS セミナーの履修も推奨します。

③ 経済学関係科目の分類

経済学関係科目は、基礎的な内容を中心とする基礎科目、より限定されたテーマを取り扱う各論科目、および少数で講読・研究発表などを行なう基礎ゼミナールで構成されています。

基礎科目は、「経済学 I」において、そもそも経済とは何かという視点から、幅広く経済を見る目を鍛えることを目指します。また「経済学 II」においては、現代経済の諸問題をどう考えるかという視点から、諸課題の把握・理解を目指します。それぞれ、経済思想史、マルクス経済学、ミクロ経済学、マクロ経済学という 4 つの観点から、「経済学 I」において長い射程で経済そのものを論じ、「経済学 II」においてより現代的な諸課題について考えます。「経済学 I・II」はいずれも「基礎論」的性格をもちますが、ここで「基礎」とは、必ずしも初学者のための「初歩」、あるいは経済学部におけるカリキュラムの「初級」を意味しません。予備知識を必ずしも必要としませんが、経済学の基礎となる思考法を理解してもらうことを目標とします。なお歴史・文明分野の基礎科目「現代文明 I・II」も、狭義の歴史学に収まらない分野横断的な視点から経済文明の原理を探るものであり、併せて履修することが望まれます。

各論科目は、「社会経済システム論 I・II」、「現代経済社会論 I・II」、「公共政策論 I・II」などがあり、政治・社会など隣接諸分野との関連（インターフェイス）、現代との関連（フロンティア）をより強く意識した講義を提供します。

基礎ゼミナールは、少数で講読や研究発表を行なうゼミ形式の授業であり、全学部・全学年にわたる学生が一堂に会して議論できる稀有な空間です。受講者には主体的な参加が望まれます。前期の ILAS セミナーを履修した学生が後期に本ゼミナールを続けて履修することで、より学修が深められるよう工夫されており、ILAS セミナーと組み合わせた系統的履修が望まれます。

(7) 日本理解分野

日本理解分野は、留学生を対象としたもので、日本に対する関心を広げ、理解を深めることを目的としています。学部生の留学生に向けては Culture and Traditions in Japan I、Culture and Traditions in Japan II（2 クラス開講）、Current Issues in Japan I、Current Issues in Japan II の 4 科目が提供され、人文科学や社会科学の視点から、日本の文化、社会の特徴について概観できるよう構成されています。また、多様な文化的背景を持つ受講生が想定されることから、日本、自国、他国の文化や社会状況の比較を通して、それぞれについての理解を深めることも目指します。講義は英語で行われ、KUINEP 学生の推奨科目となっています。

留学生を対象とした科目ですが、一部科目では、留学生以外であっても、日本の文化、社会について留学生と共に学ぶ意欲のある本学学生の聴講（単位付与は行われぬ）を認めています。詳しくは各科目のシラバスを確認の上、担当教員に相談してください。日本人学生については KULASIS での登録を認めていませんので、ご注意ください。

Culture and Traditions in Japan I（前期）では、「一期一会」、「以心伝心」などのキーワードを手がかりに、言葉を通して日本文化の特徴を探っていきます。Culture and Traditions in Japan II（後期・湯川 志貴子 担当）では、年中行事、信仰、婚姻、教育などの日本文化の様々な側面を取り上げ、文化や伝統の特徴、その歴史的変遷を考察します。同じく Culture and Traditions in Japan II（後期・阿久澤 弘陽 担当）では、第二次世界大戦、差別、経済・政治問題、ポップカルチャーなどのトピックを通して日本近現代史を概観します。Current Issues in Japan I、II は共に社会科学的視点から、Current Issues in Japan I（前期）は家庭、学校、職場、スポーツ、コミュニケーション、Current Issues in Japan II（後期）は少子・高齢化などの人口問題、女性の社会進出やジェンダー意識、格差社会などの題材を選定し、日本社会の特徴について学びます。以上の 4 科目は、日本に関する知識が十分でない人でも理解できるよう配慮されています。また、複数の科目を受講することで、より幅広い内容を網羅し、効果的な学習が期待できるようになっています。

※Current Issues in Japan I（前期）については、人文・社会科学科目群教育・心理・社会分野「日本観照：多文化環境で学ぶ現代日本社会の諸相」との合同授業として実施されます。

(8) 外国文献研究分野

全学向けに E1 科目として開講される「外国文献研究（全・英）-E1」は、言語と結びついた文化や芸術、あるいは言語科学に関するテーマを取り上げて、これらの専門領域に関する知識や理解を深めると同時に、当該分野のテキストの読解をとおして、学術に資する英語力を強化することに重点を置きます。

このような本科目の性質上、授業では、担当教員による解説のみならず、受講生が積極的に参加する場も提供され、講義と演習を融合した形態がとられます。受講生が、〈ことば〉に関わる文化や科学の第一線の研究に触れ、実践的に関わることによって、英語という〈ことば〉に対する感覚を磨きつつ、教養を涵養することが、本科目の目的です。

外国文献研究分野では、この他に特定の学部に向けた科目が開講されます。詳細は、p.71～を参照してください。

②自然科学科目群

(1) 数学

全学共通科目として提供されている数学科目は、理系向けと文系向け及び全学向けに分かれています。主要なものについて、その概要を「理系向け」と「文系・全学向け」に分けて説明します。

▶「理系向け」

多くの自然科学・応用科学において、数学はその理論を記述するための言葉を提供します。実際、数学無しにはこれらの理論を理解することも正確に記述することもできません。数学は、いわば学問の礎なのです。そこで、理系の多くの学部・学科においては、全学共通科目における数学科目を「専門の基礎となる科目」として必要に応じて幾つか指定し、クラス指定科目として履修を推奨しています。ここでは主にこれらの科目について概説します。

クラス指定科目として挙げられる数学科目で多くの学部・学科の学生に関係するものは、次の表にまとめられます。

①	微分積分学（講義・演義）A・B 線形代数学（講義・演義）A・B
②	微分積分学統論Ⅰ・Ⅱ、線形代数学統論 確率論基礎、数理統計（※分野はデータ科学）

この表の①・②は学修の順次性を示しており、原則、①に書かれている科目を学修してから②に書かれている科目を履修することになります。また、学部・学科によっては、②で学修した内容は更なる発展的内容の数学を学修するための基礎事項となります。

数学の学修においては、その順次性は無視できません。微分積分の基礎事項の理解も無しに微分方程式（これは微積分統論Ⅱで扱われます）を論じようというのは、喩えるなら四則演算も知らずに代数方程式を論じるようなものであり、殆ど意味を成さないでしょう。したがって、初期段階の数学の学修を疎かにすると後の学修に悪影響が生じるのは至極当然のことです。各学生においてはこのようなことの無いよう、特に1回生担当の科目については、担当されたクラス指定科目を着実に履修することが強く望まれます。

▶「文系向け・全学向け」

文系向け・全学向けに開講されている科目には、例えば以下のものがあります。

微分積分学 [文系] 線形代数学 A・B [文系] 数学基礎 A・B [文系]	数学探訪Ⅰ・Ⅱ
---	---------

左側に挙げられている科目は文系向けの科目で、将来の学修で必要となりうる数学的技法を学ぶことを主たる目的とした科目です。現在では、分野によっては文系といえども高校数学の範囲を超えた数学が必要となります。そのような数学的技法を、高校で数学Ⅲを履修していない学生を対象として講義します。担当される数学科目が決まっている学部・学科に所属する場合、各学生においては担当されたクラス指定科目を履修してください。

右側に挙げられている科目は全学向けの科目です。実践的な数学的技法を修得するための科目というよりは、むしろ数学の多様な価値に触れることを目的とした科目であり、数学の色々な分野を題材にした講義が行われます。

▶ 数学科目の紹介 — 関数の解析を切り口として —

関数 数学において「関数」は重要な概念です。関数とは、何かを入力すると数が出される、そういう装置です。出力される数のことを関数の値と言います。入力するものを動かすとそれに応じて関数の値が動きます。関数は変化する量を表わしています。数学では、関数はいろいろな動機を持って研究されています。では、何故関数が興味を持って調べられるようになったのでしょうか？それは世の中の多くの「現象」が関数という言葉によって記述されるからです。

「現象を関数で記述する」とはどういうことでしょうか？例えば、新幹線に乗って京都から博多に向かうとき、時刻 t における列車の位置を京都からの走行距離として $x(t)$ と表せば、新幹線の走行という現象を関数で記述したことになります。新幹線が一定の速度で走行していれば、 $x(t)$ は一次式になり、加速中は下に凸の、減速中は上に凸の関数になります。

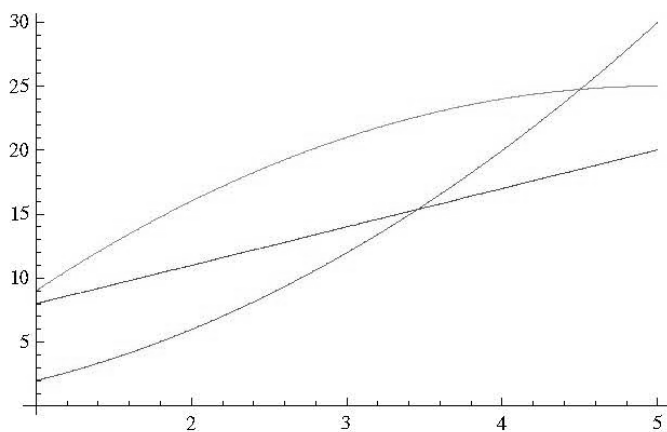


図1 走行距離のグラフ

他にも例を挙げましょう。ある地域の各地点 P に対してそこでの温度 T を対応させれば、これは地点 P の関数を定めます。地点 P は座標をつかうことによって2つの変数 x, y で表されますので、温度は2変数関数 $T(x, y)$ で表わされることになります。

温度ではなく、各地点 P での空気の流れ(風)を考えると、それは風向きと強さで表わされます。したがって、風の状態は各点 P に風向きの方に風の強さに比例した長さの矢印を配置することで表現されます(図2)。 $P=(x, y)$ を根元とする矢印の、矢の先端の x 座標の値から x を引いたものを $u(x, y)$ とし、 y 座標の値から y を引いたものを $v(x, y)$ で表わすことにすれば、風の状態は $(u(x, y), v(x, y))$ という2変数の関数2個の組で表わされます。これもまた関数の仲間であり、2次元ベクトル場と呼ばれます。ベクトル場は「流れ」を記述する際に自然に出てきます。

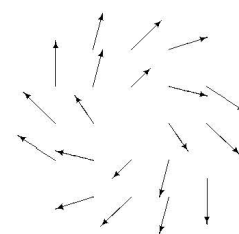


図2 ベクトル場

諸科学において、まず現象を関数で記述し、次にその関数の性質を調べ、最後にそれを現実の現象の下に解釈して理解する、という手続きが、近代以降、基本的・標準的な枠組みとなりました。そして、この枠組みの真ん中の部分、「関数の性質を調べる」という部分を、数学が主に担当しているのです。

微分積分とは 数学では関数を調べるために多くの技法が開発されています。全学共通科目として提供される数学科目はこうした技法の基礎を与えています。なかでも微分積分学は中心的な存在です。

微分とは与えられた関数を一次式で近似することです。関数 $x(t)$ を $t=t_0$ で微分することは、変数 t の値が t_0 に近いとき(局所的)にもとの関数(複雑なもの)を一次式(簡単なもの)で近似することです。

$$x(t) - x(t_0) \sim c(t - t_0)$$

近似するというのを、関数のグラフが表わす曲線を使って言い換えるならば、この一次式のグラフは、曲線上の点 $(t_0, x(t_0))$ における接線に他なりません。接線の傾きが $t=t_0$ における微分係数です。微分係数がわかればその関数の t_0 の近くでの挙動「増加しているのか、減少しているのか」がわかります。微分学は、関数の局所的な振る舞いを調べます。

積分は、関数の大局的な情報を与えます。区間での積分(定積分といいます)は、変数 t が一定の範囲を動く間にその関数が各 t の近くで生み出す寄与を、全て足し上げたものです。例えば、 t_0 から t_1 までの積分の値を $t_1 - t_0$ で割ったものはもとの関数の平均値を与えます。

微分積分とは、微分と積分を合わせたものですが、単に「微分と積分」という意味ではありません。「微分積分学」という言葉は微分と積分が有機的に関係していることを一言で表しています。実際、微分積分学の基本定理と呼ばれる重要な定理があって、それは微分と積分を互いに逆の操作として結びつけるものです。

いま述べたことを、新幹線の走行を例に、具体的現象と結び付けてみましょう。関数 $x(t)$ が時刻 t における列車の位置(走行距離)を表すとき、 t_0 での微分係数 $x'(t_0)$ は時刻 t_0 での速度です。関数 $v(t) = x'(t)$ は各時刻における速度を表わします。今度は関数 $v(t)$ の時刻 $t=t_0$ から $t=t_1$ までの積分を考えてみましょう。 $t=t_0$ から $t=t_1$ までの間の、速度 $v(t)$ の寄与の積み上げとは何を意味するのでしょうか?各時刻 t において単位時間当たり $v(t)$ だけ移動することが速度の意味ですから、その寄与(t の近くでの走行距離)を足し上げて得られる量とは、時刻 t_0 から t_1 まで間の走行距離 $x(t_1) - x(t_0)$ です。すなわち、速度の積分で走行距離(すなわち基準点からの位置)が得られます。微分積分学の基本定理は微分と積分を互いの逆として結びつけると述べましたが、物体の運動の記述に現れる位置と速

度という関数については、位置を微分したら速度が現れ、速度を積分したら位置が得られるという関係になっています。

線形代数とは 線形代数とは、線形性という言葉でとらえられる構造あるいは性質について考察する分野で、線形空間(ベクトル空間とも言う)と線形写像を扱います。

世の中の様々な現象を観察すると、足し算とスカラー倍(実数倍)が自然に考えられる対象がいろんなところに潜んでいることがわかります。例えば、力には向きと強さがあるので、力はベクトルで表わされますが、物体を3つの方向に引っ張ったときに、力が釣り合ったとすれば、3つの引っ張る力は、ベクトルとしての和が0になります。

ベクトル場に対して、足し算とスカラー倍を考えることができます。図3の上段のベクトル場を左から θ_1 , θ_2 , θ_3 と書くと $\theta_1 + \theta_2 = \theta_3$ である。また、下段はベクトル場 θ_3 を $3/2$ 倍にしたベクトル場がどうなるかを示しています。ベクトルに対して、 $3/2$ のような数のことをスカラーと呼びます。足し算とスカラー倍からなる構造が線形性であり、足し算とスカラー倍が定義された集合が線形空間です。

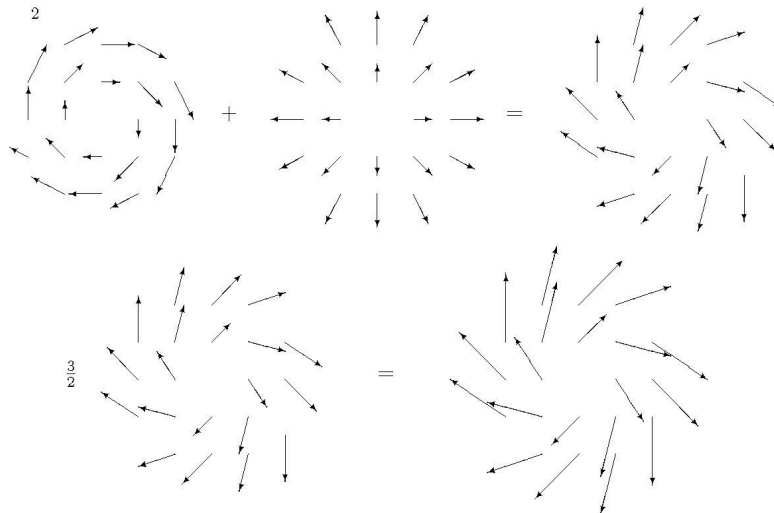


図3 ベクトル場の和とスカラー倍

数に対して数を対応させるものが関数ですが、もっと一般に、例えばベクトルに対してベクトルを対応させるときは関数という代わりに写像という言葉を使います。ここで話題にしたいのは写像の線形性です。写像の線形性とは何でしょうか?例えば、平面に原点 O を決め、 O を中心に角度 θ の回転を考えましょう。回転は平面から平面それ自身への、点を点に移す写像です。平面は原点を決めることによって、2次元ベクトル全体の集合である線形空間 V と同等になるから、回転は V から V への写像を決めます。

2次元ベクトル v に対しそれを回転したベクトルを $R_\theta(v)$ と書きます。この写像はベクトルの足し算とスカラー倍に対して次の性質を持ちます。

$$R_\theta(c_1v_1 + c_2v_2) = c_1R_\theta(v_1) + c_2R_\theta(v_2)$$

足し算とスカラー倍を先に行なってから回転するか、回転してから、足し算とスカラー倍をするか、結果は同じになります。これが写像の線形性です。言い換えると、ベクトル v_1 と v_2 の写像による行き先を知っていれば、第3のベクトル $c_1v_1 + c_2v_2$ の行き先が判ってしまいます。平面上のベクトルは無限個ありますが、それらは、適当な2つのベクトルから足し算とスカラー倍で作ることができます。したがって、写像が線形であれば、2つのベクトルについての情報からすべてのベクトルに対する情報が読み取れます。これが線形性のポイントなのです。

関数を調べる際にも線形性は必要となります。2変数の関数を考えましょう。点 $P_0 = (x_0, y_0)$ の近くで関数 $f(x, y)$ を微分するとは、関数を $P = (x, y)$ が P_0 の近くにあるときに、 P_0 からの微小変化 $\Delta x = x - x_0$, $\Delta y = y - y_0$ の1次式 $c_1\Delta x + c_2\Delta y$ で近似することです。

$$f(x, y) - f(x_0, y_0) \sim c_1\Delta x + c_2\Delta y$$

c_1 と c_2 を与えるだけでこの1次式は決まります。微分することによって、無限個の情報の中から、 P の近くでの関数の変化の様子を統制する、2個の量 c_1, c_2 を取り出すのです。

一定の性質を持つ関数の全体を線形空間として考えることも重要です。関数に対して和とスカラー倍が自然に定義されますが、線形の微分方程式の解の基本性質は解の全体が線形空間になることです。すなわち、2つの解から一次

結合(足し算とスカラー倍で作ったベクトル)によって別の解を作ることができます。後で述べるように線形の微分方程式は自然現象の理解のために欠かせないものです。

量子力学では、物理状態はある線形空間 F のベクトルで表わされます。さらに、ハミルトニアンと呼ばれる線形写像 $H: F \rightarrow F$ があって、ある実数 E に対して $Hv = Ev$ が成り立つようなベクトルのことを、エネルギーが E の状態と考えます。量子力学では、線形代数は、理論そのものを記述する上で本質的な役割を演じるのです。

他科目・他分野との繋がり 全学共通科目には、多くの数学科目が提供されていますが、それらは独立に存在するものではなく、互いに密接に関連しています。微分積分は微分積分学(講義・演義) A, B で、線形代数は線形代数学(講義・演義) A, B で学びます。ここでは、それ以外の主要なものについて、その内容と互いの関係を概説しておきます。

現象は関数で記述されると冒頭で述べましたが、諸科学に現れる現象は「法則」に束縛されて生じます。例えば物理現象は該当する物理法則の下に出現します。現象を関数で記述したとき、物理法則は関数を束縛しますが、多くの場合それは微分方程式という形で現れます。したがって、微分方程式は実際に現象を理解する上で重要な位置を占め、それを解くことは切実な問題です。例えば熱の伝導は、熱が温度の高い場所から温度の低い場所へ、温度勾配に比例して伝わるという原理と、温度の変化は流れ込む熱量に比例するという原理によって決まります。この2つの原理から、温度変化を表わす関数に対する方程式が導かれます。これは熱方程式と呼ばれます。熱方程式は線形微分方程式と言って解の全体が線形空間になるという性質を持ちます。特に、細い針金の両端を温度 T_1 と T_2 に保ち、十分時間がたって温度変化がなくなった状態で、針金の各点における温度 $T(x)$ は、位置 x の関数として線形微分方程式を満たしますが、この場合の解は2つの関数1 と x の一次結合(すなわち解は x の1次式)になります。これにより、 $T(x) = c_1 + c_2 x$ の具体形が2個の未知数 c_1, c_2 に対する2元連立方程式(中学の数学)を解くことによって求まってしまいます。微分方程式の初歩については、微分積分学及び線形代数学の知識を前提にして**微分積分学統論Ⅱ**で学びます。

少々脱線にはなりますが、微分方程式という言葉を出した以上、ニュートン力学に触れないわけにはいきません。ニュートンの運動方程式は最も有名な微分方程式です。個別の力学現象に対し運動方程式を立て、それを微分積分の技法を使って解くことにより理解します。この意味で微分積分の技法は古典力学の問題に力を発揮しますが、それは偶然ではありません。そもそも、ニュートンは古典力学を記述し、その問題を解くために微分積分学の着想に至ったのですから。

ベクトル場に対しては、一味違った「微分・積分」が導入されます。その「微分」は「流れ」の局所的な傾向を記述し、「積分」は「流れ」の大局的な影響を記述するのに本質的な役割を演じます。さらに、ベクトル場に対する「微分積分学の基本定理」も確立されており、ガウスの発散定理やストークスの定理という名前と呼ばれます。これらは**微分積分学統論Ⅰ**で学ぶベクトル解析の内容です。この科目も、微分積分学のみならず、線形代数の内容を前提として学ぶこととなります。

ベクトル解析は、電磁気学と相性が良く、電磁気学を記述するには必要不可欠なものです。実は、電磁気学を記述するためにベクトル解析が作られたという背景もあり、結果的に相性が良いのではなくそのように作られていると言ふべきです。電磁気学の理解とベクトル解析は不可分なのです。

以上、各科目の大まかな内容と分野間のつながりについて述べました。全学共通科目として提供される各数学科目はそれぞれが独立した一科目として提供されているのではなく、互いに関係しながら体系として積み上がっていくものだということがわかっていただけたでしょうか。

おわりに 現在の数学は一つの学問として相当に洗練されおり、その体系は、広範な応用を念頭において「抽象的」に記述され、また誰にでも同じ内容が伝わるようにと、論理的な「厳密性」をもって組み立てられています。しかし、そのせいで初学者はしばしば全体像を見失うこともあります。そんなときは、先に指摘したように各数学科目は繋がりをもっていることを思い出してください。抽象性・厳密性ゆえに、学んでいる数学と自身の興味のある科学分野との関連が見えず、「為にする数学」をやっているように感じるときもあるかもしれません。そんなときにも、例えば「微分方程式と力学」や「ベクトル解析と電磁気学」のように、数学が現象の記述を目的に生まれたことを思い出してください。これらの視点が、学ぶことに疲れてしまったときに元気を与えてくれることもあるでしょうから。

数学の理論と技法を身につけるためには、何よりも自分で手を動かして、実例に当たってみるべきです。他の自然科学において実験が重要であるように、数学においては演習が重要です。演習とは自分で考え、計算することでなければなりません。そうして、納得のいかないことが出てきたときは、さらに考え、友だちと議論し、TA(ティーチングアシスタント)に教えてもらったり、先生に質問をしてください。繰り返しになりますが、数学は数学の内部で、また他の自然科学との間で、強力なつながりを持っています。何か解らないときに、そこに立ち止まらずに学習していくと、他とのつながりを見つけることによって、解らなかつたことが解らなくなる場合があります。解らないこと、納得のいかないことがあっても、その疑問を持ち続けて、あきらめずに先に進むことが大切です。

数学は潜在的には皆さんの将来の学問分野の基礎となる力を持っています。それを超えて皆さんによって数学が現実的に諸科学の基礎として活用されることを願います。

(2) データ科学

データを収集して管理し、必要に応じて流通させ、さらに数理的手法により分析することにより結論を導き、将来の推測を行う学問は近年では「データ科学 (Data Science)」とよばれています。データを扱う学問としては古くから統計学が発達してきました。高校では統計を数学 I あるいは情報 I の授業で学んだ方が多いはずですが、また数理統計学が数理的手法を用いることにより展開される学術分野のため、統計は数学あるいは情報学の一部と思っている方も多いと思います。しかし、演繹的な考え方が多い高校数学の中では、帰納的な考え方の統計について異質に思った方も多いかもしれません。また統計の内容を必ずしも十分に身につけられたとの自信の持てない方もおられるのではないのでしょうか。

しかし、現象を観察し分析して法則性を導くことにより現象の裏に潜む原理を解き明かす、という過程は学術における基本です。自然科学において実験により取得したデータだけでなく、人文科学・社会科学を含めた広範囲な学術において、フィールド調査により取得したデータ、収集によって得られた資料の分析は学術を進展させるための貴重な資源です。最近では、集積された大量のデータを二次的に活用するデータ駆動型研究も行われています。

日常生活においても、ICT (Information and Communication Technology) の発達によって、データを最大限に生かした新しい価値やサービスが次々と創出されていることは実感されます。例えば、ネットショッピングを行えば、購買データが自動的に蓄積され、客の嗜好を分析して販促方法を決定し、新商品を開発するための基礎資料として活用されることとなります。データの利用は、企業活動だけでなく、法律、金融・保険、健康・医療、災害対策など社会における様々な分野の発展に大きく寄与しています。情報ネットワークとサイバー空間が飛躍的に発展している今日では、データを利用することの重要性は高まる一方です。

全学共通教育においてデータ科学を修めることは、各自の専門分野において学術を修得し進展させるための基礎を身に付けるだけでなく、これからの社会において必要とされる知識の基本をも学ぶことにつながります。実際、わが国では、新産業創出や企業存続、社会サービスの向上、国際化進展などのためにはデータ科学の知識を持った人材が近い将来に不足することが懸念されており、データ科学を修めた人材の確保が喫緊の課題とされています。学術を進展させるだけでなくこのような社会からの要請に応えるということも鑑み、全学共通教育においては、データ科学科目として以下の科目を提供し、統計学・数理科学・情報学を横断的に学ぶことができるようにしています。

なお、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」において認定を受けたプログラム (<https://ds.k.kyoto-u.ac.jp/literacylevel-2/>) となっている「統計入門」の単位 (2 単位) を修得することで、同プログラム修了証の取得が可能です。さらに、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (応用基礎レベル)」において認定を受けたプログラム (<https://ds.k.kyoto-u.ac.jp/ouyo-kiso/>) となっている「統計と人工知能」「データ分析基礎」「データ分析演習 I」「データ分析演習 II」のいずれかの単位 (2 単位) を修得することで、同プログラム修了証の取得が可能です。各科目の概要は下記のとおりです。さらに収集可能なデータが大規模化したため、それを扱う計算を高速に行うための情報学の修得も要請されています。

1. 統計入門 (英語対応科目: Introductory Statistics-E2)

データの解析手法についての学問である統計学は様々な分野において重要です。この講義では、データ科学が広範な分野に関わることを鑑み、より多くの学生が統計学の基本的な考え方を理解することを目標としています。数学的な理論を厳密に理解することよりも、データを扱うエンドユーザーとしてデータの性質に応じた適切な分析方法を選択できるようになることを目指します。そのため、生活の身近な話題についての応用例を数多く紹介し、自然な形で統計的思考法が身に付くようにします。さらに PC 上で統計解析ソフトを用いる演習を自習形式で取り入れ、実際のデータ処理を通じた感覚的な理解も深めます。なお、学部・学科によってクラス指定があります。

2. 統計と人工知能 (旧科目名「統・統計入門」) (英語対応科目: Second Course in Statistics-E2)

文理問わず全ての分野の学生がエンドユーザーとして理解しておくべきリテラシーレベルの統計学をまとめた「統計入門」の発展版で、「統計入門」で扱い切れなかったより高度な話題 (分散分析、回帰分析、因果推論、深層学習、画像処理など) を扱います。昨今、様々な分野の問題解決に大活躍している人工知能・機械学習の基本的な考え方や手法を理解し、統計学がどのような形でその基礎を形作っているかを学びます。

3. 数理統計 (英語対応科目: Mathematical Statistics -E2)

統計学は様々な数値データの処理手法を提供しますが、ややもするとその手法の意味を理解することなく機械的な計算に陥ってしまいがちです。手法の意味するところを理解して初めて得られた解析結果を適切に利用することが可能となります。数理統計学は確率モデルに基づいた数理的手法による統計学であり、主として 2 回生理系学部生を対象としています。確率論基礎ならびに微分積分学、線形代数学を既知とします。確率論に基礎を置く推定・検定を重視した伝統的な数理統計の基礎を理解します。

4. データ分析基礎 (英語対応科目: Basic Data Analysis-E2)

ビッグデータを分析し知識発見をするスキルは、今や文理や学問分野を問わず求められる時代です。この講義では、ビッグデータ分析を視野に入れた、統計入門の一步先の分析法(重回帰分析・主成分分析など)や推測アルゴリズムについて学習します。

5. データ分析演習 I、II (英語対応科目: Data Analysis Practice I、II-E2)

データ分析では、分析の手続きを覚えることはもちろんのこと、分析結果を正しく解釈し、そこから何らかの価値を見出すことが重要です。本講義では、統計入門で学習した手法を用いてさまざまなデータを PC 上で分析しながら、データ分析の基礎技術を実践的に体得することを目標としています。利用されるデータ分析手法や統計解析ソフトは学術分野によって異なるため、履修者が今後専門とする分野や興味に合わせてできるだけ幅広い選択ができるように、異なる専門分野を背景に持つ教員、異なる講義内容を揃えています。

6. 数理・データ科学のための数学入門 I、II

データ科学は統計学、数理科学、情報学の融合した学問であるため、エンドユーザーとして手法を学ぶだけでも、最低限の数学的知識が必要です。データ科学を学ぶための基礎としての数学の中から、I では条件付き確率、統計の基礎、多変量のデータ分析の基礎、データ解析の線形代数の基礎について、II では微分積分の内容を総合的に講述します。数学的な理論の完全な体系ではなく、データ科学への応用を重視し、各自の PC 上での演習を含む内容とします。文系学部学生が高校数学IIIの知識を持たないことに配慮します。

データ科学は、統計学、数理科学、情報学が融合した学問とみなすことができます。したがってデータ科学科目を履修する際には数学・情報学科目をあわせて履修することで学修の効果が上がります。所属する学部・学科の履修要覧に従って、バランス良く履修することを心がけてください。

データ科学分野・情報群科目の構成		
	データ科学分野 (自然科学科目群)	情報学科目群
リテラシーレベル 情報・統計に関する 一般常識・基本知識 ↓ 応用基礎レベル データから情報を 抽出して応用する力	<ul style="list-style-type: none"> ■ 統計入門 ■ 数理・データ科学のための数学入門 I ■ 数理・データ科学のための数学入門 II ■ 数理統計 ■ 統計と人工知能 ■ データ分析演習 I ■ データ分析演習 II ■ データ分析基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報基礎 ■ 情報基礎演習 ■ 情報と社会 ■ 情報基礎実践 ■ コンピュータサイエンス基礎 ■ 計算機科学概論 ■ 情報ネットワーク ■ プログラミング演習 (Pythonなど) ■ コンピュータグラフィクス実習 ■ 情報企業論 ■ イノベーションと情報 ■ 情報と知財入門

なお、データ科学イノベーション教育研究センター(CIREDS)では、単位数や時間割などの制約によってデータ科学に関する科目を希望通りに履修できない場合のために、データ科学に関する自習用の教材や企画を用意しています。まず、上述の「統計入門」の要点だけを学習できるような e-learning 教材として「統計の入門」を提供しています。全国向けの JMOOC というサイトでご覧いただけるようにしています。「統計入門」の予習に利用することもできます。最後まで履修すると履修証明書が発行されます。データ科学で注目されているプログラミング言語 Python の初歩を学習してみたい人向けには、本学の京都大学の学生だけが利用できる自習キットを(教材)を用意して kubar という学内限定のサイトで配布しています。学内からこちらのサイト (https://kbar.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp/intro_python/) にアクセスし、ダウンロードしてください。

また、開講科目だけではカバーできない実践的な内容、先進的な内容を学びたい人には、データサイエンススクールという課外学習を開催しています。春期休業、夏期休業、週末などを利用して 1 日~4 日間の集中講義を行います。この他にも「統計検定」「データサイエンス検定」に合格するための遠隔講座も京大オリジナルという会社に委託して開講しています。詳細は、全学共通科目学生窓口あるいは各学部の教務担当窓口などで配布している冊子「データ科学イノベーション教育研究センター 提供科目案内」またはデータ科学センターホームページ (<https://ds.k.kyoto-u.ac.jp/>) で確認してください。

(3) 物理学

物理学は我々の日常生活から宇宙科学やエレクトロニクスに至るまで現代の高度に発達した科学・技術文明を背後で支えている重要な基盤の一つです。特に、ニュートン力学やマックスウェルの電磁気学といった古典物理学から、相対論や量子論といった現代物理学に至るまで、実験・観測と理論的考察が相俟って歴史的に発展を遂げ、体系化がなされているのが大きな特徴です。学習の目標としては物理学での諸概念の把握と法則を的確に記述する数学的手法、そして物理学の見方や考え方を修得することが挙げられます。物理学はこのように自然科学の基礎の一つであり、理系の学生の皆さんにとっては将来いずれの分野に進むにせよ何らかの形で関わりを持たざるを得ない科目と言えるでしょう。

▶ 「理系向け」

理系の学生向けの全学共通科目はこの物理学の体系に従って科目構成がなされています。それらは学習の進度により順次性を保って次のように3つの段階からなります。

第1段階	物理学基礎論 A+物理学基礎論 B 物理学実験	初修物理学 A、B (物理学初修者向け)
第2段階	熱力学 振動・波動論 力学統論 電磁気学統論	
第3段階	解析力学 統計物理学 量子物理学 現代物理学実験	

- ◇ 第1段階の「物理学基礎論 A」(力学)、「物理学基礎論 B」(電磁気学)、および「物理学実験」は物理学の基本を学ぶ科目であり、理系のすべての学生にとって必要な基礎的知識なので、1回生にクラス指定されています。
- ◇ 「初修物理学 A、B」は、高校で物理を選択しなかった学生を対象としたもので、履修は本学入学試験で物理を選択しなかった学生に制限されていることに注意して下さい。
- ◇ 第2段階の科目は第1段階の科目を履修した上で次のステップで学ぶ、1・2回生を対象としたいわば統論的な科目です。
- ◇ 第3段階は第1および第2段階の科目を履修した上で学ぶ2回生用の科目です。分野ごとの階層性・順次性を示すと以下ようになります。

分 野	第1段階	第2段階	第3段階
力 学	物理学基礎論 A	力学統論	解析力学
電 磁 気	物理学基礎論 B	電磁気学統論	
熱・統計力学		熱力学	統計物理学
振動・波動		振動・波動論	
現代物理学			量子物理学
実 験	物理学実験		現代物理学実験

▶ 「文系向け」

文系向けとしては、予想を出し合って実験で結果を確かめていく「みんなの物理Ⅰ・Ⅱ」があります。

みんなの物理Ⅰ	みんなの物理Ⅱ
---------	---------

※ 注意

これら以外にも、物理学関係の全学共通科目(理系向けあるいは全学向け)が提供されています。それらについては、KULASISでそれぞれの授業内容を参照して下さい。

(4) 化学

全学共通科目として提供されている化学系科目の構成について示します。

① 理系向け

主に1回生を対象とした大学化学の初修者向けの講義・実験科目として、

- ・基礎物理化学要論
- ・基礎物理化学（熱力学）、基礎物理化学（量子論）
- ・基礎有機化学Ⅰ、基礎有機化学Ⅱ
- ・基礎化学実験

が開講されています。

物理化学は、物理学の理論と方法を基礎にして物質の構造・性質・反応を研究する学問です。物理化学の中で熱力学、量子論をそれぞれ主な内容として深く詳しく学ぶ科目が基礎物理化学（熱力学）、基礎物理化学（量子論）です。基礎物理化学要論は、熱力学と量子論の両方についてそれらの要点を半年間で学べるようになっています。基礎有機化学Ⅰ・基礎有機化学Ⅱは、これらを学ぶことによって有機化合物の化学の基礎知識を修得するものです。また、講義で学修した理論や反応を、実際の実験によって確認することができるよう基礎物理化学・基礎有機化学の双方に関連する実験科目として基礎化学実験を開講しています。これらの科目を学ぶことによって、大学化学の基礎を修得します。

なお、これらの科目のうち、どれを履修するかは学部・学科によって適切な科目がクラス指定あるいは推奨されています。「Ⅴ. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.180～)を参考にしてください。

<注意>

以下の場合には全て科目名変更をした同一科目の扱いとなっているため、修得年度、修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として数えられません。

- 薬学物理化学（熱力学）修得後の、基礎物理化学（熱力学）
- 基礎物理化学（熱力学）または薬学物理化学（熱力学）修得後の、基礎物理化学要論
- 基礎物理化学（量子論）修得後の、基礎物理化学要論
- 基礎物理化学要論修得後の、基礎物理化学（熱力学）または基礎物理化学（量子論）
- 基礎有機化学A修得後の、基礎有機化学Ⅰ
- 基礎有機化学B修得後の、基礎有機化学Ⅱ

※ 基礎物理化学A・基礎物理化学Bと基礎物理化学（熱力学）・基礎物理化学（量子論）の同一科目関係については、KULASISにて案内しますので、必ず確認してください。

上記の科目に加えて、主として1・2回生向けに、化学のフロンティアⅠ・Ⅱが開講されています。

さらに詳しく化学の各領域を学ぶための発展科目として、次のものが提供されています。

<主として1・2回生向け>

生命の有機化学、理論化学入門Ⅰ・Ⅱ、有機化学演習A・B

<主として2回生向け>

無機化学入門A・B、探究型化学課題演習Ⅲー有機化合物の化学ー

② 文系向け

主に文系学部の1回生を対象とした科目として、次のものがあります。

化学概論Ⅰ・Ⅱ、文系向の基礎化学Ⅰ・Ⅱ、自然と環境の化学、生活と環境の化学

③ 英語による講義・実験科目

英語による講義・実験科目として、E2科目が開講されています。「Ⅲ. 全学共通科目授業科目」の「2. 全学共通科目一覧」(p.107～)に日本語科目との対応が示されています。学部により、日本語科目と対応するE2科目を履修した場合の単位の取り扱いが指定されていますので、各学部の履修要覧等を確認してください。

(5) 生物学

生物学の内容は非常に多岐に亘ります。そして近年の生物学の展開は他の分野にも及び、その境界は不明瞭になりました。京都大学では多くの部局が生物を対象とした研究・教育に取り組んでおり、多数の教員がすぐれた研究成果を得ています。学部から独立した附置研究所まで含めると相当な数になるでしょう。実は生物とは何か？という問いに答えるのは容易ではありません。全学共通科目では、多数の生物学・生命科学関係科目を開講することによって、皆さんの学習意欲を活性化するようにしています。また、これと同時に授業を以下のように体系化して、履修をしやすくしています。

この項では、全学共通科目全体の中から生物学・生命科学関係科目を抽出し、その内容に応じて、「総論」と「各論」の分類、さらにその下位分類を説明します。

「総論」とは、基礎レベルの生物学を学習する授業と実習です。多くの履修者が履修の機会を得られるように、同じ科目名で授業・実習が複数開講されます。生物学を必要とする学部に進学したものの、高等学校で生物学を履修しなかった人には、とくに勧めます。異なる曜日と時間帯に、同じ内容の授業や実習を複数開講しているので、各自の時間割の都合に合わせて履修できるはずです。

「各論」は、植物学や動物学の自然史や各生物の生態、分子生物学や脳神経科学のような特定の分野の基礎から最先端領域までを学習する授業です。こちらの授業でも、高等学校における生物学の履修経験は必ずしも必要としません。文系の学部にも所属する学生が履修しやすい科目も設定されています。

「総論」と「各論」の分類については本冊子の「Ⅱ. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)に記載の分野の見出しに掲載していますので参考にしてください。

本項が皆さんの科目選択の一助となり、より良い学習が行えることを望みます。

「総論」

① 生物学の基礎（講義）

文字通り、生物学の基礎を学ぶ講義科目です。「生物・生命科学入門」という科目名で、前期に5コースを開講します。高校での生物の履修は必要ありませんが、単なる高校の補習ではなく、グローバルな視点を取り入れた大学らしい学習内容ですので、基礎から生物学を学びたい方には、まずこの科目の履修を勧めます。

② 個体・集団レベルの生物学（講義）

地球には1千万種とも推定される生物がいます。さまざまな生物の特徴や生存戦略、進化様式などを、主に個体・集団レベルで学ぶ講義科目です。「個体と集団の基礎生物学」という科目名で、後期に5コースを開講します。

③ 分子・細胞レベルの生物学（講義）

ヒトを含む動物、植物、細菌、古細菌、ウイルスなど、さまざまな生物が生存する仕組みを、細胞、分子、遺伝子レベルで学ぶ講義科目です。「細胞と分子の基礎生物学」という科目名で、前期に1コース、後期に5コースを開講します。

④ 最先端の生物学（講義）

総論の授業では、広く認められて教科書に記載されている内容を学習することが中心になりますが、「生物学のフロンティア」はその真逆の、今まさに取り組まれている生物学分野を紹介する授業です。生物学研究で世界をリードする京都大学の教員が、自ら切り開いた生物学をそれぞれ授業します。

⑤ 生物学実習（実習）

生物学の勉強を座学で終えることは望ましくありません。授業で知り得た内容を实地観察や実験を通して自分の眼で観て、手を動かしてデータをとり、深く考えることが大切です。吉田山、鴨川、宝ヶ池公園、北山といった自然に恵まれた地域に近い京都大学は、生物学実習には理想的な環境にあります。以下の生物学実習は内容によって3つのカテゴリーに分類されます。

生物学実習Ⅰ：生物学全体を俯瞰するために、細胞と分子、動物や植物・菌類の個体や集団を扱った実習です。いわゆるマイクロ系とマクロ系の両方を学習する実習です。前期に4コース、後期に2コースを開講します。

生物学実習Ⅱ：動物や植物・菌類の個体や集団だけを扱う自然史の実習です。前期に1コース、後期に1コースを開講します。

生物学実習Ⅲ：細胞や分子レベルでの実習を行います。前期に1コース、後期に1コースを開講します。

この他にも、夏期や冬期に集中して行う実習が複数ありますが、演習の要素も付加してILASセミナーにしています。

「各論」

① 自然史学関連（講義）

野生生物の多様性や環境との関わり、進化などについて学習します。生態学、植物学、動物学ごとに授業が編成されており、「動物自然史Ⅱ」、「植物自然史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の科目が開講されます。また、これらと同じ趣旨の授業として、「自然人類学Ⅰ・Ⅱ」、「霊長類学入門Ⅰ・Ⅱ」、「行動生態学入門」、「藻類学概論」、「野生動物学入門」、「博物誌学」、「「生命の進化」概論」などの科目が開講されます。基本的にⅠとⅢは前期に開講し、Ⅱは後期に開講しますが、授業担当教員の都合により変更があります。シラバスで確認して下さい。

② 分子生物学関連（講義）

生物学を細胞、分子、原子レベルで解明する学問領域を学習する授業です。科学的解明が近年もっとも進んだ分野です。「生物物理学入門」、「生化学入門」、「遺伝学概論」、「分子遺伝学」、「先端生命科学を支える技術Ⅰ・Ⅱ」などの科目を前後期に開講します。

③ 脳神経科学関連（講義）

記憶、学習、情報伝達などに深く関わる、脳と神経の構造と作用メカニズムについて学ぶ講義科目です。「神経科学の基礎」、「神経生理学の基礎—生体情報論—」などの科目を開講します。脳と神経機能がどのように作動し、維持されているか、その仕組みについて学びます。

④ 他分野に越境する生物学（講義）

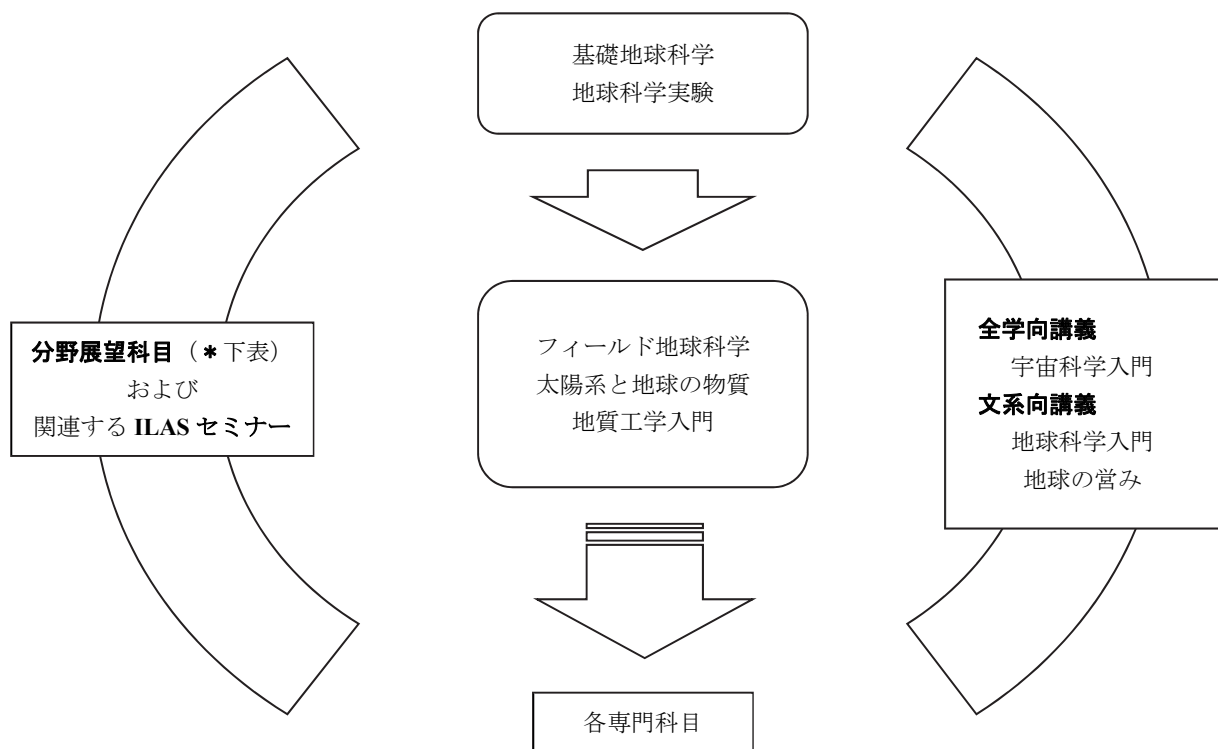
生物学の境界を越えて展開する学問分野を学びます。「化学と生物の分子集合学」、「生命と情報」などの科目を開講します。

この他にも以上の範疇に当てはまらない授業科目や数多くの英語講義が用意されています。ネイティブスピーカーによる英語講義である E2 科目は、30 科目以上を提供します。シラバスをよく読んで、皆さんの学習デザインに役立てて下さい。

(6) 地球科学

地球科学（惑星科学も含む）は非常に幅広い対象を扱う分野です。その学習には、ただ一つのルートがあるわけではありません。異なる学問を背景にした者が、それぞれの強みを活かして研究を推進する、そういう分野だからです。地球科学を学習し、その知識を実社会で応用する、あるいは地球科学の専門に進むためには、地球科学が対象とする範囲の全体像を見ておく必要があります。

そこで、地球科学の広い範囲を概観し、その基礎的な知識と手法を学ぶための講義、実験として「基礎地球科学」、「地球科学実験」があり、各専門科目につながる橋渡しとして「フィールド地球科学」、「太陽系と地球の物質」、「地質工学入門」が用意されています。また、惑星としての地球を俯瞰する目的で、宇宙科学のトピックスを専門家が講述する「宇宙科学入門」も並行して開講されています。ただし、これらの講義でも地球惑星科学関係のすべての分野を網羅することは困難なので、学内の関連部局（理学研究科、工学研究科、人間・環境学研究科、エネルギー科学研究科、防災研究所、生存圏研究所等）の教員による各専門分野を展望する講義・セミナーが、自然科学科目群だけに留まらず、統合科学科目群や少人数教育科目群（ILASセミナー）にも多数開講されています。また、E科目としての英語講義も用意されています。各自の興味に応じて、これらの講義を選択してください。また、地球惑星科学はそれだけで閉じた学問分野ではありませんので、数学、物理、化学、生物などの基本的知識も必要になることが多くあります。地球科学だけでなく、これらの他分野の講義も積極的に履修することを薦めます。



* 分野展望科目

自然科学科目群： 地球の物理 地球の誕生と進化 水と緑と土の科学 天体観測実習 など

統合科学科目群： 統合科学：自然災害の科学 環境学 生存圏の科学概論 など

(7) 図学

■図学とは

図学 (Descriptive Geometry, 図法幾何学) は、3次元と2次元との間の図形の変換理論です。わかりやすくいえば、3次元の立体を2次元の平面情報に変換する、また反対に、2次元の平面情報をもとに3次元の立体を構成するための理論です。

構造物、機械類、地図、その他をつくるにあたっての技術として、あるいは美術の世界における表現としてなど、図学はさまざまな領域における基礎的理論となっています。たとえば、平面図や立面図、断面図から建築物を建てる、航空写真から地図を作製する、目に見える通りに絵を描くといったことは、すべて図学の範疇です。

コンピュータが発達した現在においても、図学が空間把握・立体表現の基礎理論・技術であることに変わりありません。また、諸領域への広がり考えた時、図学の知識は、技術や美術における実践のみならず、文化・文明の理解へとつながっていると言えるでしょう。

■図学の目的

3次元の立体図形を2次元の平面図形に変換する理論と技術の習得と、2次元の平面図形において3次元の立体図形を操作する理論と技術の理解が、図学の大きな目的です。3D→2Dを行き来しながら、立体を把握・表現するリテラシーの獲得を目指します。

また、図学は、ルネサンス期に透視図法が探求されたことを端緒として、その後、研究が進展しますが、それは芸術や軍事、数学といった諸領域と結びついたものでした。こうした文化史的、社会的、科学的展開を理解することも図学の目的に含まれます。

■履修にあつての基礎知識／理系と文系の違い

中学卒業程度の幾何学の知識があれば、履修に支障はありません。そのため理系、文系を問わず履修可能です。

■図学科目の構成

図学 A と図学 B の2科目から構成されます。図学 A (基礎) →図学 B (展開) の順で履修してください。図学 A のみでも基礎的作図法は学べますが、図学の楽しさを知るには、図学 B まで履修することを推奨します。

図学 A 基本的作図法の修得

3次元を2次元で表現する方法 (投象) のうち、軸測投象、正投象を扱います。



図学 B 立体の諸状態についての作図

立体の諸様態 (切断・陰影・相貫) および、透視図法の作図を行います。

③外国語科目群

(1) 英語

◆平成 28 年度以降学部入学者対象

科目名	符 号	開講期	単位	対象回生	定員	備 考
英語リーディング	ER	前期	2	1 のみ	約 40	1 回生専用クラス・アカデミックリーディング
		後期	2	1 のみ	約 40	
	ESR	前期	2	2 以上	約 60	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 60	
英語ライティングーリスニング A	EWLA	前期	2	1 のみ	約 20	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		後期	2	1 のみ	約 25	1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLA	前期	2	2 以上	約 50	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 50	
英語ライティングーリスニング B	EWLB	後期	2	1 のみ	約 20	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		前期	2	1 のみ	約 25	1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLB	前期	2	2 以上	約 50	単位未修得者クラス
		後期	2	2 以上	約 50	

1 回生対象の英語科目は平成 28 年度に改編されました。英語科目には大別して、リーディングクラスとライティングーリスニングクラスの二つがあり、それぞれを履修しなければなりません。

リーディングクラスは、学部の履修方針に応じた洋書や、まとまった長さのある学術的な文献などを対象としたアカデミックリーディングを通して、英語による学術的教養の涵養を目指しています。アカデミックリーディングは、英文の意味を捉える読解力の強化を目指すとともに、その文章が書かれた文化的、社会的背景や思想などにまで踏み込むものです。教員からの一方的な教授ではなく、対話による能動的な学習を行うことで、英米のみならず、様々な国の文化や社会、思想の理解を通じて、真に国際人として通用する教養と知識の涵養に努めます。

ライティングーリスニングクラスは、1 クラスあたり約 20 名の少人数クラスによる、きめ細かな指導の下、英語技能の習得に努めます。ライティングに関しては、学術的な文章の作成に必須となる論理的な英文の基本構造を学び、エッセイライティングやレポート作成などのアカデミックライティングを通して、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、リスニングに関しては、オンライン課題に取り組むことで、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力を育成します。

◆工学部地球工学科国際コース・Kyoto iUP 生対象

Scientific English I A (Reading and Writing)

Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)

(2) 初修外国語

卒業に必要な初修外国語の単位規定や予備登録規定などについては、「全学共通科目履修の手引き」(本冊子)を参照して下さい。また成績評価の詳しい基準は各科目ごとに授業中に指示します。

ドイツ語 - German -

ドイツ語は、ドイツはもちろん、オーストリアやスイスをはじめとした 6 カ国以上で公用語とされている、ヨーロッパを代表する言語の一つです。広い地域で母語として話される生きた言語であると同時に、多くの非母語話者によって習得が目指される主要な言語でもあります。学問をするためにも必須の言語で、哲学をはじめとした人文学や、社会科学分野には多くのドイツ語古典がある他、現在でも重要な研究文献がしばしばドイツ語で書かれています。このように、ドイツ語で書かれた文献を読むことができれば、研究に多いに活用できるのはもちろん、さらにはドイツ語圏の歴史や文化、思考法を深く理解することもできます(そしてドイツ語圏の文化は、いわゆるドイツ人だけでなく、例えばユダヤ系のルー

ツを持つ人々によって紡がれてきたものであります)。

とはいえ、ドイツ語は大部分の学生にとって、初めて学ぶ外国語であろうと思います。そのため初級ドイツ語の授業は、ドイツ語の文字を正しく発音することに始まります。1 回生向けの初級ドイツ語は「文法」と「演習」からなり、それぞれが相互に補いながら、内容的にも構文的にもあまり複雑でない文章を読み書きする能力、またドイツ語を用いて簡単な会話ができる程度の力を養います。2 回生以上向けの「中級ドイツ語」では、初級ドイツ語の知識を前提に、内容的にも幾分深みのあるドイツ語文を読み書きし、多少複雑な構文を正確に理解する能力を身につけることを目標にしています。中級のテキストは文学作品や哲学・思想的著作をはじめ、時事問題に関する評論など、できるだけ多様なものを提供し、学生の関心に応えられるようにしています。

また、ドイツ語の会話力をさらに高め、種々のテーマに関してドイツ語で専門的な発表が行えるように、会話・ライティングおよび CALL 授業も開講されています。さらに、もっと集中的にドイツ語を学びたい人のために「6H コース」(週 3 回の授業)や、高度なドイツ語能力を身につけたい人たちのために「上級ドイツ語」も設けられています。詳しくはシラバスの説明を読んで選んでください。

◆全回生対象(初級) ※再履修者クラスを含みます

ドイツ語 I A・B (文法)
ドイツ語 I A・B (演習)
ドイツ語 I (6H コース)

◆学部2回生以上対象(中・上級)

ドイツ語 II A・B
ドイツ語 II A・B (会話)
ドイツ語 II A・B (CALL)
ドイツ語 II A・B (ライティング)
ドイツ語 II (6H コース)
ドイツ語 III A・B

フランス語 – French –

フランス語は、西欧の知的世界の共通語として用いられてきた輝かしい文化的伝統を持ち、現在も英語に次ぐ国際語です。また学問・教養のための外国語としては世界各国で最も広く学ばれていて、ヨーロッパでは知識人でフランス語のできない人はほとんどいません。したがって、国連やユネスコなどの国際機関・国際会議で常に公用語の一つになっています。また、フランス語は、スイス・ベルギー・カナダのほか、アフリカ諸国のほぼ半数、中近東・東南アジアなどの多くの国々でも、公用語あるいは最もよく通じる外国語です。

このように国際舞台で重要なフランス語ですが、その学習のために、学生の皆さんのニーズの多様化に応える、さまざまなコースが用意されています。1 回生向けでは標準コースの①「クラス別コース」とインテンシブ・コースの②「8H コース」、2 回生向けでは、標準コースの③「中級」とインテンシブ・コースの④「6H コース」があります。さらに、中級まで終えた人のために、より高度な⑤「上級」も用意されています。すべてのコースで、「読む」「書く」「話す」「聞く」の4つの能力を総合的に開発するように配慮され、インテンシブ・コース②④はもとより、標準コース①においても、すべてのクラスにネイティブ・スピーカーの授業が設けられています。

それぞれの到達目標は、以下のとおりです。

◎標準コース①と③の組み合わせでは、週 2 回の授業を 2 年間で、

「読む」能力：辞書を引きながらフランス語の文章をある程度のスピードで読むことができます。

「書く」能力：簡単なフランス語の手紙文程度の文章を書くことができます。

「話す」と「聞く」能力：日常会話の受け答えがある程度できます。

◎インテンシブ・コースの②と④の組み合わせでは、1 回生週 4 回、2 回生週 3 回の授業で、

「読む」能力：辞書を引きながらフランス語の文章をかなりのスピードで読むことができます。

「書く」能力：フランス語の手紙文程度の文章をかなり書くことができます。

「話す」と「聞く」能力：日常会話の受け答えが非常にスムーズにできます。

◎⑤「上級」では、上記を超えるフランス語運用能力が獲得でき、フランス文化全般についての理解もある程度深まります。

以上のようなフランス語運用能力の養成は、学問の場にいる者にふさわしい学術的言語技能の涵養に資することを最終目標として行われます。

◆全回生対象（初級） ※再履修者クラスを含みます

フランス語ⅠA・B（文法）
フランス語ⅠA・B（演習）
フランス語Ⅰ（8Hコース）

◆学部2回生以上対象（中・上級）

フランス語ⅡA・B
フランス語ⅡA・B（演習）
フランス語Ⅱ（6Hコース）
フランス語ⅢA・B

中国語 — Chinese —

我々が学ぶ「中国語」は、多民族国家である中国において圧倒的多数を占める漢民族の言語、すなわち「漢語」をさします。漢語は、文字記録によって確認されるだけでも三千三百年もの歴史を持ち、現在は十億人以上の人々に使用されている大言語です。漢語には多様で豊富な方言が存在するのですが、我々が大学で学ぶ「中国語」は、特定の地域の漢語方言ではなく、「普通話」と呼ばれる、北京方言を基礎として規範化された共通語です。これは、近代以降に、方言差異に起因する教育の困難さを克服することを目的の一つとして制定されたものであり、現在では多くの中国人が、自身の方言あるいは民族語と、「普通話」とを併用しています。皆さんが、大学で「普通話」を習得すれば、何億もの人々と直接的にコミュニケーションし得る道具を手に入れることになるのです。

漢字を使い、多くの「音読み」の漢字語を持つ日本人にとって、中国語は入門しやすい外国語の一つです。これは奈良時代以前から、日本人が漢籍を通じて中国語を受容し、日本語の中に「音読み」という中国語からの借用語を不断に取り入れてきた結果に他なりません。その一方、「政府」「経済」「革命」「文化」「理論」「分析」といった現代日本語で近代的概念を表す「音読み」の漢字語は、その少なからぬものが、明治維新期前後の日本において、伝統的な「音読み」の漢字語に近代的な意味が付与されて創られたものであり、上述の単語のようにしばしば現代中国語に「逆輸入」されています。大学で「中国語」を学ぶことは、以上のような複雑で重層的な日本語と中国語との歴史的な関係を窺い知ることにも繋がるのです。

本学においては、発音と基本的表現の習得を目的とする初級として、「中国語ⅠA・B（文法）、ⅠA・B（演習）」が、また読解力、表現力などさまざまな面からのより進んだ学習を目的とする中級として、「中国語ⅡA・B」が開講されています。

◆全回生対象（初級） ※再履修者クラスを含みます

中国語ⅠA・B（文法）
中国語ⅠA・B（演習）

◆学部2回生以上対象（中級）

中国語ⅡA・B

ロシア語 — Russian —

Здравствуйте! Давайте изучать русский язык вместе в Киотском университете! 「こんにちは！京都大学で一緒にロシア語を勉強しましょう！」。ロシア語はキリル文字を用います。この文字が読めるようになったら、書けるようになったらカッコよくないですか？ロシア語の文法規則は複雑ですが、その分新鮮な気持ちで学べるはずですよ。

日本の隣国であるロシアは単に面積が大きいただけではありません。文学、音楽、宇宙開発、天然資源、演劇、バレエ、スポーツ…ロシアは「〇〇大国」とよく呼ばれるにふさわしく、世界に誇る分野を数多く持っています。また、国際社会でも常に独特の存在感を放っています。ロシア語はヨーロッパからアジアにまたがる広大な地域を中心に、5億人に達する人々によって話されています。ロシア語を勉強することは、ロシアの文化や社会を知るだけでなく、多様な旧ソ連の国々やロシア国内の諸民族の言語や文化、ウクライナやブルガリアなど、ロシア語と同じスラヴ系の東欧諸国の言語や文化を知る足がかりにもなります。

このロシア語を初めて学ぶ学生の皆さんに最適なコースとして、ロシア語Ⅰ（文法）およびロシア語Ⅰ（演習）のセット授業が用意されています。一週間に文法と演習を各1コマずつ、合計2コマを履修します。初級履修者にとって必要にして十分なロシア語の力が、無理なく着実に養えるコースです。ロシア語初級の授業は回生・学部・クラスに関係なく、誰でも受講できます。辞書を引きながら新聞や雑誌の簡単な記事を読めることが、初級の到達目標です。中級では、知的鍛錬・教養の向上を念頭に置きつつ、読解力を高め、専門領域での最低限の情報収集能力を身につけさせることが目標で

す。同時に、「読む・書く・聴く・話す」のバランスのとれたロシア語の力を目指して行きます。さらに、上級では、初級と中級で学んだ文法事項をさらに強化し、様々なジャンルのロシア語のテキストの読解力を高めることを目標とします。

◆全回生対象（初級）

- ロシア語ⅠA・B（文法）
- ロシア語ⅠA・B（演習）

◆学部2回生以上対象（中・上級）

- ロシア語ⅡA・B
- ロシア語ⅢA・B

イタリア語 — Italian —

「すべての道はローマに通ず」（*Tutte le strade conducono a Roma*）と、かつて言われましたが、永遠の都ローマをはじめ、ファッションで世界をリードするミラノや、ルネサンスの花の都フィレンツェ、マルコ・ポーロを生んだ水の都ヴェネツィアなど、輝かしい都市文化の伝統をもつイタリアは、今日もなお全世界の人々を魅了してやまない国のひとつです。

そのような古代ローマ以来の長い文化的背景を有するイタリア語は、ラテン語を母胎とするロマンス諸語のひとつであり、地中海沿岸地域やラテン・アメリカ諸国で使用されているポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、ルーマニア語などとは姉妹言語に当たります。またイタリア語の大きな特徴として、13世紀以来ほとんどその姿を変えていないことが挙げられます。つまり現代語を学べば、いまのイタリアの人々と会話ができるようになるだけでなく、かなり古い文献（例えばダンテの『神曲』、ルネサンスの知識人・芸術家の残した文章、ガリレオ・ガリレイの対話篇など）にも直接アクセスできるようになるということです。

イタリア語Ⅰは、発音から始まり、イタリア語の基本知識の習得を旨とする入門コースです。文法を集中的に学習するクラス（4Hコース）と、最初から簡単な会話を並行して学ぶクラス（文法と演習のセット）の2種がありますが、ある程度本腰を入れてイタリア語をやってみようという人には、時間割の許す限り前者のクラスをお奨めします。日本語話者にとって発音が比較的容易なイタリア語の場合、オーソドックスな文法の知識が、文章の読解力はもちろん、会話力を高めるうえでも重要となるからです。

また、後者のクラスを選んだ場合には、2回生以上を対象としたイタリア語Ⅱの履修に制限が生じますので、全学共通科目履修の手引きの「外国語の履修について」の該当頁をよく読んでください。

◆全回生対象（初級）

- イタリア語ⅠA・B（文法）
- イタリア語ⅠA・B（演習）
- イタリア語ⅠA・B（4Hコース）

◆学部2回生以上対象（中級）

- イタリア語ⅡA・B
- イタリア語ⅡA・B（演習）

スペイン語 — Spanish —

みなさんの多くは、大学ではじめて母語と異なる言語、つまり「異言語」とまともに向き合うことになると思います。大学より前の教育課程では英語のみを学んできた人が大部分だと思いますが、多くの場合、その学習は受験という目的に向かって突き進む、単線的なものであったはずですが、言語学習一般から見ると、その学習経験は、非常に特異で限定されたものです。これからは、その経験にとらわれることなく、さまざまな試行錯誤を繰り返すことを厭わずに学習をすすめるという態度が不可欠になります。なぜなら、大学での言語の授業とは一里塚のようなものであり、一里塚をたどっていけば一定の目標が達成されるように配慮されていますが、一里塚と一里塚の間は自分の足で歩くことを求められるからです。一里塚と一里塚の間に道は無数にあり、正しい道が決まっているわけではありません。一里塚と一里塚の間で迷ったり、どんどん先の一里塚を提示されて、ついていくことを断念してしまう人もいます。迷ったり遅れたりした時に、一緒に歩いている仲間にあざねたり、地図とコンパスを見て確認したり、教員に助力を仰ぐという行動をとることができる必要があります。だまっけても誰も手を引いてはくれません。主体的に道を探し、それを自らの足で歩いてみるのが要求されます。

受験英語の学習と大学での言語学習との根本的な違いは、その目的設定にあります。受験のための英語学習は合格のた

めという目的が明確であり、そのため重要なポイントも所与のもので（試験にでるところが重要）。ところが、大学での言語学習は、あらかじめ与えられた目的があるわけではなく、目的の設定から学習者が行わなければなりません。そのため、重要なポイントも決まっています。なにが重要かということは、目的によって変化するからです。とりわけ言語のような、あらゆる局面で用いることができる一種の万能道具という側面を持つものであれば、なおさらです。もちろん、スペイン語習得一般において重要な点はほぼ決まっており、学習開始当初はみなさんにとってもそれが重要となります。しかし、学習が進むにつれて、一般的に重要なポイントと「あなた」にとって重要なポイントの間にズレが生じることは十分にあり得ることです。

ちなみに、大学での1単位というのは、45時間の学修によって構成される内容と定められています。授業だけでは想定されている学修時間には足りず、不足分は授業外で行う必要があるということです。もちろんこれは標準的かつ最低限の想定であり、学習者個人が自らの状況を判断して学修時間を増減させることが必要です。

あたらしい言語を学び、それを通じて得られる新しい経験は、非常に魅力的なものです。上に述べたことは、スペイン語独特の魅力をよりよく味わうために必要なことなのです。厳しく響くかもしれませんが、それだけの見返りはあると思います。

なお、平成28年度より、中級履修のための条件が「スペイン語ⅠB（文法）の単位を修得していること」と変更になりました。全学共通科目履修の手引きの「外国語の履修について」の該当頁をよく読んでください。また、会話コースは特殊な形態ですので、欠席の扱いが他コースとは異なります。シラバスを熟読してください。

◆全回生対象（初級） ※再履修者クラスを含みます

- スペイン語ⅠA・B（文法）
- スペイン語ⅠA・B（演習）
- スペイン語ⅠA・B（会話）

◆学部2回生以上対象（中級）

- スペイン語ⅡA・B
- スペイン語ⅡA・B（演習）

朝鮮語 — Korean —

「はじめて話すのに、なつかしい」

日本語を母語とする人にとって、朝鮮語との出会いは、こんな感じではないか、と思います。今まで全く縁遠い言葉だったのに、はじめてこの言葉に接した途端、なぜか昔から知っていた音のようになつかしく、私たちの心の中で響くのです。

朝鮮語は、主に朝鮮半島に住む人びとによって使われている言葉です。日本でこの言語を呼ぶ名称は一定しておらず、韓国語といたりコリア語といたりもします。本学では朝鮮語と呼んでいますが、韓国語やコリア語といっても内容は全く同じものです。そのほか「ハングル」という名称もありますが、この「ハングル」というのは朝鮮語を表記する「文字」の名前ですので、本来は言語の名称として「ハングル」という言葉を使うのは間違いです。

朝鮮半島には現在、「大韓民国（韓国）」と「朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）」という二つの国がありますが、この二国はもともと同じ民族の一つの国でしたので、そこで使われている言葉も同じものです。ただ、分断されてすでに70年近くの年月が経っていますので、若干の違いが生じていますが、それでも韓国の人と北朝鮮の人が出会ってもほとんどの言葉は通じます。

朝鮮半島に住む8千万人近くの人びとがこの言語を使用しています（そのほか海外に暮らすコリアンも数百万の単位で存在します）。数としてはほかの初修外国語より少ないといえますが、何といても日本語を母語とする者にとっては、特別に親密な関係にある言語ということが出来ます。単に日本のお隣の国の言葉だ、というだけでなく、日本語ときわめてよく似た言語である、というのが朝鮮語の最大の特徴といえるでしょう。

まず驚くことは、文のしくみがそっくりなのです。「私は今日バツハを聴きたいです」という日本語を朝鮮語にするには、「私」「は」「今日」「バツハ」「を」「聴き」「たい」「です」という文の要素をひとつひとつ朝鮮語にして、日本語と全く同じ順番でそのまま並べればよいだけなのです。むずかしい文法用語を知らなくても、あっという間に立派な朝鮮語をつくる事が出来ます。

そのほか、漢字語を多用し、その熟語が日本語と同じものが非常に多いのも、日本語母語話者にとって非常に学習しやすいポイントです。ハングルという幾何学模様のような文字で表記されていますので、最初はとっつきにくいのですが、実はもともとは漢字からできている語彙が、朝鮮語にはきわめて多いのです。

近年、ようやく隣国の言葉や文化を学習する日本人が増えてきました。歴史的に日本と最も近く、密接な関係にあった朝鮮半島の言葉や文化を知ることは、日本の言葉や文化をより深く知ることに通じるでしょう。そして21世紀の複雑

化する世界情勢理解への足がかりを、隣国を知ることから始めるのも意義あることです。

まず初修者は、「ハングル」という文字を読めるようになる必要があります。ハングルは15世紀に人工的につくられた新しい文字で、そのため非常に合理的なしくみでできています。10の母音字母と14の子音字母を基本として、これを組み合わせて一音節を一文字で表記します。数週間でこの文字に慣れた後の文法の学習は、日本語母語話者には非常に理解しやすいと思います。1年間の学習で、新聞・雑誌などの記事を辞書を引ながら読むことができるレベルに到達することが目標です。その後はより高度な文法を身につけ、読解力を高めてゆきます。朝鮮半島と日本の関係、世界の中で朝鮮半島の位置づけなどの点に留意しながら、多様な文献を読み、朝鮮半島の人びととコミュニケーションする能力を養います。

◆全回生対象（初級）

朝鮮語ⅠA・B（文法）

朝鮮語ⅠA・B（演習）

◆学部2回生以上対象（中級）

朝鮮語ⅡA・B

朝鮮語ⅡA・B（演習）

アラビア語 — Arabic —

アラビア語は、広くアラブ諸国で国語として使用されているのと同時に、国連の公用語の一つでもあります。アラビア語が話されている地域は広く、東はインド洋に面したアラビア半島のオマーンから西は大西洋に臨むモーリタニアまで、国の数は20以上に及びます。気候風土も、政治・経済状況も、歴史、文化も実にさまざまであり、宗教的にもイスラームのみならずキリスト教、ユダヤ教をはじめ多様な宗教が信仰されています。さらに、アラビア語圏にはアラビア語以外の言語を話す人々も暮らしており、同地域はアラビア語とイスラームを文化的な核としつつも、その中に豊かな多様性を持つ地域と言えるでしょう。

言語学的にはアフロ・アジア語族に属するアラビア語では、3つの子音の組み合わせからなる語根という概念が重要で、1つの語根から名詞、形容詞、動詞など様々な語彙が作られます。動詞に関しては、基本形（第1形）と、第2形から第10形までの派生形が存在し、それぞれの形に大まかな意味傾向があるので、語根の意味と派生形の意味を知っていれば、初めて見た動詞でもある程度は意味を推測することができます。このように、語根が重要な鍵となる点が、同じアフロ・アジア語族に属するヘブライ語とも共通するアラビア語の最大の特徴です。

また、アラビア語の社会言語学的な特徴として、ダイグロシヤが挙げられます。ダイグロシヤとは、2つの言語あるいは言語変種が互いに異なる機能を持って使い分けられている状態を指し、アラビア語圏では、共通語であり読み書きの言葉である正則アラビア語（フスハー）と、それぞれの地域において話されている方言（アーンミーヤ）が併用されています。正則アラビア語の方が共通語であり汎用性が高いため、授業では正則アラビア語を学びます。

なお、アラビア文字は右から左に書くので馴染みがなく、難しそうに見えるかもしれませんが、実はアルファベットで28文字しかありませんので、すぐに読めるようになります。

初級では、前期・後期を通してフスハーの基礎文法を体系的に学習します。中級では、簡単な読み物や新聞記事の講読を通して、初級で習得した文法事項を確認し、語彙やイディオムを増やし、さらにリスニングやディクテーションの練習を行い、アラビア語の総合的な運用能力を高めます。

◆全回生対象（初級）

アラビア語ⅠA・B（文法）

正則アラビア語の基礎文法の習得（前期）（後期）

アラビア語ⅠA・B（演習）

文法の復習、練習問題、語彙の習得（前期）（後期）

◆学部2回生以上対象（中級）

アラビア語ⅡA・B

簡単な文章の講読、文法の復習、語彙・イディオムの習得

アラビア語ⅡA・B（演習）

短いニュースの講読、リスニング、ディクテーション

* 前期は母音記号あり、後期は母音記号なしの文章を読みます。

日本語 — Japanese —

全学共通科目・日本語科目は、留学生のみなさんに大学での学習活動を円滑に行うために必要な日本語能力を習得する機会提供を目的として開講しています。日本語科目は初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級Ⅰ、中級Ⅱ、上級の5レベルから構成されており、履修レベルは学期開始前に実施するプレースメントテストにより決定されます。

日本語科目は二タイプからできています。一つ目は4技能を総合的に学ぶ総合学習タイプで、もう一つは特定技能強化タイプです。

前者は、短期間で集中的に日本語を学びたい学生向けで、週2コマ構成の4Hコース及び週4コマ構成の8Hコースの二種を開講しています。いずれも初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級Ⅰ、中級Ⅱの4レベルで開講しています。8Hコースは1学期間で日本語能力試験（JLPT）の1レベルの習得を目指す学生向けのコースです。一方、4Hコースは2学期かけて日本語能力試験の1レベルの習得を目指す学生向けの通年型コースです（各レベルの後期開講の4HコースBでは、教科書の後半のみ扱います）。なお、これらのコースの部分履修は認められていませんので、全クラスに出席することが求められます。

2タイプ目の特定技能強化科目は、会話、聴解、読解、作文、漢字といった特定の技能の上達を目指すもの及び学術的な目的達成のためのアカデミック・スキル習得を目指すものからできています。これらは、専門の学習・研究活動を行いながら、その遂行に必要な日本語力を習得したい学生向けです。とりわけ上級レベルでは大学での学習活動、研究活動に必要な高度なアカデミック・ジャパニーズスキルの習得を目指します。

全学共通科目・日本語科目の単位が卒業単位として認定されるかどうかは身分や在籍部局、専攻によって異なります。履修制限のある科目もあります。

また、適正クラスサイズの確保のために人数制限を設けていますので、履修登録スケジュールを事前に確認し、それに沿って登録を行ってください。初期登録はKULASISとは異なるウェブシステムで行っています。登録方法については国際高等教育院のホームページ（<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/zenkyo-japanese/for-seikikatei>）や所属部局からの案内等で確認してください。

日本語科目の履修は、様々な背景を有する世界各国からの留学生と共に学び、高め合いながら、主体的学習活動に取り組むことを通して、日本語能力のみならず、コミュニケーション力やアカデミック・スキルを向上させる機会です。

なお、Kyoto University International Undergraduate Programで学ぶ学生専用のクラスとして、週3コマ構成の6Hコース並びに上級の特定技能強化科目を開講しています。

◆工学部地球工学科国際コース生優先クラス（初級）

- 日本語初級ⅠA・B（4Hコース）
- 日本語初級ⅡA・B（4Hコース）

◆全回生対象（中級）

- 日本語中級ⅠA・B（4Hコース）
- 日本語中級Ⅰ（8Hコース）
- 日本語中級Ⅰ（会話）
- 日本語中級Ⅰ（聴解）
- 日本語中級Ⅰ（読解）
- 日本語中級Ⅰ（作文）
- 日本語中級Ⅰ（漢字）
- 日本語中級ⅡA・B（4Hコース）
- 日本語中級Ⅱ（8Hコース）
- 日本語中級Ⅱ（会話）
- 日本語中級Ⅱ（聴解）
- 日本語中級Ⅱ（読解）
- 日本語中級Ⅱ（作文）

◆大学院生対象（中級・上級）

- 日本語中級ⅠA・B（総合）
- 日本語中級ⅡA・B（総合）
- 日本語上級A・B（総合）

◆全回生対象（上級）

- 日本語上級（聴解）
- 日本語上級（会話）
- 日本語上級（読解）
- 日本語上級（作文）
- 日本語上級（論文・レポート作成）
- 日本語上級（講義聴解）
- 日本語上級（研究発表）
- 日本語上級（討論技術）

◆Kyoto iUP 生専用科目

- 日本語初級Ⅱ（6Hコース）（令和7年度不開講）
- 日本語中級Ⅰ（6Hコース）
- 日本語中級Ⅱ（6Hコース）
- 日本語上級（レポート作成基礎A・B）
- 日本語上級（文献講読ⅠA・B）
- 日本語上級（文献講読ⅡA・B）
- 日本語上級（文献講読ⅢA・B）

④情報学科目群

情報通信技術は現在の社会のいたるところで利用されており、人工知能などの新たな情報通信技術は、今後、社会をさらに大きく変えていく可能性も秘めています。そのため、これらの技術やそれに関わる社会的課題を正しく理解することは現在の社会を生きるものにとってたいへん重要になっています。また、これらの情報通信技術を自ら活用するための知識も、現在の社会における知的活動において重要なものとなっています。さらには、情報という概念は、本来、現在のデジタル情報通信機器に特有のものではなく、われわれが生きていく以上、必ず日々関わるものであり、そのような情報という概念の正しい理解は、いつの時代においても重要な教養の一つです。全学共通科目の情報学科目群は、これらについて学ぶための科目を提供するものです。

なお、現在、高等学校においては、教科「情報」として「情報Ⅰ」が必修修となっていますが、「情報Ⅰ」で扱われている内容に続く科目は、京都大学の全学共通科目では主に情報学科目群と自然科学科目群の中のデータ科学の科目として提供されていますので、科目の選択にあたってはそれらの全体を理解し、かつ、所属する学部・学科の履修要覧等に記載されている卒業要件等の条件も理解した上で、選択するようにしてください。

情報学科目群の科目は、科目選択の目安となるよう「基礎」と「各論」に分類されています。

基礎に分類される科目としては以下の3科目を設定しています。

情報基礎（クラス指定科目ならびに全学向）

この科目は情報科学・情報技術についての教養科目です。大学卒業後、社会に貢献していく上での素養となるような、情報科学や情報通信技術の基礎をなす理論・概念（例えば、情報とは何か計算とは何かに関する理論や、情報の表現方法に関する諸概念）や、現時点で社会に大きな影響を与えている新技術（例えば暗号や人工知能）に関する知識を学びます。

情報基礎演習（クラス指定科目ならびに全学向）

この科目は本学のすべての学生に求められる一定の情報利活用能力を身に着けるための科目です。すべての学生にとって、学士課程における学修や社会的活動、並びに卒業後に大学院や社会における知的活動に際して必要となる情報探索、情報分析、および情報の表現・視覚化などの情報利活用の能力（これらを情報リテラシーと呼ぶ）と、その前提となる情報機器の操作能力（これらをコンピュータリテラシーと呼ぶ）を修得することを目的としています。また、現代社会において情報の収集や発信を行う際を守るべき社会的ルールに関する知識についても併せて修得します。

情報と社会（全学向）

この科目は情報と社会の関わりについて学ぶ教養科目です。現代社会における情報と情報技術の利用に関連する諸問題に関する知識を獲得し、また、それらについて自ら考える機会を持ちます。

基礎に分類されるこれらの3科目については英語で講義を行う科目も提供されています。

また、情報基礎、情報基礎演習については、学部、学科などを単位にクラス指定して開講されるものと、全学向として開講されるものがあります。クラス指定されている学部・学科に所属する学生の皆さんは、卒業に必要な単位の要件などを確認して、適切な科目を履修するようにしてください。なお、情報を専門として学ぶ工学部情報学科の学生向けには情報基礎演習に代えて「情報基礎実践」が開講されています。

各論に分類される科目では先の「基礎」科目に関連した内容について特定的话题を取り上げてより深く学ぶ科目や、様々な分野で実際に利用されるプログラミングやコンピュータ・グラフィックスなどを演習・実習形式で学ぶ科目を提供しています。一部の「各論」科目では英語で講義を行う科目も提供されています。「基礎」科目を履修後に、学んだ内容の中でさらに深く学びたいものについては、対応する「各論」科目を履修することを推奨します。また、入学時に既に「基礎」科目で学ぶ内容について一定程度修得済である場合には、早期に「各論」科目の履修へと進む、あるいは、「基礎」科目と並行して「各論」科目を履修することも考えられます。ただし、「基礎」科目で扱う内容には高等学校の教科「情報」と共通するものも多くあるものの、高等学校での学習内容と比べて、より深く学び直すことになるものが多いことには注意してください。

さらに、前述のように自然科学科目群の中のデータ科学の科目にも、情報学科目群と関連する科目があります。そのため、情報学科目群の「基礎」科目とデータ科学の中の「統計入門」などの基礎的な科目を並行して履修し、その後、情報学科目群やデータ科学の中の応用的な科目へと進むという進め方も考えられます。あるいは、データ科学の応用的科目を学ぶ際に、必要となるプログラミングの知識などを学ぶために情報学科目群のプログラミング演習などの科目を先行して、あるいは、並行して履修するという考え方も考えられます。また、この手引きのデータ科目についての説明のページには、履修登録単位数や時間割の制約により希望するデータ科学の科目が履修できないという人のための自習教材の情報も記載されています。いずれにしても、科目の選択にあたっては前述のように情報学科目群とデータ科学の科目の全体像と、所属する学部・学科で指定されている条件等を理解した上で選択するようにしてください。

⑤健康・スポーツ科目群

■健康・スポーツ科学分野科目の教育目標

健康・スポーツ教育においては、教養教育の3つの柱（①学術的教養、②文化的言語力、③基盤的・社会的知力）に基づいて、人間の生命・健康・発達、運動と健康の諸問題に関する最先端の学問研究の成果を生かし、「講義・演習科目」及び「実習科目」を通じて次のような総合的な教育目標を目指した教養教育を行います。

- 1) 運動実践を通じた生命・健康・発達の尊重と保障：スポーツ運動・表現運動・生活運動等の身体活動の認識と実践をもとに、生命尊重の精神を培い、健康を維持・増進し、心身の調和的発達を促します。
- 2) 身体活動の文化的価値と科学的原理の理解：各種のスポーツ・身体活動の文化的価値についての理解を深め、健康・スポーツに関する科学的知見に裏付けられた運動活動の実践力を養成し、生涯にわたるスポーツの生活化を図ります。
- 3) 自己信頼性と社会的自立性の啓培：青年期・成人期にある学生の自己信頼性を高め、社会生活を自ら設計し実践していく基礎的な力量を養成します。

〔講義・演習科目〕

教育目的：

身体と精神に関する学術的知識を学び、心身ともに健康で豊かな生涯を送ることのできる基礎的教養を身につけます。特に、身体・運動・スポーツに関する諸学問の成果を学び、健康に関する社会的な諸問題をとらえ、健康と運動の科学的原理について学習します。それによって健康と運動の価値と重要性を理解し、自分自身のよりよい健康づくりの内容と方法を習得し、生活実践の中にその知識を活かして自己形成の健康的な基盤を整えます。

教育目標：

- ①青年期・成人期にある自己の心身の諸機能の特質（機能構造面）とその発達の仕組み（形成過程面）を理解します。
- ②諸機能の合理的・教育的な形成方法を学び、自らの健康を保持・増進していくための基本的な方法論を修得します。
- ③自分自身の自己信頼性を高め、将来にわたって個人・生活場面（家庭）や所属集団（職場や地域社会）で健康的な生活を自主的に設計し実践していくための基礎的な力量を養成します。

〔実習科目〕

教育目的：

講義・演習（理論）において学んだ知識を、スポーツ実習（実践）を通して具体的に実践することによって、自己の身体活動の特質と可能性を理解します。また、各種のスポーツ活動の実践を通じて、人間の根源的な存立基盤としての身体の諸機能を充実させ、運動文化の継承と発展を図り、自己信頼性及び社会的自立性を高めます。

さらに、健康・運動活動に関する基礎的な知識を、実際に現在及び将来の社会生活に応用して健康的な生活を営むための基礎的な技能を身につけ、自分自身及び集団・社会の健康を保持増進させていく資質と力量を養成します。

教育目標：

- ①（機能形成）：身体活動の基盤となる基礎体力と運動技能の向上を図ります。
各種のスポーツの実践実習を通じて、基礎的な体力・運動技能を形成するとともに、それらのスポーツ活動を取り入れて健康的な生活を設計し実践する力量を養成します。
- ②（生活実践）：生涯にわたる健康的な生活づくりの基礎的な力量を養成します。
生涯にわたって楽しめるスポーツ種目と出会い、健康づくり・体力づくりの実施方法、スポーツの基礎的な技術と技能、またスポーツ活動を楽しむためのプログラムづくりの方法を身につけます。
- ③（社会的交流）：社会的交流活動の実践を通じて自己及び相互の信頼性と社会的自立性を啓培します。
学友と協力し合い、互いの見方・考え方を尊重しながら共通の価値ある目標に向かって努力する基本的な社会的交流能力を養成します。それによって社会実践の力量を形成し、自他を信頼し尊重し期待しあう力量を高めます。

■健康・スポーツ科学分野科目の教育内容

〔講義・演習科目〕

領域構成：

領域①（総論）健康学・運動学原論：心身の生理的諸機能とその発達の特質、運動行動の制御・形成の脳科学的・生理学的・心理学的なしくみ、社会的な健康問題。

領域②（各論）健康と運動についての科学：健康・医療・生活に関する各学問分野からのアプローチ。スポーツ運動・表現運動についての哲学、歴史学、社会・文化論、生理学・心理学・バイオメカニクス等の関連諸科学。

領域③（実践方法論）健康的な生活を設計し実践していくための基礎的な内容と方法。

開講科目：

〔講義〕

基礎： 運動科学Ⅰ、運動科学Ⅱ、健康科学Ⅰ、健康科学Ⅱ、健康心理学Ⅰ、健康心理学Ⅱ、脳と生命のシステム科学、分子スポーツ科学、Physiology in Health and Sports-E2、Introduction to Lifestyle Related Diseases-E2、Nutrition and Health-E2 (令和7年度不開講)、Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2 (令和7年度不開講)、Structures and Mechanisms of Human Movement-E2、Introduction to Basic Concepts of Health Psychology-E2、Health Psychology I-E2

発展： 精神病理学Ⅰ、精神病理学Ⅱ、生活習慣と生体機能障害、体力医科学、運動のしくみ (令和7年度不開講)、運動の生理学、発達論 A (令和7年度不開講)、発達論 B (令和7年度不開講)、精神保健福祉概論、スポーツ心理学、医学概論、生体リズムと健康、発達障害論 (令和7年度不開講)、リハビリテーション概論、「薬の世界」入門、健康・生命科学入門、学生支援からみた大学生活論、人類と放射線、医工学入門 (令和7年度不開講)、放射線概論、身体運動の適応と学習、ピアサポート入門、Introduction to Medical Psychology-E2、Cultural Aspects of Health Care-E2、Psychopathology I-E2

(*備考)「健康科学Ⅰ」「健康科学Ⅱ」「運動科学Ⅰ」「運動科学Ⅱ」「健康心理学Ⅰ」「健康心理学Ⅱ」「体力医科学」は教職科目として認定されます。

〔演習〕 スポーツ指導法ゼミナール A (令和7年度不開講)、スポーツ指導法ゼミナール B (令和7年度不開講)、心の発達と問題行動の理解、脳と心の生命機能ゼミナールⅠ、脳と心の生命機能ゼミナールⅡ、脳・生命・心の探究、脳と身体運動ゼミナール、アダプテッド・スポーツ演習

〔実習科目〕

領域構成：

●スポーツ実習Ⅰ：基礎的・応用的な実践力

1) 基礎技能の修得：環境世界に働きかける運動実践を通じて自らを「知る」：

①自己の健康・体力の現状を把握し、健康づくり・体力づくりの活動を実践する。

②自己の運動技能の現状 (特質と到達点)、これからの課題と目標をとらえ、運動活動を企画立案する。

2) 応用技能の修得：仲間に働きかける実践の中で自分自身とチームメイトの力量を「高める」：

①運動・生活技能 … 各スポーツ種目での対人的・集団的技術、健康を阻害する諸要因への対応スキルを修得する。

②自己教育力・相互援助 … 自己やチームメイトを支え導き、よりよいスポーツ活動を実践する力量を身につける。

開講種目：

1) 野外種目：ソフトボール、サッカー、硬式テニス

2) 屋内種目：フットサル、卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール

3) 野外/屋内：アダプテッド・スポーツ、フィットネス、フィットネス・ウォーキング、フィットネス・サイクリング

*集中開講：アダプテッド・スポーツ (障害学生優先)

⑥キャリア形成科目群

この科目群では将来のキャリアに関連した科目を、国際コミュニケーション、学芸員課程、多文化理解、地域連携、その他キャリア形成という分類で提供しています。このうち、

- 国際コミュニケーションに分類される科目は E 科目の中の E3 科目として指定されています。

E3 科目では学術的言語技能の向上を目的とします。教養を深め、異文化を理解し、専門分野の知識を高め、そしてそれらを活用していくためには、学術的言語技能の習得が不可欠です。学術的言語技能は、受容技能と産出技能に大別することができます。例えば、英語による講義を理解するためには聴解力 (受容技能) が、聴いた内容に対して自分の意見を口頭で述べるためには発話力 (産出技能) が必要です。E3 科目ではこうした受容技能と産出技能を統合して学習します。以下では E3 科目の技能領域と目標、概要を例示します。①・③・④・⑤には「Ⅰ」と「Ⅱ」の上下位区分があり、前者が基礎的、後者が応用的なスキル開発を行うものです。

① アカデミックディスカッション (Academic Discussion) …リスニング&スピーキング

〔目標〕 英語での講義やニュースなどの音声を聴き、その情報を整理し、口頭で発表する高度な学術的言語技能を養います。

〔内容〕 対面授業を通して、ゼミ、講義、学会などでの口頭発表や質疑応答などで求められる発話力を主に育成します。さらに、講義を聴き、その内容の要約や自らの意見や主張を述べる能力を育成します。導入、情報提供、結論、議論などの一連の発表技能 (presentation skills) のみならず、発表者に対する説明の要求、質問、反論を行うための参加技能 (participation skills) の育成も対象とします。

※本科目は、令和5年度以前の開講科目「セミナーパーティシペーション」を再編したものです。

② クリティカルリスニング (Critical Listening) …リスニング&スピーキング (リスニングの自律学習中心)

〔目標〕 英語での講義やニュースなどの音声聴き、その情報を整理する聴解力の育成に比重を置きます。
また、口頭で発表する高度な学術的言語技能を養います。

〔内容〕 eラーニング教材を活用した自律学習を通じて、ゼミ、講義、学会などのアカデミックな場面で求められる聴解力を主に育成します。また、あわせて口頭発表や質疑応答などで求められる発話力を育成します。

③ アカデミックプレゼンテーション (Academic Presentation) …リーディング&スピーキング

〔目標〕 学術的な文献などを対象とした批評的、批判的な読解を通して、自らの意見や主張を口頭で発表する高度な学術的言語技能を養います。

〔内容〕 執筆者の意見や主張を理解し、その根拠となるデータや資料を分析する批判的読解（クリティカルリーディング）能力を育成します。さらに、それらに対する自らの意見や主張をまとめ、効果的に発表する技能の育成を目指します。特に「II」では、国際学術会議における口頭発表など、より発展的な技能の養成に焦点を当てます。

※本科目は、令和5年度以前の開講科目「オーラルプレゼンテーション」を再編したものです。

④ テストテイキング (Test Taking) …総合的四技能

〔目標〕 国内外の大学院への進学、学術研究を目的とした海外留学、および留学中に受ける定期試験などで要求されるテストテイキングを中心とした高度な学術的言語技能を養います。

〔内容〕 単に受験対策（test-taking strategies）の学習にとどまることなく、各試験問題で要求される読解力や聴解力など四技能を総合的に養います。海外の大学における定期試験、および留学に必要な TOEFL® (Test of English as a Foreign Language) や IELTS™ (International English Language Testing System) などを受験する際に要求される技能の育成が含まれ、テストテイキング技能の育成には、語彙学習など他の技能の要素も加味されます。

⑤ アクティブリスニング (Active Listening) …リスニング&スピーキング (リスニング中心)

〔目標〕 英語による講義を履修するために必要となるリスニング能力の育成を目的とします。より具体的には以下の通りです。(1) 英語の音声の特徴を分析的に理解すること、(2) 文脈や背景知識や発話の状況を活用して、次にくる情報や内容などを予測したり自身の理解を修正したりすること、(3) 英語の概論的講義（10～20分程度）を聞いて、その概要や要点を的確に把握すること。

〔内容〕 リスニング能力の育成では、語・文レベルでの聴解力を重視するボトムアップ型と、背景知識や文脈などを活用した意味理解を重視するトップダウン型の両方を組み合わせます。

国際コミュニケーション分野では、上述の科目以外にも技能向上を目的とした科目が全学向けに開講されます。シラバスを確認して各自が習得を期待する技能を目的とした科目を見つけてください。

- 学芸員課程分野の科目は、学芸員資格を取得する上で履修が求められる科目のうち、全学共通科目として開講されているものです。学芸員資格の取得に関してはp.270を参照ください。
- 多文化理解分野の科目は、海外での実地研修等において多様な文化的背景を持つ学生と共に学ぶ経験を通して、相手文化への理解を深めるとともに、自分自身が身につけてきた文化を客観的に捉え、それらを他者にわかりやすく伝えるためのコミュニケーション能力の基礎や、文化、社会、習慣に関する多角的アプローチを習得する科目です。令和5年度まで少人数教育科目群において開講されていた「ILASセミナー（海外）」は、令和6年度以降は本分野の科目「海外実地セミナー」として開講し、海外での実地研修を通じて、現地の自然、政治、経済、文化、歴史などの事情を学び、多文化・地球環境等への理解を深めることを目標とします。
- 地域連携分野の科目は、京都地域の課題について、地方自治体、地元企業、各種団体等との連携を通じて学び、大学がもつ知を活用してその解決法を考え、実践するための力を養う科目です。

⑦統合科学科目群

大学に入学するまでは、現在のところ最も確からしいとされる答えを効率よく記憶することに終始しましたが、大学を終えれば、実社会において未だ答えが知られていない、あるいは答えがあるのかどうかさえ分からない課題に取り組み、置かれた状況の中で最善の答えを模索することになります。さらには、置かれた困難な状況を克服するために解決すべき課題を具体的に設定することも求められます。そのため、大学においては、所属するそれぞれの学部、学科が対象とする領域に固有な専門的知識の習得と論理的思考方法の獲得を目指すのはもちろんですが、領域の壁を越えて対象を多元的な視点から考察する能力を培う必要があります。現代社会が抱える問題の多くは、自然や人類の営みの物質的側面に起因する構成員間の利害対立から生じています。理系の立場からは、人間をとりまく自然の成り立ちを理解し、その理解に基づ

く技術によって物質的豊かさを追求するのに対し、文系の立場からは、まさにその豊かさがもたらす利害関係の構造を明らかにし、利害を調整あるいは解消する仕組みを模索します。特に、環境や生命をはじめ、現代社会が直面する重要な課題に取り組むには、文系、理系それぞれの領域に閉塞した思考様式の殻を破り、それぞれに欠けている視座の相互補完が望まれます。

本学大学院には文理にまたがる学際領域を対象とするいくつかの研究科があり、広い基礎知識の上に専門的研究を展開していますが、文系、理系のいずれかに特化した領域を対象とする場合でも、異分野の批判的視点からそれぞれの研究を見詰め直す能力を養っておくことが必要です。そのような能力の涵養を目指すのが統合科学科目群であり、統合科学分野、環境分野、森里海連環学分野など、異なる視点から授業を提供します。中でも「統合科学」は、(1) 現代社会が直面し、今後その解決策を採求する必要がある諸課題を対象とした対話を基本とする発見的授業、(2) 思い込みや決めつけ、あるいは置かれた社会や時代の空気に囚われない、客観的データに基づいた合理的思考法を獲得する授業、(3) 様々な学問分野を横断する課題に取り組み、自らが専攻しようとする学問分野の専門的知識・能力を高めるだけでなく、他の学問分野の専門家とも対話することで全体的な解決を模索する授業を目指しています。具体的には、人類社会の持続的発展と深く関わる「生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）」、「生命と社会（自然と人との関わり）」、「生命と社会（持続的・健康社会に向けた技術と倫理の協働）」、「持続可能な地球社会をめざして（エネルギー・環境・社会の視点から）」、「閉じた地球で生きる（エネルギー消費と環境）」（令和7年度不開講）、「閉じた地球で生きる（地球環境とエネルギー）」、「自然災害の科学」、「地球環境と人類とのバランス」、「エネルギーを取り巻く環境」の9つの主題のいずれか1つを選択し、文系、理系双方の教員を交えた対話型授業を通して、共時的にも通時的にも多元的な視点からの対象の考察法を習得します。また、統合科学分野では「Interdisciplinary Sciences-E2」も2つの主題で開講されており、外国人教員や留学生とともに英語で学ぶ対話型授業を行っています。

⑧ 少人数教育科目群

少人数教育科目群には ILAS セミナーとして開講されている科目が含まれます。また、外国人教員が担当する ILAS Seminar-E2 は少人数での対話を中心としたゼミ形式の「英語で学ぶ」科目で、1 回生前期から誰でも受講することができます。これらの ILAS セミナーは、大学での勉学生活への導入を図り、自律的課題発見・解決という学問のプロセスを体験し、学問の楽しさや意義を実感する場を提供します。この「京都大学への入門」である ILAS セミナーには、次の5つの履修するメリットがあります。

① 学びの違いを体験

ILAS セミナーは、5人～25人程度の学生を対象に、各学部、研究科、研究所、センター等の教員が差向かいの親密な人間関係の中で行う授業です。問題を見つけ解決するという学問のプロセスを、教育の場で体験するために少人数で行わない、講義による知識の伝達ではなく、学生が自ら学問することを学びます。

② 学びの場における仲間との相互作用

ILAS セミナーのテーマは文系・理系を問わず様々です。シラバスからキーワードを検索してみても、「歴史」「地理」「社会」「音楽」「数学」「宇宙」「生命」「医学」「技術」「環境」「資源」等々、京大が丸ごとそこに現われています。そこから始まって、異なる学部、場合によっては異なる回生の仲間ができて、教員と学生、学生どうしの議論・対話が生まれ、新たな知見が広がります。

③ 学びの技法の養成

ILAS セミナーにおける学生どうしの討論、教員の問いかけに答え、スライド・レポートを作成し発表する訓練は、講義を聴き教科書を読むことだけでは得られない、自分で実際に考え、読み、議論し、書くという力を身につけるきっかけを与えます。主体的な学習の意義を理解し、またアカデミック・スキルの基礎を獲得することをめざしています。

④ 常識や初歩からの跳躍

ILAS セミナーでは、基礎から順次学ぶという手順を踏むのではなく、少人数で教員と直接対話するという特徴を生かして、学生の興味に応じた専門への道標が示されます。あるいは、初歩からの跳躍を経験することにより、学生が自分の進むべき方向を見つける機会ともなります。

⑤ 挑戦の機会

専門に進む前の段階で、ゼミナール形式の授業で学生どうしの議論が真に機能するか、特に1回生にとっては簡単なことではないでしょう。しかし、その難しさを挑戦ととらえ、そこに踏み込んでいくことは京大生となったあなたの特

権です。また、幅広い視野をもつきっかけとして、各自の専門分野と直接関係のない科目や個人的興味・趣味嗜好にかかわる科目を積極的に選択することもきっと有益でしょう。さあ ILAS セミナーに挑戦しましょう。

(参考)

- 国際高等教育院ウェブサイト「少人数教育科目群：ILAS セミナーについて」
<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/ilas-seminars>
- ILAS セミナーBOT
ILAS セミナーに関する学生からの質問に答える BOT を公開しています。上の紹介ページの二番目の◎からたどれます。(利用の際には、ChatGPT へのアカウント登録が必要です。無料版で利用できますが、一度に利用できる回数に制限があります。)
- 「京都大学での学び」の始まり 全学共通科目と ILAS セミナー (新入生向けパンフレット)
https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/download/freshman-guide/ilas_seminar_pamphlet.pdf

⑨大学院共通科目群

大学院では、各研究科の専門学術分野で基盤となる知識、研究遂行能力、論理的思考力、課題解決能力を身に付け、当該領域のプロフェッショナルとなる力を磨きます。同時に、修士・博士課程を修了する大学院生が、将来、アカデミアであれ産業界・官公庁であれ、社会で広い視野をもち、リーダーとして活躍するためには、専門学術以外にも素養として備えておくべき事柄があるはずで、このような観点から各研究科の意向を調査したところ、「社会的素養」、「情報能力」、「国際性」を多くの研究科が挙げられたことから、その要望をベースに全学共通教育科目が企画立案され、次の3分野で大学院生を対象に開講されています。なお、大学院共通科目は、学内の研究科、研究所、センター等の部局からの提案により開講される場合があります。

- ① 社会適合分野
大学院での研究活動を行うにあたり必要となる基盤的知識、ならびに大学から現代社会に飛び立ち活躍するために素養として必要な知識を養成する科目
- ② 情報テクノサイエンス分野
IT 社会において必要とされる情報処理能力を学ぶ科目
- ③ コミュニケーション分野
国際的に活躍するためのコミュニケーションスキルを身に付ける科目

大学院共通科目群の科目は大学院生が履修し合格すれば単位が与えられますが、所属する研究科において修了要件の単位として認められるかは研究科により異なりますので、前もって所属する研究科・専攻において確認してください。

⑩大学院横断教育科目群

大学院横断教育科目群では、各研究科が開講する科目のうち、他研究科学生の履修に配慮され、多くの専門分野の共通基盤となりうる科目、または多数の研究科の大学院生が受講するに相応しい横断的な教育内容の科目が提供されています。

これらの科目も合格すれば単位が与えられますが、修了要件の単位として認められるかは、前もって所属する研究科・専攻において確認してください。

Ⅱ. 全学共通科目の履修について

1. 授業に関する連絡等について

全学共通科目に関する連絡事項および学生への連絡・伝達等は、原則として KULASIS と電子掲示板を通じて周知します。「全学共通科目履修の手引き」（本冊子、以下「本手引き」）の変更事項についても同様です。

(1) 授業・試験関係の掲示方法

① KULASIS（クラシスー京都大学教務情報システムー）

KULASIS とは全学共通科目や学部科目・大学院科目に関する教務情報を提供し、履修登録等をおこなうウェブサイトです。携帯電話や学外からもアクセス可能です（全学生共通ポータル <https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/> よりログイン）。

授業や試験に関わる重要な情報が掲載されますので、必ず 1 日 1 回はアクセスしてください。KULASIS を通じた案内には、大学から付与される学生用メール（KUMOI）宛に送信されるものがあります。学生用メールは、KULASIS と同様に全学生共通ポータルを経由して利用することができます。大学からの重要なお知らせを見落とさないようにしてください。なお、学生用メール宛の連絡は他のメールアドレスに転送することが可能です。

履修登録後は、「お知らせ」画面に自分の履修登録科目に関するレポート課題や休講情報等の情報が抽出されます。

[KULASIS の「お知らせ」掲載内容]

授業連絡メール、授業資料、学生呼出、授業変更情報、休講情報、補講情報、授業連絡情報、レポート課題、レポート連絡、教務・厚生情報

なお、大学が提供している KULASIS アプリでは、休講情報や授業サポート（授業資料・授業連絡メール）、時間割の確認などが可能です。

② 電子掲示板

国際高等教育院棟 1 階に電子掲示板を設置しています。

[掲載内容] 学生呼出、授業変更情報、休講情報、補講情報

③ 全学共通科目学生窓口前掲示板

国際高等教育院棟 1 階の全学共通科目学生窓口前に掲示板を設置しています。

[掲載内容] 履修登録関係のお知らせ、試験関係のお知らせ

④ その他

掲示には様々な種類がありますので、各学部・研究科等の掲示板の場所を確認しておいてください。吉田南構内では、実験科目等の連絡用に実験室前等にも掲示板が設置されています。

これらの掲示板に学生が掲示することはできません。学生が掲示をする場合は、構内各所に設置している学生用掲示板を利用してください。

KULASIS 等の掲示には、全学共通科目を履修するうえで重要な情報が掲載されていますので、必ず確認してください。各種掲示を確認しないことにより不利益が生じた場合は、すべて学生自身の責任となりますので注意してください。

(2) 授業等に関する問い合わせ

全学共通科目の授業等に関する問い合わせは、原則として、全学共通科目学生窓口（国際高等教育院棟 1 階）で直接行ってください。電話での問い合わせには、応じられません。また、学生・教員の呼び出しおよび連絡先等の個人情報の照会には応じられません。

【全学共通科目学生窓口受付時間】

○授業開始日から履修登録確定日までの期間および試験期間：8 時 30 分～18 時 45 分

○その他の授業期間：8 時 30 分～17 時 15 分

○授業期間以外：8 時 30 分～12 時 00 分、13 時 00 分～17 時 15 分

（ただし、土曜日、日曜日、祝日、創立記念日、8 月第 3 週月曜日～水曜日、および 12 月 29 日～1 月 3 日は休止。

なお、臨時で休止することがあります。）

(3) オフィスアワー

オフィスアワーとは、学生が教員の研究室等を訪問し、勉学や進路等について相談できる時間帯のことです。全学共通科目担当教員のオフィスアワーはKULASISで検索することができます。

教員にアポイントメントをとる際（不要な場合は、研究室を訪問する際）は、予め質問内容等を整理しておき、「〇〇について質問（相談）したいのですがよろしいでしょうか」と確認のうえ、許可を得るようにしてください。なお、オフィスアワーを設定されていない教員に相談等ある場合は、事前にアポイントメントをとったうえで研究室を訪問してください。

2. 授業クラス

(1) 授業クラスの編成

学部生について、全学共通科目の授業を実施するうえで、約40名を基準とする授業クラスを編成しています。全学共通科目のクラス指定科目の多くは、この授業クラス毎に実施されます。2回生以降も同様です（「IV. 全学共通科目授業時間割」(p.168～)参照）。

平成28年度以降の学部別授業クラス数の編成は次のとおりです。学部欄の（ ）内は学部名の略記号です。なお、Φは「ファイ」と読みます。

学 部	クラス数	定員
総合人間学部 (H)	3	120
文 学 部 (L)	6	220
教 育 学 部 (P)	2	60
法 学 部 (J)	8	330
経 済 学 部 (E)	6	240
理 学 部 (S)	8	311

学 部	クラス数	定員
工 学 部 (T)	25	955
地球工学科 1~4, 25 組	5	185
建築学科 5, 6 組	2	80
物理工学科 7~12 組	6	235
電気電子工学科 13~16 組	4	130
理工化学科* 17~22 組	6	235
情報学科 23, 24 組	2	90

学 部	クラス数	定員
農 学 部 (A)	8	300
資源生物科学科・森林科学科 1~4 組	4	94・57
食料・環境経済学科 5 組	1	32
地域環境工学科 6 組	1	37
応用生命科学科・食品生物科学科 7, 8 組	2	47・33

*令和5年度までは工業化学科

学 部	クラス数	定員
医 学 部 (M)	6	207
医学科 1~3 組	3	107
人間健康科学科 4~6 組	3	100

学 部	クラス数	定員
薬 学 部 (Φ)	2	80
薬科学科・薬学科 1, 2 組		

※例えば「1回生、文学部、2組」は「1L2」、「2回生、工学部、10組」は「2T10」と表記される場合があります。

(2) 授業クラスの発表

学部1回生の授業クラスの発表は、4月2日（水）にKULASISで行います。2回生については、1回生時の授業クラスのままですが、転学部や転学科した場合は変更されることがありますので、該当者はKULASIS等の掲示に注意してください。

また、科目によっては授業クラス以外で受講するよう指示する場合がありますので、KULASIS等の掲示に注意してください。

3. 授業について

(1) セメスター制

京都大学のカリキュラムは、1年を前期・後期の2つに分けるセメスター制を採用しています。全学共通科目もセメスター制を導入し、多種多様な科目を開講しています。前期は4月8日（火）から、後期は10月1日（水）から授業が開始します。

(2) 授業時間

全学共通科目の授業は、「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)のとおり実施され、授業時間は次のとおりです(全学で共通)。

時 限	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
授業時間	8:45～10:15	10:30～12:00	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15

(3) 授業科目の選択と履修（「4. 履修登録について」(p.45～) 参照）

今年度開講される全学共通科目には、本手引きの「III. 2. 全学共通科目一覧」(p.107～)に記載の科目があり、その授業内容（シラバス）は KULASIS に、授業時間割は本手引きに掲載されています。科目を選択するにあたっては、各学部が実施する履修指導（ガイダンス）を受けるとともに、各学部の定め（修得すべき全学共通科目の単位数、その他の指示事項）を十分確認したうえで、将来の専攻分野と各自の目標に応じて選択し履修計画を立て、必ず KULASIS で履修登録してください。

なお、外国語科目は「5. 外国語の履修について」(p.53～)に、E科目は「6. E科目（英語関連科目）の履修について」(p.68～)に、履修（人数）制限科目は「7. 履修（人数）制限科目の履修について」(p.73～)、スポーツ実習は「8. スポーツ実習科目の履修について」(p.75～)に、自然科学科目群の実験・実習は「9. 実験・実習の履修について」(p.78～)に、情報学科目は「10. 情報学科目の履修について」(p.81～)に、ILASセミナー等は「11. ILASセミナー・統合型複合科目等の履修について」(p.82～)に履修方法が指示されていますので、よく読んで科目を選択してください。

全学共通科目に関する履修指導（ガイダンス）は各学部でも実施されますが、全学共通科目学生窓口や各学部の教務担当掛で、随時履修相談に応じています。

大学院生の全学共通科目履修については、所属研究科等のガイダンスや便覧等で確認し、必要に応じて所属研究科等の教務担当掛に相談してください。基本的に学部生と同様 KULASIS で履修登録します。大学院共通科目、大学院横断教育科目は「13. 大学院共通科目群、大学院横断教育科目群科目の履修について (p.88～)」に履修方法が指示されていますので、よく読んで科目を選択してください。

(4) 授業の出席と欠席の取り扱いについて

国際高等教育院では、積極的に授業に参加して学修を深めてもらうため、出席を取る授業において「出席」ではなく、「授業への参加状況」を評価することを担当教員に求めています。したがって、「出席登録だけで帰る」、「他人に出席登録を依頼する」などの、出席を偽る行為およびそれを手助けする行為については厳正に対処します。

また、全学共通科目にいわゆる「公欠」の制度はありません。やむを得ない事情で授業を欠席した場合は、次の授業で教員に直接申し出てください。欠席の取り扱いについては、各授業担当教員の判断となります。ただし、災害等のため通学が困難で授業等に出席できなかったときは、救済措置をとることがあります (p.103)。

① 出席登録システムについて

全学共通科目では、主な教室に出席の受付を行うための出席登録システムを導入しています。受付には学生証が必要ですので、必ず携帯してください。令和7年度についても、出席登録システムを設置している全ての教室で同システムによる出席確認を行います。

② 出席登録システムの受付方法

出席登録システムの端末は、教室の出入り口付近に設置しています。

出席登録システムで出席登録を行う授業では、出席登録用端末のバックライトが点灯（青色）していますので、なるべく授業が始まるまでに受付を完了させてください。受付時間が過ぎるとバックライトは消灯します。

出席登録端末のバックライトが点灯している下の部分に学生証をかざすと、正常に受付ができたときは画面の背景が緑色に変わり、他方、履修登録していない授業に出席している場合など（学部科目を兼ねている科目で学部科目として登録している場合を含む）、正しく受付ができなかったときは赤色に変わります。カードをかざした際、ピッという音が

すれば正常に受付ができています。

学生証を忘れた場合など、出席の受付ができなかったときは、必ず当該授業時に教員に申し出てください。全学共通科目学生窓口で出席の追加等の対応はできません。学生証が IC カードでない方（非正規生）の出席登録については、授業担当教員の指示に従ってください。

③ 出席受付時間

出席登録端末による各時限の出席受付時間は授業開始15分前から1時間です。ただし、受付終了時刻は教員により異なる場合があります。

時限	授業時間	出席受付時間
1限	8:45 - 10:15	8:30 - 9:30
2限	10:30 - 12:00	10:15 - 11:15
3限	13:15 - 14:45	13:00 - 14:00
4限	15:00 - 16:30	14:45 - 15:45
5限	16:45 - 18:15	16:30 - 17:30

※複数回受付した場合は、最も時間の早いもののみ登録されます。

※授業時間中に学生証をかざした時の確認音の音量は、小音量になりますが異常ではありません。

参考：教室に設置されている端末



※液晶画面の下の部分に学生証をかざしてください。

(5) 授業アンケート

全学共通科目では、授業について履修者からの意見を聴き、授業・教育環境の改善に役立てる目的で授業アンケートを実施しています。このアンケートは無記名方式で実施され、回答内容が成績評価に影響することは一切ありません。詳細については、原則として授業期間中の13回目または14回目の授業時等に担当教員から指示がありますが、回答期間中に全学共通ポータルからアンケートシステムにアクセスし、回答してください。

(6) フィードバック

半期の授業は、授業14回+試験1回+フィードバック1回から構成されています。フィードバックは、授業の中で得た新しい知識がどのくらい定着しているかを、自ら振り返ることで気づいてもらうこと、さらにその経験を次の学習にも活用できる能力を養成することを目的としています。1回分の授業として実施されますが、通常の授業曜時限・授業教室で実施される以外に、授業担当教員が研究室で質疑応答に応じる場合や KULASIS 等を通じて実施される場合があります。なお、授業の性格上、フィードバックがなじまない場合は、通常どおり授業が実施されることがあります。

各科目のフィードバックの内容および実施方法は、前期は7月上旬、後期は1月上旬に KULASIS の「お知らせ」ページの「授業連絡」に掲載します。

4. 履修登録について

全学共通科目を履修する場合は、一部の集中講義を除いて KULASIS での履修登録が必要です。履修登録をしていない授業科目は、試験を受けたりレポートを提出したりしても単位が認定されません。なお、履修登録までに予備登録・先着順申込（以下、「事前申込」）が必要な科目が相当数あり、事前申込の手続きを怠ると希望するそれらの科目は履修することができません。また、クラス指定科目、学部科目などの曜時限の重複に注意して手続きしてください。

大学コンソーシアム京都単位互換科目については、4月上旬に申込期間を設けますので掲示に注意してください。（p.87 参照、学部生のみ申請可）

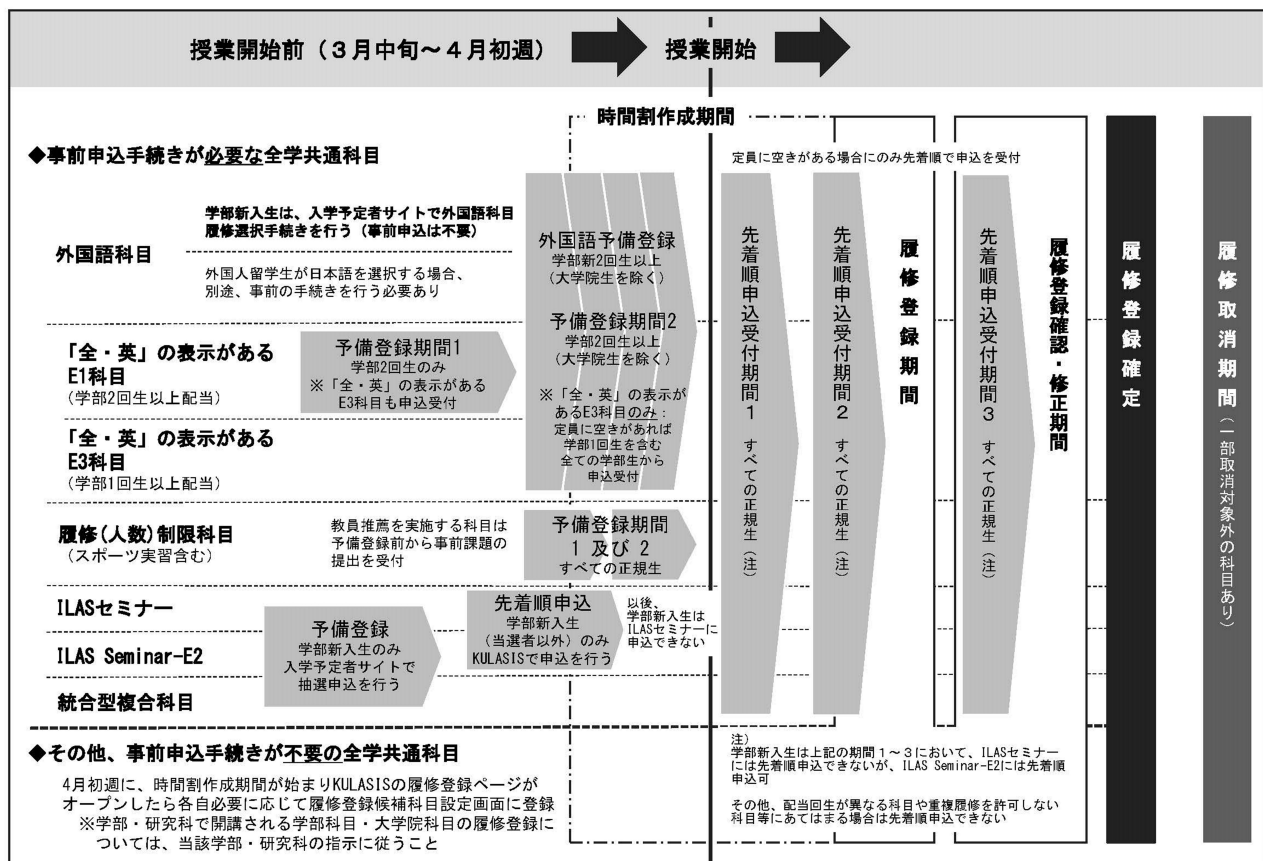
集中講義のうち、ILAS セミナー（学部1回生が前期集中科目に申し込む場合のみ）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（大学院生のための英語プレゼンテーションおよび大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップ I・II は除く）および大学院横断教育科目群（問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1・L2は除く）の集中講義は KULASIS での履修登録が必要です。

まず、全学共通科目の履修登録に関するスケジュール（イメージ図）を以下に示します。事前申込手続きが必要な全学共通科目に関する申込方法等の詳細は後述します。

本手引きでは、事前申込手続きの開始日時・終了日時をはじめ、履修登録に関する具体的な日程は記載していません。具体的な日程は、前期・後期とも、KULASIS のお知らせ（教務・厚生情報）および掲示等により事前に周知しますので、各自で必ず確認してください。

なお、各種手続きの締切時間を厳守してください。締切時間以降は手続きできません。余裕をもって手続きをしてください。

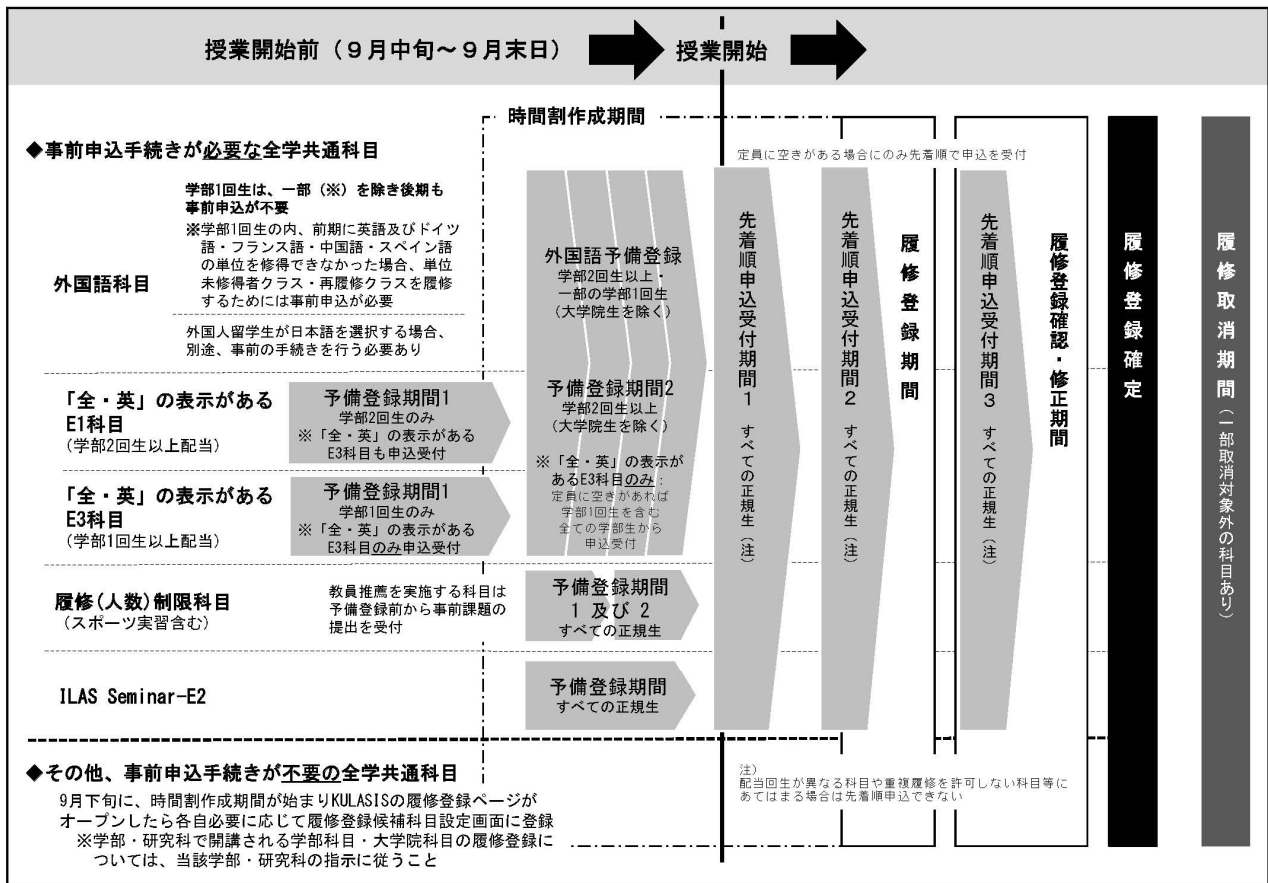
【前期】全学共通科目の履修登録スケジュール（イメージ図）



※通年科目の履修登録は前期に行います。後期に通年科目の履修登録の変更および取消はできません。前期に通年科目の履修登録を行う際には、後期の履修科目についても考慮しておいてください。

※上記「事前申込手続きが必要な全学共通科目」以外に、令和7年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、前期・後期とも学部2回生以上が履修を希望する場合には事前申込が必要です。授業開始前に申し込みを受け付ける予定ですが、詳細は掲示等でお知らせします。

【後期】全学共通科目の履修登録スケジュール（イメージ図）



以下、(1) 履修登録までの事前申込手続き、(2) 履修登録、および (3) KULASIS で履修登録を行わない集中講義について概要を説明します。

(1) 履修登録までの事前申込手続き

全学共通科目には、履修登録までに必要な事前申込手続きを経なければ登録できない科目があります。**事前申込には、①予備登録と②先着順申込があります。**履修を希望する科目で事前申込手続きが必要かどうか十分に確認してください。なお、これらの事前の手続きだけでは履修登録は終わっていません。履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず**確定**ボタンを押し、登録を確定しなければなりません。

なお、本項で下記のとおり指示する事前申込とは別の方法（ガイダンスへの出席、学部教務掛窓口での申込等）で事前申込を受け付ける科目があります。履修を希望する科目の申込方法を本手引きや掲示でよく確認の上、必要な事前申込手続きを行ってください。

①予備登録

以下の科目を履修登録するためには、予備登録が必要です。予備登録は、指定した期間に申し込みを受け付け、締め切り後、申込者数が定員を超過した科目では抽選を行い、履修者を決定します。申込者数が定員を超過しなかった科目では、申込者全員の履修を許可した上で、残った定員について次頁「②先着順申込」に示す要領で申し込みを受け付けます。

予備登録は授業開始前に行われますので申込期間に注意してください。

▶外国語等

1) 「全・英」の表示があるE1・E3科目の予備登録期間1：p.68～参照

前期：学部2回生

後期：学部2回生、および学部1回生（「全・英」の表示があるE3科目のみ）

※申し込みはアンケートシステムで受け付けます。

※後期の学部1回生は、「全・英」の表示があるE3科目のみに申し込み可能です。

※予備登録期間1で定員を充足しなかったクラスは、次の2)の予備登録期間2に申し込みを受け付けます。

2) 外国語(英語単位未修得者クラス、初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語)初級新規履修者・再履修クラス・中級等) 予備登録、および「全・英」の表示があるE1・E3科目の予備登録期間2 : p.53～、p.68～参照

前期 : 2回生以上の学部生、および学部1回生(「全・英」の表示があるE3科目のみ)が対象

後期 : すべての学部生が対象

※申し込みはKULASISの外国語予備登録ページで受け付けます。大学院生は対象外です。

※後期の学部1回生は、「全・英」の表示があるE3科目に加え、一部該当者のみが外国語の単位未修得者クラス・再履修クラスに申し込み可能です。

※ただし、スペイン語再履修クラス、スペイン語初級新規履修は別途申込を受け付けます。

※上記以外に、令和7年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、前期・後期とも学部2回生以上が履修を希望する場合には別途申込が必要です。

3) 日本語 : p.67 および国際高等教育院ウェブサイト「日本語授業の履修」ページ (<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/>) 参照

※日本語の履修が認められるのは、外国人留学生のみです。

※日本語を履修するためには、日本語授業登録ページで所定の手続きを行うこととプレースメントテストの受験が必要です。手続きの詳細や日程は上記ウェブサイト、KULASISのお知らせおよび所属学部・研究科等の教務担当掛を通じて配付される「日本語科目履修(受講)登録の手引き」を確認してください。

▶ ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 : p.82～参照

◇ 申し込みは、前期は入学予定者サイトで受け付けます(学部1回生のみ対象)。後期はKULASISのILAS Seminarページで受け付けます(すべての学部生・大学院生が対象)。

◇ 前期は学部1回生の履修を優先するため、学部2回生以上の予備登録はありません。学部2回生以上は下記「②先着順申込」に従い、申し込みをしてください。

▶ 統合型複合科目 : p.82～参照

◇ 申し込みは、前期は入学予定者サイトで受け付けます(学部1回生のみ対象)。後期は開講未定です。前期に引き続き開講される場合は、別途KULASIS等を通じて案内します。

◇ 前期は学部1回生の履修を優先するため、学部2回生以上の予備登録はありません。学部2回生以上は下記「②先着順申込」に従い、申し込みをしてください。

▶ 履修(人数)制限科目 : p.73～参照

◇ 前期・後期ともに、すべての学部生・大学院生が対象

◇ 申し込みは、KULASISの履修(人数)制限ページで受け付けます。予備登録は2回実施します(予備登録期間1・2)。

◇ 履修(人数)制限科目には、スポーツ実習科目も含まれます。スポーツ実習科目の履修を希望する場合は、この予備登録で希望クラスに申し込んでください。(p.75参照)

▶ 大学コンソーシアム京都単位互換科目 : p.87参照

◇ 履修することができる科目や出願方法等詳細は3月下旬にKULASIS等により周知します。

◇ 前期・後期・通年・集中開講の科目とも、所定の期日(4月上旬)までに全学共通科目学生窓口に申し込んでください。KULASISを通じての申し込みではありません。なお、追加募集がある場合は9月上旬にKULASIS等により周知します。

◇ 公益財団法人大学コンソーシアム京都を通じて履修手続きを行うため、下記「②先着順申込」は受け付けません。

②先着順申込

▶ 先着順申込受付期間1～3

上記「①予備登録」で、申込者数が定員を超過しなかった科目では、申込者全員の履修を許可した上で、空き定員に

ついて、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。すべての学部生・大学院生が対象です。

また、申込者数が定員を超過した科目についても、履修を許可された学生が当該科目を KULASIS の履修登録候補科目設定画面から削除したことで、定員に空きが生じた場合には、空いた定員への申し込みを、キャンセルが生じた期間の次の先着順申込受付期間（先着順申込受付期間 2 または 3）に受け付けます。（即座にキャンセルが申込者数に反映されるわけではありません。）

この先着順申込は、KULASIS の履修登録ページから受け付けます。その際、各科目の履修対象や履修するにあたっての条件は、予備登録の場合と同じです。

先着順申込受付期間は、前期・後期とも、概ね、

期間 1 : 上記「①予備登録」終了後 から 授業 1 週目終了の間

期間 2 : 授業 2 週目開始 から 履修登録期間

期間 3 : 履修登録確認・修正期間

に設定されますが、具体的な開始日時・終了日時は、掲示等により必ず確認してください。

この先着順申込においては、先着順で申し込みを受け付けると同時に履修を許可（KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示）しますが、授業開始後に申し込みを行って許可された場合において、それまでの授業を受講できなかったことや課題等を提出できなかったことなどに対する教員による配慮は原則としてありません。また、学習支援システム（PandA）等のコースサイトへの履修データの連携が遅れる場合がありますので、注意してください。なお、許可された科目の削除は随時可能です。

次の項目にあるとおり、前期における ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 の先着順申込については、回生によって異なる期間・手続きを設けていますので、注意してください。

▶ ILAS セミナー：p.82～参照

前 期
<p>【学部 1 回生（入学予定者サイトでの予備登録で許可がない学生に限る）】 授業開始前に申し込み期間を設けます。 申し込みは KULASIS の ILAS セミナーページで受け付けます。</p> <p>【学部 2 回生以上】 上記の先着順申込受付期間 1～3 に受け付けます。 申し込みは KULASIS の履修登録ページで受け付けます</p>

※学部 1 回生と学部 2 回生以上とで申し込み期間、申込方法が異なりますので注意してください。

※ILAS セミナーは後期には開講されません。

▶ ILAS Seminar-E2：p.82～参照

前 期	後 期
<p>【学部 1 回生（入学予定者サイトでの予備登録で許可がない学生に限る）】 授業開始前に申し込み期間を設けます。 申し込みは KULASIS の ILAS セミナーページで受け付けます。</p> <p>【回生を問わず（学部 1 回生も含む）】 上記の先着順申込受付期間 1～3 に受け付けます。 申し込みは KULASIS の履修登録ページで受け付けます。</p>	<p>【回生を問わず】 上記の先着順申込受付期間 1～3 に受け付けます。 申し込みは KULASIS の履修登録ページで受け付けます。</p>

(2) 履修登録

全学共通科目を履修するためには、履修登録が必要です。前期に登録する科目は、「全学共通科目授業一覧」（p.126

～参照)の開講期が「前」(前期)、「前集」(前期集中)、「通」(通年)または「通集」(通年集中)の科目です。後期に登録する科目は、開講期が「後」(後期)または「後集」(後期集中)の科目です。クラス指定科目の時間割は、「IV. 全学共通科目授業時間割」(p.168～参照)の「クラス別時間割(学部1回生)」で確認してください。

全学共通科目の履修登録は、一部の集中講義を除き KULASIS で行います。前期および後期の履修登録期間に KULASIS で履修登録を行い、履修登録確認・修正期間に、登録されていることを必ず確認してください。事前申込を行った科目を含め、必ず履修登録期間、履修登録確認・修正期間に [確定] ボタンを押してください。KULASIS で履修登録を行わない集中講義については、掲示等で周知する指示に従い、申し込みを行ってください。

①時間割作成期間

- ◇ 前期は4月初週に、後期は9月下旬に、KULASIS の履修登録ページがオープンし、時間割作成期間が始まります。履修登録候補科目設定画面に履修を希望する科目を設定し、時間割を作成してください。なお、時間割の作成だけでは登録は終わっていません。以下の「②履修登録期間」、さらに必要な場合には以下の「③履修登録確認・修正期間」にも、必ず[確定]ボタンを押し、履修登録を確定してください。
- ◇ 事前申込により履修が許可された科目は、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に随時表示されます。なお、これらの科目は、「③履修登録確認・修正期間」が終了するまでは随時、履修登録候補科目設定画面から削除することができますが、履修しないことを決めた科目については、当該科目の履修を希望する他の学生が履修の機会を得ることにつながるため、その時点で履修登録候補科目設定画面から削除してください。ただし、事前申込により履修が許可された科目を一度削除すると、もとに戻すことはできませんので KULASIS の操作に注意してください。
- ◇ 学部1回生について、入学予定者サイトで英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語またはアラビア語を選択した場合には、前期・後期とも履修クラスが指定され、あらかじめ KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。これらの科目を誤って削除した場合、速やかに全学共通科目学生窓口に申し出てください。
- ◇ 外国語科目群日本語科目(初級・中級・上級)に申し込んだ場合は、授業開始日～第1週終了までに履修登録確定科目として KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。

②履修登録期間

- ◇ 集中講義以外の全ての履修希望科目を登録のうえ、[確定]ボタンを押してください。ただし、集中講義のうち、ILAS セミナー(学部1回生が前期集中科目に申し込む場合のみ)、外国語科目群(スペイン語 IA・IB(会話)は除く)、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群(大学院生のための英語プレゼンテーションおよび大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップ I・II は除く)および大学院横断教育科目群(問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1・L2は除く)は、この期間に履修登録が必要です。
- ◇ この期間に[確定]ボタンを押し履修登録を確定した後で修正が必要となった場合、確定を解除しますので、この期間最終日の18:45までに全学共通科目学生窓口に申し出てください。確定が解除された後、必要な修正を行い、必ずこの期間内に、再度[確定]ボタンを押してください。なお、下記「③履修登録確認・修正期間」にも、随時、履修登録候補科目の追加・削除が可能です。
- ◇ この時点では、登録不備科目はエラー表示されませんので、「③履修登録確認・修正期間」に必ず確認してください。

《履修登録に関する注意事項》

◆履修登録科目数についての制限(学部生のみ)

すべての学部で学部毎に開講期に履修登録できる科目数(単位数・コマ数)の上限が設定されています。制限の詳細は、「V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.180～)を参照してください。

◆配当回生についての制限

授業科目で指定されている対象回生が上級回生である科目は、原則として履修することができません。大学院共通科目群および大学院横断教育科目群の科目は、学部生の履修を許可しません。

▶ 例外

- ① 自然科学科目群、情報科学科目群および健康・スポーツ科目群の科目は、上級回生に配当されている科目であっても履修することが可能です。
- ② 人文・社会科学科目群の科目(E1科目は除く)、外国語科目群の科目(初修外国語初級免除(p.53)が認められた学生に限る)については、担当教員の了承をもって上級回生配当科目の履修を許可します。初回授業時に、

特別履修のための所定の用紙(全学共通科目学生窓口で配付します)に担当教員より了承の署名を得てください。特別履修の届出の全学共通科目学生窓口への提出期限は、前期・後期ともそれぞれ履修登録期間の最終日の13:00です。事情により提出が締め切りに間に合わない場合は、事前に全学共通科目学生窓口に申し出てください。

◆科目・授業の複数履修についての制限

同じ科目名、授業名のものは、同一開講期に複数登録できません。

同一と判定される異なる科目名、授業名のものは同一開講期に登録することができますが、複数合格した場合でも卒業に必要な単位として認められるのは1つだけです。

同一と判定される複数の科目、授業については、これらを異なる開講期に履修することはできますが、その場合、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます。

科目および授業の同一判定は、次の基準により行います。

▶ 科目の同一判定

- ① 同じ科目名である複数の科目は、同一科目とみなされます。
- ② 「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」(p.107～)において、備考欄に同一科目と記載されている科目があれば当該科目と同一科目とみなされます。
- ③ 以前に開講された科目が、科目名変更された場合も、名称変更後のその科目と同一科目とみなされます。

▶ 授業の同一判定

- ① 同じ授業名である複数の授業は、同一授業とみなされます。
- ② 「統合科学」や「統合科学・少人数演習付」、「スポーツ実習」等、複数の副題や種目が開講される科目において、副題・種目が異なる場合は同一授業とみなされます(講義コードの上位4桁が同じ)。
- ③ 工学部地球工学科国際コース向けの授業等、日本語と同一の内容が英語の授業として開講される場合は、同一授業とみなされます。

▶ 例外

- ① 外国語科目群には、同じ科目名であっても同一開講期・異なる開講期どちらにおいても、複数履修が可能な科目があります(「5. 外国語の履修について」(p.53～)参照)。
- ② イタリア語 IA (4H コース) はイタリア語 IA (文法)、イタリア語 IA (演習) の各々と、イタリア語 IB (4H コース) はイタリア語 IB (文法)、イタリア語 IB (演習) の各々と同一科目として判定しますが、同一科目判定される科目の単位を複数修得した場合、いずれの科目の修得年度・修得期が早いかにかかわらず、4H コースの単位を卒業に必要な単位として認定します。
- ③ 「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」(p.107～)で「英語授業の有無」欄に丸印のある科目は、「Ⅲ. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)でE科目に指定されているものとは同一授業とみなされません。日本語授業と英語授業(E科目)の両方を履修し、単位を修得したときは、原則として両方とも卒業に必要な単位として認められます。ただし、所属学部によって扱いが異なる場合があります。
- ④ 「外国文献研究(全・英)-E1」は、同じ科目名で副題が異なる授業が複数開講されますが、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修が可能です。ただし、同一教員が授業担当責任者(「Ⅲ. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)参照)である授業を複数履修した場合は同一授業とみなされ、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます(「6. E科目(英語関連科目)の履修について」(p.68～)参照)。なお、学部2回生は、原則として、各開講期1科目を履修の上限とします。
- ⑤ 「外国文献研究(経・英)A・B-E1」は、同じ科目名であっても、異なる開講期において複数履修が可能です。同一科目かつ同一教員が担当する授業の複数履修はできません。また、4単位を超えて履修することはできません。
- ⑥ 少人数教育科目群の科目は、同じ科目名で副題が異なる授業が複数開講されますが、担当教員にかかわらず、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修することが可能です。ただし、学部1回生が履修できるILASセミナーは1科目のみです(「11. ILASセミナー・統合型複合科目等の履修について」(p.82～)参照)。

◆クラス指定科目

クラス指定科目とは、所属学部で指定・推奨をしている授業科目や、履修者数を調整するためにあらかじめ授業クラス別の授業時間割が組まれている授業科目をいいます。

クラス指定科目を全て履修するかどうかは各自の選択によりますが、当該科目を履修するには、原則として自クラスで履修しなければなりません。よって、学部1回生が全学共通科目の自由選択科目または必修ではない学部科目を履修するために、自クラスの指定科目を他クラスに変更することは原則としてできません。

▶ 例外

学部1回生が自クラスに配当されていないクラス指定科目の履修を希望する場合、担当教員の了承をもって、他クラスに指定されている当該科目の履修を許可します。初回授業時に特別履修のための所定の用紙（全学共通科目学生窓口で配付します）に、担当教員より了承の署名を得てください。特別履修の届出の全学共通科目学生窓口への提出期限は、前期・後期ともそれぞれ履修登録期間の最終日の13:00です。事情により提出が締め切りに間に合わない場合は、事前に全学共通科目学生窓口へ申し出てください。

なお、自由選択科目を兼ねるクラス指定科目を履修する場合、および学部2回生以上が他クラス指定科目を履修する場合は、特別履修手続きによらず履修登録することができます。ただし、履修制限や人数制限が実施されることがあるので注意してください。

◆ 全学共通科目における同一曜時限についての制限

以下の例外を除き、同一曜時限に重複して複数の全学共通科目を履修登録することはできません。

▶ 例外

「微分積分学 A・B（講義・演義）」と「線形代数学 A・B（講義・演義）」は、それぞれ毎週の講義と隔週の演義（演習）で構成され、重複する曜時限では微分積分学と線形代数学の演義の授業が原則1週ごとに交互に開講されるクラス指定科目です。これらの科目には、互いに同一のクラス指定がなされている微分積分学（講義・演義）と線形代数学（講義・演義）のペアが存在します。それらを組み合わせると、同一曜時限複数登録不可の例外として、演義の授業が開講される曜時限に重複があっても履修登録することができます。KULASIS の履修登録候補科目設定画面において、科目名に続けて表示されるクラス、あるいは講義コードの下位2桁が同一の微分積分学（講義・演義）と線形代数学（講義・演義）の組み合わせで履修登録してください。

なお、演義の授業が同一曜時限に開講されていても、互いに異なるクラス指定がなされている微分積分学（講義・演義）と線形代数学（講義・演義）の組み合わせの場合は、同一曜時限複数登録不可とみなされるため履修登録することができません。

◆ 全学共通科目と学部・大学院科目の二重登録の制限

全学共通科目と学部・大学院科目を同一曜時限に重複して履修登録すること（二重登録）は原則できません。

◆ 通年科目の履修登録

通年科目の履修登録は前期に確定するため、後期に通年科目の履修登録の変更および取消はできません。前期に通年科目の履修登録を行う際には、後期の履修科目についても考慮しておいてください。

③ 履修登録確認・修正期間

- ☆ この期間に KULASIS にアクセスし、集中講義以外の自分が登録した全ての履修希望科目の曜日、時限、教員名等を十分に確認のうえ、[確定]ボタンを押してください。ただし、集中講義のうち、ILAS セミナー（学部1回生が前期集中科目に申し込む場合のみ）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（大学院生のための英語プレゼンテーションおよび大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップ I・II は除く）および大学院横断教育科目群（問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1・L2 は除く）は、この期間に履修登録が必要です。
- ☆ 「②履修登録期間」の登録に不備のあった科目は、エラー科目として表示されます。エラー科目は不備を解消しなければ、再度候補科目に追加しても登録できません。エラー科目や削除・追加したい科目がある場合は、この期間に確認・修正をしてください。この期間終了後は修正することができません。なお、この期間に登録した内容にエラー科目があった場合、エラー科目を除いた状態で、履修登録が決定します。
- ☆ 「②履修登録期間」に登録を確定し、エラー科目がない場合でも、先着順申込受付期間3に先着順で申し込みをした科目を履修するには、この期間にも[確定]ボタンを押し、登録を確定する必要があります。
- ☆ 例年、登録確認を怠り、登録されていないことに気付かずに授業に出席し、試験を受ける学生がありますが、履修登録していない科目の単位は認定されません。

- ◇ この期間に[確定]ボタンを押し履修登録を確定した後で修正が必要となった場合には、確定を解除しますので、この期間の最終日 18:45 までに全学共通科目学生窓口に申し出てください。確定が解除された後、必要な修正を行い、必ずこの期間内に、再度[確定]ボタンを押してください。[確定]ボタンを押さなかった場合は、「②履修登録期間」の状態（ただし、エラー科目は除く）で、履修登録が決定します。

④履修登録確定

- ◇ 確定日以降、KULASIS の My Page に履修登録された科目の時間割が表示されます。
- ◇ 履修登録期間、履修登録確認・修正期間、どちらも[確定]ボタンを押さず、登録を確定しなかった場合、原則として、当該期の全学共通科目の履修はできません。

⑤履修取消期間

- ◇ 履修登録確定の後、履修を取り消したい科目がある場合は、この期間に KULASIS の履修取消ページより当該科目を選択し、[確定]ボタンを押してください。この期間の終了以降は、履修登録の取り消しは原則として認められません。この期間に履修登録の取り消しの手続きを取らなかった科目は、その科目の試験を受験しなかった、またはレポート等を提出しなかった等の場合であっても、全て成績評価の対象となります。
 - ◇ 通年科目の履修取消は、前期の履修取消期間に手続きしてください。後期に取り消すことはできません。
 - ◇ 次の科目は、履修取消を認めません。
 - ・英語の学部 1 回生クラス指定科目（「Scientific English IA・IB」を含む）（※1）
 - ・ドイツ語の学部 1 回生クラス指定科目（※2）
 - ・フランス語の学部 1 回生クラス指定科目（※2）
 - ・中国語の学部 1 回生クラス指定科目（※2）
 - ・スペイン語の学部 1 回生クラス指定科目（※2）
 - ・アラビア語の学部 1 回生クラス指定科目（※3）
 - ・「外国文献研究（経・英）A・B-E1」
 - ・KULASIS で履修登録を行わない集中講義（下記（3）参照）
 - ・履修取消期間前に授業が終了する少人数教育科目群・大学院共通科目群・大学院横断教育科目群の科目
 - ※1 単位未修得者クラス、および英語ライティングーリスニングの上級クラスについては取り消すことができます。
 - ※2 学部 2 回生以上が学部 1 回生クラス指定科目を履修登録した場合であっても、履修者自身の学年に関係なく履修取消を認めません。なお、再履修クラスについては取り消すことができます。
 - ※3 令和 7 年度において、アラビア語 IA・IB は学部 1 回生クラス指定科目として扱われるため、履修取消を認めません。また、学部 2 回生以上が履修登録した場合であっても、履修取消を認めません。
- ◇ この期間に履修取消を確定した後で、修正が必要になった場合、確定を解除しますので、この期間の最終日の 17:15 までに全学共通科目学生窓口に申し出てください。確定が解除された後、必要な修正を行い、必ず期限までに、再度[確定]ボタンを押し、確定してください。確定しなかった場合は、履修取消の申請がなかったものとして取り扱われます。
 - ◇ この期間には履修登録の取り消しのみ可能です。登録科目の追加・修正はできません。

(3) KULASIS で履修登録を行わない集中講義

集中講義は、履修登録期間（確認・修正期間含む）の KULASIS での履修登録を行いません。掲示等で履修申込方法等の詳細を案内しますので、確認のうえ、その指示に従い、別途申し込みをしてください。実施時期等が未定の授業科目は、決定次第掲示します。

KULASIS で履修登録をしない集中講義は、原則として登録確定後の履修取消を認めません。

ただし、集中講義のうち、ILAS セミナー（学部 1 回生が前期集中の ILAS セミナーに申し込む場合のみ）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（大学院生のための英語プレゼンテーションおよび大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップ I・II は除く）および大学院横断教育科目群（問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1・L2 は除く）の集中講義は、履修登録期間（確認・修正期間含む）に KULASIS で履修登録を行います。

なお、前期 8 月中旬以降・後期 2 月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に反映されます。

5. 外国語の履修について

国際高等教育院では、外国語科目群として、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語を開講しており、英語以外の外国語を、一律に初修外国語と称しています。

英語および初修外国語（以下、「外国語」）の履修にあたり、各学部の必要単位数と履修の要件（各学部の指示事項、学部便覧等）を確認した上で、後述の指示に従い科目を選択してください。なお、各制限事項に反する予備登録・先着順申込（以下、「事前申込」）、履修登録は全て無効であり、単位の認定もされないので注意してください。

(1) 全ての外国語についての注意事項

- ① 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が、外国語科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として算入されます。各科目の単位数は「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)を参照してください。
- ② 初修外国語の初級の履修にあたっては、原則として以下のとおり履修しなければなりません。
 1. 日本語以外において、[IB（文法）/IB（演習）]を履修するためには、[IA（文法）/IA（演習）]の履修歴を有すること。
 2. イタリア語および日本語以外は前・後期それぞれに同一言語の2クラス（文法、演習）を履修すること。
 3. イタリア語は前・後期それぞれに文法、演習または4Hコースのクラスを履修すること。
 4. 日本語はプレースメントテストの結果に従い、履修クラスを選択すること。
- ③ 入学時に初修外国語初級免除申請（国際高等教育院ウェブサイト（<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/language/remission>）を参照）の手続きにより中級からの履修を認められた学生は、本学で初級の単位を修得することなく中級以上の科目を履修することができます。この場合、学部1回生時は上級回生に配当されている科目を履修することになるため特別履修の手続きを経て履修してください（p.49参照）。学部2回生以降は通常の事前申込を行ってください。なお、初修外国語初級免除は初級の単位数が免除されるのではなく、卒業に必要な単位数を中級以上で修得しなければなりません。
- ④ 入学時に認定された既修得単位で外国語の中級以上の科目を履修するための要件を充足した学生が、学部1回生時に当該外国語の中級以上の科目の履修を希望する場合は、前期・後期とも、それぞれ履修登録期間の最終日の13:00までに全学共通科目学生窓口まで相談に来てください。学部2回生以降は通常の事前申込を行ってください。
- ⑤ 通常、同じ科目名の科目を2つ以上修得した場合は、修得年度・修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として認められません。また、1週間のうちに複数開講されている科目は同一開講期に1つしか履修登録できません。しかし、次の外国語科目は例外として複数履修することが可能です。ただし、同一テキストまたは同一教員が同じ内容で授業を行う科目の重複履修はできません。重複履修不可クラスは、各外国語のページを参照してください。なお、一開講期に履修できるクラス数の上限は、各外国語のページを参照してください。

[英語リーディング]

[ドイツ語IIA・IIB、IIA（会話）・IIB（会話）、IIA（CALL）・IIB（CALL）、IIA（ライティング）・IIB（ライティング）、IIIA・IIIB]

[フランス語IIA・IIB、IIA（演習）・IIB（演習）、IIIA・IIIB]

[中国語IIA・IIB]

[ロシア語IIA・IIB、IIIA・IIIB]

[イタリア語IIA・IIB、IIA（演習）・IIB（演習）]

[スペイン語IIA・IIB、IIA（演習）・IIB（演習）]

[朝鮮語IIA・IIB、IIA（演習）・IIB（演習）]

[アラビア語IIA・IIB、IIA（演習）・IIB（演習）]

- ⑥ 原則として、外国語科目名のAは前期、Bは後期を意味しています。修得できなかった中級以上の初修外国語を履修登録する際に、開講期を揃える必要はありません（例：修得できなかった「ドイツ語IIB」分の単位を翌年度の「ドイツ語IIA」で修得することができます）。英語リーディングは開講期の区別がありませんので、修得できなかった「英語リーディング」分の単位を翌期に開講される「英語リーディング 単位未修得者クラス」で修得することができます。
- ⑦ 事前申込を要する科目は、まず、予備登録期間に履修を希望するクラスに申し込みをしてください。予備登録期間終了後、定員に空きがあるクラスは先着順申込受付期間に先着順で申し込みを受け付けます。（p.55参照）。

- ⑧ 日本語を母語としない外国人留学生は、母語である言語を外国語として履修することが原則としてできません。ただし、学部により取り扱いが異なりますので、各学部の便覧等を確認してください。

(2) 学部 1 回生の履修クラスについて

- ① 入学予定者サイトで英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語またはアラビア語を選択した場合には履修クラスを指定します。KULASIS の履修登録ページで確認の上、指定されたクラスを履修してください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語を選択した場合は、各自で開講されているクラスの中から選んで履修してください。日本語を選択した場合は、指示に従って履修してください (p.67 参照)。
- ② 「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」、「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は、自由選択制です。ただし、「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」の履修にあたっては要件があり、事前の申請が必要となります (p.57 参照)。「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は通年科目ですので、履修登録した場合 (履修取消した場合を除く)、後期に IB (文法)、IB (演習) の履修クラスを指定しません。
- ③ 学部 1 回生の外国語は全て第 1 回目の授業時間に教室に集合してください (履修クラスが指定されている場合は教科書持参のこと)。履修クラスが指定されていない科目は、履修希望学生が多数の場合に急きょ人数制限を行うことがあります。英語のクラス編成は、リーディングとライティングーリスニングとで異なりますので、KULASIS [4 月 2 日 (水) 発表] で各自確認してください。
- ④ 前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 IA」・「フランス語 IA」・「中国語 IA」・「スペイン語 IA」を履修し単位を修得できなかった場合、後期開講の「英語リーディング単位未修得者クラス」・「英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラス」・「ドイツ語 IA 再履修クラス」・「フランス語 IA 再履修クラス」・「中国語 IA 再履修クラス」・「スペイン語 IA 再履修クラス」をそれぞれ履修することにより、当該科目の単位を同一年度に補うことができます。これらは事前申込が必要です。事前申込についての詳細は、「(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込]」を参照してください。ただし、学部 1 回生が KULASIS の外国語予備登録ページにアクセスし、上記の単位未修得者クラス・再履修クラスに申し込むことができるのは、前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 IA」・「フランス語 IA」・「中国語 IA」・「スペイン語 IA」を履修し単位を修得できなかった場合に限りです。
- ⑤ 入学予定者サイトで選択した外国語の変更を希望する場合、また 3 か国語以上の外国語の履修を希望する場合は、前期は履修登録期間の最終日の 13:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。ただし、令和 7 年度のアラビア語初級およびスペイン語初級においては人数制限を実施する都合上、申し出が認められないことがあります。後期から英語、ドイツ語またはフランス語への変更または 3 か国語以上の外国語として新規履修を希望する場合は、各自で予備登録してください ((3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] 参照)。ただし、後期の外国語予備登録ページにおいて単位未修得者クラス・再履修クラスに申し込むことができる学部 1 回生は上記④のただし書きの場合に限られますので、該当しない場合は速やかに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。履修登録期間の最終日の 13:00 まで申し出を受け付けます。後期から日本語の履修を希望する場合は、指示に従って履修してください (p.67 参照)。

(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] (一部、学部 1 回生後期を含む)

学部 2 回生以上は、各外国語とも全て自由選択制となっていますが、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語については、下記のとおり事前申込が必要です (「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は除く)。

授業開始日前に申し込みの受付が始まりますので、申込期間に注意してください。外国語予備登録ページは予備登録開始日の約 2 週間前 (前期は 3 月中旬、後期は 9 月中旬) から KULASIS に表示されます。事前申込の日程は、掲示等により事前に周知します。

また、外国語予備登録等に関してよくある質問をまとめた「外国語予備登録 Q&A」を国際高等教育院ウェブサイトの「在学生・学内の方へ」の Q&A 内に掲載していますので、参考にしてください。

日本語については p.67 の指示に従って履修してください。その他の外国語 (ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語※中級) については事前申込は不要ですが、履修希望者多数の際は人数制限を行うことがあります。掲示による指示がある場合はそれに従い、ない場合は必ず第 1 回目の授業に出席してください。

※令和7年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、前期・後期とも学部2回生以上が履修を希望する場合には事前申込が必要です。授業開始前に申し込みを受け付ける予定ですが、詳細は掲示等でお知らせします。なお、アラビア語中級については事前申込は不要ですが、必ず第1回目の授業に出席してください。

《英語単位未修得者クラス、初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語）新規履修・再履修クラス・中級等の事前申込について》

事前申込（予備登録・先着順申込）は、下記のとおり KULASIS から行います。ただし、スペイン語再履修クラス、スペイン語学部1回生向けクラス指定科目の新規履修は別途申し込みを受け付けます（外国語予備登録ページに申込方法を別途掲示します）。

なお、事前申込が必要な通年クラスには前期に申し込むため、後期の事前申込は必要ありません。

①予備登録

（対象学生）

前期の外国語予備登録は、2回生以上の学部生が対象です。

後期の外国語予備登録は、2回生以上の学部生に加え、単位未修得者クラス・再履修クラスを履修する学部1回生も対象です。

事前申込が必要なドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語のクラスの履修を希望する大学院生は、「②先着順申込」から申し込みを受け付けます。（大学院生は、本予備登録の対象外です。）

（方法・手順） ※「全・英」の表示がある E1・E3 科目の予備登録期間2と同時並行で実施します。

KULASIS の外国語予備登録ページから、希望クラスを申し込んでください。前期・後期とも、授業開始前に期間を設け、4平日にわたって各日 8:00 から 18:00 に申し込みを受け付けます。各日とも、申込締め切り後、申込者数が定員を超えたクラスについて抽選を行います。2日目以降は、前日までの抽選の結果、定員に達しなかった科目のみ申し込みを受け付けます。

1回の申込につき各カテゴリーごとに1クラスに申し込むことができます。カテゴリーは、各外国語においてそれぞれ複数設定されており、外国語予備登録ページの申込画面で確認することができます。1カテゴリーにつき2科目以上の申し込みをする場合は、まず、1科目のクラスが決定してから、2回目の申込日以降に2科目めの申し込みを行ってください。

外国語によって再履修クラスの有無や、クラス定員や登録可能クラス数の上限が異なるので、詳細は「(4) 各外国語科目の説明と履修上の注意事項」（次頁以降）のほか、外国語予備登録ページに掲載される内容を確認してから申し込んでください。

（抽選・結果発表）

各日の抽選終了後、結果をメールで送信します。結果は KULASIS の外国語予備登録ページでも確認できます。落選した場合、および同一カテゴリーの2科目めを申し込む場合は、同じ方法で次回の申込日以降に申し込んでください。

4回目の申込日の抽選終了後、予備登録で許可された科目（キャンセルした科目を除く）が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。

②先着順申込

（対象学生）

先着順申込は、すべての学部生・大学院生が対象です。

（方法・手順）

「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」に記載の「②先着順申込」（p.47～）を参照してください。

③履修登録期間および履修登録確認・修正期間

予備登録・先着順申込により履修が許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されていることを確認の上、必ず「確定」ボタンを押してください。予備登録・先着順申込だけではまだ履修登録は終わっていません。

(4) 各外国語科目の説明と履修上の注意事項

A. 英語の科目編成

英語は大別して、リーディングクラスとライティング・リスニングクラスの二つの区分があり、それぞれを履修しなければなりません。前者は、学部の履修方針に応じた学術的な文献やまとまった長さを持つ洋書などのアカデミックリーディングを通じ、英語による学術的教養の涵養を目標としています。後者は、エッセイやレポートなどのアカデミックライティングを通じ、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、オンラインによるアカデミックリスニング課題に取り組むことにより、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力の育成を目指します。いずれのクラスも、大学の英語科目としてふさわしい内容とレベルを考慮しています。

ライティング・リスニングクラスについては、上級者用クラス（「英語ライティング・リスニング A 上級」、「英語ライティング・リスニング B 上級」）を開講します。これらのクラスは自由選択制であり、申請し認められれば、指定クラスの代わりに履修することができます。申請の手続きおよび日程の詳細については、ガイダンスおよび KULASIS での案内をご覧ください。

平成 30 年度をもって平成 27 年度以前学部入学者対象の英語Ⅱは廃止されました。平成 27 年度以前学部入学者で卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修してください。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディングおよび英語ライティング・リスニング A・B を履修することはできません。

◆ 英 語 ◆

《英語》〔E〕（平成 28 年度以降学部入学者対象）

※事前申込は p.55 参照

科目名	符 号	開講期	単 位	対象回生	定員	事前 申込	備 考
英語リーディング	ER	前期	2	1 のみ	約 40	要	学部 1 回生専用クラス・アカデミックリーディング
		後期	2	1 のみ	約 40		
	ESR	前期	2	2 以上	約 60	要	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 60		
英語ライティング・リスニング A	EWLA	前期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		前期	2	1 のみ	約 25		学部 1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLA	前期	2	2 以上	約 50		要
後期	2	1 以上	約 50				
英語ライティング・リスニング B	EWLB	後期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		後期	2	1 のみ	約 25		学部 1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLB	前期	2	2 以上	約 50		要
後期		2	2 以上	約 50			

【履修上の注意】

- ◇ 英語は全て半期科目で、各 2 単位です。アカデミックリーディングの英語リーディング (ER) と、アカデミックライティング&アカデミックリスニングの英語ライティング・リスニング (EWLA および EWLB) に区分されています。
- ◇ 学部 1 回生は開講期ごとに、英語リーディングと英語ライティング・リスニングを両方履修してください。
- ◇ 4 月 12 日 (土) に実施予定の TOEFL ITP 試験の受験を、学部 1 回生後期以降の英語科目の履修登録の要件としています。英語選択者は必ず受験してください。なお、英語選択者以外の者で、後期から英語を新規履修しようとする場合も、後期開始前に TOEFL ITP 試験を受験する必要があります。該当する場合は、速やかに全学共通科目学生窓口申し出てください。

◇12月6日(土)に実施予定の TOEFL ITP 試験の成績を、後期開講の英語ライティングーリスニング B の成績評価の一部として利用します。詳細はシラバスで確認してください。

◇英語ライティングーリスニング B 単位未修得者クラスにおいても、成績評価の一部として学部 1 回生時の後期に受験した TOEFL ITP 試験の成績を利用します。なお、希望すれば改めて TOEFL ITP 試験を各自で受験し、その成績を成績評価の一部として利用することができます。ただし、その受験料(約 5,000 円)は、履修者の負担とします。

◇英語ライティングーリスニング A・B では、以下の 1) ~ 3) のいずれかの判断基準を満たす学生を対象に上級クラスを開講します。より発展的な英語学習を希望する人は積極的に受講してください。履修可否の判断に必要ですので、履修希望者は原則として初回授業を受講してください。履修可否を判断するにあたって初回授業の履修姿勢を考慮することがありますので、履修希望者は原則、初回授業を受講してください。履修希望者多数の際は履修(人数)制限を行います。申請期間や申請方法、オンラインリスニング課題の取り扱い、成績評価方法などの詳細については、ガイダンスやリスニングオフィスアワーにおいて説明します。事前案内は、前期は 4 月初旬、後期は 9 月下旬に掲示します。

- 1) TOEFL iBT のスコアが 80 以上の学生、もしくは IELTS のスコアが 6.0 以上の学生
- 2) 学部 1 回生の 4 月に一斉受験する TOEFL ITP で 600 点以上のスコアがあった学生(「英語ライティングーリスニング B 上級」履修の場合に限る)
- 3) 英語を日常的に使用する環境(外国の学校、インターナショナルスクールなど)で教育を受けた学生のうち、国際高等教育院で実施する資格審査に合格した学生

◇学部 1 回生専用英語リーディングおよび英語ライティングーリスニングは事前申込不要ですが、単位未修得者クラスは事前申込が必要です。事前申込については、国際高等教育院ウェブサイト(<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp>)の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。

◇英語リーディングの単位が不足している場合は、開講期に関係なく単位未修得者クラスを履修してください。例えば、前期開講の英語リーディングの単位を、後期開講の英語リーディング単位未修得者クラスの単位で補うことが可能です。

◇前・後期にかかわらず、英語リーディング単位未修得者クラス、英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングーリスニング B 単位未修得者クラスが開講されますが、一開講期に履修できる単位未修得者クラスは、原則英語リーディングが 1 クラス、英語ライティングーリスニング A または B から 1 クラスです。なお、この場合も英語ライティングーリスニングは A を先に履修することを推奨します。ただし、その開講期終了時の卒業や進級・コース分属などのため、当該期に英語リーディング単位未修得者クラスを 2 クラス、または英語ライティングーリスニング A および B 単位未修得者クラスの履修を希望する学生は、前期・後期とも、それぞれ履修登録確認・修正期間の最終日の 13:00 までに全学共通科目学生窓口に出してください。1 クラス目は各自で事前申込をしてください。

◇学部 1 回生の後期開始段階で英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A の単位を修得していない場合は、学部 1 回生の後期に対応する単位未修得者クラスを履修し、不足単位を補うことができます。ただし、英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングーリスニング B の並行履修は推奨しません。前期に英語ライティングーリスニング A の単位を修得していない学生は、後期に英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスのみを履修することを推奨します。

◇入学時に認定された英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A・B に相当する既修得単位がある学生が、残りの英語の不足単位分を修得する場合は、英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A・B を履修するのが原則です。

◇大学院生は、英語リーディングおよび英語ライティングーリスニングを履修することはできません。

◇工学部 25 組(地球工学科国際コース所属学生および地球工学科所属 Kyoto iUP 生)は、次のクラス指定されている英語を履修してください。

科目名	開講期	単位※	対象回生	事前申込	備考
Scientific English I A (Reading and Writing)	通年	4	1 以上	/	工学部 1 回生 25 組 クラス指定科目
Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)	通年	4			

※平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として参入されます。

B. 初修外国語（英語以外の外国語）の科目編成

①学部1回生の授業（初級）

初級の「文法」と「演習」の授業は、それぞれ相互に補いながら行われます（〇〇語IA（文法）・IB（文法）・IA（演習）・IB（演習）で8単位修得することが標準）。また、この標準的なコースの他に、インテンシブ・コースなどがある外国語もあります。学部1回生向けの授業は、当該言語の基本的構造や表現を学ぶことで、その言語圏の文化に触れるとともに、学術的言語技能の基礎を養うことを目標としています。

②学部2回生以上の授業（中級・上級）

中級では、「精読」「作文」「会話」「聴き取り」などを通じて言語技能を向上させると同時に、その言語共同体の文化や思考方法を理解するための授業が行われます。中級の授業は、初級の授業で身につけた基礎的言語技能を充実させ、学術的言語技能の涵養に資することを目標としています。

上級の授業では、高度な内容の文章を読むこと、書くこと、口頭で発表することなどが行われます。上級では、中級で身につけた言語技能をさらに発展させ、学術的言語技能の修得を目標としています。

※ 初修外国語（中級・上級）履修上の例外措置について（ドイツ語・フランス語・中国語）

初修外国語（中級・上級）については、原則として、一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生で、一開講期に3クラス以上履修することにより、その開講期終了時の卒業が期待できる場合は、「一開講期に2クラス以内」という制限を緩和する例外措置をとることがあります。修得済み単位数が卒業に必要な単位数（ただし、卒業論文などの必修科目の単位数の関係で90%超の要件を満たすことが不可能な場合は、その必修科目の単位数を除く）の90%を超えていることを証明できる成績表（の写し）などを持参のうえ、前期・後期とも、それぞれ履修登録確認・修正期間の最終日の13:00までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。2クラスは各自で事前申込をしてください。

この例外措置は、ドイツ語、フランス語、中国語に限り適用されます。

※ 大学院生の初修外国語の履修について

大学院生が KULASIS での事前申込が必要なドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語のクラスの履修を希望する場合は、定員に空きがあるクラスについて、先着順申込受付期間に、KULASIS で申し込みをしてください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語のクラスの履修を希望する場合は、担当教員の許可を得たうえで、履修登録してください。

（アラビア語初級の履修について）

令和7年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、前期・後期とも履修を希望する場合には事前申込が必要です。授業開始前に申し込みを受け付ける予定ですが、詳細は掲示等でお知らせします。なお、定員に空きがないクラスについては履修が認められないことがあります。

◆ ドイツ語 ◆

《ドイツ語Ⅰ（初級）》〔D1〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
ドイツ語ⅠA（文法）	D11A	前期	2	1以上	学部2回生以上は要	学部1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠA（演習）	D12A	〃	2			
ドイツ語Ⅰ（6Hコース）	D15	通年	12	1以上		
ドイツ語ⅠA（文法）再履修クラス	D11A	前期	2	2以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはI BまたはIの履修履歴のある学生に限る。
ドイツ語ⅠA（演習）再履修クラス	D12A	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法）再履修クラス	D11B	〃	2			
ドイツ語ⅠB（演習）再履修クラス	D12B	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法）	D11B	後期	2	1以上	学部2回生以上は要	学部1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠB（演習）	D12B	〃	2			
ドイツ語ⅠA（文法）再履修クラス	D11A	〃	2	1以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはI AまたはIの履修履歴のある学生に限る。
ドイツ語ⅠA（演習）再履修クラス	D12A	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法）再履修クラス	D11B	〃	2	2以上		
ドイツ語ⅠB（演習）再履修クラス	D12B	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。学部2回生以上の新規履修者は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び履修してください。ただし、（文法）と（演習）の双方が必要な場合はペアとなっているクラスで履修してください。1クラスのみ履修希望の場合は（文法）を履修してください。IA・IBを通して同じクラスで履修することが望めます。
- ◇後期から新たにドイツ語を履修する学生は、ドイツ語IA再履修クラスを履修してください。なお、集中クラス（CALL）は、再履修者に限るため履修できません。
- ◇（6Hコース）は（文法）と（演習）の代わりに履修することができます。
- ◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>・<上級>の単位を<初級>に替えることはできません。
- ◇平成27年度まで開講のドイツ語IA（実習）の再履修者はドイツ語IA（演習）再履修クラスを、ドイツ語IB（実習）の再履修者はドイツ語IB（演習）再履修クラスを履修してください。

《ドイツ語Ⅱ（中級）》〔D2〕・《ドイツ語Ⅲ（上級）》〔D3〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
ドイツ語ⅡA	D21A	前期	2	2以上	要	中級
ドイツ語ⅡA（会話）	D22A	〃	2			
ドイツ語ⅡA（CALL）	D23A	〃	2			
ドイツ語ⅡA（ライティング）	D24A	〃	2			
ドイツ語Ⅱ（6Hコース）	D25	通年	12	2以上	要	中級
ドイツ語ⅡB	D21B	後期	2	2以上	要	中級
ドイツ語ⅡB（会話）	D22B	〃	2			
ドイツ語ⅡB（CALL）	D23B	〃	2			
ドイツ語ⅡB（ライティング）	D24B	〃	2			
ドイツ語ⅢA	D3A	前期	2	2以上	要	上級
ドイツ語ⅢB	D3B	後期	2	2以上		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。<初級>の単位について、文法と実習（演習）の別は問いませんが、ドイツ語IAとIBの組み合わせで修得していることが望めます。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります（p.58参照）。
- ◇<上級>は<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。

◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月 4	ドイツ語 IIA	D2102	青木 三陽
	前期	火 2	ドイツ語 IIA	D2103	薦田 奈美
2	前期	水 3	ドイツ語 IIA	D2106	小林 哲也
	前期	水 3	ドイツ語 IIA	D2107	西脇 麻衣子
3	後期	月 4	ドイツ語 IIB	D2152	青木 三陽
	後期	火 2	ドイツ語 IIB	D2153	薦田 奈美

◆ フランス語 ◆

《フランス語Ⅰ（初級）》〔F1〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
フランス語ⅠA（文法）	F11A	前期	2	1 以上	学部2回 生以上は要	学部1回生向けクラス指定
フランス語ⅠA（演習）	F12A	〃	2			
フランス語Ⅰ（8Hコース）	F13	通年	16	1 以上		
フランス語ⅠB（文法）再履修クラス	F11B	前期	2	2 以上	要	文法は集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIBまたはIの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠB（演習）再履修クラス	F12B	〃	2			
フランス語ⅠB（文法）	F11B	後期	2	1 以上	学部2回 生以上は要	学部1回生向けクラス指定
フランス語ⅠB（演習）	F12B	〃	2			
フランス語ⅠA（文法）再履修クラス	F11A	後期	2	1 以上	要	文法は集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIAまたはIの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠA（演習）再履修クラス	F12A	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。再履修者で前期にIA、後期にIBの履修を希望する学生は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。
- ◇学部2回生以上の新規履修者は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。ただし、（文法）と（演習）の双方が必要な場合はペアとなっているクラスで履修してください。IA・IBを通して同じクラスで履修することが望まれます。
- ◇後期から新たにフランス語を履修する学生は、フランス語IA再履修クラスを履修してください。なお、文法の集中クラスは、再履修者に限るため履修できません。
- ◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>・<上級>の単位で、<初級>に替えることはできません。
- ◇平成27年度まで開講のフランス語IA（実習）の再履修者はフランス語IA（演習）の再履修クラスを、フランス語IB（実習）の再履修者はフランス語IB（演習）の再履修クラスを履修してください。
- ◇（8Hコース）はクラス指定の（文法）と（演習）の代わりに履修することができます。ただし、再履修者を除きます。通年で16単位修得できますが、卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。

《フランス語Ⅱ（中級）》〔F2〕・《フランス語Ⅲ（上級）》〔F3〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
フランス語ⅡA	F21A	前期	2	2 以上	要	中級
フランス語ⅡA（演習）	F22A	〃	2			
フランス語Ⅱ（GHコース）	F23	通年	12	2 以上	要	中級
フランス語ⅡB	F21B	後期	2	2 以上	要	中級
フランス語ⅡB（演習）	F22B	〃	2			
フランス語ⅢA	F3A	前期	2	2 以上	要	上級
フランス語ⅢB	F3B	後期	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

- ◇平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、既修得単位認定されていることを履修の条件とします。<初級>の単位はどのような組み合わせでもかまいません。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めず。ただし、平成 24 年度以前開講の 2H コースを修得していても、<中級>・<上級>を履修することはできません。
- ◇一開講期に 2 クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります (p.58 参照)。<初級>とは異なり、(演習) とその他のクラスを組み合わせる必要はありません (例：フランス語IIA を 2 クラス履修することができます)。コース別の区分 (「運用能力アップコース」は「精読」「聴き取り」「作文」「発音フォローアップ」「文法フォローアップ」などが、「文明理解コース」は「フランス文化」「フランス文学」「政治経済」「マスメディア」などがあります) を参考にして、自分の目的に適したクラスを選択してください。
- ◇IIA (演習)・IIB (演習) は、平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、計 4 単位まで、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、IIA (演習)・IIB (演習) の単位数の 2 分の 1 と、平成 28 年度まで開講のIIA (実習)・IIB (実習) の単位数とを合わせて 2 単位までしか卒業に必要な単位として認められません。
- ◇フランス語II (6H コース) は、半期科目ではなく通年科目で、これを履修すれば 12 単位が修得できます。卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。
- ◇<上級>は、<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。
- ◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月 1	フランス語 IIA (演習)	F2201	Fauconnier, Franck
	前期	金 4	フランス語 IIA (演習)	F2204	GRAZIANI, Jean-Francois Rene
2	後期	月 1	フランス語 IIA (演習)	F2251	Fauconnier, Franck
	後期	金 4	フランス語 IIA (演習)	F2254	GRAZIANI, Jean-Francois Rene

◆ 中国語 ◆

中国語の学習歴のある学生が中国語の履修を希望する場合は、松江研究室 (吉田南総合館東南棟 3 階 325 号室) で相談してください。

《中国語 I (初級)》[C1] 事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
中国語 I A (文法)	C11A	前期	2	1 以上	学部 2 回生 以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
中国語 I A (演習)	C12A	//	2			
中国語 I A (文法) 再履修クラス	C11A	前期集中	2	2 以上	要	集中クラス (CALL) (IA または I の履修履歴のある学生に限る。)
中国語 I A (演習) 再履修クラス	C12A	//	2			
中国語 I B (文法) 再履修クラス	C11B	前期	2			
中国語 I B (演習) 再履修クラス	C12B	//	2			
中国語 I B (文法)	C11B	後期	2	1 以上	学部 2 回生 以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
中国語 I B (演習)	C12B	//	2			
中国語 I A (文法) 再履修クラス	C11A	後期	2	1 以上	要	IA または I の履修履歴のある学生に限る。集中クラス (CALL) あり。
中国語 I A (演習) 再履修クラス	C12A	//	2			
中国語 I B (文法) 再履修クラス	C11B	後期集中	2	2 以上		集中クラス (CALL) (IB または I の履修履歴のある学生に限る。)
中国語 I B (演習) 再履修クラス	C12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇(文法) と (演習) は同一テキストを使用し連携して授業を行うので、どちらか一方だけを履修登録することは原則としてできません。ペアとなっているクラスの (文法) と (演習) を両方履修してください。
- ◇中国語初級は後期からの新規履修を認めていません。
- ◇学部 2 回生以上の新規履修者は学部 1 回生向け指定クラスの (文法) と (演習) を両方履修してください。ただし、同一クラスの (文法) と (演習) を並行して履修してください。IA・IB を通して同じクラスで履修することが望まれます。

◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。

◇平成27年度まで開講の中国語IA（実習）の再履修者は中国語IA（演習）の再履修クラスを、中国語IB（実習）の再履修者は中国語IB（演習）の再履修クラスを履修してください。

《中国語Ⅱ（中級）》〔C2〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
中国語ⅡA [文法・文化理解]	C2A	前期	2	2以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習] はクラス名。
中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C2A	前期	2			
中国語ⅡB [文法・文化理解]	C2B	後期	2	2以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習] はクラス名。
中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C2B	後期	2			

【履修上の注意】

◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。

◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります (p.58 参照)。

◇原則として、[文法・文化理解] クラスと [会話・ネイティブ実習] クラスから1クラスずつ選択してください。

◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月2	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C213	劉 愛群
	前期	月5	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C216	劉 愛群
	前期	火3	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C217	劉 愛群
2	前期	水2	中国語ⅡA [文法・文化理解]	C204	山本 浩史
	前期	木2	中国語ⅡA [文法・文化理解]	C207	大賀 晶子
3	後期	月2	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C263	劉 愛群
	後期	月5	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C266	劉 愛群
	後期	火3	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C267	劉 愛群
4	後期	水2	中国語ⅡB [文法・文化理解]	C252	山本 浩史
	後期	木2	中国語ⅡB [文法・文化理解]	C257	大賀 晶子

◆ ロシア語 ◆

《ロシア語Ⅰ（初級）》〔R1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅠA（文法）	R11A	前期	2	1以上	
ロシア語ⅠA（演習）	R12A	〃	2		
ロシア語ⅠB（文法）	R11B	後期	2	1以上	
ロシア語ⅠB（演習）	R12B	〃	2		

【履修上の注意】

◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

◇（文法）と（演習）の両方とも履修してください。なお、履修する順序は、IA からとします。

◇ロシア語初級は後期からの新規履修を認めていません。

◇授業は、回生・学部・クラスを問わずに履修可能です。

◇緊急で止むを得ない場合（たとえば1つのクラスに1回生だけで50名を超す履修者が来たような場合）には、2回生以上の学生は他の曜日・時限のクラスに移るなどの履修指導を実施する可能性があります。（(2) 学部1回生の履修クラスについて③ (p.54) 参照）

《ロシア語Ⅱ（中級）》〔R2〕・《ロシア語Ⅲ（上級）》〔R3〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅡA	R2A	前期	2	2以上	中級
ロシア語ⅡB	R2B	後期	2	2以上	中級
ロシア語ⅢA	R3A	前期	2	2以上	上級
ロシア語ⅢB	R3B	後期	2	2以上	

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。
- ◇<上級>は、<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。

◆ イタリア語 ◆

《イタリア語Ⅰ（初級）》〔I1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語ⅠA（文法）	I11A	前期	2	1以上	「イタリア語ⅠA（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠA（演習）	I12A	〃	2	1以上	「イタリア語ⅠA（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠA（4Hコース）	I13A	前期	4	1以上	「イタリア語ⅠA（文法）」、「イタリア語ⅠA（演習）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠB（文法）	I11B	後期	2	1以上	「イタリア語ⅠB（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠB（演習）	I12B	〃	2	1以上	「イタリア語ⅠB（4Hコース）」と同一科目の扱い
イタリア語ⅠB（4Hコース）	I13B	後期	4	1以上	「イタリア語ⅠB（文法）」、「イタリア語ⅠB（演習）」と同一科目の扱い

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇文法・演習、または4HコースのいずれかのクラスでIA・IBを通して履修することを強く推奨します。クラス変更を希望する場合は授業担当教員に相談してください。
- ◇4Hコースは週2回のセット科目で文法を集中的に学びます。2回とも履修してください。
- ◇IA（4Hコース）はIA（文法）、IA（演習）の各々と、IB（4Hコース）はIB（文法）、IB（演習）の各々と同一科目として判定します。なお、同一科目判定される科目の単位を複数修得した場合、いずれの科目の修得年度・修得期が早いかにかかわらず、4Hコースの単位を卒業に必要な単位として認定します。
- ◇イタリア語初級は後期からの新規履修を認めていません。

《イタリア語Ⅱ（中級）》〔I2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語ⅡA	I21A	前期	2	2以上	
イタリア語ⅡA（演習）	I22A	〃	2		
イタリア語ⅡB	I21B	後期	2	2以上	
イタリア語ⅡB（演習）	I22B	〃	2		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇<初級>4単位以上を修得していること（「イタリア語ⅡA（I2102）」を履修する場合は「イタリア語ⅡB（4Hコース）」の単位を修得しているのが望ましい）、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。ただしその場合、少なくとも1クラスは（演習）以外のクラスを選択してください。
- ◇「イタリア語ⅡA」は2クラス（I2101, I2102）開講されますが、「イタリア語ⅡB（I2152）」を履修するためには、このうち「イタリア語ⅡA（I2102）」を履修しておくことが望まれます。

◆ スペイン語 ◆

《スペイン語 I (初級)》〔S1〕 事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
スペイン語 I A (文法)	S11A	前期	2	1 以上	学部 2 回生以上の「新規*」履修者はスペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	学部 1 回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に I A を履修登録したことがない学生のことをいう。
スペイン語 I A (演習)	S12A	//	2			
スペイン語 I A (会話)	S13A	前期集中	2			
スペイン語 I A (文法) 再履修クラス	S11A	前期集中	2	2 以上	スペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	集中クラス (CALL) (I A または I の履修履歴のある学生に限る。)
スペイン語 I A (演習) 再履修クラス	S12A	//	2			
スペイン語 I B (文法) 再履修クラス	S11B	前期集中	2			
スペイン語 I B (演習) 再履修クラス	S12B	//	2			
スペイン語 I B (文法)	S11B	後期	2	1 以上	学部 2 回生以上の「新規*」履修者はスペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	学部 1 回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に I A を履修し、かつ、I B を履修登録したことがない学生のことをいう。
スペイン語 I B (演習)	S12B	//	2			
スペイン語 I B (会話)	S13B	後期集中	2			
スペイン語 I A (文法) 再履修クラス	S11A	後期集中	2	1 以上	スペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	集中クラス (CALL) (I A または I の履修履歴のある学生に限る。)
スペイン語 I A (演習) 再履修クラス	S12A	//	2			
スペイン語 I B (文法) 再履修クラス	S11B	後期集中	2	2 以上	スペイン語ポータルサイト内から別途申込を受け付ける	集中クラス (CALL) (I B または I の履修履歴のある学生に限る。)
スペイン語 I B (演習) 再履修クラス	S12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ スペイン語 I については、次のサイトを教科書として用います。授業には PC あるいはタブレットを持参してください。紙の教科書は使いません。
<https://esp-kyoto-u.com>
- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ スペイン語初級は後期からの新規履修を認めていません。
- ◇ 原則同一クラスの (文法) と (演習) を両方とも履修してください。
- ◇ 学部 2 回生以上の新規履修者 (大学院生含む) は、学部 1 回生向けクラス指定科目を履修してください。ただし、(文法) と (演習) はペアとなっているクラスで履修してください。申し込みはスペイン語ポータルサイト内から受け付けます。詳細は、別途掲示する注意事項を確認してください。
- ◇ <初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。申し込みは外国語予備登録期間に、スペイン語ポータルサイト内で受け付けます。詳細は、別途掲示する注意事項を確認してください。
- ◇ 再履修者は学部 1 回生向けクラス指定科目を履修することはできません。
- ◇ 平成 27 年度まで開講のスペイン語 I A (実習) の再履修者はスペイン語 I A (演習) の再履修クラスを、スペイン語 I B (実習) の再履修者はスペイン語 I B (演習) の再履修クラスを履修してください。
- ◇ (会話) については、スペイン語学習歴がない場合は (文法) と (演習) との並行履修をしてください。また、学部によっては卒業単位として認められないことがあるので、所属学部の規定をよく確認してください。特殊な形態のコー

スであるため、欠席の扱いも他のコースとは異なります。シラバスを熟読してください。

《スペイン語Ⅱ（中級）》〔S2〕 ※事前申込は p.55 参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
スペイン語ⅡA	S21A	前期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡA（演習）	S22A	〃	2			
スペイン語ⅡB	S21B	後期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡB（演習）	S22B	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇スペイン語ⅡB（文法）の単位を修得していること、既修得認定されていること、または入学時に初修外国語初級免除が認定されていることを履修の条件とします。なお、前期にスペイン語ⅡB（文法）再履修クラスを履修し、単位を修得した場合は、後期から<中級>を履修することが可能です。
- ◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただしその場合、前期はⅡAとⅡA（演習）、後期はⅡBとⅡB（演習）の組み合わせに限定されます。
- ◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	火4	スペイン語ⅡA	S2101	牛島 万
	前期	火4	スペイン語ⅡA	S2102	川添 誠
	前期	火4	スペイン語ⅡA	S2103	柿原 武史
	前期	水4	スペイン語ⅡA	S2104	駒村 幸
	前期	水5	スペイン語ⅡA	S2105	駒村 幸
2	前期	水5	スペイン語ⅡA（演習）	S2201	BAINOTTI, Alberto Emilio
	前期	木2	スペイン語ⅡA（演習）	S2202	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO
	前期	金4	スペイン語ⅡA（演習）	S2203	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio
	前期	金4	スペイン語ⅡA（演習）	S2204	Aguilar, Milton
	前期	金4	スペイン語ⅡA（演習）	S2205	RIOS SALOMA Monica
3	後期	火4	スペイン語ⅡB	S2151	牛島 万
	後期	火4	スペイン語ⅡB	S2152	川添 誠
	後期	火4	スペイン語ⅡB	S2153	柿原 武史
	後期	水4	スペイン語ⅡB	S2154	駒村 幸
	後期	水5	スペイン語ⅡB	S2155	駒村 幸
4	後期	水5	スペイン語ⅡB（演習）	S2251	BAINOTTI, Alberto Emilio
	後期	木2	スペイン語ⅡB（演習）	S2252	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO
	後期	金4	スペイン語ⅡB（演習）	S2253	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio
	後期	金4	スペイン語ⅡB（演習）	S2254	Aguilar, Milton
	後期	金4	スペイン語ⅡB（演習）	S2255	RIOS SALOMA Monica

◆ 朝鮮語 ◆

《朝鮮語Ⅰ（初級）》〔K1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
朝鮮語ⅠA（文法）	K11A	前期	2	1以上	
朝鮮語ⅠA（演習）	K12A	〃	2		
朝鮮語ⅠB（文法）	K11B	後期	2	1以上	
朝鮮語ⅠB（演習）	K12B	〃	2		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

- ◇ (文法) と (演習) の両方とも履修してください。
- ◇ 朝鮮語初級は後期からの新規履修を認めていません。

《朝鮮語Ⅱ (中級)》〔K2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
朝鮮語ⅡA	K21A	前期	2	2以上	
朝鮮語ⅡA (演習)	K22A	//	2		
朝鮮語ⅡB	K21B	後期	2	2以上	
朝鮮語ⅡB (演習)	K22B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ 一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。

◆ アラビア語 ◆

《アラビア語Ⅰ (初級)》〔A1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
アラビア語ⅠA (文法)	A11A	前期	2	1 以上	学部 2 回生以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
アラビア語ⅠA (演習)	A12A	//	2			
アラビア語ⅠB (文法)	A11B	後期	2	1 以上	学部 2 回生以上は要	学部 1 回生向けクラス指定
アラビア語ⅠB (演習)	A12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ (文法) と (演習) の両方とも履修してください。
- ◇ アラビア語初級は後期からの新規履修を認めていません。
- ◇ 令和 7 年度のアラビア語初級においては人数制限を実施する都合上、<初級>の再履修者も、学部 1 回生向け指定クラスを履修してください。ただし、前期・後期とも事前申込が必要です。授業開始前に申し込みを受け付ける予定ですが、詳細は掲示等でお知らせします。

《アラビア語Ⅱ (中級)》〔A2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
アラビア語ⅡA	A21A	前期	2	2 以上	講読
アラビア語ⅡA (演習)	A22A	//	2		
アラビア語ⅡB	A21B	後期	2	2 以上	講読
アラビア語ⅡB (演習)	A22B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ IIB の講読を履修する学生は、IIA の講読を修得していることが望まれます。
- ◇ 一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。

◆ 日本語 ◆

日本語は、外国人留学生対象のクラスです。次の表は、学部正規生が履修することができる科目です。

科目名	開講期	単位	対象回生	履修条件等
日本語初級ⅠA(4Hコース)	前期	4	1以上	工学部地球工学科国際コース生優先クラス
日本語初級ⅠB(4Hコース)	後期	4		
日本語初級ⅡA(4Hコース)	前期	4	1以上	
日本語初級ⅡB(4Hコース)	後期	4		
日本語中級ⅠA(4Hコース)	前期	4	1以上	外国人留学生対象
日本語中級ⅠB(4Hコース)	後期	4		
日本語中級Ⅰ(8Hコース)	前期・後期	8	1以上	
日本語中級Ⅰ(会話)	前期・後期	2		
日本語中級Ⅰ(聴解)		2		
日本語中級Ⅰ(読解)		2		
日本語中級Ⅰ(作文)		2		
日本語中級Ⅰ(漢字)		2		
日本語中級ⅡA(4Hコース)		前期	4	
日本語中級ⅡB(4Hコース)	後期	4		
日本語中級Ⅱ(8Hコース)	前期・後期	8	1以上	
日本語中級Ⅱ(会話)	前期・後期	2		
日本語中級Ⅱ(聴解)		2		
日本語中級Ⅱ(読解)		2		
日本語中級Ⅱ(作文)		2		
日本語上級(聴解)		前期・後期	2	
日本語上級(会話)	2			
日本語上級(読解)	2			
日本語上級(作文)	2			
日本語上級(論文・レポート作成)	2			
日本語上級(講義聴解)	2			
日本語上級(研究発表)	2			
日本語上級(討論技術)	2			
日本語中級Ⅰ(6Hコース)	前期		6	1以上
日本語中級Ⅱ(6Hコース)	前期・後期	6		
日本語上級(レポート作成基礎A・B)	前期・後期	2		
日本語上級(文献講読ⅠA・ⅠB)	前期・後期	2		
日本語上級(文献講読ⅡA・ⅡB)	前期・後期	2		
日本語上級(文献講読ⅢA・ⅢB)	前期・後期	2		

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が上記科目を履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇日本語登録手続きの詳細は各開講期の授業開始前に各学部・研究科等を通じて別途お知らせします。以下のURLを通して手続きの案内を行いますので、必ず確認してください。
<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/zenkyo-japanese/>
 履修登録手続きは KULASIS ではできません。国際高等教育院ウェブサイトの「日本語授業登録ページ」にアクセスし、所定の手続きを行ってください。
 なお、適正クラスサイズの確保のために人数制限を設けています。
- ◇日本語初級Ⅱ以上のレベルの科目を履修する場合は、プレースメントテストを受けなければなりません。テスト結果によっては、希望するクラスの履修が認められない場合があります。ただし、自己診断とテスト結果に大きな差があると思われる場合は日本語の履修科目登録相談期間中に日本語コーディネーターと相談することができます。なお、前学期の履修状況・成績によってプレースメントテストを免除することがあります。

6. E 科目（英語関連科目）の履修について

国際高等教育院では、学生の英語によるコミュニケーション力の向上と国際性の涵養を図るため、全学共通科目で開講されている科目の中から、英語力強化に資すると考えられる科目を選び、E 科目として指定しています。E 科目には3つのカテゴリーがあり、それぞれのカテゴリーの中にさまざまな科目があります。履修上の注意事項とシラバスをよく読み、自分に合った科目を積極的に履修してください。

(1) E 科目のカテゴリー

E 科目には次の3つのカテゴリーがあります。履修の際の参考にしてください。

E1	英語テキストの講読を中心的な内容とする科目（人文・社会科学科目群外国文献研究分野で開講）
E2	英語を使用言語として実施される科目（科目群・分野の区分にかかわらず開講 ※外国語科目群を除く）
E3	英語スキルの向上を目的とする科目（キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野で開講）

E 科目に指定されている科目は、「III. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)の「E 科目指定」欄にカテゴリーが記載されています。KULASIS のシラバス検索ではカテゴリーを指定して検索することが可能です。一覧にある科目のほか、夏・冬に集中講義が開講されることがあります。

(2) 履修上の注意事項

- ① E 科目は、E 科目として独立した科目群を構成するものではなく、人文・社会科学科目群や自然科学科目群等の各科目群の科目として開講されています。従って、単位を修得した場合には、原則開講されている科目群の単位として取り扱われます。平成 25～27 年度学部入学者が履修した場合は、開講されている科目群・分野に応じて科目群が読み替えられます (p.259～参照)。
- ② 平成 28 年度以降学部入学者が外国語科目群で英語を選択する場合、修得すべき E 科目の単位数が設定されます。E 科目のカテゴリーや科目の指定、および卒業に必要な単位数は学部により異なりますので、「V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.180～)で確認してください。
- ③ 「全・英」の表示がある E1・E3 科目および ILAS Seminar-E2 は予備登録をしてください。予備登録の結果、定員に達しなかった場合は、予備登録した学生の履修を許可した上で、空き定員について先着順で申し込みを受け付けます。
- ④ E2 科目については履修者が一定の英語力を有することを前提として授業が進められます（提出課題、筆記試験やレポート試験も特段の指示がない限り英語での解答が求められます）。十分な英語力（目安として、最低でも TOEFL ITP スコア 530 点以上であること）がある人の受講をお勧めします。
なお、ILAS Seminar-E2 や英語で開講される実験科目（Elementary Experimental Physics-E2 および Fundamental Chemical Experiments-E2）は、少人数で対話ができるゼミ・実験形式の科目で1回生の履修を推奨しています。また、所属学部（学科）で必修科目等に指定され1回生時に配当されている E2 科目については、学部（学科）の指示に従い履修してください。
- ⑤ E2 科目では原則人数制限を実施します。KULASIS の「履修（人数）制限」ページで予備登録してください (p.73～参照)。ただし、Elementary Experimental Physics-E2 および Fundamental Chemical Experiments-E2 は p.78～、ILAS Seminar-E2 は p.82～参照)。予備登録で定員に達しなかった科目は先着順で申し込みを受け付けます (p.47～参照)。
- ⑥ 国際高等教育院ウェブサイトの「英語教育と E 科目について」のページ (<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/english-education>) の「E 科目を履修する上での注意事項」を参考にしてください。

(3) 「全・英」の表示がある E1・E3 科目

- ① 「外国文献研究（全・英）-E1」や「クリティカルリスニング（全・英）-E3」のように、科目名に「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修するには事前申込（予備登録・先着順申込）が必要です。下記を参照してください。
- ② 「全・英」の表示がある E1 科目は学部 2 回生以上を対象に開講され、「全・英」の表示がある E3 科目は学部 1 回生から履修することができます。

③ 平成 27 年度以前入学で卒業に必要な英語の単位が不足している学部生については、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得することによって英語の単位を充足することが可能です。(p.259～参照)

④ 大学院生は「全・英」の表示がある E3 科目を履修できます。ただし、大学院生がアカデミックディスカッションまたはアカデミックプレゼンテーションを履修しようとする場合、大学院共通科目群において開講されるクラス（講義コードが「G」で始まり、科目名に「(全・英)-E3」の表示がないもの）を履修してください。
なお、大学院生は「全・英」の表示がある E1 科目を履修することはできません。

⑤ 「外国文献研究(全・英)-E1」は、副題が異なる授業が複数開講されますが、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修が可能です。ただし、同一教員が授業担当責任者（「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)参照)である授業を複数履修した場合は同一授業とみなされ、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの 1 つのみ卒業に必要な単位として認められます。なお、学部 2 年生は原則として各開講期 1 科目を履修の上限とします。

⑥ 「全・英」の表示がある E3 科目は学術的言語技能の向上を目的とする科目です。コンセプトは、複数の技能の育成を目的とした「技能統合型」コースです。科目と技能領域、履修者定員は、以下のとおりです。

科目	技能領域	1 クラスあたりの定員	旧科目（～令和 6 年度）
アカデミックディスカッション I (Academic Discussion I)	リスニング&スピーキング	30 名	アカデミックディスカッション (Academic Discussion)
アカデミックディスカッション II (Academic Discussion II)			
クリティカルリスニング (Critical Listening)	リスニング&スピーキング リスニングの自律学習中心	100 名	
アカデミックプレゼンテーション I (Academic Presentation I)	リーディング&スピーキング	30 名	アカデミックプレゼンテーション (Academic Presentation)
アカデミックプレゼンテーション II (Academic Presentation II)			アカデミックプレゼンテーション上級 (Academic Presentation Advanced Class)
テストテイキング I (Test Taking I)	総合的四技能	40 名	テストテイキング I (Test Taking I)
テストテイキング II (Test Taking II)			テストテイキング II (Test Taking II)
アクティブリスニング I (Active Listening I)	リスニング&スピーキング リスニング中心	30 名	アクティブリスニング (Active Listening)
アクティブリスニング II (Active Listening II)			

⑦ アカデミックディスカッション、アカデミックプレゼンテーション、テストテイキング、アクティブリスニングには「I」と「II」の下位区分があり、前者が基礎的、後者が応用的なスキル開発を行うものです。アカデミックディスカッション、アカデミックプレゼンテーション、テストテイキング、アクティブリスニングの「I」と「II」はそれぞれ別科目として扱われます。I と II の受講順番は問いません。また、I だけあるいは II だけを受講することも可能です。各科目のシラバスを読み、自分に合った科目を受講してください。

⑧ 「全・英」の表示がある E3 科目は、異なる開講期に同一科目名の科目を複数履修した場合、担当教員にかかわらず通常在同一科目判定が行われ、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの 1 つのみ卒業に必要な単位として認められます。また、上記⑥の表にあるとおり、令和 6 年度まで開講されていた「アカデミックディスカッション(全・英)-E3」、「アクティブリスニング(全・英)-E3」は、それぞれ「アカデミックディスカッション I(全・英)-E3」、「アクティブリスニング I(全・英)-E3」と同一科目として取り扱われ、「アカデミックプレゼンテーション(全・英)-E3」(上級クラス含む)は、「アカデミックプレゼンテーション I(全・英)-E3」、「アカデミックプレゼンテーション II(全・英)-E3」と同一科目として取り扱われます。

《「全・英」の表示があるE1・E3科目の事前申込について》

令和7年度以降入学者については、「全・英」の表示があるE3科目に限って1回生前期から履修することができます。なおそれ以前（平成28年度以降）の入学者については、2回生前期に1科目、2回生後期に1科目履修することを基本とします。3回生以降は、上限なく登録が可能です。

予備登録は授業開始前に行われますので申込期間に注意してください。予備登録期間1の約1週間前（前期は3月中旬、後期は9月中旬）から、KULASISの外国語予備登録ページに開講科目の時間割や事前申込の日程等を掲載します。

（学部1回生の注意事項）

「全・英」の表示があるE3科目の履修を理由として、自クラスに配当された外国語科目やクラス指定科目（自由選択科目を兼ねる科目を除く）を他クラスに変更することはできません。開講科目の時間割を考慮のうえ、事前申込をしてください。

①-1 予備登録期間1

（対象学生・予備登録期間1における「全・英」の表示があるE3科目の取扱い）

前期：学部2回生のみ ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

後期：学部2回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

および学部1回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目のみが対象科目です〕

※学部1回生が「全・英」の表示があるE3科目の履修を希望する場合、前期については次の予備登録期間2から申し込んでください。

※平成28年度以降入学で3回生以上の学部生、および平成27年度以前入学で卒業に必要な英語の単位を充足していない学部生は、次の予備登録期間2から申し込んでください。

※大学院生が「全・英」の表示があるE3科目の履修を希望する場合は、先着順申込受付期間において申し込みをしてください。（大学院生は、本予備登録の対象外です。）

（方法・手順）

前期・後期とも、それぞれ所定の期間にアンケートシステムより希望クラスを申し込んでください。

予備登録期間1と次の予備登録期間2にそれぞれ申し込むことができます。ただし、学部1回生および学部2回生が一開講期に抽選で当選する科目は1科目のみです。

（抽選・結果発表）

抽選終了後、結果をKULASISの外国語予備登録ページに掲載します。ただし、掲載されるのは当選した科目がある場合のみです。抽選に外れた場合は、次の予備登録期間2で定員に空きのある科目に申し込みをしてください。予備登録期間1に当選した場合は予備登録期間2に申し込みすることはできません。なお、予備登録期間1で当選した科目をキャンセルした後であれば、予備登録期間2に改めて申し込むことができます。

この時点で、当選した科目はKULASISの履修登録候補科目設定画面には表示されません。

（例外措置） ※後期のみ

学部2回生のうち、前期に「全・英」の表示があるE1・E3科目の単位を修得していない者で、なおかつ進級・コース分属等のため、後期に2科目めの「全・英」の表示があるE1・E3科目の履修を希望する場合は、別途指定する期日までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください（1科目めは各自で事前申込をしてください）。

①-2 予備登録期間2

（対象学生・予備登録期間2における「全・英」の表示があるE3科目の取扱い）

前期：2回生以上の学部生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

および学部1回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目のみが対象科目です〕

後期：2回生以上の学部生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目も対象科目に含まれます〕

および学部1回生 ----- 〔「全・英」の表示があるE3科目のみが対象科目です〕

（方法・手順） ※外国語予備登録と同時並行で実施します。

KULASISの外国語予備登録ページ（「英語」のカテゴリ）から、希望クラスを申し込んでください。前期・後期とも、授業開始前に期間を設け、4平日にわたって各日8:00から18:00に申し込みを受け付けます。各日とも、申込締め切り後、申込者数が定員を超えたクラスについて抽選を行います。2日目以降は、前日までの抽選の結果、定員に達しなかった科目のみ申し込みを受け付けます。

分類上、「予備登録が必要な E3 科目」と「予備登録が必要な E1 科目」という 2 つのカテゴリーに分かれており、1 回の申込につき各カテゴリーごとに 1 クラスに申し込むことができます。回生ごとの留意点は以下のとおりです。

- ◇ 学部 1 回生の申込画面では「予備登録が必要な E3 科目」のカテゴリーのみが表示されます。
- ◇ 学部 2 回生は、一開講期に「全・英」の表示がある E1・E3 科目を 1 科目履修することを基本としますので、1 回の申込につき両カテゴリーのいずれか一方に申し込むことができます。既に 1 科目当選している場合は、両カテゴリーのいずれにも新たに申し込むことはできません。
- ◇ 学部 3 回生以上で、「予備登録が必要な E3 科目」「予備登録が必要な E1 科目」のカテゴリーにおいて 2 科目以上の申し込みをする場合は、まず、1 科目のクラスが決定してから、2 回目の申込日以降に 2 科目めの申し込みを行ってください。

（抽選・結果発表）

各日の抽選終了後、結果をメールで送信します。結果は KULASIS の外国語予備登録ページでも確認できます。落選した場合、および 2 科目めを申し込む場合は、同じ方法で次の申込日以降に申し込んでください。

4 回目の申込日の抽選終了後、予備登録期間 1 および予備登録期間 2 を通じて許可された科目（キャンセルした科目を除く）が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。

②先着順申込

（対象学生・先着順申込受付期間における「全・英」の表示がある E3 科目の取扱い）

先着順申込は、すべての学部生・大学院生が対象です。ただし、「全・英」の表示がある E1 科目はすべて 2 回生以上の学部生を対象に開講されますので、学部 1 回生はこれらに先着順申込を行うことはできませんが、「全・英」の表示がある E3 科目に先着順申込を行うことができます。

（方法・手順）

「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」に記載の「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。

③履修登録期間および履修登録確認・修正期間

予備登録・先着順申込により履修が許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されていることを確認の上、必ず「確定」ボタンを押してください。 予備登録・先着順申込だけではまだ履修登録は終わっていません。

（4）上記（3）以外の E1・E3 科目

- ① (3) 以外の E1・E3 科目は、登録科目数の上限はありませんが、人数制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それ従って事前申込をしてください。人数制限の指示がない科目は、事前申込の必要はありませんが、履修を希望する科目を時間割に追加し、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず「確定」ボタンを押してください。
- ② 全て学部 2 回生以上を対象に開講されます。学部 1 回生は履修することはできません。
ただし、「理系のための英語プレゼンテーション入門（理・英）-E3」については、学部 1 回生も履修可能です。
- ③ 「外国文献研究（文・英）A-E1」や「臨床コミュニケーション（医・英）-E3」のように、E1・E3 科目のうち特定の学部を対象に開講される E1・E3 科目は下表のとおりです。履修人数に余裕があれば他学部の学生も履修することが可能ですが、開講学部への事前申込等が必要な場合があります。詳細は別途掲示等によりお知らせします。

対象学部	科目名	科目群	開講期	単位	備考
文学部	外国文献研究（文・英）A-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文学部英語選択者必修科目（A・B 各 2 単位計 4 単位） ・履修条件の詳細はシラバスを参照すること。
	外国文献研究（文・英）B-E1	人社群	後期	2	
教育学部	外国文献研究（教育・英）I-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部英語選択者必修科目（I・II 各 2 単位計 4 単位） ・各クラス定員 45 名
	外国文献研究（教育・英）II-E1	人社群	後期	2	

法学部	外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・法学部必修科目（Ⅰ・Ⅱ各 2 単位計 4 単位） ・各クラス定員 50 名（事前登録が必要。定員に余裕がある場合のみ他学部学生履修可）
	外国文献講読（法・英）Ⅱ-E1	人社群	後期	2	
経済学部	外国文献研究（経・英）A-E1	人社群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度以降入学者 経済学部必修科目（A・B から計 4 単位） ・令和 3 年度以前入学者 経済学部英語選択者必修科目（A・B から計 4 単位） ・4 単位を超えて履修することはできない。 ・履修取消期間中の取消を認めない。 ・各クラス定員 40 名（定員に余裕がある場合のみ他学部学生履修可）
	外国文献研究（経・英）B-E1	人社群	後期	2	
理学部	理系のための英語プレゼンテーション入門（理・英）-E3	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部生は、キャリア形成科目群および E 科目として認定する。 ・学部 1 回生も履修可能。
	理系のための英語プレゼンテーション入門（理・英）-E3	キャリア群	後期	2	
医学部	臨床コミュニケーション（医・英）-E3	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部医学科必修科目
薬学部	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A-E3	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部必修科目（A・B 各 2 単位計 4 単位） ・各クラス定員 50 名（余裕がある場合のみ理科系他学部学生履修可）
	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）B-E3	キャリア群	後期	2	
工学部	Scientific English Ⅱ-E3 (Presentation & Discussion)	キャリア群	前期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部地球工学科の Kyoto iUP 生と国際コースの学生はこれらの科目から令和 2 年度以降入学者は 2 単位以上、平成 31 年度以前入学者は 4 単位以上修得すること。
	Advanced Scientific English-E3 (Debate)	キャリア群	後期	2	

※これらの科目は平成 28 年度まで、総合人間学部以外が提供する英語として開講されていた科目です。平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合の取り扱いは、「Ⅴ. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.259～)を参照してください。

7. 履修（人数）制限科目の履修について

全学共通科目の一部には人数制限科目・履修制限科目とよばれるものがあります（両者を総称して「履修（人数）制限科目」と表記します）。人数制限科目とは、教室定員を超える多数の履修者が予想されるため、あるいは授業運営上の都合等の理由により、あらかじめ授業定員を設定することにより履修者数を制限し、抽選により履修の可否を決める科目をいいます。他方、履修制限科目とは、クラス指定科目であって、クラス指定以外の学生や特定の学部・学科以外の学生の履修者数や履修を制限するものをいいます。履修（人数）制限科目の履修にあたっては、以下の事項をよく読んでください。

前期は3月下旬に、後期は9月中旬に、履修（人数）制限科目の一覧および制限の詳細、ならびに事前申込の日程をKULASISの履修（人数）制限ページおよび掲示、ならびに入学予定者サイト（前期のみ）でお知らせします。

(1) 人数制限科目の履修について

① 人数制限科目を履修するためには、下記のとおり事前申込（予備登録・先着順申込）が必要です。

まず、予備登録期間に履修を希望する科目に申し込みをしてください。予備登録は、前期・後期とも授業開始前に2回実施します（予備登録期間1・2）。予備登録期間終了後、定員に空きがある科目については先着順申込受付期間に先着順で申し込みを受け付けます。

② 人数制限科目の一部には、特に学習意欲の高い学生に履修の機会を与えるため、担当教員が事前課題を提示し、事前課題を提出した学生の中から予備登録の抽選時に優先的に当選させてよいと判断される者を推薦する「教員推薦」を実施する科目があります。ただし、すべての人数制限科目で教員推薦を実施するわけではありません。教員推薦を実施する科目およびそれらの事前課題に関する詳細は、KULASISの履修（人数）制限ページおよび掲示、ならびに入学予定者サイト（前期のみ）でお知らせします。

◇ 事前課題はオンライン形式で受け付けます。事前課題では当該科目への志望動機の回答を求めますが、担当教員により設問が追加または変更されることがあります。

◇ 事前課題の提出は任意です。教員推薦を実施する科目の履修を特に希望する場合は事前課題を提出してください。ただし、事前課題を提出した科目については、予備登録期間にKULASISの履修（人数）制限ページでもあわせて必ず申し込みをしてください。予備登録を行っていない場合は、事前課題の提出は無効となります。

◇ 事前課題の提出期間は教員推薦を実施する科目の発表直後から始まります。予備登録期間に先立って始まりますので、注意してください。

◇ 事前課題を提出した学生に対して、教員推薦の結果通知は行いません。予備登録終了後は、事前課題の提出有無に関わらず、空き定員のある人数制限科目については、先着順申込受付期間において先着順申込が可能です。なお、先着順申込では事前課題の提出による優先は一切ありません。

③ 当初人数制限の予定がなかった科目についても、履修希望者が教室定員を超える等、予備登録によらず急きょ人数制限を行うことがあります。KULASIS等の掲示に注意するとともに、履修を希望する科目の初回授業には必ず参加してください。急きょ人数制限を実施した科目の許可者は、KULASISの履修（人数）制限ページで発表します。許可者以外が履修登録をしても、エラー科目となり登録することはできません。

《人数制限科目の事前申込について》

事前申込は、前期・後期とも次のとおりKULASISから行います。

予備登録は授業開始前に行われますので、申込期間に注意してください。

①-1 予備登録期間 1

(対象学生)

すべての学部生・大学院生が対象です。

(方法・手順)

KULASISの履修（人数）制限ページから、希望する科目を申し込んでください。なお、同じ科目名または同じ曜時限に開講される科目は1つしか申し込めません。

(抽選・結果発表)

申込締め切り後、申込者数が定員を超えた科目について抽選を行います。抽選の結果は、KULASISの履修登録候補科目設定画面への当選科目の反映をもって行います。教員推薦を実施する科目で、事前課題により担当教員から教員推薦を受

けた学生（ただし、予備登録で当該科目に申し込んでいることが前提）は、抽選時に優先して当選します。
予備登録期間1の抽選の結果、定員に空きがある科目のみ予備登録期間2に申し込みが可能です。

①-2 予備登録期間2

（対象学生）

すべての学部生・大学院生が対象です。

（方法・手順）

KULASISの履修（人数）制限ページから、希望する科目を申し込んでください。なお、同じ科目名または同じ曜時に開講される科目は1つしか申し込めません。さらに、予備登録期間1で当選した科目がある場合、予備登録期間2には当該当選科目と同じ科目名の科目または同一曜時に開講される科目に申し込むことはできません。当選科目を KULASIS の履修登録候補科目設定画面から削除しても申し込みできるようなりません。

（抽選・結果発表）

申込締め切り後、申込者数が定員を超えた科目について抽選を行います。抽選の結果は、KULASISの履修登録候補科目設定画面への当選科目の反映をもって行います。教員推薦を実施する科目で、事前課題により担当教員から教員推薦を受けた学生（ただし、予備登録で当該科目に申し込んでいることが前提）は、抽選時に優先して当選します。

予備登録期間2の抽選の結果、定員に空きがある科目のみ「②先着順申込」の先着順申込受付期間1から先着順で申し込みを受け付けます。

②先着順申込

（対象学生）

すべての学部生・大学院生が対象です。

（方法・手順）

「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」に記載の「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。

③履修登録期間および履修登録確認・修正期間

予備登録・先着順申込により履修が許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されていることを確認の上、必ず[確定]ボタンを押してください。予備登録・先着順申込だけではまだ履修登録は終わっていません。

(2) 履修制限科目の履修について

- ① 履修制限科目を履修するために、上記の人数制限科目のような事前申込は原則として不要です。特段の指示がない限り、KULASISの履修登録ページから科目を追加し、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず[確定]ボタンを押してください。
- ② クラス指定されている学生以外の学生は、制限の詳細に該当するかを確認してください。該当しない者が履修登録をしても、エラー科目となり登録することはできません。

8. スポーツ実習科目の履修について

京都大学は、特に健康教育・スポーツ教育において、「理論」学習と「実践」活動の密接な連関を重視してきました。健康科学・運動科学系の講義を通じた理論の学習成果を、実際のスポーツ活動の実践によって体感するとともに、学生の皆さんが自分自身の心身の諸機能を認識し高め充実させていくことができるように、本学では、次頁の一覧に記載の多彩な種目と講師陣によるスポーツ実習科目を準備しています。

スポーツ実習の各教員は、学生の積極的な健康づくり・体力づくりを支援するために、当該スポーツ種目のことだけでなく、履修学生の日常の健康生活やスポーツ活動に関する相談にも応じています。気軽に相談してください。

皆さんが、スポーツ実習への積極的な取り組みを通じて、将来にわたる自己教育の一環として、スポーツ活動を学生生活の中にしっかりと位置づけていくことを期待しています。このスポーツ実習との出会いが、スポーツや野外活動の楽しさ、奥深さ、大切さを肌で実感していく貴重な機会となることを願っています。

(1) スポーツ実習科目の履修クラスについて

スポーツ実習Iは、大学院生を含む全学生に開放されています。スポーツ実習IIは、学部1回生クラス指定科目になっています(履修者が偏らないように、多くの学部で履修を推奨する曜時限を設けています)。学部1回生は所属クラスの指定時間帯で履修してください(※クラス指定の曜日以外でも履修登録は可能です)。クラス指定されていない学部の学生は、自由に選択して履修してください。学部2回生以上でもスポーツ実習Iを履修することができます。なお、クラス指定の学生もクラス指定されていない学生も、すべてのスポーツ実習について事前申込が必要です(ただし、以下に説明する「アダプテッド・スポーツ」の集中開講クラスを除く)。下記(2)にしたがって申し込みをしてください。

※「アダプテッド・スポーツ」集中開講クラスについて

アダプテッド・スポーツとは、ルールや用具を改良することにより、障害の有無や身体活動能力、年齢等にかかわらずスポーツ活動を安全に楽しむことができるように工夫・適合(adapt)されたスポーツのことです。本学では、一般学生向けの「アダプテッド・スポーツ」の授業に加え、基礎疾患や多様な障害(怪我等による一時的な障害や心身の不調を含む)等の特別なニーズがある学生向けに、十分な配慮のもとで安全に楽しくスポーツを実施するための授業として「アダプテッド・スポーツ」集中クラスを開講しています。

「アダプテッド・スポーツ」の集中開講クラス(令和7年度は後期に開講)は、学生総合支援機構障害学生支援部門(略称「DRC」と)の連携のもとで、事前に障害等の状況に合わせた支援・調整を行いますので、KULASISでの履修登録はありません。履修希望者は、シラバスを参照の上、DRC(<https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/drc/>)に問い合わせてください。障害等のある学生の履修を優先しますが、申込み状況によっては、障害療育を考慮したスポーツ活動の方法を学びたい一般学生の履修も受け入れています。

(2) スポーツ実習科目の履修登録 (申込方法の詳細は p.73~参照)

スポーツ実習科目は、人数制限科目です。履修を希望する場合は、必ず事前申込(予備登録・先着順申込)をしてください。人数制限科目の予備登録期間にKULASISで希望するクラスに申し込んでください。スポーツ実習科目は同一曜時限に複数の種目が開講されていますので、クラスをよく確認してください。なお、所属クラスに指定されている曜時限のクラスを含め、すべてのスポーツ実習科目について申し込みが必要です。

予備登録において申込者数が定員を超過せず、定員に余裕のあるクラスでは、申込者全員の履修を許可した上で、空き定員について、先着順申込受付期間1から先着順で申し込みを受け付けます。また、申込者数が定員を超過したクラスについても、履修を許可された学生が当該クラスをKULASISの履修登録候補科目設定画面から削除したことで、定員に空きが出る場合があります。その場合には、キャンセルが生じた期間の次の先着順申込受付期間(先着順申込受付期間2または3)に、空いた定員への申し込みを受け付けます。

登録クラスの変更を希望する場合は、既に許可されているクラスをKULASISの履修登録候補科目設定画面から削除した上で、定員に空きがある他のクラスに先着順で申し込みをしてください。

※事前申込だけではまだ履修登録は終わっていません。必ず履修登録期間、履修登録確認・修正期間に[確定]ボタンを押してください。

※一開講期に履修登録できるのは、「スポーツ実習I」の中から1クラスのみです。

※同じ科目名の科目(種目が違っていてもIAとIA、IBとIB)を異なる開講期に複数履修した場合、担当教員や種目にかかわらず同一授業とみなされ、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみ卒業に必要な単位として認定されます。

(3) 開講されるスポーツ実習種目（実施場所および教員担当表）

◆前期

	種目	ソフトボール	アダプト・スポーツ	サッカー・フットサル(FS)	テニス	バレーボール	卓球	バドミントン	バスケットボール	フィットネス	フィットネス・ウォーキング	フィットネス・サイクリング
	場所	吉田南構内グラウンド	吉田南構内グラウンド/体育館/野外	農学部グラウンド/体育館※	吉田南構内テニスコート	体育館	体育館	体育館	体育館	体育館 野外	体育館 野外	体育館 野外
IA	月1	松井知之	江川達郎					岩中伸壮			岡本香代子	
	月2	松井知之	江川達郎					岩中伸壮			岡本香代子	
	火1				伊藤千草	田中真介	高山優子		谷恵介		港野恵美	杉藤洋志
	火2				伊藤千草	田中真介	高山優子		谷恵介	港野恵美		杉藤洋志
	水1			久代恵介(FS)		大園享司	田中励子			杉本寛恵		
	水2			久代恵介(FS)		大園享司	田中励子			杉本寛恵		
	木1			中村泰介	野田幸宏		杉本寛恵	渡邊哲義		梅田陽子		
	木2			中村泰介	野田幸宏		杉本寛恵	渡邊哲義		梅田陽子	港野恵美	杉藤洋志
	金1		伊藤千草		高桑徹也				兵頭勇太郎			
	金2		伊藤千草						兵頭勇太郎	竹村藍	岡本香代子	

※「フットサル」は水曜1限、水曜2限に開講（体育館）

◆後期

	種目	ソフトボール	アダプト・スポーツ	サッカー・フットサル(FS)	テニス	バレーボール	卓球	バドミントン	バスケットボール	フィットネス	フィットネス・ウォーキング	フィットネス・サイクリング
	場所	吉田南構内グラウンド	吉田南構内グラウンド/体育館/野外	農学部グラウンド/体育館※	吉田南構内テニスコート	体育館	体育館	体育館	体育館	体育館 野外	体育館 野外	体育館 野外
IB	月1	松井知之				大園享司		岩中伸壮			岡本香代子	
	月2	松井知之				大園享司		岩中伸壮			岡本香代子	
	火1				伊藤千草	田中真介	高山優子		谷恵介			杉藤洋志
	火2				伊藤千草	田中真介	高山優子		谷恵介			杉藤洋志
	水1			久代恵介(FS)		大園享司	田中励子					
	水2			久代恵介(FS)		大園享司	田中励子					
	木1			中村泰介	野田幸宏			渡邊哲義		梅田陽子	港野恵美	
	木2		江川達郎	中村泰介	野田幸宏		杉本寛恵	渡邊哲義		港野恵美	梅田陽子	杉藤洋志
	金1		伊藤千草		高桑徹也				兵頭勇太郎			
	金2		竹村藍						兵頭勇太郎			
	金3		竹村藍				杉本寛恵					
	集中		江川達郎									

※「フットサル」は水曜1限、水曜2限に開講（体育館）

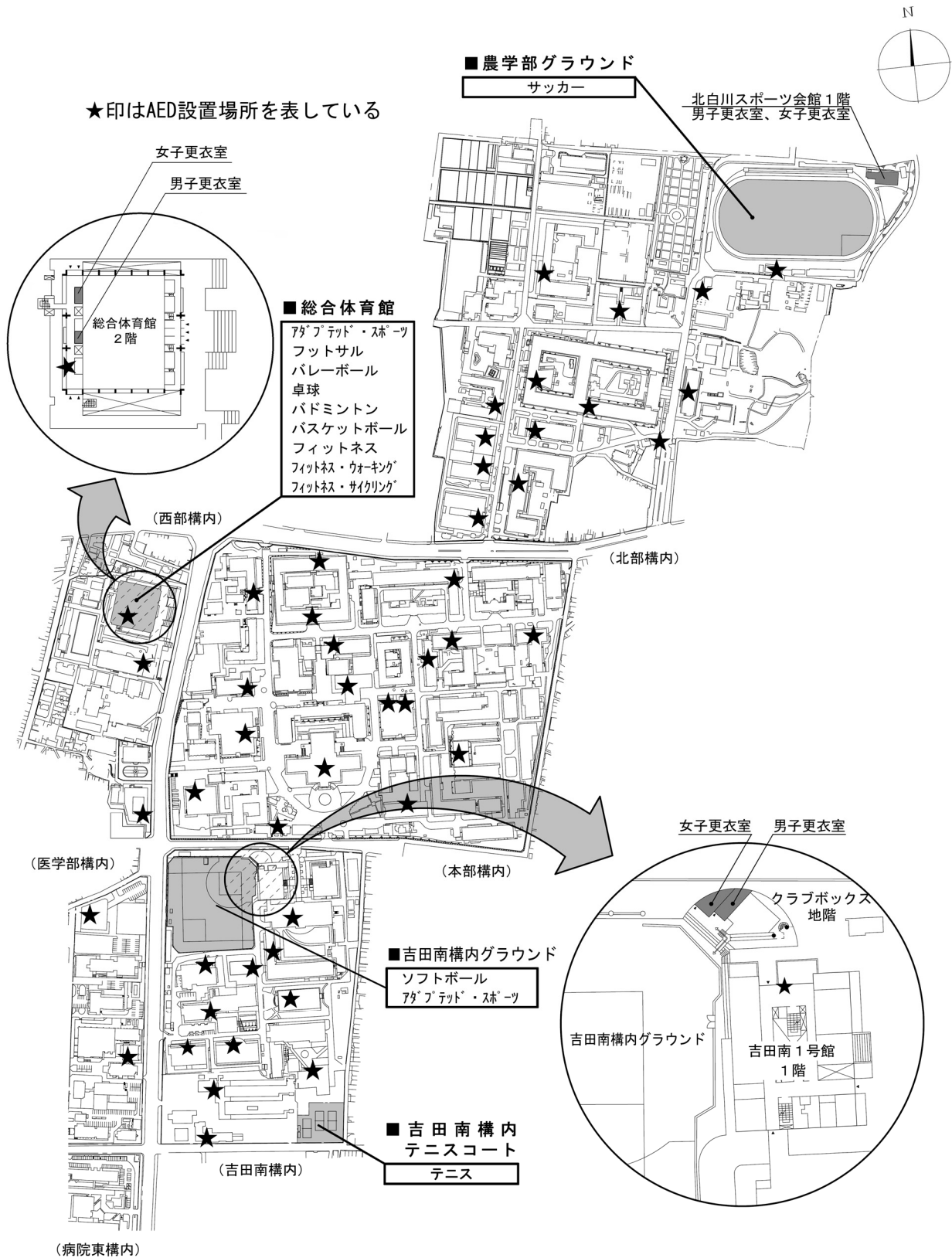
【履修上の注意事項】

- ① 第1週目の授業の集合場所等に関する指示については、KULASISにて行います。種目別ガイダンスや簡易の体力チェックを実施することがありますので、どの種目を選択した場合でも動きやすい服装で来てください。
- ② 授業での服装：トレーニング・ウェア（ジャージ・Tシャツ等でもよい）および運動靴を必ず着用してください。体育館フロアに砂が上ると事故や怪我の危険があるので、屋外用の運動靴を体育館フロアで使用しないでください。また、テニスの授業ではテニスシューズを準備してください。
- ③ 盗難防止：更衣室内には貴重品（特に現金）は絶対に置かないでください。
- ④ 雨天時またはグラウンド状態不良の場合：雨天等で屋外種目が実施できない場合の指示および休講の連絡については、KULASISにて行います。
- ⑤ 保険への加入：スポーツ実習の履修にあたっては、保険への加入が必要です。原則として、「学生教育研究災害傷害保険」（略称「学研災」）および「学研災付帯賠償責任保険」（略称「付帯賠償」）、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（略称「学賠」）に加入しておいてください（「Campus Life Information」を参照）。
- ⑥ 既往症・体調不良について：スポーツ実習科目に参加するにあたり、既往症や体調不良がある場合には、初回授業、また、各回の実習開始時に必ず担当教員に申し出てください。
- ⑦ その他：授業でビブス（ゼッケン）を使用する場合は、取扱いについて教員の指示を受けてください。

(4) スポーツ実習科目の実施場所

※スポーツ実習の種目紹介は国際高等教育院ウェブサイトに掲載しています。

※実施場所を変更する場合は KULASIS よりお知らせします。



9. 実験・実習の履修について

自然科学科目群の実験・実習の履修に際しては、履修登録の前に初回授業やガイダンスでの申込が必要です。下記に従い申込を行い、履修が認められたクラスを履修登録（p.48～）してください。許可者のみが履修登録できます。

なお、初回授業（ガイダンス）の実施や申込方法等は、KULASISのお知らせ（教務・厚生情報）に最新情報を掲示しますので、本冊子とあわせて必ず確認してください。

(1) 物理学実験・Elementary Experimental Physics-E2

	申込期間	掲示	申込方法	選抜方法	
物理学実験・ Elementary Experimental Physics-E2	前期	各曜日初回授業時 (初回授業のみ講 義形式で行う。)	4月上旬に KULASIS の お知らせ(教務・厚生情 報)に初回授業の場所等 詳細を掲示する。	初回授業時に申込名簿へ 記入する。	受入れ可能人数を超過し た場合は初回授業時に抽 選を行う。
	後期	同上	9月下旬に KULASIS の お知らせ(教務・厚生情 報)に初回授業の場所等 詳細を掲示する。	同上	同上

※物理学実験および Elementary Experimental Physics-E2 は、クラス指定の学生も履修申込が必要です。なお、クラス指定曜
時限以外のクラスを希望する場合でも履修申込をすることができますが、授業運営上の観点からクラス指定の学生のみ
に履修を制限する場合がありますので、あらかじめ掲示を確認してください。

(2) 基礎化学実験・Fundamental Chemical Experiments-E2

	申込期間	ガイダンス・掲示	申込方法	選抜方法	
基礎化学実験・ Fundamental Chemical Experiments-E2	前期	各曜日初回授業の ガイダンス前	4月上旬に KULASIS の お知らせ(教務・厚生情 報)に時間・場所等詳細 を掲示する。 初回授業でガイダンス を実施する。	学生証を必ず持参のうえ、 ガイダンス会場にて申込 を行い、その後のガイダ ンスに出席すること。 クラス指定のない学生は 希望する曜日に申込を行 うこと。	履修希望者が多数の場合 は抽選を行う。結果はガ イダンス直後に発表す る。
	後期	同上	9月下旬に KULASIS の お知らせ(教務・厚生情 報)に時間・場所等詳細 を掲示する。 初回授業でガイダンス を実施する。	同上	同上

※基礎化学実験は、クラス指定の学生も履修申込とガイダンス出席が必要です。なお、クラス指定曜時限以外のクラスを
希望する場合でも履修申込をすることができます。

◆「基礎化学実験」担当教員

【前期】

曜日	所属部局	職名	氏名
月	人間・環境学研究科	教授	小松 直樹
	人間・環境学研究科	教授	津江 広人
	人間・環境学研究科	准教授	廣戸 聡
	人間・環境学研究科	助教	高橋 弘樹
	工学研究科	助教	柏原 美勇斗
		非常勤講師	山本 潤子
火	人間・環境学研究科	教授	藤田健一
	人間・環境学研究科	助教	高橋 弘樹
	農学研究科	助教	中沢 威人

【後期】

曜日	所属部局	職名	氏名
月	人間・環境学研究科	教授	内本 喜晴
	薬学研究科	准教授	長谷川 恵美
	薬学研究科	准教授	白川 久志
	薬学研究科	助教	小形 公亮
	薬学研究科	助教	高山 亜紀
		非常勤講師	高橋 知子
	火	人間・環境学研究科	教授
理学研究科		准教授	儘田 正史
理学研究科		助教	門田 健太郎

	農学研究科	助教	都築 巧
		非常勤講師	山本 潤子
		非常勤講師	桶谷 龍成
水	国際高等教育院	教授	中村 敏浩
	人間・環境学研究科	助教	新林 卓也
	工学研究科	助教	朴 明駿
	工学研究科	助教	加藤 大地
	化学研究所	助教	山本 恵太郎
	化学研究所	助教	林 謙吾
		非常勤講師	山本 潤子
木	国際高等教育院	特定教授	杉山 雅人
	人間・環境学研究科	助教	許 健
	人間・環境学研究科	助教	新林 卓也
	医学研究科	教授	野中 元裕
	医学研究科	准教授	森瀬 譲二
	医学研究科	准教授	中川 直樹
	工学研究科	助教	杉山 佳奈美
	工学研究科	助教	竹内 悠
		非常勤講師	高橋 知子
金	人間・環境学研究科	教授	田部 勢津久
	理学研究科	准教授	前里 光彦
	理学研究科	助教	中曾根 祐介
		非常勤講師	高橋 知子
		非常勤講師	林 隆紀
		非常勤講師	山本 潤子

	理学研究科	助教	西本 佳央
	農学研究科	助教	上妻 馨梨
		非常勤講師	山本 潤子
水	国際高等教育院	教授	中村 敏浩
	人間・環境学研究科	助教	許 健
	工学研究科	助教	領木 研之
	化学研究所	助教	岡崎 大樹
	化学研究所	助教	鄭 臨潔
		非常勤講師	高橋 知子
		非常勤講師	山本 潤子
金	人間・環境学研究科	准教授	廣戸 聡
	人間・環境学研究科	教授	内本 喜晴
	理学研究科	准教授	熊崎 茂一
	理学研究科	助教	東田 皓介
		非常勤講師	高橋 知子
		非常勤講師	山本 潤子

◆ 「Fundamental Chemical Experiments-E2」担当教員

【前期】

曜日	所属部局	職名	氏名
水	工学研究科	教授	Cathy McNamee
	工学研究科	准教授	Juha Lintuluoto
	工学研究科	准教授	Yi Wei
	工学研究科	講師	Nguyen Thanh Phuc
金	工学研究科	講師	LANDENBERGER, Kira Beth
	工学研究科	特定助教	Tong Zhu

【後期】

曜日	所属部局	職名	氏名
水	工学研究科	教授	Cathy McNamee
	工学研究科	准教授	Juha Lintuluoto
	工学研究科	准教授	Yi Wei
	工学研究科	講師	Nguyen Thanh Phuc
金	工学研究科	講師	LANDENBERGER, Kira Beth
	工学研究科	特定助教	Tong Zhu

(3) 生物学実習

	申込期間	ガイダンス・掲示	申込方法	選抜方法
生物学実習Ⅰ [基礎コース] 前期：月・木・金曜日 後期： 木・金曜日	実習開始の1週間前 ～当日実習開始前	実習開始の1週間前に KULASIS のお知らせ(教務・厚生情報)と生物実習室1(吉田南2号館3階312室)前に申込方法等詳細を掲示する。 初回授業でガイダンスを実施する。	初回授業までに KULASIS の時間割に科目を追加する。	履修希望者が多数の場合は初回授業時に抽選を行う。
生物学実習Ⅱ [自然史コース] 前期・後期：水曜日	同上	同上	同上	同上

生物学実習Ⅲ [細胞と分子生物学コース] 前期・後期：月曜日	初回授業時 (初回授業のみ講義 形式で行う。)	初回授業でガイダンスを実施する。	初回授業時に申 込名簿に記入す る。	同上
--------------------------------------	-------------------------------	------------------	--------------------------	----

(4) 地球科学実験

	ガイダンス	申込方法	選抜方法
地球科学実験 前期・後期	初回授業時にガイダンスを実施する。(実験の内容および履修の仕方に関する説明を行うので、履修希望者は必ず出席すること)	初回授業で説明する。 *履修申込に基づいて履修者の班分けを行う。	履修希望者多数の場合は抽選を行い、結果は翌週までに PandA のコースサイト上で通知する。

※地球科学実験は、クラス指定の学生も履修申込が必要です。なお、クラス指定曜時限以外のクラスを希望する場合でも履修申込をすることができます。

10. 情報学科目の履修について

情報学科目群で開講される情報基礎および情報基礎演習には、特定の学部（学科）向けのクラス（例：情報基礎 [文学部] のように学部名が表示されます）と全学生向けに開講されるクラス（例：情報基礎演習 [全学向] のように全学向と表示されます）があります。履修クラスを選択する際には、下記の表を参考にしてください。

なお、学部科目として情報系の科目を開講している学部もありますので、各学部が実施するガイダンスにも留意してください。

学部 (学科)	総合 人間	文	教育	法	経済	理	医 (医)	医 (人)	薬	工	農
情報基礎	●	●	●	●	●	○ (※1)	●	○	○	◎ (※2)	○
情報基礎演習	●	○	●	●	●	○ (※1)	●	○	○	◎ (※2)	○

- ：[全学向] を履修してください。ただし、他学部（学科）向けに開講されるクラスを履修しても卒業に必要な単位として認められます。
- ：所属学部（学科）向けに開講されるクラスを履修してください。ただし、[全学向] や他学部（学科）向けに開講されるクラスを履修しても卒業に必要な単位として認定されます。なお、クラス指定されているものがありますので、クラス別時間割を参照してください。また、クラス指定科目に関する注意事項（p.50～）も確認してください。
- ◎：所属学部向けに開講されるクラスのみ卒業に必要な単位として認定されます。クラス指定されているものがありますので、クラス別時間割を参照してください。

- ※1 情報基礎 [理学部]、情報基礎演習 [理学部] は専門基礎科目の単位として認定されます。[全学向] や他学部（学科）向けに開講される情報基礎、情報基礎演習は情報学科目群の単位として認定されます。
- ※2 情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部] は各学科向けのクラス（例：情報基礎 [工学部]（建築学科）のように学科名が表示されます）が開講されます。所属学科向けに開講されるクラスを履修してください。他学科向けに開講されるクラスを履修した場合の単位の取り扱いは、学科によって異なりますので所属学科で確認してください。ただし、工学部地球工学科国際コースの学生は「Basic Informatics」、「Practice of Basic Informatics」を、工学部情報学科の学生は「情報基礎実践」を履修してください。また、工学部情報学科計算機科学コース（コース配属は2回生から）の学生は、「情報と社会」のうち工学部履修要覧で指定されているクラスを履修してください。

【注意事項】

- ◇ 人数制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それに従って事前申込をしてください（p.73～）。
- ◇ 情報基礎（工学部地球工学科国際コース向けの Basic Informatics を含む）、情報基礎演習（工学部地球工学科国際コース向けの Practice of Basic Informatics を含む）は全学向け、学部（学科）向けのクラスにかかわらず、それぞれ同一の科目として扱われ、修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます。
- ◇ 修得した単位の取り扱いは、「V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」（p.180～）なども併せて確認してください。
- ◇ 情報基礎演習では、各自が保有するノートパソコンを用いて演習を行うクラスがあります。シラバスで確認してください。本学が推奨するノートパソコンについては、国際高等教育院ウェブサイト（<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/device>）を参照してください。

11. ILAS セミナー・統合型複合科目等の履修について

ILAS セミナーは、各学部・研究科・研究所・センター等の教員がフェイス・トゥ・フェイスの親密な人間関係の中で、様々な形態の授業を行うもので、学部新生を主な対象に、学問の楽しさや意義をみなさんに実感してもらうことによる勉学生活への導入を目標として開講されています。ILAS セミナーの内、英語力の強化に資すると考えられる科目は ILAS Seminar-E2 として開講されています。

また、令和7年度から新たに開講される統合型複合科目は、履修者が一堂に会する講義と、少人数グループに分かれた演習を組み合わせた授業です。社会の複合的な諸課題からテーマを取り上げ、テーマに関連した最先端の研究に取り組む様々な部局の教員の講義・演習を通じて、文系・理系という垣根を越えた広い視野と、正解のない課題に真摯に向き合う研究探求意識、そして、時代に応じたアカデミックスキルの涵養を目標として開講します。世界に伍する研究大学である本学ならではの科目と言えます。本科目を通じ、ものの見方の多面性を知り目からウロコが落ちるような経験をし、大学で学ぶ魅力・モチベーションを発見してください。

いずれの科目も履修者数に制限がありますので、以下の事項をよく読んでから申し込んでください。

なお、申込方法等に変更が生じた場合は、KULASIS のお知らせ（教務・厚生情報）に最新情報を掲示します。

◆ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 ◆

【授業内容】

ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の授業は、歴史・地理・古典の講読や環境・資源・宇宙・医学等の最先端知見の紹介、野外実習など総合大学ならではの豊富なメニューです。①高校までの学習とは異なる、大学における主体的な学習の意義を理解できる、②教員や学生との討議を通じた学習の意義を理解できる、③アカデミックな作文に触れ、その作法の基礎を理解できる、以上の3点に配慮し、授業が設計されています。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ 学部1回生時にはILASセミナーは1科目のみ履修登録することができます。ILAS Seminar-E2には制限はありません。
- ◇ 学部2回生以上の学生は、2回生以上を受け入れ可(対象回生:「主1」)としている科目のみ履修することができます。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 が科目名で、それぞれに副題がつけられています。よって、同一科目名で副題が異なる授業が複数開講されますが、同一科目名であっても、担当教員にかかわりなく、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修することが可能です。ただし、学部1回生が履修できる ILAS セミナーは1科目のみです。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の大多数は5時限に開講されます。学部1回生が前期の火曜日と金曜日の5時限に開講される科目を受講する場合、初修外国語（I類。ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語）については重複しないようにクラス指定します。
- ◇ 複数の ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 を履修し、単位を修得した場合、各学部が定める単位数まですべて卒業に必要な単位として認定されます。
- ◇ ILAS セミナーの一部に英語を使用言語として開講される科目がありますが、E科目としては取り扱われません。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の一部の科目は、総合人間学部の学部科目を兼ねています。総合人間学部の学生は、「全学共通科目授業一覧」(p.126～)の「学部科目」欄が『H(総合人間学部)』となっている科目を全学共通科目として履修することはできません。総合人間学部の指示に従い、学部科目として履修登録してください。
- ◇ 平成27年度以前学部入学者が ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の単位を修得した場合、卒業に必要な単位として認定されません。ポケット・ゼミの単位としても読み替えられませんので、登録の際には注意してください。ただし、総合人間学部の学生が、総合人間学部の学部科目を兼ねる科目を履修した場合には、入学年度にかかわらず学部科目として取り扱われます。
- ◇ 宇治キャンパスや桂キャンパス等で開講される科目を申し込む場合は、移動時間を考慮し、前後の授業に支障のないように注意してください。
- ◇ 受講に際しては、別途交通費等が発生する場合がありますのでシラバスを確認してください。
- ◇ 実験、野外実習等を伴う科目を受講する場合には、学生教育研究災害傷害保険に各自加入してください。
- ◇ 前期8月中旬以降・後期2月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。

【事前申込】

ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 は、予備登録を受け付け、その結果定員に余裕があれば予備登録者を許可した上で、空き定員について KULASIS にて先着順で申し込みを受け付けます。集中講義については別途募集の案内をします。ただし、学部1回生が前期に ILAS セミナーを履修する場合は、集中講義であるかどうかにかかわらず、入学予定

者サイトでの予備登録または KULASIS の ILAS セミナーページでの先着順申込（いずれも学部 1 回生のみを対象）が必要です。事前申込にあたっては次頁以降をよく読み、手続きしてください。また、事前申込の日程は、掲示等により案内しますので確認してください。

前期

学部 1 回生

予備登録 (入学予定者サイト)	入学予定者サイトで第 5 希望まで申し込みを受け付けます。申込者数が 1 回生定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。
学部 1 回生のみを対象とした 先着順申込 (KULASIS・ILAS セミナーページ)	予備登録の抽選終了後、結果を KULASIS の ILAS セミナーページで発表します。当選した科目がある場合は、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。当選科目のない学部 1 回生は、この期間中、1 回生定員に満たなかった科目に 1 科目のみ申し込みをすることができ、先着順で受け付けます。申し込みは KULASIS の ILAS セミナーページで受け付けます。 ※この先着順申込において、1 科目に申し込んだ後で申し込みたい科目を変更することはできません。 ※予備登録 (入学予定者サイト) で当選科目のあった学部 1 回生は、たとえ当該当選科目をキャンセルした後であっても、この先着順申込に参加することはできません。 <u>学部 1 回生は、入学予定者サイトでの申し込みおよびこの先着順申込の手続きを通じて、ILAS セミナーまたは ILAS Seminar-E2 (集中開講される科目を含む) から 1 科目だけ当選します。</u> <u>学部 1 回生が ILAS セミナー (集中開講される科目を含む) および集中開講される ILAS Seminar-E2 に申し込むことができる期間はここまでです。</u>
(授業開始日の前日までに)	入学予定者サイトでの申し込みまたは先着順申込で履修許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。また、「先着順で申し込みを受け付ける ILAS Seminar-E2」を KULASIS で発表します。
【ILAS Seminar-E2 のみ】 先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ)： ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	当選した科目の他に更に ILAS Seminar-E2 (集中開講される科目を除く) の履修を希望する場合は、申込者数が定員を超過していない ILAS Seminar-E2 の空き定員について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されただけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>KULASIS から履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

学部 2 回生以上

(授業開始日の前日までに)	学部 1 回生の申込状況を踏まえ、「先着順で申し込みを受け付ける ILAS セミナー」および「先着順で申し込みを受け付ける ILAS Seminar-E2」を KULASIS で発表します。学部 2 回生以上の学生は、受講定員を満たしておらず、2 回生以上を受け入れ可としている科目を履修することができます。
【ILAS セミナー・ILAS Seminar-E2】 先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ) ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	申込者数が定員を超過していない ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 (集中開講される科目を除く) の空き定員について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

※学部2回生以上が、集中開講される ILAS セミナーまたは ILAS Seminar-E2（受講定員を満たしておらず、学部2回生以上を受け入れ可としている科目に限る）を履修したい場合は、別途 KULASIS のお知らせ（教務・厚生情報）により履修申込方法等の詳細を案内しますので、その指示に従ってください。これらは、履修登録期間（確認・修正期間含む）の KULASIS での履修登録を行いません。

後期

全回生

【ILAS Seminar-E2】 予備登録（KULASIS・ILAS Seminar ページ）	全学生を対象に KULASIS の ILAS Seminar ページで第1希望のみ申し込みを受け付けます。申込者数が受講定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。 前期に ILAS セミナーの履修を許可された学部1回生も、ILAS Seminar-E2 を履修することが可能です。また、学部2回生以上の学生は、2回生以上を受け入れ可としている科目のみ申し込みを受け付けます。
（授業開始日の前日までに）	履修許可された科目が KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。また、「先着順で申し込みを受け付ける ILAS Seminar-E2」を KULASIS で発表します。
【ILAS Seminar-E2】 先着順申込（KULASIS・履修登録ページ） ・先着順申込受付期間1 ・先着順申込受付期間2 ・先着順申込受付期間3	予備登録の結果、定員を超過していない ILAS Seminar-E2 の空き定員について、先着順申込受付期間1から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込も、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込（p.47～）を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず「 <u>確定</u> 」ボタンを押し、履修登録を確定してください。

※後期は ILAS Seminar-E2 のみ開講されます（ILAS セミナーは開講されません）。

◆ 統合型複合科目 ◆

【授業内容】

統合型複合科目の授業は、履修者が一堂に会する講義と少人数グループに分かれた演習のセット（週2コマ）で行われます。講義では、社会の複合的な諸課題をテーマに、担当コーディネータが中心となり、最先端の研究に取り組む様々な部局の教員が授業を行う一方、少人数演習では、履修者を少人数グループに分け、講義のテーマを題材に他の学生との協働学習を通じて、自ら問いを立て、調べ、考え、書き、議論します。例えば、自然災害をテーマに据えた科目では、自然災害は自然現象と人間社会の諸要素が相互に関係しあって起こる複合的な現象であるという前提のもと、自然災害の発生メカニズムとともに、それに対応しようとする社会の仕組みを学び、防災・減災について考えます。

なお、令和7年度は、統合科学科目群において「統合科学・少人数演習付：（副題）」として開講される予定です。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ 「統合科学・少人数演習付」が科目名で、それぞれに副題がつけられています。複数の副題が開講される科目においては、副題が異なる場合でも同一授業とみなされます（講義コードの上位4桁が同じ）。そのため、同一開講期に複数履修登録することはできません。
- ◇ 優先して履修すべき科目と時間割が重複しないように、全学共通科目クラス指定時間割、専門科目時間割を確認のうえ、履修申込をしてください。自クラスに配当された外国語科目やクラス指定科目（自由選択科目を兼ねる科目を除く）を他クラスに変更することはできません。
- ◇ 複数の「統合科学・少人数演習付」を履修し、単位を修得した場合、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます。
- ◇ 「統合科学・少人数演習付」は「統合科学」と同一科目とみなされるため、いずれも履修し、単位を修得した場合、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます。
- ◇ 「統合科学・少人数演習付」を履修すれば4単位を修得することができますが、卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部・学科によって異なりますので、注意してください。
- ◇ 実験、野外実習等を伴う科目を受講する場合には、学生教育研究災害傷害保険に各自加入してください。
- ◇ 後期は開講未定です。前期に引き続き開講される場合は、別途 KULASIS 等を通じて案内します。

【事前申込】

統合型複合科目は、予備登録を受け付け、その結果定員に余裕があれば予備登録者を許可した上で、空き定員について KULASIS にて先着順で申し込みを受け付けます。ただし、学部1回生が前期に統合型複合科目を履修する場合は、入学予定者サイトでの予備登録が必要です。事前申込にあたっては以下をよく読み、手続きしてください。また、事前申込の日程は、掲示等により案内しますので確認してください。

前期

学部1回生

予備登録 (入学予定者サイト)	入学予定者サイトで第3希望まで申し込みを受け付けます。申込者数が定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。 予備登録の抽選終了後、結果を KULASIS の ILAS セミナーページで発表します。当選した科目がある場合は、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。
先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ) : ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	予備登録の抽選で落選した場合、または当選したもとは異なる科目の履修を希望する場合、申込者数が定員を超過していない科目の空き定員について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されただけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>KULASIS から履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

学部2回生以上

先着順申込 (KULASIS・履修登録ページ) ・先着順申込受付期間 1 ・先着順申込受付期間 2 ・先着順申込受付期間 3	申込者数が定員を超過していない統合型複合科目について、先着順申込受付期間 1 から先着順で申し込みを受け付けます。この先着順申込は、全学生を対象に KULASIS の履修登録ページから受け付けます。「4. 履修登録について」の「(1) 履修登録までの事前申込手続き」における「②先着順申込」(p.47～)を参照してください。
履修登録期間 および 履修登録確認・修正期間	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。他の全学共通科目と同様、 <u>履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず [確定] ボタンを押し、履修登録を確定してください。</u>

◆ その他：海外実地セミナー ◆

令和5年度まで少人数教育科目群において開講されていた「ILAS セミナー (海外)」は、令和6年度以降はキャリア形成科目群多文化理解分野の科目「海外実地セミナー」として開講されています。

【授業内容】

海外実地セミナーの授業は、①事前講義 (現地の歴史や地理・研修内容の学習、海外での安全教育)、②海外実地研修、③事前講義と海外実地研修で学んだことをまとめたレポートの作成、以上の3点を基本に授業が設計されています。なお、この海外実地研修は大学の専任教員が引率します。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ ILAS セミナー (海外) と海外実地セミナーは同一科目とみなされますので、これらを複数修得した場合、修得年度、修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として数えられません。
- ◇ 海外実地セミナーの参加希望者は、必ず参加希望科目のガイダンスに参加してください。ガイダンスの日時場所は掲示等により案内します。
- ◇ 定員を超える申込があった科目は、無作為抽選を行い、参加者を決定します。
- ◇ 参加にあたっては、注意事項を遵守することを誓約する誓約書の提出を求めます。また、保護者の承諾を求めます。

- ◇ 事前講義では海外での安全教育を行いますので、事前講義に参加しない場合は実地研修への参加を認めないことがあります。また、国際教育交流課主催の海外渡航安全説明会への参加も必要となります。
- ◇ 交通費や滞在費、参加にあたって加入を求める海外旅行保険の保険料等、受講にかかる費用は参加者の負担になります。
- ◇ 渡航先に危険がないことを確認した上で開講していますが、紛争や感染症の流行等、渡航中の安全が確保できないと大学が判断した場合には、渡航時期を変更したり、取り止めたりすることがあります。この場合、既に支払った渡航費等の一部または全部が戻らない場合があります。
- ◇ 前期8月中旬以降・後期2月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。

12. 大学コンソーシアム京都単位互換科目について

学部生は、公益財団法人大学コンソーシアム京都の単位互換事業に参加する他の大学または短期大学（以下「他大学等」という）が提供する授業科目のうち、本学が指定する科目を履修することができます。科目を履修して合格した場合は、平成28年度以降学部入学者はキャリア形成科目群、平成25～27年度学部入学者は拡大科目群・単位互換等科目の大学コンソーシアム京都単位互換科目として認定され、さらに学部によっては卒業に必要な単位として認定されます。

①授業の特色

- ◇ 本学が指定する科目は、国際高等教育院が年度ごとに決定し、別途掲示によりお知らせします。
- ◇ 授業は科目を提供する大学またはキャンパスプラザ京都（JR 京都駅北西）で実施されます。

②履修登録

- ◇ 定員は、各授業科目によって異なります。
- ◇ 出願の受付は前期・後期・通年・集中科目とも4月上旬に行います。（追加募集がある場合は、別途9月上旬に掲示でお知らせします。）
- ◇ 出願者は、定められた期日までに全学共通科目学生窓口に出願してください。
- ◇ 履修の可否は、科目提供大学により決定され、4月下旬頃に出願者にお知らせします。
- ◇ 履修の可否が決定するまでは、仮受講してください。
- ◇ 他の全学共通科目、学部科目と重複して履修することはできません。他大学等との往復時間も考慮してください。
- ◇ 受講許可を受けた科目は、受講放棄せず、必ず受講してください。
- ◇ 「単位互換履修生証」交付のため写真提出等の手続きが必要な科目もあるので、科目提供大学の指示に従ってください。

③成績評価および単位認定

- ◇ 履修した授業科目の成績評価および単位認定については、科目提供大学の定めるところによります。
- ◇ 各学部の修得した単位の取り扱いは次のとおりです。

学部	総合人間	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農
認定	×	○	×	× (注)	×	×	×	×	×	×

○…卒業に必要な単位として認定する。 ×…卒業に必要な単位として認定しない。
(注) 法学部は履修も許可しない。

13. 大学院共通科目群、大学院横断教育科目群科目の履修について

大学院共通科目群および大学院横断教育科目群は、いずれも大学院生を対象に、専門以外に素養として備えておくべき知識・技能の教授を目的として開講されます。修得した単位の取り扱いが研究科等により異なりますので、詳細は所属研究科等の教務担当掛に確認してください。

また、大学院教育支援機構では、専門領域の壁を越え、幅広いキャリア形成を支援する「大学院教育支援機構教育コース」も設置しています。各コースは、大学院共通科目群および大学院横断教育科目群のうちから指定する科目の履修を含むカリキュラムにより構成されています。在学期間中に所定の修了要件を満たしたコース履修者には総長名の修了認定書が発行されます。各コースの概要は下記(2)のとおりです。

なお、学部生は履修することができません。

(1) 大学院共通科目群および大学院横断教育科目群の科目について

◆ 大学院共通科目群の科目 ◆

【授業内容】

「社会適合分野」、「情報テクノサイエンス分野」、「コミュニケーション分野」の3分野が設けられています。

「社会適合分野」では、大学院における研究活動の端緒として身につけるべき「研究倫理・研究公正」の他、大学院修了後に産業界へ進む学生へ向けた科目が開講されます。

「情報テクノサイエンス分野」では、大学院での学修、研究活動の基礎としての情報リテラシーや情報処理に関する科目が開講されます。

「コミュニケーション分野」では、研究会や学会等における英語を用いた発表や討議参加を目標とした科目が開講されます。また、留学生向けに日本語科目が開講されます。

開講科目は、「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)で確認してください。また、各科目の詳細はKULASISのシラバスを参照してください。

【注意事項】

◇ 半期開講、集中開講にかかわらず、開講期の履修登録期間にKULASISから履修登録(p.48～)を行ってください(大学院生のための英語プレゼンテーションおよび大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップI・IIは除く)。ただし、科目によっては人数制限を行う場合があります。この場合は、詳細をKULASISの履修(人数)制限ページおよび掲示で案内しますので、指示に従って事前申込をしてください(p.73～)。人数制限の指示がない場合は、事前申込の必要はありませんが、履修を希望する科目を時間割に追加し、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず[確定]ボタンを押してください。また、開講時期や開講形態等の都合で、別途申込期間を設けて受講申込を受け付ける場合があります。この場合は、KULASISや掲示を通じて指示します。

◇ 前期8月中旬以降・後期2月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。

◆ 大学院横断教育科目群の科目 ◆

【授業内容】

各研究科等が開講する大学院科目のうち、研究科等を横断する学際領域において、他研究科等の大学院生にも公開し、履修を推奨する科目が大学院横断教育科目群の科目として開講されます。

科目選択の参考になるよう、開講科目を「人文社会科学系」、「自然科学系」、「統計・情報・データ科学系」、「健康・医療系」、「キャリア形成系」および「複合領域系」の6つに分類しています。

開講科目は、KULASISや掲示でお知らせします。また、各科目の詳細はKULASISのシラバスを参照してください。

【注意事項】

◇ 大学院横断教育科目群の各科目について、科目を開講している研究科等に所属する学生は同科目群の科目として履修することができません。所属研究科等の指示に従い、大学院科目として履修してください。

◇ 半期開講、集中開講(問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1・L2は除く)にかかわらず、開講期(通年、通年集中開講科目は前期)の履修登録期間にKULASISから履修登録(p.48～)を行ってください。ただし、科目によっては人数制限を行う場合があります。この場合は、詳細をKULASISの履修(人数)制限ページおよび掲示で案内しますので、指示に従って事前申込をしてください(p.73～)。人数制限の指示がない場合は、事前申込の必要はありませんが、履修を希望する科目を時間割に追加し、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず[確定]ボタンを押してください。また、開講時期や開講形態等の都合で、別途申込期間を設けて受講申込を受け付ける場合があります。この場合は、

KULASIS や掲示を通じて指示します。

☆ 前期 8 月中旬以降・後期 2 月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。

(2) 大学院教育支援機構教育コースについて

各コースの登録方法等詳細は、以下の大学院教育支援機構のホームページをご確認ください。

<https://www.kugd.k.kyoto-u.ac.jp/>

◆ 産学協同教育コース ◆ (令和 5 年度設置)

【教育目的】

自らが専門領域で創造した研究成果を大学や研究機関だけでなく広く社会に展開するために必要な、起業マインド、知財、資金調達、法務を学ぶとともに、ベンチャー企業創業者・大手企業役員との討議により企業戦略や外部連携の実例にも触れることを目的とします。

また、実際に起業を体験する実践ワークショップや、研究インターンシップへの挑戦も歓迎します。

【カリキュラム・修了要件】

I. 産学協同教育コース(ベーシック)

以下の必修科目および自由選択科目よりあわせて 7 単位を修得すること。

科目名	科目群	単位数	開講期	備考
知的財産	院共通	1	前期集中	必修科目
アントレプレナーシップ入門	院共通	0.5	前期集中	必修科目
ベンチャーファイナンス入門	院共通	0.5	後期集中	必修科目
企業法務概論	院共通	2	前期	自由選択科目
企業の社会的責任-ESGの取組について-	院共通	1	前期集中	自由選択科目
キャリア・アントレプレナーシップ論	院共通	1	前期集中	自由選択科目
アントレプレナーシップ演習	院共通	2	後期集中	自由選択科目
研究開発型企業経営論	院共通	1	後期集中	自由選択科目

II. ① 京都大学技術イノベーション事業化～実践ワークショップ～プログラム

II. ② C-ENGINE 中長期研究インターンシッププログラム

原則として I. ベーシックを修了した者を対象とします。

在学期間中に、I. ベーシックにおいて必要な 7 単位を修得し、かつ II. ①実践ワークショップ又 II. ②インターンシップに参加した者には、総長名の修了認定書を授与します。

ただし、I. ベーシック、II. ①実践ワークショップ又は II. ②インターンシップ のそれぞれの区分でも個別に総長名の修了認定書を授与することができます。

◆ 教育能力向上コース ◆ (令和 5 年度設置)

【教育目的】

大学教員を目指す大学院生の教育力向上に対して社会からの要請が高まるなか、自らが専門とする研究内容を初学者や異分野を専門とする学生にも分かりやすく伝える能力を身に付けるための講義・演習、実践授業や模擬授業に取り組みます。

また、学生の健康や安全、人権、障害等への意識を高める講義を受講して、理解を深めます。

【カリキュラム・修了要件】

以下の必修科目を修得すること。

科目名	科目群	単位数	開講期	備考
大学教員になる人のための学生支援論	院共通	1	前期集中	必修科目
教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業	院共通	1	通年集中	必修科目

※本コースを履修する場合は、e-learning「全学 TA 研修」及び e-learning「TAS 研修」を必ず受講する必要があります。

※TAS=Teaching Associate は、京都大学大学院の博士後期課程、一貫制博士課程の後期3年に相当する課程又は標準修業年限が4年の博士課程の特に優秀な学生のうち、必要な研修を受講し、教育担当の理事が定める試験に合格した者に対し、教育的配慮の下に、学部学生に対する講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う授業の高度な教育補助業務及びこれに付随する教育補助業務を行わせ、大学教育の充実及び将来の大学教育における優れた指導者の養成を図る制度です。

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ グローバル生存学コース ◆ (令和5年度設置)

【教育目的】

現代の地球社会では、巨大自然災害、突発的人為災害・事故、環境劣化・感染症などの地域環境変動、食料安全保障、といった危険事象や社会不安がますます拡大している。

本コースでは、「グローバル生存学」(Global Survivability Studies, GSS) という新たな学際領域を継承し、地球社会・地域社会における安全安心の担保に寄与できるグローバル人材が身に着けるべき、コミュニケーション力、研究・開発の計画力と推進力、自ら課題を発見する能力などを涵養する。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ デザイン学コース ◆ (令和6年度設置)

【教育目的】

現代社会は複合的で複雑な様々な問題に晒されている。特に、複合的かつ複雑な問題解決には、異なる分野の専門家が協働して当たる必要がある。このような協働活動には、特定の分野に特化した専門知識に加え、専門領域を超えて問題を把握するためのデザイン実践と複雑化する問題に本質的にアプローチするための方法論が必要とされる。

本コースは、「デザイン学大学院連携プログラム」で培われた成果を活用し、部局を問わず京都大学大学院生を対象に、これからの時代に必要とされるデザイン学の思考方法論の基本を修得してもらうことで、複合的かつ複雑な社会問題に取り組むことが可能な人材育成を目指すものである。特に、教員のレクチャーだけではなく、京都大学デザインスクールをサポートするデザインイノベーションコンソーシアムや海外の大学と連携した演習等を組み合わせることにより、知識だけではなく、実践的な能力の修得を目指す。さらに本コースは、将来より専門的にデザイン学を学ぶための基礎としても位置付けられる。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ 数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース ◆ (令和6年度設置)

【教育目的】

数学はその普遍的な性質により、自然科学は勿論のこと、情報科学や社会科学など多くの分野に共通する理論的基盤となっている。

本コースは、数学・数理科学の様々なテーマに触れることで諸分野における数学の可能性を知る機会を提供し、数学・数理科学を基盤とする分野における幅広い視野を備えた人材の育成や高度な技量を備えた国際人材の育成に重層的に寄

与することを目的とする。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ サステナビリティ総合知コース ◆ (令和7年度設置)

【教育目的】

本コースは、カーボンニュートラルで持続可能な社会の実現に向け、俯瞰的視野で環境問題の解決に取り組むために必要となる総合知の基礎力を養うことが目的である。自分の専門に加え、国際情勢・経済・物質などの多角的な側面から現在直面している環境問題にアプローチする知見を得ることが本コースでは可能となる。サステナビリティの複雑な構造の理解を深め、文理の枠を超えて分野横断的に学術研究が進められるよう、総合知の習得と分野横断的な学術研究方法について解説する。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ ウェルビーイング総合知コース ◆ (令和7年度設置)

【教育目的】

本コースは、近年注目されているウェルビーイング（身体的・精神的・社会的にも良好な状態）の社会的背景について理解を深め、これらの領域における具体的な実践的問題解決方法について主体的に考えるための総合知の基礎力を養うことが目的である。この目的を達成するために、ウェルビーイングに関する基礎的な知見について、人文・社会科学/自然科学にまたがり学際的に解説する。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ フロンティア開発総合知コース ◆ (令和7年度設置)

【教育目的】

本コースは、現代社会のフロンティアとして宇宙開発（月、火星、宇宙空間などでの基地建設や資源探索など）および国際開発（途上国支援、平和構築、制度改革など）を取り上げ、これら領域における課題解決の具体的な実践方法を自ら考えるための総合知の基礎力を養うことが目的である。この目的を達成するために、宇宙開発および国際開発の双方に関する基礎的な知見について、いずれかの領域に焦点を当てながら学際的に解説する。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

(3) その他のコースについて

各コースの登録方法等詳細は、以下の大学院教育支援機構のホームページをご確認ください。

<https://www.kugd.k.kyoto-u.ac.jp/>

◆ 社会イノベーション人材育成コース ◆ (令和7年度設置)

【教育目的】

学際的アプローチによる社会課題解決を实践する実務型博士の育成を理念として掲げるコースとして、新たに社会イノベーション人材育成コースを開講します。このコースでは学際的アプローチによる社会課題解決を实践する力を身に着けることを目指します。目的に沿った実践力（企業経営／起業／公共政策）、社会で实践するデータサイエンス（理系／文系）、社会課題の基礎理解（サステナビリティ／ウェルビーイング／フロンティア開発）の3つのカテゴリで構成されています。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

14. 定期試験について

定期試験は「試験期間」(前期・後期各 1 週間。全学共通科目授業日程参照)に実施します。試験は、原則として通常と同じ曜時限に実施されます(ただし、フランス語初級統一試験など、例外的に一部普段と異なる曜時限に試験を実施する科目もあります)。

なお、試験期間に試験を実施する科目は、当該期間の 2 週間前に KULASIS にて試験時間・試験教室などの詳細を発表します。科目によっては発表後に情報が更新される場合がありますので、KULASIS で最新情報を確認するようにしてください。

また、試験期間に定期試験が実施されない科目については、定期試験に代えて「レポート試験」が課される科目や、授業中の平常点(小テスト、レポート課題提出、出席と参加の状況等を含む)のみで評価される科目等があります。

(1) 定期試験に関する一般的注意事項

- ◇ 履修登録した科目のみ受験することができます。必ず履修登録した曜時限で受験してください。登録以外の曜時限で受験しても単位は認定されません。
- ◇ 当該科目の開講期に休学した場合は、受験できません。
- ◇ 受験に際しては、必ず学生証を机上に提示してください。
- ◇ 学生証を紛失するなどして携帯していない学生は、試験開始前までに全学共通科目学生窓口へ申し出て、仮受験票を受け取ったうえで受験してください。この仮受験票の有効期間は発行日限りです。なお、吉田南構内以外の学部の教室を使って行う試験で、やむを得ず仮受験票の交付を受ける時間的余裕がない場合は、所属学部教務掛の発行する仮受験票の交付が受けられれば代用可能とします。
- ◇ 試験開始後 20 分以上遅刻した学生は、試験室への入室が許可されません。
- ◇ 試験開始後 30 分経過するまでは、試験室からの退出は許可されません。
- ◇ 試験終了 5 分前から答案回収までは、退出は許可されません。
- ◇ 長机のある教室においては、特に指示のない場合は一列置きに着席してください。なお最後尾に着席した場合は、答案を回収してください。
- ◇ スマートフォン等は電源を切り、鞆に入れておいてください。時計代わりに使用しないでください。
- ◇ 筆記用具、時計(計時機能のみ)および特に持込みを許可されたもの以外の持ち物は鞆に入れて、机の棚も確認し、足元に置いてください。(棚の中は何もない状態にする)。
- ◇ 持ち込み許可物件の「ノート」は、特に指示のないものは自筆のものに限り、ノートのコピー等の持ち込みを認めません。
- ◇ 解答用紙の氏名欄および受験者名票(定期試験の場合)は必ず記入してください(ペンまたはボールペンで記入のこと)。
- ◇ 答案に解答とは無関係な事柄を書いている場合、不正行為とみなされることがあります。
- ◇ 答案は必ず提出してください。試験を途中で放棄する場合でも、持ち帰ると不正行為とみなされることがあります。
- ◇ その他、試験中は監督者の指示に従ってください。
- ◇ 受験(レポート試験を含む)に際して万一不正行為があったときは、当該年度の全履修科目の成績がすべて無効とされるなど、所属学部の基準によって厳正な措置がとられます。

(2) 再試験

- ◇ 全学共通科目では一部科目を除いて、受験して不合格となった科目の再試験は原則として実施しません。
- ◇ 再試験が予定されている科目について、その詳細は掲示等により指示があります。

(3) 追試験

- ◇ 試験期間に定期試験を実施する科目について、履修者が受験しなかった科目の追試験を申請できる事由および追試験の対象となる期間は、次のいずれかに限ります。
 - ① 負傷又は疾病による場合。ただし、医師の診断書により証明されたもの。診断書により受験が困難であったと判断される期間。
 - ② 忌引き(配偶者又は 2 親等以内の親族の死亡)の場合。ただし、公的な文書で死亡日が確認できるもの。死亡日から起算して、配偶者又は 1 親等は連続する 7 日(休業日を含む)以内、2 親等は連続する 5 日(休業日を含む)以内の期間。

③ その他、不可抗力による場合（交通事情、罹災等で証明書等により確認できるもの）で、国際高等教育院長が認めたもの。証明書等により受験が困難であったと判断される期間。

なお、就職活動、課外活動、学部科目試験との重複等の場合は申請を認めません。

- ◇ 追試験を希望する場合は、当該試験実施日の3日後までに、全学共通科目学生窓口へ申し出てください（申請はEメールやオンラインフォーム等、別に案内する方法による）。期限を過ぎての申し出、授業担当教員への直接申請は受け付けません。
- ◇ 追試験実施期間は、フィードバック期間最終日の翌日から土日祝日を除く3日間ですが、申請者の長期入院等により追試験の実施ができない場合は、期間外に実施されることもあります。指定された追試験日に受験できなかった場合は、再度の追試験や日程変更は行いません。

15. レポートの作成について

レポート試験並びにレポート課題では、出典を記載することなく他人の文章を引用することはそれ自体、著作権法に違反する行為ですが、同時に自分では意図していなくても盗作、剽窃とみなされます。**レポート試験での不正行為についても、定期試験での不正行為と同等に、厳正な措置がとられます**（「16. 不正行為について」(p.97 参照)）。

レポートの作成に際しては、以下のルールを守るよう、十分に注意して下さい。なお不明点は、担当教員の指示に従ってください。

- 1) 自分の意見とそれ以外の部分を明確に分けること。
- 2) 著作物を引用する場合、量的にも質的にも本文が「主」であり、引用箇所が「従」の関係にあること。
- 3) 著作物を引用する場合は「」で囲むなど引用部分が明確に分かるようにすること。
- 4) 引用は誤字も含めて改変しないこと。
- 5) 引用した文献等の出典を記載すること。
- 6) 引用する著作物が公表されていること（電子メールで得た私信などは、公表されていませんので、発信者（著作権者）の許諾が必要です）。
- 7) インターネットからの引用は、その URL とページタイトル、およびその取得日を記載すること。
- 8) 課題とは無関係な事柄は書かないこと。
- 9) 過去に提出したレポートを別の科目に流用することは認めません。ただし、同内容の課題が出され、同内容のレポートを提出せざるを得ない場合は、その旨明示してください。（「このレポートは、別科目「〇〇」のレポートとしても提出した。」等）

■生成 AI の活用に関する注意■

- 1) 授業における生成 AI の使用可否や使用条件は、各授業担当教員の判断に委ねられています。レポート等の課題における生成 AI の使用可否については、必ず担当教員の指示に従ってください。大学における学びは、学生が主体的に学習することが本質です。生成 AI の出力をそのまま使用する行為は、学生自身の手によらずレポートなどの課題を作成することとなり（※1）、学びの深化に繋がらないため、原則として認められません。
- 2) 生成 AI はインターネット上の公共データベースなどに保存された情報に基づき文章を生成します。そのため、生成 AI を用いた成果物は剽窃（※2）とみなされるリスクがあります。剽窃行為やその他の不正行為に対しては、学生自身が責任を負うこととなります。また、生成 AI の出力には不正確な情報が含まれていたり、実際には存在しない情報源が参照されていたりする場合もあるため、生成 AI の利用には十分な注意が必要です。
- 3) 授業担当教員が生成 AI の使用を許可している場合でも、使用する際は参考文献やインターネットからの引用と同様に、「引用箇所を明示し、出典を記載する」ことが求められます。これらの要件が満たされていない場合、不正行為（※2）とみなされます。具体的には、レポート内で生成 AI の出力を引用する箇所には、使用した生成 AI ツールの名称（およびバージョン）を明記してください。

※1 本来、学修成果は学生自身の手によるべきものであるため、他者または AI による成果物の作成は認められません。

※2 剽窃および不正行為には、大学の規定に従い厳正な対処が行われます。「16. 不正行為について」も必ずご確認ください。

レポートは、授業内容を正しく理解し、必要に応じて文献を調査するなどして、自分なりの分析や考察を加えて作成することが、望ましい学習の姿勢です。単に、授業で教わった内容を書いただけでは、レポートとして評価されないことがあります。

【参考】

- ① レポート作成の指示は、次により行われます。
 - KULASIS や PandA に掲示
 - 授業中に教員が指示
- ② レポートの様式について
 - レポート用紙は、担当教員から特に指示がない限り、A4 判サイズのものを使用してください。
 - レポートは表紙だけでなく本文にも氏名・学生番号を記載してください。
 - レポートは本人控えとしてコピーをとり、保管しておいてください。
- ③ レポートの提出について
 - 1) 全学共通科目レポートボックスへの提出

- 全学共通科目レポートボックスは全学共通科目学生窓口の向かいのレポートボックス室にあります。
 - レポートボックス室は、授業期間、試験期間、およびフィードバック期間の平日 8 時 30 分から 18 時 45 分まで、その他の期間の平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで開室します。土日祝日は閉室します。
 - 提出期限（時間）は厳守してください。提出期限（時間）を過ぎたものは一切受け付けません。
 - 全学共通科目レポートボックスに、期限を過ぎて提出されたレポートは、教員に渡さず返却します。また、間違ったボックスに入っていた場合も同様としますので、注意してください。
 - 全学共通科目レポートボックスへ提出するレポートは、レポート表紙(KULASIS からダウンロードできます。)を使用し、レポートの 2 ケ所をホッチキスでとめて、所定のレポートボックスに提出してください。
- 2) PandA の「課題」・「提出箱」ツールへの提出
- 提出ファイル形式は教員の指示に従ってください。
 - 提出後、提出した課題ファイルが正しいものか確認してください。
 - 下書きのまま提出を怠った、PandA の操作を誤った、又は異なるファイルをアップロードしたなどの理由があっても、期限までに提出されなかった課題は採点の対象になりません。
 - 締切の直前はサーバーが混雑して提出に時間がかかることがあります。時間に余裕をもって提出してください。
 - 「課題」ツールの場合は提出後に提出状態が「提出済み」となったことを確認してください。課題を再提出するには、教員側の操作が必要な場合があります。
 - 「提出箱」ツールの場合は提出後に、提出箱の中に課題ファイルが存在することを確認してください。
- 3) その他の提出方法
- 担当教員、専攻事務室等へ提出のレポートはそれぞれの指示に従って提出してください。

16. 不正行為について

定期試験、レポート試験での不正行為は、絶対に許されるものではありません。また、試験に臨む時は、不正行為を疑われるような紛らわしい態度を取らないように注意しなければなりません。本学はこれらの不正行為に対して厳正に対処し、万一不正行為があったときは、当該年度の全履修科目の成績がすべて無効※とされるなど、所属学部の基準に従って厳正な措置がとられます。

授業中に課される小テストやレポート課題等においても、以下の不正行為を行わないことが当然に求められます。万一授業中に課される小テストやレポート課題等で不適切な行為があれば、授業担当者が厳格に対処します。

※無効とは成績を0点として処理することを意味します。

■不正行為、不正行為とみなされる行為■

- ① 定期試験における不正行為には、以下のようなものがあります。
 - 1) カンニング（持ちこみを許可されたもの以外を使用すること、他の受験者の答案等を見ること、他の者から答えを教わることなど）をすること。
 - 2) 試験時間中に、答えを教えるなど他の者を利するような行為をすること。
 - 3) 受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
また、試験場における以下のような行為は、不正行為とみなされることがあります。
 - 4) 答案用紙を試験場外に持ち出すこと。
 - 5) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - 6) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - 7) その他、試験の公平性を損ない、試験の適正な実施を妨げる行為をすること。
 - 8) 答案に解答とは無関係な事柄を書くこと。
- ② レポート試験で不正行為とみなされる行為には以下のようなものがあります。
 - 1) 他人の文章や着想などをあたかも自分のものであるかのように用いた場合、このような行為は剽窃という社会的倫理に違反する行為です。
 - 2) 他人の著作物を引用する際に、引用箇所を明示しない、出典を記載しないなど引用が不適切に行われた場合。1) の剽窃と重なる面もありますが、不適切な引用はそれ自体が著作権法に違反する行為となります。
 - 3) 自分が作成したレポートを、流用されると知りながら他の人に見せ、それが他の人によって流用された場合（レポートを見せた者および流用した者の双方とも不正行為として取り扱われます）。
 - 4) 他人のレポートを代筆すること（代筆を依頼した者および代筆した者の双方とも不正行為として取り扱われます）。
 - 5) 特に指示がないにもかかわらず、共同でレポート作成し、そのレポートが酷似していた場合（学生同士で授業で学んだ内容について意見交換をすることは良いことですが、科目担当者による明確な指示がない場合は各自でレポートの作成を行ってください）。
 - 6) 科目担当者の指示に意図的に従わない行為。
 - 7) 課題とは無関係な事柄を書くこと。
 - 8) 過去に提出したレポートを、そのことを明示することなく意図的に他の科目においても提出すること。

■不正行為への対処■

国際高等教育院では、全学共通科目について授業担当者などから不正行為の疑いの報告を受けた場合、報告された事案について調査を行い、必要に応じて呼び出して事情を聴取することがあります。不正行為と認定された場合は、皆さんの所属の学部・研究科に報告し、学部・研究科が措置を決定します。

措置の詳細は学部・研究科によって異なりますが、試験やレポートでの不正行為についてはその科目だけでなく当該年度のすべての履修科目の成績を無効にするなど厳しい措置が取られます。

17. 公正な研究について

学術研究を重要な使命とする京都大学では研究における不正の防止に努め、公正な学術研究を行うことを推進しています。

学生の皆さんも専門教育における卒業論文、卒業研究などの形で本学における研究活動に参加していくことになりませんが、そこでは公正な研究を行うことが求められます。全学共通科目のレポート作成における剽窃（盗用）の禁止、出典の明示などは、公正な研究としても当然のこととして要求される学術的素養の基礎ですので、全学共通科目の受講を通じて、学生一人一人が必ず身に付けてください。

この他にも、公正な研究を行うために求められるもの、また研究不正行為とされるものについては、以下のようなものがあります。誠実な研究者として活躍していくためには、公正な研究の実施について十分な配慮が求められます。

① 公正な研究とは

公正な研究について参考文献 1)* では以下のように示されています。

公正で責任ある研究活動を推進するうえで、どの研究領域であっても共有されるべき「価値」があります。「研究公正に関するシンガポール宣言」（2010年制定）では、そのような「価値」を次の4つの原則にまとめました。

- 1) 研究のすべての側面における誠実性
- 2) 研究実施における説明責任
- 3) 他者との協働における専門家としての礼儀及び公平性
- 4) 他者の代表としての研究の適切な管理

② 研究不正行為とは

また、研究不正にあたる行為についても参考文献 1)* では以下の3つが挙げられています。

- 1) 捏造
存在しないデータ、研究成果等を作成すること。
- 2) 改ざん
研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
- 3) 盗用
他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること。

さらに、これ以外であれば、正当であるということの意味するものではなく、例えば、参考文献 1)* によれば、以下のような行為は、不適切な研究活動のあり方とされています。そのような行為を行わないよう注意する必要があります。

- 1) 重要な研究データを、一定期間、保管しないこと
- 2) 研究記録の不適切な管理
- 3) 論文著者の記載における問題
- 4) 研究試料、研究データの提供拒絶
- 5) 不十分な研究指導、学生の搾取
- 6) 研究成果の不誠実な発表（特にメディアに対して）

* 参考文献

- 1) 日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会「【テキスト版】科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—」（平成27年2月）

18. 成績について

(1) 単位の認定・成績評価

単位の認定は、履修した科目の成績によって認定されます。なお、成績評価は、平成27年度より100点満点の素点で成績評価がなされ60点以上の成績で単位が認定されます。成績証明書には素点を6段階の評語に変換して、修得した科目の成績のみ記載します。素点と評語の対応および評語の適用基準は以下の対応表に記載されている通りです。

【成績の対応表】

◎令和2年度以降に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される者

素点	評語	適用基準	
96～100点	A+	合格基準に達している。	学修の高い効果が認められ、傑出した成績である。 ／ Outstanding
85～95点	A		学修の高い効果が認められ、特に優れた成績である。 ／ Excellent
75～84点	B		学修の高い効果が認められ、優れた成績である。 ／ Good
65～74点	C		学修の効果が認められる。 ／ Fair
60～64点	D		最低限の学修の効果が認められる。 ／ Pass
0～59点	F	合格基準に達していない。	不合格。／ Fail

◎平成27年度以降令和元年度以前に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される者

素点	評語	意味
96～100点	A+	極めて優れている。／ Outstanding
85～95点	A	特に優れている。／ Excellent
75～84点	B	優れている。／ Good
65～74点	C	合格基準に達しており、学修の効果が認められる。／ Fair
60～64点	D	合格基準に達しているが、更なる努力が求められる。／ Pass
0～59点	F	不合格。／ Fail

◎平成26年度以前に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される者（旧評語）

素点	評語	評語 (平成26年度以前修得の一部科目)	備考
80～100点	優	合格	単位が認定される
70～79点	良		
60～69点	可		
0～59点	不合格	不合格	単位が認定されない

※秀を使用している部局は90点～100点は秀、80～89点は優。

(2) 採点結果確認

前期科目は8月下旬に、後期および通年科目は2月下旬に、KULASISの採点確認ページで採点結果を確認することができます。詳細は別途掲示します。

なお、集中講義で、前期は8月中旬以降、後期は2月中旬以降に実施されるものについては、この期間に採点結果を確認することができないので注意してください。

(3) 採点結果に対する異議申立

当該期の採点結果について、次のものに限り異議を申立てることができます。

- ①採点の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われるもの
- ②シラバス等により周知している成績評価の方法等から、明らかに疑義があるもの

■申立の方法等■

前頁(2)の採点結果確認期間内に、KULASISの採点結果確認画面から、理由・根拠を明記し、異議申立を行ってください。

担当教員に直接異議を申し出ることはできません。

なお、KULASISでの異議申立は3科目まで可能ですが、さらに申立てる必要がある場合は、採点結果確認期間内に全学共通科目学生窓口で対応します。

また、国際高等教育院において申立内容を確認し、上記(3)の①又は②に該当しない申立は対象外とします。(対象外の例：救済措置の嘆願、申立理由・根拠の記載がないか不十分、採点結果理由の問合せ、〇点以下の場合は単位不要や履修取消の要請、間違えた箇所を知りたい等、採点結果に関する疑義ではないもの、申立として不適切な文言・絵文字などが含まれる場合)

※上記に反する行為をした場合は、成績取り消しとなる場合がありますので注意してください。

(4) 成績表

前期科目は8月下旬以降に、後期および通年科目は2月下旬以降に、各学部・研究科において学業成績表が交付されます。配付方法等詳細は各学部の掲示を参照してください。

なお、集中講義で、前期は8月中旬以降、後期は2月中旬以降に実施されるものについては、次期の成績表に掲載されます。

(5) GPA (Grade Point Average)

学生の自律的な学修の促進および学生に対する学修指導等に活用することを目的として、平成28年度以降入学用者の卒業要件が適用される学部生を対象にGPA制度が導入されています。

①評語とGPの対応

評語は下表に基づきGPに変換されます。

評語	A+	A	B	C	D	F
GP	4.3	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

②GPAに算入される科目

各学部において、GPAに算入する科目および同一科目を複数回履修した場合の計算方法を定めています。詳細は所属学部の教務担当掛に確認してください。

③GPAの種別

本学在学中の全期間における学修の成果を示す指標として「累積GPA」を、当該学期における学修成果を示す指標として「学期GPA」を算出します。GPAは小数点第二位まで表示。小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入。

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{(在学期間に履修登録した GPA 算入科目の GP} \times \text{当該科目の単位数) の総和}}{\text{在学期間に履修登録した GPA 算入科目の総単位数}}$$

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{(当該学期に履修登録した GPA 算入科目の GP} \times \text{当該科目の単位数) の総和}}{\text{当該学期に履修登録した GPA 算入科目の総単位数}}$$

上記の計算式にあるとおり履修登録した科目の単位数が算出されるGPAに影響を与えることから、履修登録が確定してから一定期間後に、履修取消期間が設けられています。(p.52)

④GPAの表示

学業成績表には、不合格となった科目も含めた全ての履修単位に係る成績、「学期GPA」および「累積GPA」が記載されます。成績証明書には、原則としてGPAは記載されません。特にGPAが記載された成績証明書が必要な場合には、所属学部の教務担当掛に問い合わせてください。

19. 気象警報等に伴う授業・試験の取扱いについて

(1) 休講等の措置について

本学では「京都大学における災害等に伴う休講等の措置等に関する取扱要項」を定めており、災害その他の本学学生の安全確保が必要な事態（以下「災害等」という。）が発生し、又は発生するおそれのある場合、授業および定期試験（以下「授業等」という。）の実施については以下のとおり取り扱います。

なお、そのような事態が発生した（あるいは想定される）場合、可能な限り KULASIS 及び本学ホームページ等で休講等の措置を周知します。

①気象警報等又は交通機関の運休による休講等の措置について

次の(1)～(3)のいずれかに該当する場合、気象警報等又は交通機関の運休については別表1に、交通機関の計画運休については別表2に定めるところにより、対面により行う授業（京都大学通則第3条第3項に定める土日・祝日等の定期休業日を除く）の休止又は定期試験延期の措置（以下「休講等の措置」という。）をとります。

(1) 吉田キャンパス

- ◇ 京都市又は京都市を含む地域に気象等に関する特別警報又は暴風警報若しくは暴風雪警報（以下「気象警報等」という。）が発表された場合
- ◇ 京都市営バスが災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に運休した、又は計画運休（自然災害による被害を未然に防ぐために交通機関があらかじめその運休を決定し、実施することをいう。以下同じ。）する場合
- ◇ 次の2つ以上の交通機関が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に又は部分的に運休した、又は計画運休する場合
 - ・ JR 西日本（京都線の京都駅～大阪駅間、琵琶湖線の長浜駅～京都駅間、湖西線の近江塩津駅～京都駅間、奈良線の京都駅～奈良駅間及び嵯峨野線の京都駅～園部駅間）
 - ・ 阪急電鉄（京都線の京都河原町駅～大阪梅田駅間）
 - ・ 京阪電鉄（京阪本線・鴨東線・中之島線の出町柳駅～淀屋橋駅又は中之島駅間）
 - ・ 近畿日本鉄道（京都線の京都駅～大和西大寺駅間）
 - ・ 京都市営地下鉄（烏丸線の国際会館駅～竹田駅間、東西線の六地蔵駅～太秦天神川駅間）

(2) 宇治キャンパス

- ◇ 宇治市又は宇治市を含む地域に気象警報等が発表された場合
- ◇ JR 西日本（奈良線の京都駅～奈良駅間）及び京阪電鉄（宇治線の中書島駅～宇治駅間）の全ての交通機関が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に又は部分的に運休した、又は計画運休する場合

(3) 桂キャンパス

- ◇ 京都市又は京都市を含む地域に気象警報等が発表された場合
- ◇ 京都市営バス、京阪京都交通バス及びヤサカバスの路線のうち、教育担当理事（以下「担当理事」という。）が別に定める路線が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に運休した、又は計画運休する場合
- ◇ JR 西日本（京都線の京都駅～大阪駅間）及び阪急電鉄（京都線の京都河原町駅～大阪梅田駅間）の全ての交通機関が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に又は部分的に運休した、又は計画運休する場合

<別表1>

1・2時限の授業等の取扱い

状 況	授業等の取扱い
午前6時30分の時点で気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生している場合	1・2時限は、休講等の措置をとる。
午前6時30分から午前8時45分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	

午前8時45分から午前10時30分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	2時限は、休講等の措置をとる。 1時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、1時限の途中からでも休講等の措置をとる。
午前10時30分から午前12時00分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	2時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、2時限の途中からでも休講等の措置をとる。

3・4・5時限の授業等の取扱い

状 況	授業等の取扱い
午前6時30分から午前10時30分までの間に気象警報等が解除され、又は交通機関の運休が終了した場合	3・4・5時限は、授業等を実施する。
午前10時30分の時点で気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生している場合	3・4・5時限は、休講等の措置をとる。
午前10時30分から午後1時15分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	
午後1時15分から午後3時00分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	4・5時限は、休講等の措置をとる。 3時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、3時限の途中からでも休講等の措置をとる。
午後3時00分から午後4時45分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	5時限は、休講等の措置をとる。 4時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、4時限の途中からでも休講等の措置をとる。
午後4時45分から午後6時15分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	5時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、5時限の途中からでも休講等の措置をとる。

<別表2>

状 況	授業等の取扱い
午後0時30分より前に計画運休が開始される場合	休講等の措置の終了(※)の時まで休講等の措置をとる。
午後0時30分から午後2時45分までの間に計画運休が開始される場合	第1時限は授業等を実施し、第2・3・4・5時限は休講等の措置の終了(※)の時まで休講等の措置をとる。
午後2時45分から午後5時00分までの間に計画運休が開始される場合	第1・2時限は授業等を実施し、第3・4・5時限は休講等の措置の終了(※)の時まで休講等の措置をとる。
午後5時00分から午後6時45分までの間に計画運休が開始される場合	第1・2・3時限は授業等を実施し、第4・5時限は休講等の措置の終了(※)の時まで休講等の措置をとる。
午後6時45分から午後8時30分までの間に計画運休が開始される場合	第1・2・3・4時限は授業等を実施し、第5時限は休講等の措置の終了(※)の時まで休講等の措置をとる。

※①の場合において、担当理事は、各部局の事情を考慮して、吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスの全部又は一部において授業等の実施が可能と判断したときは、当該キャンパスの関係する部局の長と調整の上、当該キャンパスの全部又は一部の休講等の措置を終了する。

②理事の判断による休講等の措置について

①のほか、担当理事は、各部局の事情を考慮して、吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスの全部又は一部において学生の安全確保のため休講等の措置をとる必要があると判断したときは、当該キャンパスの関係する部局の長と調整の上、当該キャンパスの全部又は一部において休講等の措置をとることがあります。

③地震による休講等の措置について

吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスを含む地域で震度6弱以上の地震が発生した場合、当分の間、休講等の措置をとります。

④土日・祝日等の定期休業日に行う授業の休講等の措置について

京都大学通則第3条第3項に定める土日・祝日等の定期休業日に行う授業については、国際高等教育院長が休講等の措置をとることがあります。

(2) 特別警報、暴風警報発令、公共交通機関運行休止等で授業が休講等になった場合

- ・授業が休講のために補講が行われる場合は、掲示等でお知らせします。
- ・試験延期の場合は、延期当日を含めた3日以内に掲示等で指示します。
- ・(1) ①「気象警報等又は交通機関の運休による休講等の措置について」に挙げる(1)~(3)のいずれかが発生した日がレポートの締切日となっている場合は、原則として1日の期限延期の措置を取ります。ただし、別途指示がある場合もありますのでKULASISの通知等に注意してください。

(3) 通学が困難な場合の救済措置

(1)による休講等の措置をとらない場合であっても、次のいずれかに該当する事態が発生したことにより全学共通科目の授業等に出席できなかったときは、救済措置をとることがあります。

ただし、対象となるのは欠席したことが成績評価に直接結びつく授業のみです。

救済措置を希望する場合は、当該事態の確認のために必要な関係書類を添えて「授業欠席届」を全学共通科目学生窓口へ提出してください。（「授業欠席届」は全学共通科目学生窓口で配付します。）

申し出が受理された場合、授業担当教員へ報告いたします。

- (1) 居住地を含む地域における震度6弱以上の地震の発生
- (2) 居住地を含む地域における避難指示の発令
- (3) 居住地を含む地域における気象警報等の発表
- (4) その他居住地を含む地域又は通学経路における前3号に準ずる災害等の発生

20. 地震等の発生時の避難方法について

吉田南構内の各教室に避難経路の案内図を設置しています。

(1) 地震の発生時の対応

吉田南構内の講義室はすべて耐震基準を満たしており、倒壊又は崩壊する可能性は低く、慌てて建物の外へ出る必要はないので、大きな揺れが収まった後、教員等の指示に従い落ち着いて行動してください。また、屋外に避難する指示が出た場合は、吉田南構内グラウンドに避難してください。教員等の指示が出るまでの間、勝手な行動は慎んでください。

(2) 火災発生時の対応

各教室の教員の指示に従ってください。避難指示が出た時には教員の指示に従い建物外に出て吉田南構内グラウンドに避難してください。

なお、誤って火災報知器を作動させた場合は、直ちに全学共通科目学生窓口まで知らせてください。

21. 学内ネットワークへの接続について

吉田南構内の教室等には学内無線 LAN (KUINS-Air) のアクセスポイントが設置されており、皆さんが保有するノートパソコンをネットワークに接続できる環境が提供されていますので、学習に役立ててください。

ネットワークの利用にあたっては、ID・パスワードの適切な管理やコンピュータウイルス対策等の情報セキュリティに注意を払わなければなりません。情報環境機構ウェブサイト (<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/prepare/>) などを参考に、適切に学内ネットワークを利用してください。

22. 授業情報の守秘について

KULASIS や PandA を通じて得られる授業資料や授業連絡メール等の授業情報は、原則当該授業の履修者に限定して公開されています。とりわけ、授業資料が著作物である場合、履修者が授業で必要と認められる限度において複製、公衆送信できることとされています。授業情報を別のウェブサイトへ転載したり、SNS 等で共有したりしないでください。

また、授業自体を著作権者である教員に無断で私的な範囲を超えて使用すること（やや極端な例を挙げると、授業を撮影し、インターネット上に公開して第三者も見られるようにするなど）も著作権の侵害になります。このような行為も止めてください。

Ⅲ. 全学共通科目授業科目

1. 科目一覧の見方

科目体系	科目は10の科目群に区別され、群ごとに分野等が設けられて体系的に開講されています (p.4～参照)。
科目名	<p>「I・II」及び「A・B」等の区分については、原則として次のルールに基づいて付けられています。</p> <p>「I・II」の区分は、科目の並列を意味し、当該科目は同じ学術領域に属するものですが、扱う話題や切り口が異なる場合につけています。</p> <p>ただし、日本語を除く初修外国語については、「I・II・III」は初級・中級・上級を表します。</p> <p>「A・B」の区分は、当該科目が通年の科目として理解の到達目標には前期・後期を通した授業を行うことが合理的で、さらにBに相当する科目内容の理解にはAに相当する内容の理解が必要となる場合に限り付けています。</p>
英語授業の有無	英語でも開講されている授業がある場合、丸印を付しています。
備考	<p>科目名変更は、令和6年度開講科目からの科目名変更を記載しており、変更前の科目と同一科目扱いとなります。また、統合された科目は、統合前の全ての科目と同一科目扱いとなります。同一科目を複数修得した場合、開講期が異なっても、修得年度、修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として数えられません。なお、令和5年度以前入学者は、令和6年度以前の科目名変更を記載したKULASIS掲載の「令和5年度以前入学者用の授業科目一覧」も必ず参照し、同一科目を確認してください。ただし、人文・社会科学科目群（「外国文献研究」）、外国語科目群、少人数教育科目群（ILASセミナー）には、複数履修が可能な科目があります（「5. 外国語の履修について」(p.53～)、「6. E科目（英語関連科目）の履修について」(p.68～)及び「11. ILASセミナー・統合型複合科目等の履修について」(p.82～)参照）。</p>

2. 全学共通科目一覧

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考		
人文・社会科学科目群	哲学・思想	基礎	哲学I					
			哲学II					
			倫理学I	○	Ethics I-E2			
			倫理学II	○	Ethics II-E2			
			論理学I	○	Logic I-E2			
			論理学II	○	Logic II-E2			
			西洋社会思想史I					
			西洋社会思想史II					
			東洋社会思想史I	○	The History of Eastern Thought I-E2			
			東洋社会思想史II					
			宗教学I	○	Science of Religion I-E2			
			宗教学II					
			科学論I					
			科学論II					
			History of Modern Science-E2					
			Philosophy of Modern Science-E2					
			Japanese Philosophy I-E2					
			Japanese Philosophy II-E2					
			Philosophy of Nature I-E2					
			Philosophy of Nature II-E2					
			Theories of Religion in the Social Sciences-E2					
			各論	自己存在論I				
				自己存在論II				
				人間実践論I				
				人間実践論II				
				認識人間学I				
				認識人間学II				
				宗教学各論I(死生学)				
				宗教学各論II(死生学)				
	哲学・文化史I							
	哲学・文化史II							
	哲学基礎ゼミナール							
	倫理学基礎ゼミナール							
	西洋思想史基礎ゼミナール							
	科学論基礎ゼミナール							
	歴史・文明	基礎	日本史I	○	Japanese History I-E2			
				○	Social History of Japanese Technology I-E2			
			日本史II	○	Japanese History II-E2			
				○	Social History of Japanese Technology II-E2			
			東洋史I	○	Oriental History I-E2			
			東洋史II	○	Oriental History II-E2			
			西洋史I	○	Western History I-E2			
			西洋史II	○	Western History II-E2			
現代文明I								

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考		
人文・社会科学科目群	歴史・文明	基礎	現代文明II					
			Introduction to World Religions-E2					
			Introduction to Asian Societies-E2					
			Religion in Contemporary Society-E2					
		各論	日本史各論					
			アメリカ現代史入門					
			現代史概論					
			日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナール I					
			日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナールII					
			東洋史基礎ゼミナール I					
			東洋史基礎ゼミナールII					
			東洋社会思想史基礎ゼミナール					
			ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール I					
			ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールIIB					
			Japanese Intellectual History I-E2					
			Japanese Intellectual History II-E2					
			Japanese Popular Culture I-E2					
			Japanese Popular Culture II-E2					
			芸術・文学・言語	基礎	芸術学I			
					芸術学II			
	音楽学(西洋の音楽)					新規科目		
	音楽芸術論I							
	音楽芸術論II							
	東洋美術史I	○			History of Oriental Art I-E2			
	東洋美術史II	○			History of Oriental Art II-E2			
	日本・東洋音楽史 I					新規科目		
	日本・東洋音楽史 II					新規科目		
	国語国文学I							
	国語国文学II							
	日本近代文学I							
	日本近代文学II							
	漢文学I							
	漢文学II							
	言学I							
	言学II							
	言語科学I							
	言語科学II							
	ドイツ文学							
	少数言語論			新規科目				
	Introduction to Linguistic Science-E2							
Introduction to Japanese Linguistics I-E2								
Intercultural Communication I-E2								
Intercultural Communication II-E2								
各論	創造行為総論A							
	創造行為総論B							

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
人文・社会科学科目群	芸術・文学・言語	各論	近代芸術論A			「近代芸術論B」と隔年開講
			創造ルネッサンス論A			
			創造ルネッサンス論B			
			創造ルネッサンス論基礎ゼミナール			
			創造行為論講読演習			
			日本古典講読論I			
			日本古典講読論II			
			日本語学文献講読論I			
			日本語学文献講読論II			
			日本近代文学基礎ゼミナール			
			ギリシア語A			
			ギリシア語B			
			ラテン語A			
			ラテン語B			
			言語構造機能論			
			言語認知論			
			言語比較論I			
			言語比較論II			
			日本語コミュニケーションの特徴			
			日本語の時間表現の諸相			
	Introduction to Classical Japanese Literature					
	メディアアート					
	教育・心理・社会	基礎	教育学I	○	Pedagogy I-E2	
			教育学II	○	Pedagogy II-E2	
			心理学I	○	Psychology I-E2	
			心理学II	○	Psychology II-E2	
			行動病理学I			
			行動病理学II			
			精神分析学	○	Psychoanalysis-E2	
			社会学I	○	Sociology I-E2	
			社会学II			
			日本観照：多文化環境で学ぶ現代日本社会の諸相			
		各論	偏見・差別・人権			
Education in Contemporary Japan						
ジェンダー論						
教育学基礎ゼミナール						
ジェンダー論基礎ゼミナール						
社会心理学			○	Social Psychology-E2		
関係発達論I						
関係発達論II						
認知心理学I						
認知心理学II						
精神分析I						
精神分析II			○	Psychoanalysis II-E2		
神経心理学I						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考		
人文・社会科学科目群	教育・心理・社会	各論	神経心理学II					
			グループ・ダイナミクス					
			社会心理学基礎ゼミナール					
			発達心理学基礎ゼミナール					
			視覚科学基礎ゼミナール					
			神経心理学基礎ゼミナール					
			精神病理学・精神分析学講読演習					
			社会学各論I					
			社会学各論II					
			社会学基礎ゼミナールI					
			社会学基礎ゼミナールII					
			Advanced Lecture for Pedagogy I-E2					
			Advanced Lecture for Pedagogy II-E2					
			Introduction to Educational Psychology I-E2					
			Introduction to Educational Psychology II-E2					
			Introduction to Educational Studies I-E2					
			Introduction to Educational Studies II-E2					
			Introduction to Globalization Studies-E2					
			Introduction to Social Research-E2					
			Introduction to Sociology of Work-E2					
			Introduction to Sociological Observation-E2					
			Introduction to Risk Communication-E2					
			Introduction to Society and Community Studies-E2					
			Introduction to Ritual Studies-E2					
			Disaster and Culture-E2					
			Introduction to Comparative Psychology-E2					
			Introduction to Primate Behavior and Cognition-E2					
			地域・文化	基礎	文化人類学I	○	Cultural Anthropology I-E2	
					文化人類学II			
	生態人類学I							
	生態人類学II							
	自然地理学							
	人文地理学	○			Human Geography-E2			
	地域地理学							
都市空間論								
各論	文化人類学各論I	○		Topics in Cultural Anthropology I-E2				
	文化人類学各論II							
	宗教人類学							
	民俗学I							
	民俗学II							
	Linguistic Anthropology							
	社会人類学調査演習							
文化人類学調査演習								
人文地理学各論I(都市)								
人文地理学各論II(村落)								

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考		
人文・社会科学科目群	地域・文化	各論	人文地理学各論Ⅲ(歴史地理)					
			人文地理学各論Ⅳ(地理情報)					
			人文地理学各論Ⅴ(経済地理)					
			地域地理学各論Ⅰ(日本)					
			地域地理学各論Ⅱ(欧米)					
			地域地理学各論Ⅲ(アジア・アフリカ)					
			地理学基礎ゼミナールⅠ(読図)					
			地理学基礎ゼミナールⅡ(作図)					
			地理学基礎ゼミナールⅢ(地理情報)					
			都市空間論各論Ⅰ					
			都市空間論各論Ⅱ					
			都市空間論基礎ゼミナールⅠ					
			都市空間論基礎ゼミナールⅡ					
			イスラーム世界論Ⅰ				「イスラーム学の基礎」から科目名変更	
			イスラーム世界論Ⅱ				「イスラーム思想入門」から科目名変更	
			イスラーム世界論Ⅲ				「イスラーム経済論」から科目名変更	
			朝鮮・韓国学入門					
			東南アジアの政治					
			ラテン・アメリカ現代社会論					
			地域研究概論					
			南アジアの政治と社会					
			Topics in Human Geography VIII-E2					
			Contemporary Japanese Architecture-E2					
			Theory of Landscape Design-E2					
			Environmental Anthropology-E2					
			Introduction to Globalization I-E2					
			Introduction to Globalization II-E2					
			Introduction to Urban Geography-E2					
			Introduction to Urban Planning-E2					
			Environmental Histories of South Asia-E2					
			Food and Globalization I-E2					
			法・政治・経済	基礎	日本国憲法			
					法学			
					政治学Ⅰ	○	Political Science I-E2	
					政治学Ⅱ	○	Political Science II-E2	
					経済学Ⅰ			
経済学Ⅱ								
Introduction to Economics-E2								
Principles of Economics-E2								
Economy and Society I-E2								
Economy and Society II-E2								
Contemporary Economics I-E2								
Contemporary Economics II-E2								
Introduction to Management-E2								
Contemporary Management-E2								

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
人文・社会科学科目群	法・政治・経済	基礎	Introduction to Game Theory-E2			
			Applied Game Theory-E2			
			Law and Culture in Japan-E2			
		各論	労働と法			
			環境と法			
			家族と法			
			国際法入門			
			社会保障と法			
			裁判制度入門			
			民事裁判入門			
			刑事裁判入門			
			労働と法基礎ゼミナール			
			グローバル規範論基礎ゼミナール			
			現代政治分析への招待			
			歴史の中の政治と人間			
			公共政策論I			
			公共政策論II			
			現代経済社会論I			
			現代経済社会論II			
			社会経済システム論I			
			社会経済システム論II			
			公共政策論基礎ゼミナール I			
			公共政策論基礎ゼミナールII			「環境経済・政策論基礎ゼミナール」と隔年開講
			社会・経済システム原論基礎ゼミナール			
			経済原論基礎ゼミナール			
			現代社会と法基礎ゼミナール			
			統計リテラシー			
			統治機構論			
			国際政治論I			
			国際政治論II			
			国際政治論基礎ゼミナール			
			思想と法			
			法哲学基礎ゼミナール			
			Japan's Political Economy-E2			
			Democracy in Crisis-E2			
			Japanese Politics-E2			
			Local Government in Comparative Perspective-E2			
		International History 1900 to the Present-E2				
		An International History of East Asia 1839-1945-E2				
		Introduction to Political Science-E2			新規科目	
		State and Civil Society I-E2				
		State and Civil Society II-E2			「Theories of Justice and Human Rights-E2」から科目名変更	
		日本理解	Culture and Traditions in Japan I			
			Culture and Traditions in Japan II			
			Current Issues in Japan I			
			Current Issues in Japan II			

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考	
人文・社会科学科目群	日本理解		日本社会論				
			現代日本の社会問題				
			日本の経済				
			日本の法と政治				
			日本の歴史と文化				
			日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅰ				
			日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅱ				
			日本語・日本文化研修プログラム修了研究論文				
	外国文献研究		外国文献研究(全・英)-E1				
			外国文献研究(文・英)A-E1				
			外国文献研究(文・英)B-E1				
			外国文献研究(教育・英)I-E1				
			外国文献研究(教育・英)II-E1				
			外国文献講読(法・英)I-E1				
			外国文献講読(法・英)II-E1				
			外国文献研究(経・英)A-E1				
			外国文献研究(経・英)B-E1				
	自然科学科目群	基礎		微分積分学(講義・演義)A	○	Calculus with Exercises A	「微分積分学(講義・演義)A」は「微分積分学A」と同一科目の扱い
				微分積分学A			「微分積分学A」は「微分積分学(講義・演義)A」と同一科目の扱い
			微分積分学(講義・演義)B	○	Calculus with Exercises B	「微分積分学(講義・演義)B」は「微分積分学B」と同一科目の扱い	
			微分積分学B			「微分積分学B」は「微分積分学(講義・演義)B」と同一科目の扱い	
			線形代数学(講義・演義)A	○	Linear Algebra with Exercises A	「線形代数学(講義・演義)A」は「線形代数学A」と同一科目の扱い	
			線形代数学A			「線形代数学A」は「線形代数学(講義・演義)A」と同一科目の扱い	
			線形代数学(講義・演義)B	○	Linear Algebra with Exercises B	「線形代数学(講義・演義)B」は「線形代数学B」と同一科目の扱い	
			線形代数学B			「線形代数学B」は「線形代数学(講義・演義)B」と同一科目の扱い	
			自然現象と数学	○	Mathematical Description of Natural Phenomena		
			数学探訪Ⅰ	○	Quest for Mathematics I-E2		
			数学探訪Ⅱ	○	Quest for Mathematics II-E2		
			数学基礎A[文系]				
			数学基礎B[文系]				
		微分積分学[文系]	○	Calculus-E2[For non-science majors]	新規科目		
		線形代数学A[文系]	○	Linear Algebra A-E2[For non-science majors]	新規科目		
		線形代数学B[文系]	○	Linear Algebra B-E2[For non-science majors]	新規科目		
数学		発展		微分積分学続論Ⅰ-ベクトル解析	○	Advanced Calculus I-Vector Calculus	
				微分積分学続論Ⅱ-微分方程式	○	Advanced Calculus II-Differential Equations	
				線形代数学続論	○	Advanced Linear Algebra	
				確率論基礎	○	Elementary Probability-E2	
			関数論	○	Function Theory of a Complex Variable-E2		
			応用数学セミナー			「非線型数学セミナー」から科目名変更	
			数値計算の基礎				
			数理論理学A				
			数理論理学B				
			現代の数学と数理解析				
			対称性の数理				

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考	
自然科学科目群	数学	発展	Honors Mathematics A-E2				
			Honors Mathematics B-E2				
	データ科学	基礎	数理・データ科学のための数学入門I				
			数理・データ科学のための数学入門II				
			統計入門	○	Introductory Statistics-E2		
			数理統計	○	Mathematical Statistics-E2		
			データ分析基礎	○	Basic Data Analysis-E2		
		発展	統計と人工知能	○	Second Course in Statistics-E2		
			データ分析演習I	○	Data Analysis Practice I-E2		
	データ分析演習II		○	Data Analysis Practice II-E2			
	物理学	基礎	物理学基礎論A	○	Fundamental Physics A		
				Fundamental Physics A-E2			
			物理学基礎論B	○	Fundamental Physics B		
				Fundamental Physics B-E2			
			物理学実験	○	Elementary Experimental Physics-E2		
			熱力学	○	Thermodynamics		
				Thermodynamics-E2			
			初修物理学A	○	Elementary Course of Physics A-E2		
			初修物理学B				
			力学統論	○	Advanced Dynamics		
				Advanced Dynamics-E2			
			振動・波動論	○	Physics of Wave and Oscillation		
		Physics of Wave and Oscillation-E2					
		電磁気学統論	○	Advanced Course of Electromagnetism-E2			
		みんなの物理I	○	Physics for All-E2			
		みんなの物理II					
		A Guide to Modern Physics A-E2					
		Introduction to Solid State Physics-E2				「Introduction to Light Control-E2」から科目名変更	
	Fundamentals of Materials I-E2						
	Fundamentals of Materials II-E2						
	発展	統計物理学	○	Introduction to Statistical Physics-E2			
		解析力学	○	Analytic Dynamics-E2			
量子物理学		○	Introduction to Quantum Physics-E2				
やわらかな物理学－物質と生命の本質を探る		○	Soft Matter Physics-E2				
現代物理学実験							
現代の素粒子像							
先進エネルギー変換							
低温科学A							
低温科学B							
生命・食料・環境と物理学							
プラズマ科学入門	○	Introduction to Plasma Science-E2					
防災学概論							
Introduction to Cosmology-E2							
Theory of Special Relativity-E2							

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
自然科学科目群	化学	基礎	基礎物理化学要論	○	Essentials of Basic Physical Chemistry-E2	「基礎物理化学要論」は「基礎物理化学(熱力学)」、「基礎物理化学(量子論)」と同一科目の扱い 「Essentials of Basic Physical Chemistry-E2」は「Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2」、「Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2」と同一科目の扱い
			基礎物理化学(熱力学)	○	Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	「基礎物理化学(熱力学)」は「基礎物理化学要論」と同一科目の扱い 「Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2」は「Essentials of Basic Physical Chemistry-E2」と同一科目の扱い
			基礎物理化学(量子論)	○	Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	「基礎物理化学(量子論)」は「基礎物理化学要論」と同一科目の扱い 「Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2」は「Essentials of Basic Physical Chemistry-E2」と同一科目の扱い
			基礎有機化学I	○	Basic Organic Chemistry I-E2	
			基礎有機化学II	○	Basic Organic Chemistry II-E2	
			基礎化学実験	○	Fundamental Chemical Experiments-E2	
			化学概論I	○	Outline of Chemistry I(Its History and Fundamentals)-E2	
			化学概論II	○	Outline of Chemistry II(Its History & Fundamentals)-E2	
			文系向の基礎化学I	○	Chemistry for non-science majors I-E2	
			文系向の基礎化学II	○	Chemistry for non-science majors II-E2	
			生活と環境の化学	○	Everyday Life Chemistry-E2	
			自然と環境の化学	○	Chemistry on Natural and Human Environments-E2	
			化学のフロンティアI			
			化学のフロンティアII			
			Chemistry of Sustainable Energy-E2			
			Revisiting Basic Organic Chemistry I-E2			
			Revisiting Basic Organic Chemistry II-E2			
			Thermodynamics in Everyday Life-E2			
		Analytical Chemistry and Forensic Science-E2				
		Introduction to the Chemistry of Materials-E2				
		Basic Physical Chemistry (statistical mechanics)-E2				
		発展	有機化学演習A			
			有機化学演習B			
			無機化学入門A	○	Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	
			無機化学入門B	○	Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	
			探究型化学課題演習III			
			理論化学入門I			
	理論化学入門II					
	生命の有機化学			Organic Chemistry of Life-E2		
	Introduction to Surface Chemistry-E2					
	生物学	総論	生物・生命科学入門	○	Introduction to Biology and Life Science-E2	
			個体と集団の基礎生物学	○	Fundamentals of Organismal and Population Biology-E2	
			細胞と分子の基礎生物学	○	Fundamentals of Cell and Molecular Biology-E2	
生物学のフロンティア						
生物学実習I						
生物学実習II						
生物学実習III						
Introduction to Plant Science-E2						
Basic Biology and Metabolism-E2						
各論		動物自然史II				「動物自然史I」と隔年開講

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
自然科学科目群	生物学	各論	植物自然史I			
			植物自然史II			
			植物自然史III			
			自然人類学I			
			自然人類学II			
			行動生態学入門			
			藻類学概論			
			「生命の進化」概論			
			神経科学の基礎			
			神経生理学の基礎			
			生物物理学入門			
			生命と情報			
			生化学入門			
			先端生命科学を支える技術I			
			先端生命科学を支える技術II			
			博物誌学			
			遺伝学概論	○	Principles of Genetics-E2	
			霊長類学入門I			
			霊長類学入門II			
			野生動物学入門			
			分子遺伝学			
			化学と生物の分子集合学			
			植物科学入門			
			真菌自然史			
			Introduction to Biochemistry-E2			
			Introduction to Molecular Biotechnology-E2			
			Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2			
			Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2			
			Introductory Plant Ecology-E2			
			Principles of Horticulture-E2			
			Introduction to Genetics and Evolution-E2			
			Basic Biology-E2			
			Basic Genetic Engineering-E2			
			Chromosome Biology-E2			
			Practical Computing for Biologists-E2			
			Biological Sciences through Scientific Articles I-E2			
			Biological Sciences through Scientific Articles II-E2			
			Introduction to Computational Molecular Biology-E2			
			Introduction to Biological Data Analysis-E2			
			Introduction to Plant Physiology-E2			
			Introduction to Ecology and Evolution-E2			
Introduction to Biosciences-E2						
Introduction to Immunology-E2						
Microorganisms in our Lives-E2						
Plant Biotechnology-E2						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考		
自然科学科目群	生物学	各論	Proteins-workforce of life-E2					
			Food Science-E2					
	地球科学	基礎	基礎地球科学A	○	Introduction to Earth Science A			
			基礎地球科学B	○	Introduction to Earth Science B-E2			
			地球科学実験					
			地球科学入門					
			地球の営みI	○	How the Earth Works I-E2			
			地球の営みII	○	How the Earth Works II-E2			
			宇宙科学入門	○	Introduction to General Astronomy-E2			
			水と緑と土の科学	○	Science on Water, Soil and Ecosystems-E2			
			地球の物理					
			地球の誕生と進化					
			天体観測実習					
			地球科学	発展	フィールド地球科学	○	Field Earth Science-E2	
					太陽系と地球の物質			
	地質工学入門	○			Introduction to Engineering Geology			
	Introduction to Mineral Resources-E2							
	Introduction to Hydrology-E2							
	図学	基礎	図学A					
			図学B					
外国語科目群			英語リーディング					
			英語ライティングーリスニングA					
			英語ライティングーリスニングB					
			Scientific English IA					
			Scientific English IB					
			ドイツ語I(6Hコース)					
			ドイツ語IA(文法)					
			ドイツ語IB(文法)					
			ドイツ語IA(演習)					
			ドイツ語IB(演習)					
			ドイツ語II(6Hコース)					
			ドイツ語IIA					
			ドイツ語IIB					
			ドイツ語IIA(会話)					
			ドイツ語IIB(会話)					
			ドイツ語IIA(CALL)					
			ドイツ語IIB(CALL)					
			ドイツ語IIA(ライティング)					
			ドイツ語IIB(ライティング)					
			ドイツ語IIIA					
			ドイツ語IIIB					
			フランス語I(8Hコース)					
			フランス語IA(文法)					
			フランス語IB(文法)					
フランス語IA(演習)								

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考		
外国語科目群			フランス語IB(演習)					
			フランス語II(6Hコース)					
			フランス語IIA					
			フランス語IIB					
			フランス語IIA(演習)					
			フランス語IIB(演習)					
			フランス語IIIA					
			フランス語IIIB					
			中国語IA(文法)					
			中国語IB(文法)					
			中国語IA(演習)					
			中国語IB(演習)					
			中国語IIA					
			中国語IIB					
			ロシア語IA(文法)					
			ロシア語IB(文法)					
			ロシア語IA(演習)					
			ロシア語IB(演習)					
			ロシア語IIA					
			ロシア語IIB					
			ロシア語IIIA					
			ロシア語IIIB					
			イタリア語IA(文法)					「イタリア語IA(文法)」は「イタリア語IA(4Hコース)」と同一科目の扱い
			イタリア語IB(文法)					「イタリア語IB(文法)」は「イタリア語IB(4Hコース)」と同一科目の扱い
			イタリア語IA(演習)					「イタリア語IA(演習)」は「イタリア語IA(4Hコース)」と同一科目の扱い
			イタリア語IB(演習)					「イタリア語IB(演習)」は「イタリア語IB(4Hコース)」と同一科目の扱い
			イタリア語IA(4Hコース)					「イタリア語IA(4Hコース)」は「イタリア語IA(文法)」、「イタリア語IA(演習)」と同一科目の扱い
			イタリア語IB(4Hコース)					「イタリア語IB(4Hコース)」は「イタリア語IB(文法)」、「イタリア語IB(演習)」と同一科目の扱い
			イタリア語IIA					
			イタリア語IIB					
			イタリア語IIA(演習)					
			イタリア語IIB(演習)					
			スペイン語IA(文法)					
			スペイン語IB(文法)					
			スペイン語IA(演習)					
			スペイン語IB(演習)					
			スペイン語IA(会話)					
			スペイン語IB(会話)					
			スペイン語IIA					
			スペイン語IIB					
			スペイン語IIA(演習)					
スペイン語IIIB(演習)								
朝鮮語IA(文法)								
朝鮮語IB(文法)								
朝鮮語IA(演習)								

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
外国語科目群			朝鮮語IB(演習)			
			朝鮮語IIA			
			朝鮮語IIB			
			朝鮮語IIA(演習)			
			朝鮮語IIB(演習)			
			アラビア語IA(文法)			
			アラビア語IB(文法)			
			アラビア語IA(演習)			
			アラビア語IB(演習)			
			アラビア語IIA			
			アラビア語IIB			
			アラビア語IIA(演習)			
			アラビア語IIB(演習)			
			日本語初級IA(4Hコース)			
			日本語初級IB(4Hコース)			
			日本語初級IIA(4Hコース)			
			日本語初級IIB(4Hコース)			
			日本語初級I(8Hコース)			
			日本語初級I(会話)			
			日本語初級I(漢字)			
			日本語初級I(聴解)			
			日本語初級I(読解・作文)			
			日本語初級II(8Hコース)			
			日本語初級II(会話)			
			日本語初級II(漢字)			
			日本語初級II(聴解)			
			日本語初級II(読解・作文)			
			日本語中級IA(4Hコース)			
			日本語中級IB(4Hコース)			
			日本語中級I(8Hコース)			
			日本語中級I(会話)			
			日本語中級I(漢字)			
			日本語中級I(聴解)			
			日本語中級I(読解)			
			日本語中級I(作文)			
			日本語中級IIA(4Hコース)			
			日本語中級IIB(4Hコース)			
			日本語中級II(8Hコース)			
			日本語中級II(会話)			
			日本語中級II(聴解)			
			日本語中級II(読解)			
			日本語中級II(作文)			
			日本語上級(会話)			
日本語上級(聴解)						
日本語上級(読解)						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
外国語科目群			日本語上級(作文)			
			日本語上級(論文・レポート作成)			
			日本語上級(講義聴解)			
			日本語上級(研究発表)			
			日本語上級(討論技術)			
			日本語概論			
			日本語アカデミック・リーディング			
			日本語アカデミック・ライティング I			
			日本語アカデミック・ライティングII			
			日本語アカデミック・プレゼンテーション I			
			日本語アカデミック・プレゼンテーションII			
			日本語の歴史			
			日本語教育演習			
			日本語中級IA(総合)			
			日本語中級IB(総合)			
			日本語中級IIA(総合)			
			日本語中級IIB(総合)			
			日本語上級A(総合)			
			日本語上級B(総合)			
			日本語中級I(6Hコース)			
			日本語中級II(6Hコース)			
			日本語上級(レポート作成基礎A)			
			日本語上級(レポート作成基礎B)			
			日本語上級(文献講読IA)			
			日本語上級(文献講読IB)			
			日本語上級(文献講読IIA)			
日本語上級(文献講読IIB)						
日本語上級(文献講読IIIA)						
日本語上級(文献講読IIIB)						
情報学科目群		基礎	情報基礎演習[全学向]	○	Practice of Basic Informatics Practice of Basic Informatics-E2	「情報基礎演習[全学向]」、 「情報基礎演習[文学部]」、 「情報基礎演習[理学部]」、 「情報基礎演習[医学部]」、 「情報基礎演習[薬学部]」、 「情報基礎演習[工学部]」、 「情報基礎演習[農学部]」は 全て同一科目の扱い
			情報基礎演習[文学部]			
			情報基礎演習[理学部]			
			情報基礎演習[医学部]			
			情報基礎演習[薬学部]			
			情報基礎演習[工学部]			
			情報基礎演習[農学部]			
		情報基礎[全学向]	○	Basic Informatics Basic Informatics-E2	「情報基礎[全学向]」、 「情報基礎[理学部]」、 「情報基礎[医学部]」、 「情報基礎[薬学部]」、 「情報基礎[工学部]」、 「情報基礎[農学部]」は 全て同一科目の扱い	
		情報基礎[文学部]				
		情報基礎[医学部]				
		情報基礎[薬学部]				
		情報基礎[工学部]				
		情報基礎[農学部]				
		情報基礎実践				
情報と社会	○	Information and Society-E2				
各論	情報数学I					
	情報数学II					

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
情報学 科目群		各論	コンピュータサイエンス基礎			
			計算機科学概論			
			情報ネットワーク	○	Information Network-E2	
			プログラミング演習(Python)	○	Programming Practice (Python) -E2	
			プログラミング演習(Java)			
			プログラミング演習(Lisp)			
			プログラミング演習(Ruby)			
			プログラミング演習(数理的応用)			
			プログラミング演習(Haskell)			
			プログラミング(クラウド計算)			
			コンピュータグラフィックス実習			
			イノベーションと情報			
			情報と知財入門			
			情報企業論			
			Programming Practice (R)-E2			
			Processing and Analyzing Data I-E2			
			Information Literacy for Academic Study-E2			
			Fundamentals of Artificial Intelligence-E2			
			Introduction to Algorithms-E2			
			Introduction to Formal Languages-E2			
健康・スポーツ 科目群	健康・スポーツ科学	基礎	運動科学I			
			健康科学I			
			健康心理学I	○	Health Psychology I-E2	
			運動科学II			
			健康科学II			
			健康心理学II			
			脳と生命のシステム科学			
			分子スポーツ科学			新規科目
			Introduction to Basic Concepts of Health Psychology-E2			
			Structures and Mechanisms of Human Movement-E2			
			Introduction to Lifestyle Related Diseases-E2			
			Physiology in Health and Sports-E2			
			健康・スポーツ科学	発展	精神病理学I	○
	精神病理学II					
	生活習慣と生体機能障害					
	精神保健福祉概論					
	スポーツ心理学					
	運動の生理学					
	心の発達と問題行動の理解					
	脳と心の生命機能ゼミナールI					
	脳と心の生命機能ゼミナールII					
	生体リズムと健康					
	医学概論					
健康・生命科学入門						
「薬の世界」入門						
人類と放射線						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考			
健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科学	発展	放射線概論						
			学生支援からみた大学生生活論						
			体力医科学						
			身体運動の適応と学習						
			脳と身体運動ゼミナール						
			脳・生命・心の探究						
			リハビリテーション概論						
			ピアサポート入門						
			アダプテッド・スポーツ演習			新規科目			
			Introduction to Medical Psychology-E2						
			Cultural Aspects of Health Care-E2						
健康・スポーツ科目群	スポーツ実習		スポーツ実習IA						
			スポーツ実習IB						
キャリア形成科目群	国際コミュニケーション		テストテイキングI(全・英)-E3						
			テストテイキングII(全・英)-E3						
			クリティカルリスニング(全・英)-E3						
			アクティブリスニングI(全・英)-E3			「アクティブリスニング(全・英)-E3」から科目名変更			
			アクティブリスニングII(全・英)-E3			新規科目			
			アカデミックディスカッションI(全・英)-E3			「アカデミックディスカッション(全・英)-E3」から科目名変更			
			アカデミックディスカッションII(全・英)-E3			新規科目			
			アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3						
			アカデミックプレゼンテーションII(全・英)-E3			「アカデミックプレゼンテーション(全・英)-E3」から科目名変更			
			理系のための英語プレゼンテーション入門(理・英)-E3						
			臨床コミュニケーション(医・英)-E3						
			科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A-E3						
			科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B-E3						
			Scientific English II-E3						
			Advanced Scientific English-E3						
			Business English-E3						
			Business Thinking-E3						
			Negotiation-E3						
			Digesting Scientific English-E3						
			Scientific Writing and Presenting in English-E3						
			キャリア形成科目群	学芸員課程		博物館資料保存論			
						博物館展示論			
						博物館情報・メディア論			
						博物館教育論			
						博物館実習(文化史)			
						博物館実習(館園実務)			
			キャリア形成科目群	多文化理解		多文化教養演習			
海外実地セミナー									

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考	
キャリア形成科目群	その他キャリア形成		メディアを担う人々				
			京都大学の歴史				
			日本語・日本文化演習				
			起業と事業創造				
			証券投資と企業活動				
統合科学科目群	統合科学		統合科学	○	Interdisciplinary Sciences-E2	「統合科学」は「統合科学・少人数演習付」と同一科目の扱い	
			統合科学・少人数演習付				
	環境		環境農学論				
			現代技術社会論				
			地球環境学のすすめ				
			生存圏の科学概論I				
			生存圏の科学概論II				
			環境学				
			Introduction to Food Sustainability-E2				
			Introduction to Sustainable Development-E2				
			Chemistry, Society and Environment-E2				
			Natural Disaster Science-E2				
			Human-environmental Interactions-E2				
			Sustainable Forest Environment-E2				
			Introduction to Biogeochemistry-E2				
		Environmental Monitoring for Humansphere-E2					
		Climate Change and Human Activities-E2					
	森里海連環学		森里海連環学I				
			森里海連環学II				
			森里海連環学実習I				
			森里海連環学実習II				
			森里海連環学実習III				
			森里海連環学実習IV				
	その他統合科学		先進エネルギー概論				
			宇宙総合学				
			総合生存学入門I				
			総合生存学入門II				
少人数教育科目群		ILASセミナー	○	ILAS Seminar-E2			
大学院共通科目群	社会適合		研究倫理・研究公正(理工系)	○	Research Ethics and Integrity		
			研究倫理・研究公正(人社系)				
			研究倫理・研究公正(生命系)				
			知的財産				
			アントレプレナーシップ入門				
			アントレプレナーシップ演習				
			ベンチャーファイナンス入門				
			企業の社会的責任-ESGの取組について-				
			企業法務概論				

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
大学院共通科目群	社会適合		大学教員になる人のための学生支援論			
			教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業			
			キャリア・アントレプレナーシップ論			
			研究開発型企業経営論			
			キャリアを広げる研究スキル概論			新規科目
			大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップI			
			大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップII			
	情報テクノサイエンス		学術研究のための情報リテラシー基礎	○	Basics of Academic Information Literacy	
			情報科学基礎論			
			データ科学概観			
			データ科学:理論から実用へ			
			データ科学:理論から実用へ演習			
			データ科学展望III			
			データ科学展望IV			
	コミュニケーション		大学院生のための英語プレゼンテーション			
			アカデミックディスカッションI			「アカデミックディスカッション」から科目名変更
			アカデミックディスカッションII			新規科目
			アカデミックプレゼンテーションI			
			アカデミックプレゼンテーションII			「アカデミックプレゼンテーション」から科目名変更

大学院横断教育科目群の科目は、別途揭示等により案内します。

3. 授業一覧の見方

開講期	<p>各授業の開講期には、次の区別があります。</p> <p>通：通年、前：前期、後：後期、前集：前期集中、後集：後期集中、通集：通年集中</p> <p>集中講義とは、夏季休業期間等に行われる授業をいいます。集中講義は履修登録期間中の KULASIS 上での履修登録は不要ですが、履修方法は授業ごとに異なるので、シラバスや KULASIS 等で申込方法等の詳細を確認のうえ、その指示に従ってください。ただし、集中講義のうち、ILAS セミナー（学部 1 回生が前期集中講義に申し込む場合）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（大学院生のための英語プレゼンテーションおよび大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップ I・II は除く）および大学院横断教育科目群（問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L 1・L 2 は除く）の科目は、開講期の履修登録期間に KULASIS から履修登録が必要です。</p> <p>なお、前期は 8 月中旬以降、後期は 2 月中旬以降に実施される集中講義については、次期の成績表に記載されます。</p>
対象学生	<p>各授業には、次の対象学生の区別があります。</p> <p>全：全学生向け、文：文科系学生向け、理：理科系学生向け、留：留学生向け</p>
対象回生	<p>各授業には、次のような対象回生の区別があります。</p> <p>全：全回生（全ての学部生を対象としています）。</p> <p>1：1 回生（対象回生の学部生が履修できます）。</p> <p>2 以上：2 回生以上、3 以上：3 回生以上（それぞれ対象回生以上の学部生が履修できます）。</p> <p>主 1：主として 1 回生、主 2：主として 2 回生、主 2 以上：主として 2 回生以上、主 1・2：主として 1 回生・2 回生（それぞれ対象回生以外の学部生の履修を妨げるものではありません）。</p> <p>院：大学院生（大学院生を対象としています。学部生は履修できません）。</p> <p>上回生の配当科目は、原則として特別履修手続きをしなければ履修することができませんが、開講科目群によっては手続きが不要です（「II. 全学共通科目の履修について」、「4. 履修登録について」の「履修登録に関する注意事項」(p.49) 参照）。</p> <p>大学院生は対象回生が「院」の科目のほか、学部生向けに開講されている科目を履修することができます。ただし、学部生を優先する科目があるほか、履修対象外の科目があります。</p>
週コマ数	<p>週コマ数欄の 1 コマは 1 つの時限の授業時間（90 分）に相当します（集中講義の場合は 1 週あたりに換算したもの）。</p>
単位数	<p>全ての初修外国語及び人文・社会科学科目群外国文献研究分野の科目、並びに単位数に*（アスタリスク）が表示されている授業を平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学生が履修し、単位を修得した場合には、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認定されます（「V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」の「2. カリキュラム再編に伴う科目群の読み替えおよび単位の取り扱いについて」(p.259～) 参照）。</p>
学部科目	<p>この欄に記載のある学部の学生が当該科目を履修する場合は、学部科目となるため、全学共通科目として履修登録することはできません。履修登録は所属学部で行ってください。</p> <p>学部名の略記号は、「II. 全学共通科目の履修について」の「2. 授業クラス」(p.42) を参照。</p>
E 科目指定	<p>E 科目に指定されている場合、カテゴリーを表示しています。E 科目のカテゴリーは、「II. 全学共通科目の履修について」の「6. E 科目について」(p.68～) を参照。</p>
備考	<p>「クラス指定科目」と表示のある授業は、所属学部で必修・推奨をしている授業科目や、履修者数を調整するためにあらかじめクラス別の授業時間割が組まれている授業です（「IV. 全学共通科目授業時間割」の「2. クラス別時間割（学部 1 回生）」、「3. クラス指定科目早見表（学部 2 回生）」(p.170～、p.178～) 参照）。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によりますが、履修する場合は自クラスの指定科目を履修しなければなりません。学部 1 回生が自由選択科目（クラス指定科目以外の全学共通科目をいいます）や学部科目を履修するために、自クラスの指定科目を他クラスに変更することはできません。また、学部 1 回生が自クラスに配当されていないクラス指定科目を履修する場合、特別履修手続きをしなければ履修することができません（「II. 全学共通科目の履修について」の「履修登録に関する注意事項」(p.49～) 参照）。</p> <p>「クラス指定科目（自由選択科目を兼ねる）」と表示のある授業は、クラス指定されている学生が履修しやすいように授業時間割が組まれています。自クラスに当該科目が配当されていない学生も特別履修手続きによらず履修登録することができます。ただし、履修制限や人数制限が実施されることがあるので注意してください。</p> <p>なお、[International Course]と表示のある授業は、工学部地球工学科国際コースのクラス指定科目です。同一授業とされている日本語の授業と両方単位を修得した場合、修得年度・修得期の早いもの 1 つのみ卒業に必要な単位として認められます。</p>

4. 全学共通科目授業一覽

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部門	E科目指定	備考
人文・社会科学科目群										
哲学・思想										
基礎										
哲学I	前	月3	松本 啓二郎	全	全	1	2			
哲学I	前	火2	戸田 剛文	全	全	1	2			
哲学I	前	水4	貫井 隆	全	全	1	2			
哲学I	前	木5	杉村 靖彦	全	全	1	2			
哲学II	後	月3	松本 啓二郎	全	全	1	2			
哲学II	後	火2	戸田 剛文	全	全	1	2			
哲学II	後	木4	貫井 隆	全	全	1	2			
倫理学I	前	月5	白水 士郎	全	全	1	2			
倫理学I	前	金4	佐藤 義之	全	全	1	2			
Ethics I-E2	前	水4	Campbell, Michael	全	主1・2	1	2		E2	
倫理学II	後	月5	白水 士郎	全	全	1	2			
倫理学II	後	金4	佐藤 義之	全	全	1	2			
Ethics II-E2	前	水3	Campbell, Michael	全	主1・2	1	2		E2	
論理学I	前	金4	安部 浩	全	全	1	2			
論理学I	前	金3	山口 尚	全	全	1	2			
Logic I-E2:Deductive Reasoning & Analysis	前	金4	SAHKER, Ethan Kyle	全	主1・2	1	2		E2	
論理学II	後	金4	安部 浩	全	全	1	2			
論理学II	後	金3	山口 尚	全	全	1	2			
Logic II-E2:Inductive & Scientific Reasoning	後	水4	SAHKER, Ethan Kyle	全	主1・2	1	2		E2	
西洋社会思想史I	前	月2	松本 啓二郎	全	全	1	2			
西洋社会思想史II	後	月2	松本 啓二郎	全	全	1	2			
東洋社会思想史I	前	金3	福谷 彬	全	全	1	2			
東洋社会思想史I	前	金5	福谷 彬	全	全	1	2			
The History of Eastern Thought I-E2	前	水2	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2	
東洋社会思想史II	後	金3	福谷 彬	全	全	1	2			
東洋社会思想史II	後	金5	福谷 彬	全	全	1	2			
宗教学I	前	火2	竹内 綱史	全	全	1	2			
Science of Religion I-E2	後	水2	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2	
宗教学II	後	火2	竹内 綱史	全	全	1	2			
科学論I	前	月5	青山 拓央	全	全	1	2			
科学論II	後	月5	青山 拓央	全	全	1	2			
History of Modern Science-E2	前	火3	D' SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2	
Philosophy of Modern Science-E2	後	火3	D' SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2	
Japanese Philosophy I-E2	前	木2	CERDA, Philip Kain	全	全	1	2		E2	
Japanese Philosophy II-E2	後	木2	CERDA, Philip Kain	全	全	1	2		E2	
Philosophy of Nature I-E2	前	木4	CERDA, Philip Kain	全	全	1	2		E2	
Philosophy of Nature II-E2	後	木4	CERDA, Philip Kain	全	全	1	2		E2	
Theories of Religion in the Social Sciences-E2	前	水2	DANESHGAR, Majid	文	主1・2	1	2		E2	
各論										
自己存在論I	前	木3	安部 浩	全	2以上	1	2	H		
自己存在論II	後	木3	安部 浩	全	2以上	1	2	H		
人間実践論I	前	月4	佐藤 義之	全	2以上	1	2	H		
人間実践論II	後	月4	佐藤 義之	全	2以上	1	2	H		
認識人間学I	前	火4	青山 拓央	全	全	1	2	H		
認識人間学II	後	火4	青山 拓央	全	全	1	2	H		
宗教学各論I(死生学)	前	火1	竹内 綱史	全	全	1	2			
宗教学各論II(死生学)	後	火1	竹内 綱史	全	全	1	2			
哲学・文化史I	前	水3	戸田 剛文	全	2以上	1	2	H		
哲学・文化史II	後	水3	戸田 剛文	全	2以上	1	2	H		
哲学基礎ゼミナール	後	水2	戸田 剛文	全	全	1	2			
倫理学基礎ゼミナール	後	金3	佐藤 義之	全	全	1	2			
西洋思想史基礎ゼミナール	後	金3	安部 浩	全	全	1	2			
科学論基礎ゼミナール	後	水5	青山 拓央	全	全	1	2			
歴史・文明										
基礎										
日本史I	前	月2	吉江 崇	全	全	1	2			
日本史I	前	月3	吉江 崇	全	全	1	2			
日本史I	前	金3	熊谷 隆之	全	全	1	2			
日本史I	前	金4	熊谷 隆之	全	全	1	2			
Japanese History I-E2	前	水1	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2	
Japanese History I-E2	前	未定	未定	全	全	1	2		E2	
Social History of Japanese Technology I-E2	前	未定	未定	全	全	1	2		E2	
日本史II	後	月2	吉江 崇	全	全	1	2			
日本史II	後	月3	吉江 崇	全	全	1	2			
日本史II	後	金3	熊谷 隆之	全	全	1	2			
日本史II	後	金4	熊谷 隆之	全	全	1	2			
Japanese History II-E2	後	水1	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2	
Japanese History II-E2	後	未定	未定	全	全	1	2		E2	
Social History of Japanese Technology II-E2	後	未定	未定	全	全	1	2		E2	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
東洋史I	前	月2	辻 正博	全	全	1	2			
東洋史I	前	月3	辻 正博	全	全	1	2			
東洋史I	前	火2	石川 禎浩 他	全	全	1	2			
東洋史I	前	火2	太田 出	全	全	1	2			
東洋史I	前	木3	太田 出	全	全	1	2			
Oriental History I-E2	前	火2	FORTE, Erika	全	全	1	2		E2	
東洋史II	後	月2	辻 正博	全	全	1	2			
東洋史II	後	月3	辻 正博	全	全	1	2			
東洋史II	後	火2	太田 出	全	全	1	2			
東洋史II	後	火5	城地 孝	全	全	1	2			
東洋史II	後	木3	太田 出	全	全	1	2			
Oriental History II-E2	後	火2	FORTE, Erika	全	全	1	2		E2	
西洋史I	前	木3	佐藤 公美	全	全	1	2			
西洋史I	前	金3	佐藤 公美	全	全	1	2			
西洋史I	前	水1	福元 健之	全	全	1	2			
西洋史I	前	金3	福元 健之	全	全	1	2			
Western History I-E2	前	金1	BHATTE, Pallavi Kamalakar	全	全	1	2		E2	
Western History I-E2	前	金2	BHATTE, Pallavi Kamalakar	全	全	1	2		E2	
西洋史II	後	木3	佐藤 公美	全	全	1	2			
西洋史II	後	金3	佐藤 公美	全	全	1	2			
西洋史II	後	月2	福元 健之	全	全	1	2			
西洋史II	後	金3	福元 健之	全	全	1	2			
Western History II-E2	後	金1	BHATTE, Pallavi Kamalakar	全	全	1	2		E2	
Western History II-E2	後	金2	BHATTE, Pallavi Kamalakar	全	全	1	2		E2	
現代文明I	前	金3	黒宮 一太	全	全	1	2			
現代文明I	前	金4	黒宮 一太	全	全	1	2			
現代文明II	後	金3	黒宮 一太	全	全	1	2			
現代文明II	後	金4	黒宮 一太	全	全	1	2			
Introduction to World Religions-E2	前	水1	DANESHGAR, Majid	文	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Asian Societies-E2	後	水1	DANESHGAR, Majid	文	主1・2	1	2		E2	
Religion in Contemporary Society-E2	後	水2	DANESHGAR, Majid	文	主1・2	1	2		E2	
各論										
日本史各論(前近代日本の法と秩序)	前	火3	高谷 知佳	全	全	1	2			
日本史各論(戦国・織豊期の公家と武家)	前	金1	尾下 成敏	全	全	1	2			
日本史各論(近代日本の地域社会)	後	金4	黒岩 康博	全	全	1	2			
アメリカ現代史入門	前	月2	山澄 亨	全	全	1	2			
現代史概論	後	火2	藤原 辰史	全	全	1	2			
日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナール I	後	月5	吉江 崇	全	全	1	2			
日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナールII	後	金5	熊谷 隆之	全	全	1	2			
東洋史基礎ゼミナール I	後	月5	辻 正博	全	全	1	2			
東洋史基礎ゼミナールII	後	火3	太田 出	全	全	1	2			
東洋社会思想史基礎ゼミナール	後	水5	福谷 彬	全	全	1	2			
ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール I	後	水5	福元 健之	全	全	1	2			
ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールIIB	後	水5	佐藤 公美	全	全	1	2			
Japanese Intellectual History I-E2	前	火2	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2	
Japanese Intellectual History II-E2	後	火2	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2	
Japanese Popular Culture I-E2	前	水2	MURPHY, Mahon	全	主1・2	1	2		E2	
Japanese Popular Culture II-E2	後	水2	MURPHY, Mahon	全	主1・2	1	2		E2	
芸術・文学・言語										
基礎										
芸術学I	前	月2	武田 宙也	全	全	1	2			
芸術学I	前	木3	田口 かおり	全	全	1	2			
芸術学II	後	月2	武田 宙也	全	全	1	2			
芸術学II	後	木3	田口 かおり	全	全	1	2			
音楽学(西洋の音楽)	前	木5	西村 理	全	全	1	2			
音楽芸術論I	前	月2	嶋田 久美	全	全	1	2			
音楽芸術論II	後	月2	嶋田 久美	全	全	1	2			
東洋美術史I	前	月3	竹浪 遠	全	全	1	2			
History of Oriental Art I-E2	前	水4	FORTE, Erika	全	全	1	2		E2	
東洋美術史II	後	月3	竹浪 遠	全	全	1	2			
History of Oriental Art II-E2	後	水4	FORTE, Erika	全	全	1	2		E2	
日本・東洋音楽史 I	前	水2	鈴木 聖子	全	全	1	2			
日本・東洋音楽史 II	後	水2	鈴木 聖子	全	全	1	2			
国語国文学I	前	月2	長谷川 千尋	全	全	1	2			
国語国文学I	前	火2	長谷川 千尋	全	全	1	2			
国語国文学I	前	火5	佐野 宏	全	全	1	2			
国語国文学I	前	金5	垣見 修司	全	全	1	2			
国語国文学II	後	月2	長谷川 千尋	全	全	1	2			
国語国文学II	後	火2	長谷川 千尋	全	全	1	2			
国語国文学II	後	火5	佐野 宏	全	全	1	2			
国語国文学II	後	金5	垣見 修司	全	全	1	2			
日本近代文学I	前	金3	須田 千里	全	全	1	2			
日本近代文学I	前	金4	須田 千里	全	全	1	2			
日本近代文学II	後	金3	須田 千里	全	全	1	2			
日本近代文学II	後	金4	須田 千里	全	全	1	2			
漢文学I	前	月2	矢木 毅	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
漢文学II	後	月2	矢木 毅	全	全	1	2			
言学I	前	月5	前田 広幸	全	全	1	2			
言学I	前	木3	佐野 宏	全	全	1	2			
言学II	後	月5	前田 広幸	全	全	1	2			
言学II	後	木3	佐野 宏	全	全	1	2			
言語科学I	前	木3	守田 貴弘	全	全	1	2			
言語科学II	後	金3	堀口 大樹	全	全	1	2			
ドイツ文学	前	月5	川島 隆	全	全	1	2			
少数言語論	前	火2	柿原 武史	全	2以上	1	2	H		
Introduction to Linguistic Science-E2	前	水1	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2	
Introduction to Japanese Linguistics I-E2	後	水1	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2	
Intercultural Communication I-E2	前	水4	TANGSEEFA, Decha	全	全	1	2		E2	
Intercultural Communication II-E2	後	水4	TANGSEEFA, Decha	全	全	1	2		E2	
各論										
創造行為総論A	前	金2	武田 宙也	全	全	1	2			
創造行為総論B	後	金2	武田 宙也	全	全	1	2			
近代芸術論A	前	水2	植田 彩芳子	全	全	1	2	H		
創造ルネッサンス論A	前	水4	田口 かおり	全	2以上	1	2	H		
創造ルネッサンス論B	後	水4	田口 かおり	全	2以上	1	2	H		
創造ルネッサンス論基礎ゼミナール	後	水5	田口 かおり	全	全	1	2			
創造行為論講読演習	後	金3	武田 宙也	全	全	1	2	H		
日本古典講読論I	前	火3	長谷川 千尋	全	2以上	1	2	H		
日本古典講読論II	後	火3	長谷川 千尋	全	2以上	1	2	H		
日本語学文献講読論I	前	火4	佐野 宏	全	2以上	1	2	H		
日本語学文献講読論II	後	火4	佐野 宏	全	2以上	1	2	H		
日本近代文学基礎ゼミナール	後	金5	須田 千里	全	全	1	2			
ギリシア語A	前	水3	西井 奨	全	全	1	2			
ギリシア語B	後	水3	西井 奨	全	全	1	2			
ラテン語A	前	水4	西井 奨	全	全	1	2			
ラテン語B	後	水4	西井 奨	全	全	1	2			
言語構造機能論	前	火4	GINSBURG, Jason	全	2以上	1	2	H		
言語認知論	前	木2	谷口 一美	全	2以上	1	2	H		
言語比較論I	前	水2	西脇 麻衣子	全	2以上	1	2	H		
言語比較論II	前	金4	河崎 靖	全	2以上	1	2	H		
日本語コミュニケーションの特徴	前	月2	バリハワダナ ルチラ	全	全	1	2			
日本語の時間表現の諸相	後	月2	バリハワダナ ルチラ	全	全	1	2			
Introduction to Classical Japanese Literature	後	水3	湯川 志貴子	全	全	1	2			
メディアアート	後	木5	土佐 尚子	全	主1	1	2			
教育・心理・社会										
基礎										
教育学I	前	月3	石岡 学	全	全	1	2			
教育学I	前	月5	石岡 学	全	全	1	2			
教育学I	前	水1	広瀬 悠三	全	全	1	2	P		
教育学I	前	木3	久保田 健一郎	全	全	1	2			
教育学I	前	木3	倉石 一郎	全	全	1	2			
教育学I	前	金3	倉石 一郎	全	全	1	2			
Pedagogy I-E2	前	火2	BROTHERHOOD Thomas	全	主1・2	1	2		E2	
教育学II	後	月3	石岡 学	全	全	1	2			
教育学II	後	月5	石岡 学	全	全	1	2			
教育学II	後	木3	久保田 健一郎	全	全	1	2			
教育学II	後	木3	倉石 一郎	全	全	1	2			
教育学II	後	金3	倉石 一郎	全	全	1	2			
Pedagogy II-E2	後	火2	BROTHERHOOD Thomas	全	主1・2	1	2		E2	
心理学I	前	月2	月浦 崇他	全	全	1	2			
心理学I	前	月2	阿部 修士 他	全	全	1	2			
心理学I	前	火2	齋木 潤他	全	全	1	2			
心理学I	前	水1	西 見奈子 他	全	全	1	2	P		
心理学I	後	月2	月浦 崇他	全	全	1	2			
心理学I	後	火2	齋木 潤他	全	全	1	2			
Psychology I-E2	前	水3	DE ALMEIDA, Igor	全	主1・2	1	2		E2	
心理学II	前	火2	永田 素彦	全	全	1	2			
心理学II	前	火2	大倉 得史	全	全	1	2			
心理学II	後	火2	永田 素彦	全	全	1	2			
心理学II	後	火2	大倉 得史	全	全	1	2			
Psychology II-E2	後	水3	DE ALMEIDA, Igor	全	主1・2	1	2		E2	
行動病理学I	前	金5	松本 卓也 他	全	全	1	2			
行動病理学II	後	金5	松本 卓也 他	全	全	1	2			
精神分析学	前	火2	松本 卓也	全	全	1	2			
Psychoanalysis-E2	前	火3	TAJAN, Nicolas Pierre	全	全	1	2		E2	
社会学I	前	月3	柴田 悠	全	全	1	2			
社会学I	前	火2	柴田 悠	全	全	1	2			
社会学I	前	月5	高橋 顕也	全	全	1	2			
Sociology I-E2	前	月2	Stephane Heim	全	全	1	2		E2	
社会学II	後	月3	柴田 悠	全	全	1	2			
社会学II	後	火2	柴田 悠	全	全	1	2			
社会学II	後	月2	朴 沙羅	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部門	E科目指定	備考
社会学II	後	木3	朴 沙羅	全	全	1	2			
社会学II	後	月5	高橋 顕也	全	全	1	2			
日本観照・多文化環境で学ぶ現代日本社会の諸相	前	木5	河合 淳子	全	全	1	2			「Current Issues in Japan I」と同一授業
各論										
偏見・差別・人権	前	月5	杉山 雅人 他	全	全	1	2			
偏見・差別・人権	後	月5	杉山 雅人 他	全	全	1	2			
Education in Contemporary Japan	後	水3	河合 淳子	全	全	1	2			
ジェンダー論	後	火3	川島 隆	全	全	1	2			
教育学基礎ゼミナール	後	金2	倉石 一郎	全	全	1	2			
ジェンダー論基礎ゼミナール	後	水5	石岡 学	全	全	1	2			
社会心理学	前	水1	永田 素彦	全	全	1	2	H		
社会心理学	後	水1	永田 素彦	全	全	1	2	H		
Social Psychology-E2	後	水2	DE ALMEIDA, Igor	全	主1・2	1	2		E2	
関係発達論I	前	金2	大倉 得史	全	全	1	2	H		
関係発達論II	後	金2	大倉 得史	全	全	1	2			
認知心理学I	前	金2	齋木 潤	全	全	1	2	H		
認知心理学II	後	金2	齋木 潤	全	全	1	2	H		
精神分析I	前	火5	松本 卓也	全	全	1	2	H		
精神分析II	後	月1	熊谷 哲哉	全	全	1	2	H		
Psychoanalysis II-E2	後	火3	TAJAN, Nicolas Pierre	全	全	1	2	H	E2	
神経心理学I	前	月1	月浦 崇	全	全	1	2	H		
神経心理学II	後	月1	月浦 崇	全	全	1	2	H		
グループ・ダイナミクス	後	月5	大門 大朗	全	全	1	2	H		
社会心理学基礎ゼミナール	後	水5	永田 素彦	全	全	1	2			
発達心理学基礎ゼミナール	後	火3	大倉 得史	全	全	1	2			
視覚科学基礎ゼミナール	後	水5	齋木 潤	全	全	1	2			
神経心理学基礎ゼミナール	後	月5	月浦 崇	全	全	1	2			
精神病理学・精神分析学講読演習	後	月2	熊谷 哲哉	全	2以上	1	2			
社会学各論I	前	月4	岡崎 宏樹	全	全	1	2			
社会学各論II	後	金5	西川 純司	全	全	1	2			
社会学基礎ゼミナールI	後	月2	柴田 悠	全	全	1	2			
社会学基礎ゼミナールII	後	木1	朴 沙羅	全	全	1	2			
Advanced Lecture for Pedagogy I-E2	前	水1	BROTHERHOOD Thomas	全	主1・2	1	2		E2	
Advanced Lecture for Pedagogy II-E2	後	水1	BROTHERHOOD Thomas	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Educational Psychology I-E2	前	月3	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Educational Psychology II-E2	後	月3	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Educational Studies I-E2	前	月1	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Educational Studies II-E2	後	月1	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Globalization Studies-E2	後	月3	Stephane Heim	全	全	1	2		E2	
Introduction to Social Research-E2	前	水3	Stephane Heim	全	全	1	2		E2	
Introduction to Sociology of Work-E2	後	水3	Stephane Heim	全	全	1	2		E2	
Introduction to Sociological Observation-E2:Understanding Environmental Challenges	前	木1	TRENCHER, Gregory	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Risk Communication-E2	後	水3	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Society and Community Studies-E2	後	水2	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Ritual Studies-E2	前	木3	LAHOURNAT, Florence	全	主1・2	1	2		E2	
Disaster and Culture-E2	後	木3	LAHOURNAT, Florence	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Comparative Psychology-E2	前	水4	Duncan Wilson	全	全	1	2		E2	
Introduction to Primate Behavior and Cognition-E2	後	水4	Duncan Wilson	全	全	1	2		E2	
地域・文化										
基礎										
文化人類学I	前	火5	風間 計博	全	全	1	2			
文化人類学I	前	木3	岩谷 彩子	全	全	1	2			
Cultural Anthropology I-E2	前	火3	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2	
Cultural Anthropology I-E2	後	火3	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2	
Cultural Anthropology I-E2	前	木2	De Antoni, Andrea	全	全	1	2		E2	
Cultural Anthropology I-E2	後	水2	De Antoni, Andrea	全	全	1	2		E2	
文化人類学II	後	木3	岩谷 彩子	全	全	1	2			
生態人類学I	前	月2	安岡 宏和 他	全	全	1	2			
生態人類学I	前	火2	大山 修一 他	全	全	1	2			
生態人類学II	後	火2	風間 計博	全	全	1	2			
自然地理学	前	水5	松四 雄騎	全	全	1	2			
自然地理学	前	金5	大山 修一	全	全	1	2			
人文地理学	前	水1	久木元 美琴	全	全	1	2			
人文地理学	前	金4	山村 亜希	全	全	1	2			
人文地理学	後	月2	小島 泰雄	全	全	1	2			
Human Geography-E2: Climate Change	前	木2	BAARS, Roger	全	全	1	2		E2	
Human Geography-E2: Climate Change	後	木2	BAARS, Roger	全	全	1	2		E2	
地域地理学	前	月2	小島 泰雄	全	全	1	2			
地域地理学	後	水1	久木元 美琴	全	全	1	2			
地域地理学	後	水5	山村 亜希	全	全	1	2			
都市空間論	前	火2	前田 昌弘	全	全	1	2			
都市空間論	前	水1	中嶋 節子	全	全	1	2			
各論										
文化人類学各論I	前	火3	風間 計博	全	全	1	2			
Topics in Cultural Anthropology I-E2	前	木3	De Antoni, Andrea	全	全	1	2		E2	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部門	E科目指定	備考
Topics in Cultural Anthropology I-E2	後	木2	De Antoni, Andrea	全	全	1	2		E2	
文化人類学各論II	後	火3	風間 計博	全	全	1	2			
文化人類学各論II	後	水2	岩谷 彩子	全	全	1	2			
宗教学人類学	前	水2	岩谷 彩子	全	全	1	2			
民俗学I	前	水4	菊地 暁	全	全	1	2			
民俗学II	後	水4	菊地 暁	全	全	1	2			
Linguistic Anthropology	前	火5	高田 明	全	全	1	2			
社会人類学調査演習	後	木2	岩谷 彩子	全	全	1	2			
文化人類学調査演習	後	水2	風間 計博 他	全	全	1	2			
人文地理学各論I(都市)	前	木1	久木元 美琴	全	全	1	2			
人文地理学各論II(村落)	前	金2	小島 泰雄	全	全	1	2			
人文地理学各論III(歴史地理)	後	金2	米家 泰作	全	全	1	2			
人文地理学各論IV(地理情報)	前	木2	埴淵 知哉	全	全	1	2			
人文地理学各論V(経済地理)	後	木1	久木元 美琴	全	全	1	2			
地域地理学各論I(日本)	前	火3	山村 亜希	全	全	1	2			
地域地理学各論II(欧米)	後	火3	山村 亜希	全	全	1	2			
地域地理学各論III(アジア・アフリカ)	後	金2	小島 泰雄	全	全	1	2			
地理学基礎ゼミナールI(読図)	後	木2	山村 亜希	全	全	1	2			
地理学基礎ゼミナールII(作図)	後	木3	小島 泰雄	全	全	1	2			
地理学基礎ゼミナールIII(地理情報)	後	水3	久木元 美琴	全	全	1	2			
都市空間論各論I	後	水1	中嶋 節子	全	全	1	2			
都市空間論各論II	後	火3	前田 昌弘	全	全	1	2			
都市空間論基礎ゼミナールI	後	金2	中嶋 節子	全	全	1	2			
都市空間論基礎ゼミナールII	後	水3	前田 昌弘	全	全	1	2			
イスラーム世界論I	前	水2	黒田 彩加	全	全	1	2			
イスラーム世界論II	前	火2	中尾 世治	全	全	1	2			
イスラーム世界論III	後	水2	黒田 彩加	全	全	1	2			
朝鮮・韓国学入門	後	金3	吉井 秀夫	全	全	1	2			
東南アジアの政治	前	火3	岡本 正明	全	全	1	2			
ラテン・アメリカ現代社会論	前	水2	村上 勇介	全	全	1	2			
地域研究概論	前	火4	竹田 晋也 他	全	全	1	2			
地域研究概論	前	金2	金子 守恵 他	全	全	1	2			
南アジアの政治と社会	前	火4	中溝 和弥	全	全	1	2			
Topics in Human Geography VIII-E2(Governing urban sustainability challenges)	後	木1	TRENCHER, Gregory	全	主2	1	2		E2	
Contemporary Japanese Architecture-E2	前	火3	DANIELL, Thomas Charles	全	主1	1	2		E2	
Theory of Landscape Design-E2:House and Gardens of Kyoto	後	火3	DANIELL, Thomas Charles	全	主1	1	2		E2	
Environmental Anthropology-E2	前	金3	D' SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2	
Introduction to Globalization I-E2	前	火4	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Globalization II-E2	後	火4	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Urban Geography-E2	前	木1	BAARS, Roger	全	全	1	2		E2	
Introduction to Urban Geography-E2	後	木1	BAARS, Roger	全	全	1	2		E2	
Introduction to Urban Planning-E2	前	水3	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1・2	1	2		E2	
Environmental Histories of South Asia-E2	後	金3	D' SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2	
Food and Globalization I-E2	前	水2	Hart Nadav FEUER	全	主1・2	1	2		E2	
法・政治・経済										
基礎										
日本国憲法	前	月2	毛利 透	全	全	1	2			
日本国憲法	前	月5	見平 典	全	全	1	2			
日本国憲法	前	木3	菊池 亨輔	全	全	1	2			
日本国憲法	後	月3	見平 典	全	全	1	2			
日本国憲法	後	月5	見平 典	全	全	1	2			
日本国憲法	後	木3	菊池 亨輔	全	全	1	2			
法学	前	火2	小畑 史子	全	全	1	2			
法学	前	火5	菊池 亨輔	全	全	1	2			
法学	前	金5	宇佐美 誠	全	全	1	2			
法学	後	月3	横山 美夏	全	全	1	2			
法学	後	火2	小畑 史子	全	全	1	2			
法学	後	金3	宇佐美 誠	全	全	1	2			
法学	後	金4	宇佐美 誠	全	全	1	2			
政治学I	前	月2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2			
政治学I	前	木3	佐野 亘	全	全	1	2			
政治学I	前	金3	佐野 亘	全	全	1	2			
Political Science I-E2	前	水3	TANGSEEFA, Decha	全	全	1	2		E2	
政治学II	前	火2	中西 寛	全	全	1	2			
政治学II	後	月2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2			
政治学II	後	木3	佐野 亘	全	全	1	2			
Political Science II-E2	後	水3	TANGSEEFA, Decha	全	全	1	2		E2	
経済学I	前	月2	大黒 弘慈	全	全	1	2			
経済学I	前	月3	大黒 弘慈	全	全	1	2			
経済学I	前	月5	柴山 桂太	全	全	1	2			
経済学I	前	金3	浅野 耕太	全	全	1	2			
経済学I	前	金4	浅野 耕太	全	全	1	2			
経済学I	前	金5	山本 泰三	全	全	1	2			
経済学II	後	月2	大黒 弘慈	全	全	1	2			
経済学II	後	月3	大黒 弘慈	全	全	1	2			
経済学II	後	月5	柴山 桂太	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
経済学II	後	木3	浅野 耕太	全	全	1	2			
経済学II	後	金5	山本 泰三	全	全	1	2			
Introduction to Economics-E2	前	火2	陶 俊帆	全	主1	1	2		E2	
Principles of Economics-E2	後	火2	陶 俊帆	全	主1	1	2		E2	
Economy and Society I-E2	前	火5	陶 俊帆	文	主2	1	2		E2	
Economy and Society II-E2	後	火5	陶 俊帆	文	主2	1	2		E2	
Contemporary Economics I-E2	前	水3	Alireza Naghavi	全	全	1	2		E2	
Contemporary Economics I-E2	前	水4	Alireza Naghavi	全	全	1	2		E2	
Contemporary Economics II-E2	後	水3	Alireza Naghavi	全	全	1	2		E2	
Contemporary Economics II-E2	後	水4	Alireza Naghavi	全	全	1	2		E2	
Introduction to Management-E2	前	火1	CHUNG-MOYA, Emily	全	全	1	2		E2	
Introduction to Management-E2	前	火2	CHUNG-MOYA, Emily	全	全	1	2		E2	
Contemporary Management-E2	後	火1	CHUNG-MOYA, Emily	全	全	1	2		E2	
Contemporary Management-E2	後	火2	CHUNG-MOYA, Emily	全	全	1	2		E2	
Introduction to Game Theory-E2	前	月3	李 晨	全	主1	1	2		E2	
Introduction to Game Theory-E2	前	月4	李 晨	全	主1	1	2		E2	
Applied Game Theory-E2	後	月3	李 晨	全	主1	1	2		E2	
Applied Game Theory-E2	後	月4	李 晨	全	主1	1	2		E2	
Law and Culture in Japan-E2	後	未定	未定	全	主1・2	1	2		E2	
各論										
労働と法	前	月4	小畑 史子	全	全	1	2			
労働と法	後	月4	小畑 史子	全	全	1	2			
環境と法	前	金3	宇佐美 誠 他	全	全	1	2			
環境と法	前	金4	宇佐美 誠 他	全	全	1	2			
家族と法	前	水3	横山 美夏	全	全	1	2	J		
国際法入門	後	水2	福島 涼史	全	全	1	2			
社会保障と法	前	月2	稲森 公嘉	全	全	1	2			
裁判制度入門	後	火4	古財 英明	全	全	1	2			
民事裁判入門	後	水2	山田 明	全	全	1	2			
刑事裁判入門	後	火2	中川 博之	全	全	1	2			
労働と法基礎ゼミナール	後	月5	小畑 史子	全	全	1	2			
グローバル規範論基礎ゼミナール	後	金5	宇佐美 誠	全	全	1	2			
現代政治分析への招待	後	金2	建林 正彦	全	全	1	2	J		
歴史の中の政治と人間	前	水2	森川 輝一 他	全	全	1	2	J		
公共政策論I	後	金3	佐野 亘	全	全	1	2	H		
公共政策論II	後	金2	浅野 耕太	全	2以上	1	2	H		
現代経済社会論I	前	金2	黒宮 一太	全	全	1	2			
現代経済社会論II	後	金2	黒宮 一太	全	全	1	2			
社会経済システム論I	前	水3	柴山 桂太	全	全	1	2	H		
社会経済システム論II	後	水3	柴山 桂太	全	全	1	2	H		
公共政策論基礎ゼミナール I	後	月3	佐野 亘	全	全	1	2			
公共政策論基礎ゼミナールII	後	金4	浅野 耕太	全	全	1	2	H		
社会・経済システム原論基礎ゼミナール	後	水5	柴山 桂太	全	全	1	2			
経済原論基礎ゼミナール	後	月5	大黒 弘慈	全	全	1	2			
現代社会と法基礎ゼミナール	後	月4	見平 典	全	全	1	2			
統計リテラシー	前	火4	藤井 輝明	全	全	1	2			
統治機構論	前	月4	見平 典	全	全	1	2			
国際政治論I	前	水2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2			
国際政治論II	後	水2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2			
国際政治論基礎ゼミナール	後	月3	齋藤 嘉臣	全	全	1	2			
思想と法	後	水1	菊池 亨輔	全	全	1	2			
法哲学基礎ゼミナール	後	水5	菊池 亨輔	全	全	1	2			
Japan's Political Economy-E2	後	火3	HIJINO Ken	全	主1・2	1	2		E2	
Democracy in Crisis-E2 :Government of, by, and for whom?	後	月3	HIJINO Ken	全	主1・2	1	2		E2	
Japanese Politics-E2	後	火2	HIJINO Ken	全	2以上	1	2	J	E2	
Local Government in Comparative Perspective-E2	後	水2	HIJINO Ken	全	主1・2	1	2		E2	
International History 1900 to the Present-E2	前	水4	MURPHY, Mahon	全	2以上	1	2	J	E2	
An International History of East Asia 1839-1945-E2	後	水3	MURPHY, Mahon	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Political Science-E2	後	未定	未定	全	主1・2	1	2		E2	
State and Civil Society I-E2	後	未定	未定	全	主1・2	1	2		E2	
State and Civil Society II-E2	後	未定	未定	全	主1・2	1	2		E2	
日本理解										
Culture and Traditions in Japan I	前	月5	バリハワダナ ルチラ	留	全	1	2			
Culture and Traditions in Japan II	後	月5	湯川 志貴子	留	全	1	2			
Culture and Traditions in Japan II	後	火5	阿久澤 弘陽	留	全	1	2			
Current Issues in Japan I	前	木5	河合 淳子	留	全	1	2			
Current Issues in Japan II	後	木3	迫田 さやか	留	全	1	2			
日本社会論	後	木4	木村 純	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
現代日本の社会問題	前	木3	迫田 さやか	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本の経済	後	金3	田中 彰	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本の法と政治	前	金4	高谷 知佳 他	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本の歴史と文化	前	火2	湯川 志貴子 他	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研究論文作成演習 I	後	金2	バリハワダナ ルチラ	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研究論文作成演習 I	後	金2	河合 淳子	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研究論文作成演習 I	後	金2	湯川 志貴子	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研究論文作成演習 I	後	金2	阿久澤 弘陽	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅱ	前	金2	バリハワダナ ルチラ	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅱ	前	金2	河合 淳子	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅱ	前	金2	湯川 志貴子	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅱ	前	金2	阿久澤 弘陽	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語・日本文化研修プログラム修了研究論文	前集	集中	バリハワダナ ルチラ 他	留	1	2	4			日本語・日本文化研修留学生専用科目
外国文献研究 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカの映像文化	前	火3	木下 千花	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語で学ぶ日本映画史	前	金2	木下 千花	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカの映像文化	後	火3	木下 千花	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語で学ぶ日本映画史	後	金2	木下 千花	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:外国語学習を考える	前	月2	中森 誉之	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:外国語学習を考える	後	月2	中森 誉之	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス諸島探訪 - 文化と言語の多様性、日本へのまなざし	前	木1	池田 寛子	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス諸島探訪 - 文化と言語の多様性、日本へのまなざし	後	水4	池田 寛子	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	前	月4	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	前	月5	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	後	月4	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	後	月5	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画と文化	前	月3	仁井田 千絵	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画と文化	前	火2	仁井田 千絵	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画と文化	後	月3	仁井田 千絵	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画と文化	後	火2	仁井田 千絵	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:冷戦と米科学技術競争 - 核から宇宙開発まで	前	火3	森口 由香	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:冷戦と米科学技術競争 - 核から宇宙開発まで	前	火4	森口 由香	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:冷戦と米科学技術競争 - 核から宇宙開発まで	後	火3	森口 由香	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:冷戦と米科学技術競争 - 核から宇宙開発まで	後	火4	森口 由香	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	前	水3	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	前	水4	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	後	水3	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	後	水4	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:戯曲で学ぶ英語	前	水3	合田 典世	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:戯曲で学ぶ英語	後	水3	合田 典世	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:Technology mediated foreign language learning	前	木3	PETERSON, Mark	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:Technology mediated foreign language learning	後	木3	PETERSON, Mark	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:国際移住 - 移民の視点から理解するグローバル化	前	水2	徳永 悠	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:国際移住 - 移民の視点から理解するグローバル化	前	金2	徳永 悠	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:国際移住 - 移民の視点から理解するグローバル化	後	水2	徳永 悠	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:国際移住 - 移民の視点から理解するグローバル化	後	金2	徳永 悠	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:シェイクスピア入門	前	金3	葉山 智成	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:シェイクスピア入門	前	金4	葉山 智成	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:シェイクスピア入門	後	金3	葉山 智成	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:シェイクスピア入門	後	金4	葉山 智成	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:黒人野球を通して見る20世紀アメリカの歴史と文化	前	火2	吉田 恭子	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:黒人野球を通して見る20世紀アメリカの歴史と文化	後	火2	吉田 恭子	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:教育イノベーション	前	水3	飯吉 透	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語とエクセルで学ぶ数値解析	後	火1	菊本 統	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:教育データ分析と視覚化	前	水3	緒方 広明	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:英語で学ぶ数値線形代数	前	木2	岩下 武史	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:ビジネスのための情報システム	後	月1	岡部 寿男	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説の諸相	前	木1	小島 基洋	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説の諸相	後	木1	小島 基洋	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:ジョン・ステュアート・ミルの『自伝』とヴィクトリア朝社会	前	火3	中村 仁紀	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:ジョン・ステュアート・ミルの『自伝』とヴィクトリア朝社会	前	火4	中村 仁紀	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:ジョン・ステュアート・ミルの『自伝』とヴィクトリア朝社会	後	火3	中村 仁紀	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:ジョン・ステュアート・ミルの『自伝』とヴィクトリア朝社会	後	火4	中村 仁紀	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:サイバーセキュリティ	後	木5	小谷 大祐	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:言語の正体:動物からコンピュータまで	前	月3	GINSBURG, Jason	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(全・英)-E1:言語の正体:動物からコンピュータまで	後	月3	GINSBURG, Jason	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)A-E1	前	月5	岩本 佳子	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)A-E1	前	水4	安平 弦司	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)A-E1	前	火4	天野 恭子	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)A-E1	前	水3	児玉 聡	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)A-E1	前	金2	小林 久美子	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)A-E1	前	水3	定延 利之	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)A-E1	前	火2	蘆田 宏	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)B-E1	後	月5	小野沢 透	文	2以上	1	2		E1	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
外国文献研究(文・英)B-E1	後	水4	安平 弦司	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)B-E1	後	火4	VASUDEVA, Somdev	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)B-E1	後	金2	小林 久美子	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)B-E1	後	金3	林 拓也	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)B-E1	後	火2	埴淵 知哉	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(文・英)B-E1	後	水3	田中 紀行	文	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(教育・英)I-E1	前	水3	BROTHERHOOD Thomas	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(教育・英)I-E1	前	木2	Joonha Park	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(教育・英)II-E1	後	月4	Emmanuel MANALO	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(教育・英)II-E1	後	水3	VAN STEENPAAL, Niels	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	水2	岡田 陽平	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	水1	鈴木 秀光	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	金3	長野 史寛	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	水4	高橋 陽一	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	火4	高谷 知佳	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	金4	宇治 梓紗	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	火3	石間 英雄	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)I-E1	前	月4	上出 寛子	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	水2	品田 智史	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	金5	橋本 佳幸	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	金3	稲森 公嘉	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	火4	高橋 陽一	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	火3	横山 美夏	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	木2	高谷 知佳	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	火5	須田 守	全	2以上	1	2		E1	
外国文献講読(法・英)II-E1	後	月4	上出 寛子	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	月1	李 晨	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	火3	Alireza Naghavi	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	木2	中林 純	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	水2	岩島 史	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	月2	富澤 侑史	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	火4	Alireza Naghavi	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	月2	岩崎 康平	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)A-E1	前	金3	CHUNG-MOYA, Emily	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	水2	岩島 史	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	金3	CHUNG-MOYA, Emily	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	火4	Alireza Naghavi	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	木2	神事 直人	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	火3	Alireza Naghavi	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	月1	李 晨	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	火2	山崎 潤一	全	2以上	1	2		E1	
外国文献研究(経・英)B-E1	後	火2	富澤 侑史	全	2以上	1	2		E1	

自然科学科目群

数学

基礎

微分積分学(講義・演義)A	前	水4・木2	林 雅行	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水3・木2	林 雅行	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・木1	筒井 容平 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	木1・金2	高樺 圭介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・木1	浅岡 正幸 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	木1・金2	前川 泰則 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・木2	筒井 容平 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	木2・金2	高樺 圭介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・木2	浅岡 正幸 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	木2・金2	前川 泰則 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水1・木2	勝股 審也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水2・木2	勝股 審也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水1・木1	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水2・木1	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水1・金3	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水2・金3	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月3・火1	大川 領 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火1・水2	角 大輝	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月3・火2	大川 領 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火2・水2	角 大輝	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火1・水2	佐々木 建紀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火2・水2	佐々木 建紀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水3・金1	小菅 真吾	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火3・金1	菊地 克彦	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水3・金1	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水3・金2	小菅 真吾	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火3・金2	菊地 克彦	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水3・金2	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水3・金1	美松 健	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火3・金1	佐々木 建紀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	水3・金2	美松 健	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火3・金2	佐々木 建紀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火1・水2	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月3・火1	神 貞介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月3・火1	井上 義也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
微分積分学(講義・演義)A	前	火2・水2	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月3・火2	神 貞介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月3・火2	井上 義也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火2・水3	山崎 愛一	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火2・水4	山崎 愛一	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・水3	神 貞介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・水4	神 貞介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	火2・水4	井上 義也	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・水3	野口 博史 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)A	前	月2・水4	野口 博史 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学A	前	火3・火4	久保 雅義	理	主1	2	4			クラス指定科目
Calculus with Exercises A	前	火2・水2	劉 逸侃	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる) 「微分積分学A」、「微分積分学(講義・演義)A」と同一授業
微分積分学(講義・演義)B	後	水4・木2	林 雅行	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水3・木2	林 雅行	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月2・木1	筒井 容平 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	木1・金2	高棹 圭介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月2・木1	浅岡 正幸 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	木1・金2	前川 泰則 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月2・木2	筒井 容平 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	木2・金2	高棹 圭介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月2・木2	浅岡 正幸 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	木2・金2	前川 泰則 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水1・木1	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水2・木1	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水1・金3	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水2・金3	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月3・火1	大川 領 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火1・水2	角 大輝	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月3・火2	大川 領 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火2・水2	角 大輝	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火1・水2	佐々木 建祀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火2・水2	佐々木 建祀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水3・金1	小菅 真吾	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火3・金1	菊地 克彦	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水3・金1	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水3・金2	小菅 真吾	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火3・金2	菊地 克彦	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水3・金2	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水3・金1	美船 健	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火3・金1	佐々木 建祀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	水3・金2	美船 健	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火3・金2	佐々木 建祀郎 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火1・水2	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月3・火1	神 貞介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月3・火1	原田 雅名	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火2・水2	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月3・火2	神 貞介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月3・火2	原田 雅名	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火2・水3	平賀 郁	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月2・水4	神 貞介 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	火2・水4	井上 義也	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学(講義・演義)B	後	月2・水3	野口 博史 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
微分積分学B	後	火3・火4	久保 雅義	理	主1	2	4			クラス指定科目
Calculus with Exercises B	後	火2・水2	劉 逸侃	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる) 「微分積分学B」、「微分積分学(講義・演義)B」と同一授業
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・水4	木坂 正史	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・水3	木坂 正史	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	木1・金2	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・木1	高村 茂	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	木1・金2	田中 公他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・木1	伊藤 哲也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	木2・金2	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・木2	高村 茂	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	木2・金2	田中 公他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・木2	伊藤 哲也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水1・金3	吉安 徹 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水2・金3	吉安 徹 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水1	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水2	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水1・木2	吉安 匡義	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水2・木2	足立 匡義	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火1・水2	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月3・火1	永見 誠二 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水2	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
線形代数学(講義・演義)A	前	月3・火2	永見 誠二 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火1・金1	平前 直也	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・金1	平前 直也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火3・金1	湯淺 亘 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水3・金1	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火3・金1	高尾 尚武 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火3・金2	湯淺 亘 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水3・金2	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火3・金2	高尾 尚武 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火3・金1	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水3・金1	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火3・金2	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	水3・金2	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月3・火1	柴田 泰輔 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火1・水2	清瀬 周 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火1・水2	宮澤 仁 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月3・火2	柴田 泰輔 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水2	清瀬 周 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水2	宮澤 仁 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・水3	大川 領 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・水4	大川 領 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水3	久保田 肇 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水4	久保田 肇 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	月2・水4	井川 治 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水3	湯淺 亘 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)A	前	火2・水4	湯淺 亘 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学A	前	水3	辻本 諭	理	主1	1	2			クラス指定科目
Linear Algebra with Exercises A	前	月3・火2	COLLINS, Benoit Vincent Pierre	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる) 「線形代数学A」、「線形代数学(講義・演義)A」と同一授業
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・水4	木坂 正史	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・水3	木坂 正史	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	木1・金2	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・木1	高村 茂 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	木1・金1	田中 公 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・木1	伊藤 哲也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	木2・金2	岡安 類 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・木2	高村 茂 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	木2・金2	田中 公 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・木2	伊藤 哲也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・水1	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・水2	上野 智弘	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	水1・木2	足立 匡義	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	水2・木2	足立 匡義	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火1・水2	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月3・火1	永見 誠二 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・水2	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月3・火2	永見 誠二 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火1・金1	平前 直也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・金1	平前 直也 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火3・金1	湯淺 亘 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	水3・金1	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火3・金1	高尾 尚武 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火3・金2	湯淺 亘 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	水3・金2	吉川 敦子 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火3・金2	高尾 尚武 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火3・金1	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	水3・金1	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火3・金2	平川 亮太 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	水3・金2	東山 和巳 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月3・火1	柴田 泰輔 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火1・水2	清瀬 周 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火1・水2	宮澤 仁 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月3・火2	柴田 泰輔 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・水2	清瀬 周 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・水2	宮澤 仁 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・水3	大川 領 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・水4	久保田 肇 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	月2・水4	井川 治 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学(講義・演義)B	後	火2・水3	湯淺 亘 他	理	主1	2	3			クラス指定科目
線形代数学B	後	水3	辻本 諭	理	主1	1	2			クラス指定科目
Linear Algebra with Exercises B	後	月3・火2	COLLINS, Benoit Vincent Pierre	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる) 「線形代数学B」、「線形代数学(講義・演義)B」と同一授業
自然現象と数学	前	火3	高井 敦史 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	火3	浅田 安廣 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	火4	仁井 大策 他	理	主1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
自然現象と数学	前	火4	大和田 拓 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	火4	大和田 拓	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	水5	阪本 卓也 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	水5	阪本 卓也 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	木4	佐藤 徹 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	木4	長嶺 信輔 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
自然現象と数学	前	水2	山本 章博	理	主1	1	2			クラス指定科目
Mathematical Description of Natural Phenomena	前	火3	CHANG, Kai-Chun	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「自然現象と数学」と同一授業
数学探訪I	後	水5	立木 秀樹	全	主1・2	1	2	H		
Quest for Mathematics I-E2	前	火2	Arseniy Aleksandrovich, Kuzmin	全	主1・2	1	2		E2	
Quest for Mathematics I-E2	後	未定	未定	文	主1・2	1	2		E2	
数学探訪II	前	水1	宮路 智行	全	主1・2	1	2			
Quest for Mathematics II-E2	後	木4	上田 福大	全	全	1	2		E2	
数学基礎A[文系]	前	火4・木2	上木 直昌	文	主1	2	4			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
数学基礎B[文系]	後	火4・木2	上木 直昌	文	主1	2	4			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学[文系]	前	木2	田中 亮吉	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学[文系]	前	木2	吉川 謙一	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Calculus-E2[For non-science majors]	前	火3	Arseniy Aleksandrovich, Kuzmin	全	全	1	2		E2	
線形代数A[文系]	前	火4	稲生 啓行	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数A[文系]	前	火4	平賀 郁	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Linear Algebra A-E2[For non-science majors]	前	木4	上田 福大	全	全	1	2		E2	
線形代数B[文系]	後	火4	稲生 啓行	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数B[文系]	後	火4	平賀 郁	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Linear Algebra B-E2[For non-science majors]	後	金2	Tam Willy Nguyen	全	全	1	2		E2	
発展										
微積分学統論I-ベクトル解析	前	水3	高埜 圭介	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	火2	原田 雅名	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	水2	田中 亮吉	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	火4	高尾 尚武	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	木3	難波 隆弥	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	金4	田中 亮吉	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	月5	伊藤 陽介	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	水4	藤原 宏志	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	木3	足立 匡義	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	前	木3	柴山 允瑠	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論I-ベクトル解析	後	月5	田中 亮吉	理	主2	1	2			
Advanced Calculus I-Vector Calculus	前	水5	QURESHI, Ali Gul	理	2以上	1	2			[International Course]クラス指定科目 「微積分学統論I-ベクトル解析」と同一授業
微積分学統論II-微分方程式	前	火2	三浦 達哉	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	前	水3	劉 逸侃	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	水2	宮路 智行	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	火4	高尾 尚武	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	木3	角 大輝	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	金4	生駒 英晃	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	月3	白石 大典	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	水4	石本 健太	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	木3	難波 隆弥	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	後	木3	藤原 宏志	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
微積分学統論II-微分方程式	前	水5	赤坂 立也	理	主2	1	2			
Advanced Calculus II-Differential Equations	後	水5	QURESHI, Ali Gul	理	2以上	1	2			[International Course]クラス指定科目 「微積分学統論II-微分方程式」と同一授業
線形代数統論	前	火2	足立 匡義	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数統論	前	火4	坂上 貴之	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数統論	前	金3	藤野 修	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数統論	前	金2	泉 正己	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数統論	前	火4	木坂 正史	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数統論	前	月2	木上 淳	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
線形代数統論	後	金5	赤坂 立也	理	主2	1	2			
Advanced Linear Algebra	前	金2	CHANG, Kai-Chun	理	主2以上	1	2			[International Course]クラス指定科目 「線形代数統論」と同一授業
確率論基礎	前	月2	日野 正訓	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
確率論基礎	前	月2	楠岡 誠一郎	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
確率論基礎	前	木1	難波 隆弥	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
確率論基礎	前	月1	杉山 登志	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
確率論基礎	前	水2	白石 大典	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
確率論基礎	前	月2	三浦 真人	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
確率論基礎	前	金1	上木 直昌	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Elementary Probability-E2	後	未定	未定	理	主2	1	2		E2	
関数論	前	火2	萩原 朋道	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
関数論	後	火3	木坂 正史	理	主2	1	2			
関数論	後	水2	木上 淳	理	主2	1	2			
関数論	後	金2	穴倉 光広	理	主2	1	2			
Function Theory of a Complex Variable-E2	後	未定	未定	理	主2	1	2		E2	
応用数学セミナー	後	金4	藤原 宏志	理	主2	1	2			
応用数学セミナー	後	木5	宮路 智行	理	主2	1	2			
数値計算の基礎	前	金4	藤原 宏志	理	主2	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部門	E科目指定	備考
数理論理学A	前	火2	櫻川 貴司	全	主2	1	2			
数理論理学B	後	火2	立木 秀樹	全	主2	1	2			
現代の数学と数理解析－基礎概念とその諸科学への広がり	前	金5	荒川 知幸 他	理	全	1	2			
対称性の数理	後	木3	藤田 遼	理	主2	1	2			
Honors Mathematics A-E2	後	火3	劉 逸侃	理	主1	1	2		E2	
Honors Mathematics B-E2	前	火3	COLLINS, Benoit Vincent Pierre	理	主2	1	2		E2	
データ科学										
基礎										
数理・データ科学のための数学入門I	前	金4	山本 章博 他	全	全	1	2			
数理・データ科学のための数学入門II	後	木2	FLANAGAN, BrendanJohn	全	全	1	2			
統計入門	前	木1	田村 寛	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	前	木1	石塚 直樹	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	前	水4	後藤 幸織	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	前	木3	西川 星也	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	前	木3	FLANAGAN, BrendanJohn	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	前	火1	瀧川 一学	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	前	火1	岡本 雅子	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	前	火1	神谷 之康	全	全	1	2			
統計入門	前	月1	原 尚幸	全	全	1	2			
統計入門	後	木3	林 和則	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	後	火3	村脇 有吾	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	後	木3	首藤 一幸	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計入門	後	金1	植嶋 大晃	全	全	1	2			
Introductory Statistics-E2	前	金3	VEALE, Richard Edmund	全	全	1	2		E2	
Introductory Statistics-E2	後	月2	VANDENBON, Alexis	全	全	1	2		E2	
数理統計	後	月2	濱口 雄史	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
数理統計	後	月1	杉山 登志	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
数理統計	後	水2	上木 直昌	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
数理統計	後	月2	石井 信	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
数理統計	後	木1	森 隆大	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
数理統計	後	金1	竹内 潤一郎	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Mathematical Statistics-E2	前	木1	Croydon, David Alexander	理	主2	1	2		E2	
Mathematical Statistics-E2	後	木1	Croydon, David Alexander	理	主2	1	2		E2	
データ分析基礎	前	火5	原 尚幸	全	全	1	2			
データ分析基礎	前	木4	林 和則	全	全	1	2			
データ分析基礎	後	火5	原 尚幸	全	全	1	2			
Basic Data Analysis-E2	前	月4	VANDENBON, Alexis	全	全	1	2		E2	
発展										
統計と人工知能	前	木3	鹿島 久嗣 他	全	主2以上	1	2			
統計と人工知能	後	火3	西野 恒 他	全	主2以上	1	2			
統計と人工知能	後	水4	谷口 忠大	全	主2以上	1	2			
Second Course in Statistics-E2	後	木2	Croydon, David Alexander	全	主2	1	2		E2	
データ分析演習I	前	火2	木村 真之	全	全	1	2			
データ分析演習I	前	金2	酒井 博之	全	全	1	2			
データ分析演習I	後	水1	FLANAGAN, BrendanJohn 他	全	全	1	2			
データ分析演習I	後	月4	酒井 博之	全	全	1	2			
データ分析演習I	前	金3	久富 望	全	全	1	2			
Data Analysis Practice I-E2	前	水4	Martin Robert	全	全	1	2		E2	
データ分析演習II	前	火1	田村 寛 他	全	全	1	2			
データ分析演習II	前	水3	仙田 徹志	全	全	1	2			
データ分析演習II	後	火4	石塚 直樹 他	全	全	1	2			
データ分析演習II	後	木1	田村 寛 他	全	全	1	2			
Data Analysis Practice II-E2	後	金3	PATAKY, Todd	全	全	1	2		E2	
物理学										
基礎										
物理学基礎論A	前	月4	橋本 幸士	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	月4	角五 彰	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	月4	石田 憲二	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	火1	藤原 直樹	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	火1	高木 紀明	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	金1	後藤 仁志	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	金1	高橋 良和	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	木2	松原 明	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	木1	吉岡 興一	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	木1	岩室 史英	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	水4	金澤 輝代士	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	金1	安部 正高	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	金1	藤本 仁	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	水4	上原 恵理香	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	火1	佐々木 豊	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論A	前	火1	上田 佳宏	理	主1	1	2			クラス指定科目
Fundamental Physics A	前	木4	QURESHI, Ali Gul	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目「物理学基礎論A」と同一授業
Fundamental Physics A-E2	前	火2	林 聖勳	理	主1	1	2		E2	
Fundamental Physics A-E2	前	水4	金 英寛	理	主1	1	2		E2	
物理学基礎論B	後	火1	森成 隆夫	理	主1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
物理学基礎論B	後	月4	銭廣 十三	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	月4	中家 剛	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	月4	横山 央明	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	火1	藤原 直樹	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	金1	打田 正樹	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	金1	吉田 鉄平	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	木2	松山 顕之	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	木1	石澤 明宏	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	木1	前田 啓一	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	金1	高須 洋介	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	水4	辻 徹郎	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	火1	鶴 剛	理	主1	1	2			クラス指定科目
物理学基礎論B	後	火1	土井 俊哉	理	主1	1	2			クラス指定科目
Fundamental Physics B	後	木4	QURESHI, Ali Gul	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「物理学基礎論B」と同一授業
Fundamental Physics B-E2	後	火3	BANERJEE, Amit	理	主1	1	2		E2	
Fundamental Physics B-E2	後	木3	Jorge Luis Puebla Nunez	理	主1	1	2		E2	
物理学実験	前	月3・月4	吉田 鉄平 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	前	金3・金4	石田 憲二 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	前	火3・火4	榎戸 輝揚 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	前	木3・木4	舟橋 春彦 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	前	水3・水4	藤原 直樹 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	後	金3・金4	高木 紀明 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	後	火3・火4	吉田 鉄平 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	後	水3・水4	藤原 直樹 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	後	月3・月4	木下 俊哉 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
物理学実験	後	木3・木4	舟橋 春彦 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Elementary Experimental Physics-E2	後	金3・金4	WENDELL,Roger 他	理	主1	2	2		E2	クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
熱力学	前	火2	木下 俊哉	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
熱力学	前	月4	森成 隆夫	理	主1	1	2			
熱力学	前	月3	川那辺 洋	理	主1	1	2			
熱力学	前	火1	吉田 恒也	理	主1	1	2			
熱力学	前	水1	山本 潤	理	主1	1	2			
熱力学	前	水2	佐々 真一	理	主1	1	2			
熱力学	後	水2	川西 咲子	理	主1	1	2			
熱力学	後	火1	高井 茂臣	理	主1	1	2			
熱力学	後	火4	森成 隆夫	理	主1	1	2			
Thermodynamics	後	金2	KHAYYER, Abbas	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「熱力学」と同一授業
Thermodynamics-E2	後	水3	DECHANT, Andreas	理	主1	1	2		E2	
初修物理学A	前	水2	石井 裕剛	理	主1	1	2			
初修物理学A	前	木2	細田 耕	理	主1	1	2			
Elementary Course of Physics A-E2	前	月3	PETERS,Robert	理	全	1	2		E2	
初修物理学B	後	金5	奥村 英之 他	理	主1	1	2			
力学統論	後	火4	高田 淳史	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
力学統論	後	火4	菅沼 秀夫	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
力学統論	後	水2	寺前 順之介	理	1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
力学統論	後	火3	池田 隆介	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
力学統論	後	月3	池田 隆介	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
力学統論	後	水2	高木 紀明	理	主1・2	1	2			
力学統論	後	水4	幸坂 祐生	理	主1・2	1	2			
Advanced Dynamics	後	火3	KIM, SUNMIN	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「力学統論」と同一授業
Advanced Dynamics-E2	後	火4	BANERJEE, Amit	理	主1	1	2		E2	
振動・波動論	前	金2	吉田 鉄平	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
振動・波動論	前	月3	森成 隆夫	理	主2	1	2			
振動・波動論	前	木2	中尾 恵	理	主2	1	2			
振動・波動論	前	火5	薄 良彦 他	理	主2	1	2			
振動・波動論	前	水2	北川 俊作	理	主2	1	2			
振動・波動論	前	火4	森成 隆夫	理	主2	1	2			
振動・波動論	後	木3	木下 俊哉	理	主2	1	2			
振動・波動論	後	火2	木下 勝之	理	主2	1	2			
Physics of Wave and Oscillation	前	木4	KIM, SUNMIN	理	主2	1	2			[International Course]クラス指定科目 「振動・波動論」と同一授業
Physics of Wave and Oscillation-E2	前	金4	BANERJEE, Amit	理	主2	1	2		E2	
電磁気学統論	前	火1	高須 洋介	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
電磁気学統論	前	水2	蓮尾 昌裕	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
電磁気学統論	前	火2	瀬木 利夫	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
電磁気学統論	前	火2	占部 継一郎	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Advanced Course of Electromagnetism-E2	前	火1	林 聖勳	理	主2	1	2		E2	
みんなの物理I	前	火3	舟橋 春彦	文	全	1	2			
みんなの物理II	後	火3	舟橋 春彦	文	全	1	2			
Physics for All-E2	前	水3	DECHANT, Andreas	文	主1・2	1	2		E2	
Physics for All-E2	後	水4	金 英寛	全	主1	1	2		E2	
Physics for All-E2	後	木2	Tam Willy Nguyen	文	主1・2	1	2		E2	
A Guide to Modern Physics A-E2	前	火3	WENDELL,Roger	全	全	1	2		E2	
Introduction to Solid State Physics-E2	前	木3	Jorge Luis Puebla Nunez	理	主1・2	1	2		E2	
Fundamentals of Materials I-E2	前	木2	GAO, Si	理	主1・2	1	2		E2	
Fundamentals of Materials II-E2	後	月2	GAO, Si	理	主1・2	1	2		E2	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
発展										
統計物理学	後	水1	掛谷 一弘 他	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
統計物理学	後	月4	森成 隆夫	理	主1・2	1	2			
Introduction to Statistical Physics-E2	後	水4	PETERS,Robert	理	主1・2	1	2		E2	
解析力学	前	木4	成木 恵	理	主2	1	2			
Analytic Dynamics-E2	前	火3	PETERS,Robert	理	主2	1	2		E2	
量子物理学	後	月3	杉本 茂樹	理	主2	1	2			
Introduction to Quantum Physics-E2	後	火4	Arseniy Aleksandrovich, Kuzmin	理	主2	1	2		E2	
やわらかな物理学－物質と生命の本質を探る	後	木5	市川 正敏 他	理	主1	1	2			
Soft Matter Physics-E2:From Condensed Matter to Life	後	水5	BRANDANI, Giovanni・Bruno	理	主1・2	1	2		E2	
現代物理学実験	前集	集中	銭廣 十三 他	理	2以上	2	2			
現代の素粒子像	後	金5	中冢 剛 他	理	主1	1	2			
先進エネルギー変換	後	水3	安部 正高 他	全	主1	1	2			
低温科学A	前	木4	石田 憲二 他	全	全	1	2			
低温科学B	後	金5	道岡 千城 他	全	全	1	2			
生命・食料・環境と物理学	後	木3	未定	全	主1・2	1	2			
プラズマ科学入門	後	火4	今寺 賢志 他	全	主1	1	2			
Introduction to Plasma Science-E2	後	火3	Arseniy Aleksandrovich, Kuzmin	全	主1	1	2		E2	
防災学概論	後	月1	倉田 真宏 他	全	全	1	2			
Introduction to Cosmology-E2	前	水2	Antonio De Felice	全	主1・2	1	2		E2	
Theory of Special Relativity-E2	後	水2	Antonio De Felice	全	主1・2	1	2		E2	
化学										
基礎										
基礎物理化学要論	前	木2	中村 敏浩	理	主1	1	2			クラス指定科目
基礎物理化学要論	前	月1	中村 敏浩	理	主1	1	2			クラス指定科目
基礎物理化学要論	前	金3	水野 操	理	主1	1	2			クラス指定科目
基礎物理化学要論	前	金2	林 重彦	理	主1	1	2			クラス指定科目
基礎物理化学要論	前	火4	片平 正人 他	理	主1	1	2			
基礎物理化学要論	後	金5	林 重彦	理	主1	1	2			
Essentials of Basic Physical Chemistry-E2	前	水3	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	全	1	2		E2	
基礎物理化学(熱力学)	前	月1	吉田 寿雄	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	前	水4	大塚 晃弘	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	前	水4	田部 勢津久	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	前	水4	吉田 寿雄	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	前	水2	川西 咲子	理	主1	1	2			
基礎物理化学(熱力学)	後	水2	水野 操	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	後	水2	奥山 弘	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	後	水2	小坂谷 貴典	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	後	金2	星野 大他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	後	木2	浦山 健治 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	後	木1	浦山 健治 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	後	木2	中村 洋	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(熱力学)	後	木1	中村 洋	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	前	木3	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	全	1	2		E2	
Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	後	水1	Nguyen Thanh Phuc	理	主1・2	1	2		E2	
基礎物理化学(量子論)	前	水2	倉重 佑輝	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	前	水2	足立 俊輔	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	前	水2	吉田 幸大	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	前	木1	大北 英生 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	前	木1	松田 建児 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	前	木1	陰山 洋他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	前	木1	今堀 博	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	後	月1	吉田 寿雄	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	後	水4	渡邊 一也	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	後	水4	田部 勢津久	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	後	水4	吉田 寿雄	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎物理化学(量子論)	後	火5	松本 一彦 他	理	主1	1	2			
Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	前	水1	Nguyen Thanh Phuc	理	主1・2	1	2		E2	
Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	後	水3	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	全	1	2		E2	
基礎有機化学I	前	金3	津江 広人	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	水4	下川 淳	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	水4	徳田 正史	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	月1	小松 直樹	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	月1	藤田 健一	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	水3	瀧川 紘	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	月1	津江 広人	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	木2	津江 広人	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	木2	杉野目 道紀 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	木2	中尾 佳亮 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	木2	大江 浩一 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	木2	田中 一生	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	金2	上高原 浩	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	金3	村上 一馬	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学I	前	月5	藤田 健一	理	主1	1	2			
基礎有機化学I	後	月5	小松 直樹	理	主1	1	2			
Basic Organic Chemistry I-E2	前	木2	Juha Lintuluoto	理	主1	1	2		E2	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
Basic Organic Chemistry I-E2	前	火4	SINGH, Vaibhav Pal	理	主1・2	1	2		E2	
基礎有機化学II	前	月5	小松 直樹	理	主2	1	2			
基礎有機化学II	後	金3	津江 広人	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学II	後	月1	小松 直樹	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学II	後	水3	大野 浩章	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学II	後	木1	石田 直樹	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学II	後	木1	杉安 和憲 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学II	後	木2	中尾 佳亮 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学II	後	木2	近藤 輝幸 他	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎有機化学II	後	月5	松永 茂樹	理	主1・2	1	2			
Basic Organic Chemistry II-E2	後	木2	Juha Lintuluoto	理	主1	1	2		E2	
Basic Organic Chemistry II-E2	後	火4	SINGH, Vaibhav Pal	理	主1・2	1	2		E2	
基礎化学実験	前	金3・金4	田部 勢津久 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	前	月3・月4	小松 直樹 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	前	木3・木4	杉山 雅人 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	前	水3・水4	中村 敏浩 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	前	火3・火4	藤田 健一 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	後	金3・金4	廣戸 聡 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	後	火3・火4	吉田 寿雄 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	後	月3・月4	内本 喜晴 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎化学実験	後	水3・水4	中村 敏浩 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Fundamental Chemical Experiments-E2	前	水3・水4	Juha Lintuluoto 他	理	主1	2	2		E2	
Fundamental Chemical Experiments-E2	前	金3・金4	LANDENBERGER, Kira Beth 他	理	主1	2	2		E2	
Fundamental Chemical Experiments-E2	後	水3・水4	Juha Lintuluoto 他	理	主1	2	2		E2	
Fundamental Chemical Experiments-E2	後	金3・金4	LANDENBERGER, Kira Beth 他	理	主1	2	2		E2	
化学概論I	前	火3	中村 敏浩	文	主1	1	2			
Outline of Chemistry I(Its History and Fundamentals)-E2	後	木2	GAO, Si	全	主1・2	1	2		E2	
化学概論II	後	火3	中村 敏浩	文	主1	1	2			
Outline of Chemistry II(Its History & Fundamentals)-E2	前	水2	Yi Wei	全	主1・2	1	2		E2	
文系向の基礎化学I	前	木5	竹田 一旗	文	主1	1	2			
Chemistry for non-science majors I-E2	前	木4	PINCELLA, Francesca	文	全	1	2		E2	
文系向の基礎化学II	後	水3	竹田 一旗	文	主1	1	2			
Chemistry for non-science majors II-E2	後	木4	PINCELLA, Francesca	文	全	1	2		E2	
生活と環境の化学	前	月2	杉山 雅人	文	主1	1	2			
Everyday Life Chemistry-E2	後	木4	SINGH, Vaibhav Pal	全	主1・2	1	2		E2	
自然と環境の化学	後	月2	杉山 雅人	文	主1	1	2			
Chemistry on Natural and Human Environments-E2	後	金4	PINCELLA, Francesca	文	全	1	2		E2	
化学のフロンティアI	前	木4	小野 輝男 他	理	主1・2	1	2			
化学のフロンティアII	後	木4	前里 光彦 他	理	主1・2	1	2			
Chemistry of Sustainable Energy-E2	後	木3	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	全	1	2		E2	
Revisiting Basic Organic Chemistry I-E2	後	木4	LANDENBERGER, Kira Beth	理	主2	1	2		E2	
Revisiting Basic Organic Chemistry II-E2	前	木4	LANDENBERGER, Kira Beth	理	主2	1	2		E2	
Thermodynamics in Everyday Life-E2	前	月3	THUERMER, Stephan	理	主1・2	1	2		E2	
Analytical Chemistry and Forensic Science-E2	後	月5	MURDEY, Richard James	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to the Chemistry of Materials-E2	後	月4	MURDEY, Richard James	理	主1・2	1	2		E2	
Basic Physical Chemistry (statistical mechanics)-E2	前	水2	Cathy McNamee	理	主2	1	2		E2	
発展										
有機化学演習A	前	水5	廣戸 聡	理	主1・2	1	2			
有機化学演習B	後	水5	廣戸 聡	理	主1・2	1	2			
無機化学入門A	前	月2	田部 勢津久	理	主2	1	2			
無機化学入門A	前	金2	内本 喜晴	理	主2	1	2			
Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	前	火3	Tong Zhu	理	主1・2	1	2		E2	
無機化学入門B	後	月2	田部 勢津久	理	主2	1	2			
無機化学入門B	後	金2	内本 喜晴	理	主2	1	2			
Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	後	火3	Tong Zhu	理	主1・2	1	2		E2	
探究型化学課題演習III-有機化合物の化学-	後	水3・水4	藤田 健一 他	理	主2	2	2			後期前半科目(10月~11月に実施)
探究型化学課題演習III-有機化合物の化学-	後	水3・水4	藤田 健一 他	理	主2	2	2			後期後半科目(11月~1月に実施)
理論化学入門I	前	金4	谷村 吉隆	理	主1・2	1	2			
理論化学入門II	後	金4	谷村 吉隆	理	主1・2	1	2			
生命の有機化学	前	木2	上杉 志成 他	理	1・2	1	2			
Organic Chemistry of Life-E2	前	金4	SINGH, Vaibhav Pal	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Surface Chemistry-E2	後	月3	THUERMER, Stephan	理	主2	1	2		E2	
生物学										
総論										
生物・生命科学入門	前	水1	田村 実他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
生物・生命科学入門	前	水1	鹿内 利治 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
生物・生命科学入門	前	月1	NAM, Jin Min 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
生物・生命科学入門	前	月1	小田 裕香子 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
生物・生命科学入門	前	月1	松本 智裕 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Introduction to Biology and Life Science-E2	前	木3	BRANDANI, Giovanni・Bruno	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Biology and Life Science-E2	後	木3	BRANDANI, Giovanni・Bruno	全	主1・2	1	2		E2	
個体と集団の基礎生物学	後	水1	中野 隆文 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
個体と集団の基礎生物学	後	水1	城野 哲平 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
個体と集団の基礎生物学	後	金2	中務 真人 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
個体と集団の基礎生物学	後	火4	森 哲他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
個体と集団の基礎生物学	後	火4	谷内 茂雄 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部門	E科目指定	備考
Fundamentals of Organismal and Population Biology-E2	前	月2	BARNETT, Craig Antony	全	主1・2	1	2		E2	
細胞と分子の基礎生物学	前	火2	吉村 成弘 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
細胞と分子の基礎生物学	後	水4	小山 時隆 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
細胞と分子の基礎生物学	後	水4	松下 智直 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
細胞と分子の基礎生物学	後	月4	今元 泰 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
細胞と分子の基礎生物学	後	月1	今元 泰 他	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
細胞と分子の基礎生物学	後	月1	秋山 秋梅 他	全	主1・2	1	2			
Fundamentals of Cell and Molecular Biology-E2	前	金2	TAKENAKA, Mizuki	全	主1・2	1	2		E2	
生物学のフロンティア	前	火4	高橋 淑子 他	全	主1・2	1	2			
生物学実習I[基礎コース]	前	月3・月4	瀬戸口 浩彰 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習I[基礎コース]	前	木3・木4	土屋 徹 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習I[基礎コース]	前	金3・金4	宮下 英明 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習I[基礎コース]	前	木3・木4	山野 隆志 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習I[基礎コース]	後	木3・木4	西川 完途 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習I[基礎コース]	後	金3・金4	市岡 孝朗 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習II[自然史コース]	前	水3・水4	市岡 孝朗 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習II[自然史コース]	後	水3・水4	西川 完途 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習III[細胞と分子生物学コース]	前	月3・月4	宮下 英明 他	全	主1・2	2	2			
生物学実習III[細胞と分子生物学コース]	後	月3・月4	土屋 徹 他	全	主1・2	2	2			
Introduction to Plant Science-E2	後	金2	TAKENAKA, Mizuki	全	主1・2	1	2		E2	
Basic Biology and Metabolism-E2	後	未定	MACPHERSON TOM	全	全	1	2		E2	
各論										
動物自然史II	後	金1	西川 完途	全	主1・2	1	2			
植物自然史I	前	火1	瀬戸口 浩彰	全	主1・2	1	2			
植物自然史II	後	火1	瀬戸口 浩彰	全	主1・2	1	2			
植物自然史III	前	金2	布施 静香	理	主1・2	1	2			
自然人類学I	前	水2	中村 美知夫	全	主1・2	1	2			
自然人類学II	後	水2	森本 直記 他	全	主1・2	1	2			
行動生態学入門	前	木1	市岡 孝朗	全	主1・2	1	2			
藻類学概論	前	火1	宮下 英明	全	主1・2	1	2			
「生命の進化」概論	前	火1	土屋 徹	全	主1・2	1	2			
神経科学の基礎	前	木4	後藤 幸織 他	全	主1・2	1	2			
神経生理学の基礎-生体情報論-	後	月3	細川 浩	全	主1・2	1	2			
生物物理学入門	前	月5	高田 彰二 他	理	主1・2	1	2			
生命と情報	前	月3	細川 浩	全	主1・2	1	2			
生化学入門	前	火4	吉村 成弘 他	理	主1・2	1	2			
先端生命科学を支える技術I	前	水5	白石 英秋	全	主1・2	1	2			
先端生命科学を支える技術II	後	火2	山城 佐和子	全	主1・2	1	2			
博物誌学	前	月3	永益 英敏	全	主1・2	1	2			
遺伝学概論	前	火4	井上 博茂	全	主1・2	1	2			
Principles of Genetics-E2	前	火4	THUMKEO, Dean	理	主1・2	1	2		E2	
霊長類学入門I	前	木4	足立 幾磨 他	全	主1・2	1	2			
霊長類学入門II	後	木4	今井 啓雄 他	全	主1・2	1	2			
野生動物学入門	前	金4	村山 美穂 他	全	主1・2	1	2			
分子遺伝学	後	火4	生田 宏一	理	主1・2	1	2			
化学と生物の分子集合学	後	木5	藤田 大士 他	全	主1	1	2			
植物科学入門	前	月3	鹿内 利治 他	全	主1・2	1	2			
真菌自然史	後	木1	市岡 孝朗 他	全	主1・2	1	2			
Introduction to Biochemistry-E2	後	火2	THUMKEO, Dean	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Biochemistry-E2	後	火3	THUMKEO, Dean	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Biochemistry-E2	後	火2	Marco,Marques Candeias	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Biochemistry-E2	後	火3	Marco,Marques Candeias	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Molecular Biotechnology-E2	前	金2	Walinda, Erik	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	前	金5	VEALE, Richard Edmund	全	全	1	2		E2	
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	後	金5	VEALE, Richard Edmund	全	全	1	2		E2	
Introductory Plant Ecology-E2	前	水3	HSIANG Tzu-Fan	理	主1・2	1	2		E2	
Principles of Horticulture-E2	後	水3	HSIANG Tzu-Fan	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Genetics and Evolution-E2	後	月3	Adam Tsuda GUY	理	主1・2	1	2		E2	
Basic Biology-E2	前	月3	Adam Tsuda GUY	理	主1・2	1	2		E2	
Basic Genetic Engineering-E2	後	水2	Adam Tsuda GUY	理	主1・2	1	2		E2	
Chromosome Biology-E2	前	火5	CARLTON, Peter	全	主1・2	1	2		E2	
Practical Computing for Biologists-E2	後	火5	CARLTON, Peter	理	主1・2	1	2		E2	
Biological Sciences through Scientific Articles I-E2	前	火5	TAKENAKA, Mizuki	全	主1・2	1	2		E2	
Biological Sciences through Scientific Articles II-E2	後	火5	TAKENAKA, Mizuki	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Computational Molecular Biology-E2	後	木4	Martin Robert	理	全	1	2		E2	
Introduction to Biological Data Analysis-E2	前	木4	Martin Robert	理	全	1	2		E2	
Introduction to Plant Physiology-E2	後	月2	Daniel Epron	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Ecology and Evolution-E2	後	月2	BARNETT, Craig Antony	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Biosciences-E2	後	未定	MACPHERSON TOM	全	全	1	2		E2	
Introduction to Immunology-E2:The body's defense system	後	木3	KIM, Minsoo	全	主1・2	1	2		E2	
Microorganisms in our Lives-E2	前	木3	KIM, Minsoo	全	主1・2	1	2		E2	
Plant Biotechnology-E2	後	水3	YASIR SERAG ALNOR MOHAMMED SERAG ALNOR	理	主1・2	1	2		E2	
Proteins-workforce of life-E2	前	水4	YASIR SERAG ALNOR MOHAMMED SERAG ALNOR	理	主1・2	1	2		E2	
Food Science-E2	後	水2	YASIR SERAG ALNOR MOHAMMED SERAG ALNOR	理	主1・2	1	2		E2	
地球科学										
基礎										

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
基礎地球科学A(現在の地球の活動と私たち)	前	金1	加藤 護	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎地球科学A(地球システムの歴史と変遷)	前	金1	石村 豊穂	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Introduction to Earth Science A	前	金2	ZHU Fan	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「基礎地球科学A」と同一授業
基礎地球科学B(地球システムと環境)	後	金1	石村 豊穂	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
基礎地球科学B(地球誕生から現在まで)	後	金1	加藤 護	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Introduction to Earth Science B-E2	後	水1	ZWINGMANN, Horst Friedrich August	理	主1・2	1	2		E2	
地球科学実験	前	火3・火4	小木曾 哲 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
地球科学実験	後	金3・金4	小木曾 哲 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
地球科学入門ーダイナミクス	後	月4	加藤 護 他	文	全	1	2			
地球の営みIー環境変動	前	月5	石村 豊穂	文	全	1	2			
How the Earth Works I-E2:Environmental Change	前	水4	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	全	1	2		E2	
地球の営みIIー地球史	後	月5	小木曾 哲	文	全	1	2			
How the Earth Works II-E2:Earth's History	後	木4	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	全	1	2		E2	
宇宙科学入門	前	水4	太田 耕司 他	全	全	1	2			
宇宙科学入門	前	水5	太田 耕司 他	全	全	1	2			
宇宙科学入門	後	水4	太田 耕司 他	全	全	1	2			
宇宙科学入門	後	水5	太田 耕司 他	全	全	1	2			
Introduction to General Astronomy-E2	前	水4	LEE, Shiu Hang	全	全	1	2		E2	
水と緑と土の科学	後	木5	松四 雄騎 他	全	主1・2	1	2			
Science on Water, Soil and Ecosystems-E2	後	金2	SHARMA, Vikas	全	主1・2	1	2		E2	
地球の物理	前	木5	久家 慶子 他	全	全	1	2			
地球の誕生と進化	後	火5	生形 貴男 他	全	全	1	2			
天体観測実習	前集	集中	永田 伸一 他	全	全	2	2			
発展										
フィールド地球科学	前	火2	小木曾 哲 他	理	主2以上	1	2			
Field Earth Science-E2	後	水2	ZWINGMANN, Horst Friedrich August	理	2以上	1	2		E2	
太陽系と地球の物質	後	木2	小木曾 哲	理	主2以上	1	2			
地質工学入門	後	月3	林 為人 他	理	主2	1	2			
Introduction to Engineering Geology	後	火5	ZHU Fan	理	主2	1	2			[International Course]クラス指定科目 「地質工学入門」と同一授業
Introduction to Mineral Resources-E2	後	水4	AU Ka Man	理	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Hydrology-E2	前	木4	Sameh Kantoush	理	主1・2	1	2		E2	
図学										
基礎										
図学A	前	火4	中嶋 節子	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
図学A	前	火4	前田 昌弘	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
図学A	前	水4	中嶋 節子	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
図学A	前	水4	前田 昌弘	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
図学A	前	火2	山本 直彦	全	全	1	2			
図学A	前	火3	山本 直彦	全	全	1	2			
図学B	後	水4	中嶋 節子	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
図学B	後	火4	前田 昌弘	全	全	1	2			
外国語科目群										
英語										
英語リーディング ER01	前	水2	合田 典世	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER02	前	水2	栗山 智成	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER03	前	水2	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER04	前	木2	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER05	前	木2	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER06	前	木2	加藤 弘嗣	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER07	前	月4	仁井田 千絵	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER08	前	月4	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER09	前	月4	脇坂 美和子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER10	前	金2	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER11	前	金2	喜多野 裕子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER12	前	火4	吉田 恭子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER13	前	火4	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER14	前	火4	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER15	前	火4	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER16	前	月2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER17	前	月2	GINSBURG, Jason	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER18	前	月2	中村 仁紀	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER19	前	月2	脇坂 美和子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER20	前	木3	徳永 悠	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER21	前	木3	加藤 弘嗣	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER22	前	木3	森口 由香	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER23	前	金1	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER24	前	金1	黒田 一平	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER25	前	金1	喜多野 裕子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER26	前	木2	合田 典世	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER27	前	木2	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER28	前	木2	森口 由香	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER29	前	木2	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER30	前	月1	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER31	前	月1	中森 誉之	全	1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
英語リーディング ER32	前	月1	水野 直子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER33	前	月1	中村 仁紀	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER34	前	水3	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER35	前	水2	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER36	前	水1	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER37	前	水2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER38	前	水1	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER39	前	火3	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER40	前	水2	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER41	前	水1	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER42	前	火2	GINSBURG, Jason	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER43	前	火2	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER44	前	火1	仁井田 千絵	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER45	前	火1	中森 誉之	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER46	前	火2	藤原 久仁子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER47	前	火1	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER48	前	金2	田中 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER49	前	金2	久後 香純	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER50	前	金2	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER51	前	金1	徳永 悠	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER52	前	金1	田中 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER53	前	金1	久後 香純	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER54	前	金2	池田 寛子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER55	前	金2	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER56	前	金1	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER57	前	金1	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER58	前	火2	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER59	前	火2	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER60	前	火2	栗山 智成	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER61	前	火1	藤原 久仁子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER62	前	火1	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER63	前	火1	碓井 智子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER64	前	金2	北岡 一弘	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER65	前	金1	池田 寛子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER66	前	金4	吉田 恭子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER67	前	金4	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER68	前	金4	足達 賀代子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER69	前	金4	矢倉 喬士	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER70	前	金4	藤原 崇	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER71	前	金4	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER72	前	金4	布施 将夫	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER73	前	金4	永盛 明美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング単位未修得者クラス ESR01	前	月4	GINSBURG, Jason	全	2以上	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR02	前	火2	中森 誉之	全	2以上	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR03	前	火5	吉田 恭子	全	2以上	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR04	前	水4	合田 典世	全	2以上	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR05	前	金4	小島 基洋	全	2以上	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR06	前	金5	池田 寛子	全	2以上	1	2			
英語リーディング ER01	後	水2	栗山 智成	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER02	後	水2	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER03	後	水2	合田 典世	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER04	後	木2	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER05	後	木2	加藤 弘嗣	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER06	後	木2	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER07	後	月4	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER08	後	月4	脇坂 美和子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER09	後	月4	仁井田 千絵	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER10	後	金2	喜多野 裕子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER11	後	金2	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER12	後	火4	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER13	後	火4	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER14	後	火4	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER15	後	火4	吉田 恭子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER16	後	月2	GINSBURG, Jason	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER17	後	月2	中村 仁紀	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER18	後	月2	脇坂 美和子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER19	後	月2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER20	後	木3	加藤 弘嗣	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER21	後	木3	森口 由香	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER22	後	木3	徳永 悠	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER23	後	金1	黒田 一平	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER24	後	金1	喜多野 裕子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER25	後	金1	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER26	後	木2	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER27	後	木2	森口 由香	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER28	後	木2	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER29	後	木2	合田 典世	全	1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
英語リーディング ER30	後	月1	中村 仁紀	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER31	後	月1	水野 直子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER32	後	月1	中森 誉之	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER33	後	月1	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER34	後	水3	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER35	後	水2	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER36	後	水1	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER37	後	水2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER38	後	水1	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER39	後	火3	林 美穂子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER40	後	水2	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER41	後	水1	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER42	後	火2	兼山 智成	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER43	後	火2	藤原 久仁子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER44	後	火1	中森 誉之	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER45	後	火1	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER46	後	火2	GINSBURG, Jason	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER47	後	火1	仁井田 千絵	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER48	後	金2	久後 香純	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER49	後	金2	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER50	後	金2	田中 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER51	後	金1	田中 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER52	後	金1	久後 香純	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER53	後	金1	徳永 悠	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER54	後	金2	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER55	後	金2	北岡 一弘	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER56	後	金1	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER57	後	金1	池田 寛子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER58	後	火2	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER59	後	火2	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER60	後	火2	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER61	後	火1	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER62	後	火1	碓井 智子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER63	後	火1	藤原 久仁子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER64	後	金2	池田 寛子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER65	後	金1	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER66	後	金4	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER67	後	金4	足達 賀代子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER68	後	金4	矢倉 喬士	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER69	後	金4	藤原 崇	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER70	後	金4	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER71	後	金4	布施 将夫	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER72	後	金4	永盛 明美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング ER73	後	金4	吉田 恭子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語リーディング単位未修得者クラス ESR01	後	月4	GINSBURG, Jason	全	全	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR02	後	火2	中森 誉之	全	全	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR03	後	火5	吉田 恭子	全	全	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR04	後	水4	合田 典世	全	全	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR05	後	金4	小島 基洋	全	全	1	2			
英語リーディング単位未修得者クラス ESR06	後	金5	池田 寛子	全	全	1	2			
英語ライティングーリスニングA EW01a	前	木1	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW01b	前	木1	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW02a	前	木1	ダルクキー 智子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW02b	前	木1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW03a	前	木1	横森 大輔	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW03b	前	木1	OLIVER, Joseph Grant	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW04a	前	月4	ルツケル瀬本 阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW04b	前	月4	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW05a	前	月4	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW05b	前	月4	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW06a	前	月4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW06b	前	月4	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW07a	前	木2	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW07b	前	木2	OLIVER, Joseph Grant	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW08a	前	木2	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW08b	前	木2	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW09a	前	木2	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW09b	前	木2	RUSSELL, Leeja Cassandra	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW10a	前	火2	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW10b	前	火2	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW11a	前	火2	近 大志	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW11b	前	火2	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW12a	前	月2	長富 一暁	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW12b	前	月2	DENNISON, David Barrett	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW13a	前	月2	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW13b	前	月2	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW14a	前	月2	岡田 悠佑	全	1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
英語ライティング－リスニングA EW14b	前	月2	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW15a	前	月2	藤澤 宜広	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW15b	前	月2	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW16a	前	火4	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW16b	前	火4	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW17a	前	火4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW17b	前	火4	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW18a	前	火4	近 大志	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW18b	前	火4	Gumbilal, Valentino Milton Junior	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW19a	前	火4	KOWALCZYK KIMBERLYE	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW19b	前	火4	ARMSTRONG, Wesley James	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW20a	前	金1	長富 一暁	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW20b	前	金1	Lohmann, Rens	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW21a	前	金1	小谷 克則	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW21b	前	金1	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW22a	前	金1	北岡 一弘	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW22b	前	金1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW23a	前	木3	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW23b	前	木3	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW24a	前	木3	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW24b	前	木3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW25a	前	木3	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW25b	前	木3	RUSSELL, Leeja Cassandra	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW26a	前	月1	長富 一暁	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW26b	前	月1	DENNISON, David Barrett	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW27a	前	月1	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW27b	前	月1	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW28a	前	月1	岡田 悠佑	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW28b	前	月1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW29a	前	月1	佐藤 美奈子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW29b	前	月1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW30a	前	木1	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW30b	前	木1	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW31a	前	木1	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW31b	前	木1	RUSSELL, Leeja Cassandra	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW32a	前	木1	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW32b	前	木1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW33a	前	木1	和泉 絵美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW33b	前	木1	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW34a	前	月2	佐藤 美奈子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW34b	前	月2	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW35a	前	月2	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW35b	前	月2	DUNLAP JACOB GALEN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW36a	前	月2	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW36b	前	月2	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW37a	前	火3	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW37b	前	火3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW38a	前	火3	近 大志	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW38b	前	火3	ARMSTRONG, Wesley James	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW39a	前	水2	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW39b	前	水1	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW40a	前	火3	金丸 敏幸	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW40b	前	火3	Gumbilal, Valentino Milton Junior	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW41a	前	火3	KOWALCZYK KIMBERLYE	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW41b	前	火3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW42a	前	金3	笹尾 洋介	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW42b	前	金3	Lohmann, Rens	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW43a	前	金3	近 大志	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW43b	前	金3	ARMSTRONG, Wesley James	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW44a	前	水3	浅野 真也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW44b	前	水3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW45a	前	水3	笹尾 洋介	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW45b	前	水3	RUSSELL, JAMES DOUGLAS	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW46a	前	水3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW46b	前	水3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW47a	前	水3	伊藤 孝治	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW47b	前	水3	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW48a	前	木3	横森 大輔	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW48b	前	木3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW49a	前	木3	和泉 絵美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW49b	前	木3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW50a	前	木3	貫井 隆	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW50b	前	木3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW51a	前	木3	ダルスキー 智子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW51b	前	木3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW52a	前	月3	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングA EW52b	前	月3	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
英語ライティングーリスニングA EW53a	前	月3	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW53b	前	月3	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW54a	前	月3	長富 一暁	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW54b	前	月3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW55a	前	月3	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW55b	前	月3	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW56a	前	月3	ルツケル瀬本 阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW56b	前	月3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW57a	前	月3	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW57b	前	月3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW58a	前	金3	柳瀬 陽介	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW58b	前	金3	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW59a	前	金3	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW59b	前	金3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW60a	前	金3	藤原 崇	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW60b	前	金3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW61a	前	金3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW61b	前	金3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW62a	前	金3	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW62b	前	金3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW63a	前	金3	小谷 克則	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW63b	前	金3	DUNLAP JACOB GALEN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW64a	前	月3	岡田 悠佑	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW64b	前	月3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW65a	前	月3	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW65b	前	月3	DUNLAP JACOB GALEN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW66a	前	水4	山本 玲子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW66b	前	水4	RUSSELL, JAMES DOUGLAS	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW67a	前	水3	豊島 知穂	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW67b	前	水3	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW68a	前	水4	豊島 知穂	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW68b	前	水4	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW69a	前	水3	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW69b	前	水3	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW70a	前	水4	浅野 真也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW70b	前	水4	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW71a	前	水3	高橋 純子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW71b	前	水3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW72a	前	水4	伊藤 孝治	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW72b	前	水4	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW73a	前	水3	山本 玲子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA EW73b	前	水3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングA上級 EWA01	前	月5	Schipper Sara	全	1	1	2			
英語ライティングーリスニングA上級 EWA02	前	火5	MILNE, Daniel	全	1	1	2			
英語ライティングーリスニングA上級 EWA03	前	木5	RYLANDER, John	全	1	1	2			
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW01	前	月5	柳瀬 陽介	全	2以上	1	2			
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW02	前	木5	柳瀬 陽介	全	2以上	1	2			
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW51	後	月5	柳瀬 陽介	全	全	1	2			
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW52	後	火5	金丸 敏幸	全	全	1	2			
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW53	後	木5	柳瀬 陽介	全	全	1	2			
英語ライティングーリスニングB EW01a	後	木1	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW01b	後	木1	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW02a	後	木1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW02b	後	木1	ダルスキー 智子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW03a	後	木1	OLIVER, Joseph Grant	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW03b	後	木1	横森 大輔	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW04a	後	月4	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW04b	後	月4	ルツケル瀬本 阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW05a	後	月4	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW05b	後	月4	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW06a	後	月4	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW06b	後	月4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW07a	後	木2	OLIVER, Joseph Grant	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW07b	後	木2	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW08a	後	木2	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW08b	後	木2	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW09a	後	木2	RUSSELL, Leeja Cassandra	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW09b	後	木2	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW10a	後	火2	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW10b	後	火2	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW11a	後	火2	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW11b	後	火2	佐藤 美奈子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW12a	後	月2	DENNISON, David Barrett	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW12b	後	月2	長富 一暁	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW13a	後	月2	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW13b	後	月2	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティングーリスニングB EW14a	後	月2	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
英語ライティング－リスニングB EW14b	後	月2	岡田 悠佑	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW15a	後	月2	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW15b	後	月2	藤澤 宜広	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW16a	後	火4	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW16b	後	火4	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW17a	後	火4	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW17b	後	火4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW18a	後	火4	Gumbilal, Valentino Milton Junior	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW18b	後	火4	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW19a	後	火4	ARMSTRONG, Wesley James	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW19b	後	火4	KOWALCZYK KIMBERLYE	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW20a	後	金1	Lohmann, Rens	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW20b	後	金1	長富 一暎	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW21a	後	金1	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW21b	後	金1	小谷 克則	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW22a	後	金1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW22b	後	金1	北岡 一弘	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW23a	後	木3	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW23b	後	木3	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW24a	後	木3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW24b	後	木3	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW25a	後	木3	RUSSELL, Leeja Cassandra	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW25b	後	木3	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW26a	後	月1	DENNISON, David Barrett	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW26b	後	月1	長富 一暎	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW27a	後	月1	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW27b	後	月1	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW28a	後	月1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW28b	後	月1	岡田 悠佑	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW29a	後	月1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW29b	後	月1	佐藤 美奈子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW30a	後	木1	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW30b	後	木1	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW31a	後	木1	RUSSELL, Leeja Cassandra	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW31b	後	木1	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW32a	後	木1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW32b	後	木1	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW33a	後	木1	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW33b	後	木1	和泉 絵美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW34a	後	月2	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW34b	後	月2	佐藤 美奈子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW35a	後	月2	DUNLAP JACOB GALEN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW35b	後	月2	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW36a	後	月2	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW36b	後	月2	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW37a	後	火3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW37b	後	火3	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW38a	後	火3	ARMSTRONG, Wesley James	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW38b	後	火3	佐藤 美奈子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW39a	後	水1	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW39b	後	水2	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW40a	後	火3	Gumbilal, Valentino Milton Junior	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW40b	後	火3	金丸 敏幸	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW41a	後	火3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW41b	後	火3	KOWALCZYK KIMBERLYE	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW42a	後	水3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW42b	後	水3	浅野 真也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW43a	後	水3	RUSSELL, JAMES DOUGLAS	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW43b	後	水3	笹尾 洋介	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW44a	後	金3	Lohmann, Rens	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW44b	後	金3	笹尾 洋介	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW45a	後	金3	ARMSTRONG, Wesley James	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW45b	後	金3	久後 香純	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW46a	後	水3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW46b	後	水3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW47a	後	水3	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW47b	後	水3	伊藤 孝治	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW48a	後	木3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW48b	後	木3	横森 大輔	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW49a	後	木3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW49b	後	木3	和泉 絵美	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW50a	後	木3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW50b	後	木3	貫井 隆	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW51a	後	木3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW51b	後	木3	ダルスキー 智子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW52a	後	月3	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW52b	後	月3	佐藤 龍一	全	1	1	2			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
英語ライティング－リスニングB EW53a	後	月3	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW53b	後	月3	西本 希呼	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW54a	後	月3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW54b	後	月3	長富 一暁	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW55a	後	月3	RYLANDER, John	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW55b	後	月3	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW56a	後	月3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW56b	後	月3	ルツケル瀬本 阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW57a	後	月3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW57b	後	月3	川本 充	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW58a	後	金3	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW58b	後	金3	柳瀬 陽介	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW59a	後	金3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW59b	後	金3	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW60a	後	金3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW60b	後	金3	藤原 崇	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW61a	後	金3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW61b	後	金3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW62a	後	金3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW62b	後	金3	辻田 明子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW63a	後	金3	DUNLAP JACOB GALEN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW63b	後	金3	小谷 克則	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW64a	後	月3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW64b	後	月3	岡田 悠佑	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW65a	後	月3	DUNLAP JACOB GALEN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW65b	後	月3	KIM SUHYUN	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW66a	後	水4	RUSSELL, JAMES DOUGLAS	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW66b	後	水4	山本 玲子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW67a	後	水4	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW67b	後	水4	豊島 知穂	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW68a	後	水3	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW68b	後	水3	豊島 知穂	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW69a	後	水3	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW69b	後	水3	松本 敬子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW70a	後	水3	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW70b	後	水3	山本 玲子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW71a	後	水3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW71b	後	水3	高橋 純子	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW72a	後	水4	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW72b	後	水4	伊藤 孝治	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW73a	後	水4	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB EW73b	後	水4	浅野 真也	全	1	1	2			クラス指定科目
英語ライティング－リスニングB上級 EWA01	後	月5	Schipper Sara	全	1	1	2			
英語ライティング－リスニングB上級 EWA02	後	火5	MILNE, Daniel	全	1	1	2			
英語ライティング－リスニングB上級 EWA03	後	木5	RYLANDER, John	全	1	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW51	前	月4	和泉 絵美	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW52	前	月5	佐藤 龍一	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW53	前	火5	金丸 敏幸	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW54	前	水4	笹尾 洋介	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW55	前	木4	佐藤 龍一	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW56	前	金4	横森 大輔	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW01	後	月4	和泉 絵美	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW02	後	月5	佐藤 龍一	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW03	後	水4	笹尾 洋介	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW04	後	木4	佐藤 龍一	全	2以上	1	2			
英語ライティング－リスニングB単位未修得者クラス ESW05	後	金4	横森 大輔	全	2以上	1	2			
Scientific English IA(Reading and Writing)	通	月4	CHANG, Kai-Chun	理	主1	1	4			[International Course] クラス指定科目
Scientific English IB(Technical Communication & Discussions)	通	木3	KIM, SUNMIN	理	主1	1	4			[International Course] クラス指定科目
ドイツ語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
ドイツ語I(6Hコース) D1501	通	月4・水5・金5	西脇 麻衣子 他	全	全	3	12			
ドイツ語IA(文法) D1101	前	水4	小林 哲也	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1102	前	月3	青木 三陽	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1103	前	木4	吉田 千裕	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1104	前	火3	細見 和之	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1105	前	金4	湯浅 博章	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1106	前	水4	福田 寛	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1107	前	月3	井尻 楽	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1108	前	水3	細見 和之	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1109	前	火2	菅 利恵	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1110	前	火2	武田 良材	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1111	前	金4	西脇 麻衣子	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1112	前	金4	石澤 将人	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1113	前	火4	須藤 秀平	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1114	前	火4	小林 哲也	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1115	前	木3	島 憲男	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1116	前	金2	河崎 靖	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
ドイツ語IA(文法) D1117	前	金2	湯浅 博章	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1118	前	木3	林寄 伸二	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1119	前	木2	林寄 伸二	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1120	前	金3	高田 緑	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1121	前	金3	湯浅 博章	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1122	前	木1	井尻 楽	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1123	前	木1	吉田 千裕	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1124	前	金5	石澤 将人	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法) D1125	前	金5	松波 烈	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法)再履修クラス D1151	前	金2	菅 利恵	全	2以上	1	2			
ドイツ語IA(文法)再履修クラス D1161	後	金3	西脇 麻衣子	全	全	1	2			
ドイツ語IA(文法)再履修クラス D1162	後集	集中	小林 哲也	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1101	後	水4	小林 哲也	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1102	後	月3	青木 三陽	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1103	後	木4	吉田 千裕	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1104	後	火3	細見 和之	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1105	後	金4	湯浅 博章	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1106	後	水4	福田 寛	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1107	後	月3	井尻 楽	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1108	後	水3	細見 和之	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1109	後	火2	菅 利恵	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1110	後	火2	武田 良材	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1111	後	金4	西脇 麻衣子	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1112	後	金4	石澤 将人	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1113	後	火4	須藤 秀平	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1114	後	火4	小林 哲也	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1115	後	木3	島 憲男	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1116	後	金2	河崎 靖	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1117	後	金2	湯浅 博章	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1118	後	木3	林寄 伸二	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1119	後	木2	林寄 伸二	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1120	後	金3	高田 緑	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1121	後	金3	湯浅 博章	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1122	後	木1	井尻 楽	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1123	後	木1	吉田 千裕	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1124	後	金5	石澤 将人	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法) D1125	後	金5	松波 烈	全	全	1	2			
ドイツ語IB(文法)再履修クラス D1151	後	金2	菅 利恵	全	2以上	1	2			
ドイツ語IB(文法)再履修クラス D1161	前	金3	西脇 麻衣子	全	2以上	1	2			
ドイツ語IB(文法)再履修クラス D1162	前集	集中	小林 哲也	全	2以上	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1201	前	月3	小田 直史	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1202	前	水4	田代 ルイーサ	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1203	前	火3	武田 良材	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1204	前	金4	Franz, Edgar Hermann	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1205	前	火3	菅 利恵	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1206	前	月3	OERTLE, Simon	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1207	前	火3	薦田 奈美	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1208	前	火2	西井 美幸	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1209	前	水3	筒井 友弥	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1210	前	水3	薦田 奈美	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1211	前	木4	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1212	前	木4	ROER, Manfred Karl	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1213	前	月2	青木 三陽	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1214	前	月2	千田 まや	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1215	前	金2	吉村 淳一	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1216	前	木3	吉田 千裕	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1217	前	木3	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1218	前	金2	大喜 祐太	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1219	前	金3	田代 ルイーサ	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1220	前	木2	津田 拓人	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1221	前	木2	ROER, Manfred Karl	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1222	前	月4	小田 直史	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1223	前	月4	井尻 楽	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1224	前	火5	須藤 秀平	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習) D1225	前	火5	西井 美幸	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習)再履修クラス D1251	前	水2	細見 和之	全	2以上	1	2			
ドイツ語IA(演習)再履修クラス D1261	後	金5	河崎 靖	全	全	1	2			
ドイツ語IA(演習)再履修クラス D1262	後集	集中	須藤 秀平	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1201	後	月3	小田 直史	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1202	後	水4	田代 ルイーサ	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1203	後	火3	武田 良材	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1204	後	金4	Franz, Edgar Hermann	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1205	後	火3	菅 利恵	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1206	後	月3	OERTLE, Simon	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1207	後	火3	薦田 奈美	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1208	後	火2	西井 美幸	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1209	後	水3	筒井 友弥	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
ドイツ語IB(演習) D1210	後	水3	薦田 奈美	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1211	後	木4	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1212	後	木4	ROER, Manfred Karl	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1213	後	月2	青木 三陽	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1214	後	月2	千田 まや	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1215	後	金2	吉村 淳一	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1216	後	木3	吉田 千裕	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1217	後	木3	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1218	後	金2	大喜 祐太	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1219	後	金3	田代 ルイーサ	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1220	後	木2	津田 拓人	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1221	後	木2	ROER, Manfred Karl	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1222	後	月4	小田 直史	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1223	後	月4	井尻 楽	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1224	後	火5	須藤 秀平	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習) D1225	後	火5	西井 美幸	全	全	1	2			
ドイツ語IB(演習)再履修クラス D1251	後	水2	細見 和之	全	2以上	1	2			
ドイツ語IB(演習)再履修クラス D1261	前	金5	河崎 靖	全	2以上	1	2			
ドイツ語IB(演習)再履修クラス D1262	前集	集中	須藤 秀平	全	2以上	1	2			
ドイツ語II(6Hコース) D2501	通	月4・木4・金4	島 憲男 他	全	2以上	3	12			
ドイツ語IIA D2101	前	月3	須藤 秀平	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2102	前	月4	青木 三陽	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2103	前	火2	薦田 奈美	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2104	前	火3	西井 美幸	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2105	前	火4	武田 良材	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2106	前	水3	小林 哲也	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2107	前	水3	西脇 麻衣子	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2108	前	水4	薦田 奈美	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2109	前	水5	福田 覚	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2110	前	木2	井尻 楽	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2111	前	木3	河崎 靖	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2112	前	木3	津田 拓人	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2113	前	金2	稲葉 瑛志	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2114	前	金2	高田 緑	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2115	前	金3	石澤 将人	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2116	前	金3	菅 利恵	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA D2117	前	金4	松波 烈	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2151	後	月3	須藤 秀平	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2152	後	月4	青木 三陽	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2153	後	火2	薦田 奈美	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2154	後	火3	西井 美幸	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2155	後	火4	武田 良材	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2156	後	水3	小林 哲也	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2157	後	水3	西脇 麻衣子	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2158	後	水4	薦田 奈美	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2159	後	水5	福田 覚	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2160	後	木2	井尻 楽	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2161	後	木3	河崎 靖	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2162	後	木3	津田 拓人	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2163	後	金2	稲葉 瑛志	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2164	後	金2	高田 緑	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2165	後	金3	石澤 将人	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2166	後	金3	菅 利恵	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB D2167	後	金4	松波 烈	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA(会話) D2201	前	水3	田代 ルイーサ	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA(会話) D2202	前	木3	ROER, Manfred Karl	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA(会話) D2251	後	水3	田代 ルイーサ	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB(会話) D2252	後	木3	ROER, Manfred Karl	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA(CALL) D2301	前	金3	吉村 淳一	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB(CALL) D2351	後	金3	吉村 淳一	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA(ライティング) D2401	前	月2	OERTLE, Simon	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA(ライティング) D2402	前	月3	Iwai Stefanie	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIA(ライティング) D2403	前	金3	Franz, Edgar Hermann	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB(ライティング) D2451	後	月2	OERTLE, Simon	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB(ライティング) D2452	後	月3	Iwai Stefanie	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIB(ライティング) D2453	後	金3	Franz, Edgar Hermann	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIIA D301	前	火4	細見 和之	全	2以上	1	2			
ドイツ語IIIB D351	後	火4	細見 和之	全	2以上	1	2			
フランス語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
フランス語I(8Hコース) F1301	通	月4・水4・木4・金3	中筋 朋 他	全	全	4	16			
フランス語IA(文法) F1101	前	月3	中筋 朋	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1102	前	月3	守田 貴弘	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1103	前	火3	上田 泰史	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1104	前	火3	柴田 秀樹	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1105	前	水4	井上 卓也	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1106	前	水3	松原 冬二	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
フランス語IA(文法) F1107	前	木4	青山 千紗	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1108	前	木4	井上 卓也	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1109	前	火4	柴田 秀樹	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1110	前	金2	池田 潤	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1111	前	木2	西山 由紀	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1112	前	月4	坂井 礼文	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1113	前	火5	柴田 秀樹	全	全	1	2			
フランス語IA(文法) F1114	前	火5	西山 教行	全	全	1	2			
フランス語IA(文法)再履修クラス F1161	後	火2	上田 泰史	全	全	1	2			
フランス語IA(文法)再履修クラス F1162	後	火4	西山 教行	全	全	1	2			
フランス語IA(文法)再履修クラス F1163	後集	集中	西山 教行	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1101	後	月3	中筋 朋	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1102	後	月3	守田 貴弘	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1103	後	火3	上田 泰史	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1104	後	火3	柴田 秀樹	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1105	後	水4	井上 卓也	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1106	後	水3	松原 冬二	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1107	後	木4	青山 千紗	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1108	後	木4	井上 卓也	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1109	後	火4	柴田 秀樹	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1110	後	金2	池田 潤	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1111	後	木2	西山 由紀	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1112	後	月4	坂井 礼文	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1113	後	火5	柴田 秀樹	全	全	1	2			
フランス語IB(文法) F1114	後	火5	西山 教行	全	全	1	2			
フランス語IB(文法)再履修クラス F1161	前	火2	上田 泰史	全	2以上	1	2			
フランス語IB(文法)再履修クラス F1162	前	火4	西山 教行	全	2以上	1	2			
フランス語IB(文法)再履修クラス F1163	前集	集中	西山 教行	全	2以上	1	2			
フランス語IA(演習) F1201	前	火3	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1202	前	水4	Rouaud Olivier Jean	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1203	前	木4	清水 愛子	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1204	前	木4	都留ドゥヴオー 恵美里	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1205	前	金4	FERNANDEZ, Gilles	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1206	前	火2	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1207	前	金4	HEUSCHLING, Aurelie	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1208	前	金4	青山 千紗	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1209	前	月2	Fauconnier, Franck	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1210	前	木3	都留ドゥヴオー 恵美里	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1211	前	金3	HEUSCHLING, Aurelie	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1212	前	木1	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1213	前	金5	FERNANDEZ, Gilles	全	全	1	2			
フランス語IA(演習) F1214	前	金5	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IA(演習)再履修クラス F1261	後	火4	LAFITTE, Raphael	全	全	1	2			
フランス語IA(演習)再履修クラス F1262	後	水5	Rouaud Olivier Jean	全	全	1	2			
フランス語IA(演習)再履修クラス F1263	後	木5	PHOTHISANE, Sarah	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1201	後	火3	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1202	後	水4	Rouaud Olivier Jean	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1203	後	木4	PHOTHISANE, Sarah	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1204	後	木4	都留ドゥヴオー 恵美里	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1205	後	金4	FERNANDEZ, Gilles	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1206	後	火2	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1207	後	金4	HEUSCHLING, Aurelie	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1208	後	金4	清水 愛子	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1209	後	月2	Fauconnier, Franck	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1210	後	木3	都留ドゥヴオー 恵美里	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1211	後	金3	HEUSCHLING, Aurelie	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1212	後	木1	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1213	後	金5	FERNANDEZ, Gilles	全	全	1	2			
フランス語IB(演習) F1214	後	金5	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	全	1	2			
フランス語IB(演習)再履修クラス F1261	前	火4	LAFITTE, Raphael	全	2以上	1	2			
フランス語IB(演習)再履修クラス F1262	前	水5	Rouaud Olivier Jean	全	2以上	1	2			
フランス語IB(演習)再履修クラス F1263	前	木5	清水 愛子	全	2以上	1	2			
フランス語II(6Hコース) F2301	通	月4・木2・金3	守田 貴弘 他	全	2以上	3	12			
フランス語IIA F2101	前	月2	上田 泰史	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2102	前	月3	上田 泰史	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2103	前	月3	坂井 礼文	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2104	前	火3	中筋 朋	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2105	前	水5	井上 卓也	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2106	前	水3	西山 教行	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2107	前	水4	松原 冬二	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2108	前	木3	西山 由紀	全	2以上	1	2			
フランス語IIA F2109	前	金4	守田 貴弘	全	2以上	1	2			
フランス語IIB F2151	後	月2	上田 泰史	全	2以上	1	2			
フランス語IIB F2152	後	月3	上田 泰史	全	2以上	1	2			
フランス語IIB F2153	後	月3	坂井 礼文	全	2以上	1	2			
フランス語IIB F2154	後	火3	中筋 朋	全	2以上	1	2			
フランス語IIB F2155	後	水5	井上 卓也	全	2以上	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
フランス語II B F2156	後	水3	西山 教行	全	2以上	1	2			
フランス語II B F2157	後	水4	松原 冬二	全	2以上	1	2			
フランス語II B F2158	後	木3	西山 由紀	全	2以上	1	2			
フランス語II B F2159	後	金4	守田 貴弘	全	2以上	1	2			
フランス語II A(演習) F2201	前	月1	Fauconnier, Franck	全	2以上	1	2			
フランス語II A(演習) F2202	前	火5	LAFITTE, Raphael	全	2以上	1	2			
フランス語II A(演習) F2203	前	金2	HEUSCHLING, Aurelie	全	2以上	1	2			
フランス語II A(演習) F2204	前	金4	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	2以上	1	2			
フランス語II A(演習) F2205	前	水4	Justine LE FLOC'H	全	2以上	1	2			
フランス語II B(演習) F2251	後	月1	Fauconnier, Franck	全	2以上	1	2			
フランス語II B(演習) F2252	後	火5	LAFITTE, Raphael	全	2以上	1	2			
フランス語II B(演習) F2253	後	金2	HEUSCHLING, Aurelie	全	2以上	1	2			
フランス語II B(演習) F2254	後	金4	GRAZIANI, Jean-Francois Rene	全	2以上	1	2			
フランス語II B(演習) F2255	後	水4	Justine LE FLOC'H	全	2以上	1	2			
フランス語III A F301	前	水2	Justine LE FLOC'H	全	2以上	1	2			
フランス語III B F351	後	水2	Justine LE FLOC'H	全	2以上	1	2			
中国語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
中国語I A(文法) C1101	前	火3	緑川 英樹	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1102	前	金4	成田 健太郎	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1103	前	火3	山田 晃三	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1104	前	月3	南 真理	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1105	前	水4	山本 浩史	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1106	前	木4	加部 勇一郎	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1107	前	金4	上原 尉暢	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1108	前	金4	中原 理恵	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1109	前	金4	前田 尚香	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1110	前	水3	山本 浩史	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1111	前	水3	鈴木 博之	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1112	前	月2	林 淑美	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1113	前	木3	大賀 晶子	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1114	前	金2	劉 愛群	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1115	前	金2	小出 敦	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1116	前	金2	前田 尚香	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1117	前	木3	根岸 美聡	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1118	前	木2	劉 愛群	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1119	前	金3	中原 理恵	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1120	前	金3	小出 敦	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1121	前	木2	根岸 美聡	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1122	前	金3	前田 尚香	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1123	前	月4	林 淑美	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1124	前	木1	大賀 晶子	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1125	前	月4	池田 巧	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1126	前	火5	黄 明月	全	全	1	2			
中国語I A(文法) C1127	前	金5	上原 尉暢	全	全	1	2			
中国語I A(文法)再履修クラス C1151	前集	集中	松江 崇	全	2以上	1	2			
中国語I A(文法)再履修クラス C1161	後	火4	山田 晃三	全	全	1	2			
中国語I A(文法)再履修クラス C1162	後集	集中	二宮 美那子	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1101	後	火3	緑川 英樹	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1102	後	金4	成田 健太郎	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1103	後	火3	山田 晃三	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1104	後	月3	南 真理	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1105	後	水4	山本 浩史	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1106	後	木4	加部 勇一郎	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1107	後	金4	上原 尉暢	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1108	後	金4	中原 理恵	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1109	後	金4	前田 尚香	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1110	後	水3	山本 浩史	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1111	後	水3	鈴木 博之	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1112	後	月2	林 淑美	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1113	後	木3	大賀 晶子	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1114	後	金2	劉 愛群	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1115	後	金2	小出 敦	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1116	後	金2	前田 尚香	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1117	後	木3	根岸 美聡	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1118	後	木2	劉 愛群	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1119	後	金3	中原 理恵	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1120	後	金3	小出 敦	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1121	後	木2	根岸 美聡	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1122	後	金3	前田 尚香	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1123	後	月4	林 淑美	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1124	後	木1	大賀 晶子	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1125	後	月4	池田 巧	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1126	後	火5	黄 明月	全	全	1	2			
中国語I B(文法) C1127	後	金5	上原 尉暢	全	全	1	2			
中国語I B(文法)再履修クラス C1151	後集	集中	松江 崇	全	2以上	1	2			
中国語I B(文法)再履修クラス C1161	前	火4	山田 晃三	全	2以上	1	2			
中国語I B(文法)再履修クラス C1162	前集	集中	二宮 美那子	全	2以上	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
中国語IA(演習) C1201	前	木4	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1202	前	月3	林淑美	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1203	前	水4	二宮美那子	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1204	前	火3	小野寺史郎	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1205	前	木4	成高雅	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1206	前	月3	津守陽	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1207	前	火3	黄明月	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1208	前	月3	松江崇	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1209	前	水4	津守陽	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1210	前	火2	松江崇	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1211	前	火2	黄明月	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1212	前	火4	小野寺史郎	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1213	前	金2	張黎	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1214	前	木3	成高雅	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1215	前	木3	姜若冰	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1216	前	木3	孫文秀	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1217	前	金2	許燕華	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1218	前	金3	王桂紅	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1219	前	木2	殷文怡	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1220	前	木2	二宮美那子	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1221	前	金3	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1222	前	木2	孫文秀	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1223	前	木1	殷文怡	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1224	前	月4	林麗てい	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1225	前	木1	李媛	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1226	前	金5	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IA(演習) C1227	前	火5	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IA(演習)再履修クラス C1251	前集	集中	小野寺史郎	全	2以上	1	2			
中国語IA(演習)再履修クラス C1261	後	金2	王桂紅	全	全	1	2			
中国語IA(演習)再履修クラス C1262	後集	集中	津守陽	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1201	後	木4	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1202	後	月3	林淑美	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1203	後	水4	二宮美那子	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1204	後	火3	小野寺史郎	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1205	後	木4	成高雅	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1206	後	月3	津守陽	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1207	後	火3	黄明月	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1208	後	月3	松江崇	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1209	後	水4	津守陽	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1210	後	火2	松江崇	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1211	後	火2	黄明月	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1212	後	火4	小野寺史郎	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1213	後	金2	張黎	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1214	後	木3	成高雅	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1215	後	木3	姜若冰	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1216	後	木3	孫文秀	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1217	後	金2	許燕華	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1218	後	金3	王桂紅	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1219	後	木2	殷文怡	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1220	後	木2	二宮美那子	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1221	後	金3	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1222	後	木2	孫文秀	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1223	後	木1	殷文怡	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1224	後	月4	林麗てい	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1225	後	木1	李媛	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1226	後	金5	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IB(演習) C1227	後	火5	劉愛群	全	全	1	2			
中国語IB(演習)再履修クラス C1251	後集	集中	小野寺史郎	全	2以上	1	2			
中国語IB(演習)再履修クラス C1261	前	金2	王桂紅	全	2以上	1	2			
中国語IB(演習)再履修クラス C1262	前集	集中	津守陽	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C201	前	月2	南真理	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C202	前	火2	山田晃三	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C203	前	火3	津守陽	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C204	前	水2	山本浩史	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C205	前	水4	鈴木博之	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C206	前	水5	小野寺史郎	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C207	前	木2	大賀晶子	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C208	前	木5	加部勇一郎	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C209	前	金2	中原理恵	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C210	前	金3	上原尉暢	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C211	前	金4	二宮美那子	全	2以上	1	2			
中国語IIA [文法・文化理解] C212	前	金5	前田尚香	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C213	前	月2	劉愛群	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C214	前	月3	林麗てい	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C215	前	月4	松江崇	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C216	前	月5	劉愛群	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C217	前	火3	劉愛群	全	2以上	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C218	前	火4	黄 明月	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C219	前	木2	成 高雅	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C220	前	木4	姜 若冰	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C221	前	金1	張 黎	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C222	前	金3	許 燕華	全	2以上	1	2			
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C223	前	金4	王 桂紅	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C251	後	月2	南 真理	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C252	後	火2	山田 晃三	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C253	後	火3	津守 陽	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C254	後	水2	山本 浩史	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C255	後	水4	鈴木 博之	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C256	後	水5	小野寺 史郎	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C257	後	木2	大賀 晶子	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C258	後	木5	加部 勇一郎	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C259	後	金2	中原 理恵	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C260	後	金3	上原 尉暢	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C261	後	金4	二宮 美那子	全	2以上	1	2			
中国語IIB [文法・文化理解] C262	後	金5	前田 尚香	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C263	後	月2	劉 愛群	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C264	後	月3	林 麗てい	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C265	後	月4	松江 崇	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C266	後	月5	劉 愛群	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C267	後	火3	劉 愛群	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C268	後	火4	黄 明月	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C269	後	木2	成 高雅	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C270	後	木4	姜 若冰	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C271	後	金1	張 黎	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C272	後	金3	許 燕華	全	2以上	1	2			
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C273	後	金4	王 桂紅	全	2以上	1	2			
ロシア語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
ロシア語IA(文法) R1101	前	火5	堀口 大樹	全	全	1	2			
ロシア語IA(文法) R1102	前	木3	堀口 大樹	全	全	1	2			
ロシア語IB(文法) R1101	後	火5	堀口 大樹	全	全	1	2			
ロシア語IB(文法) R1102	後	木3	堀口 大樹	全	全	1	2			
ロシア語IA(演習) R1201	前	金3	Svetlana, Vinogradova	全	全	1	2			
ロシア語IA(演習) R1202	前	金4	Svetlana, Vinogradova	全	全	1	2			
ロシア語IB(演習) R1201	後	金3	Svetlana, Vinogradova	全	全	1	2			
ロシア語IB(演習) R1202	後	金4	Svetlana, Vinogradova	全	全	1	2			
ロシア語IIA R201	前	火5	Svetlana, Vinogradova	全	2以上	1	2			
ロシア語IIA R202	前	金4	堀口 大樹	全	2以上	1	2			
ロシア語IIB R251	後	火5	Svetlana, Vinogradova	全	2以上	1	2			
ロシア語IIB R252	後	金4	堀口 大樹	全	2以上	1	2			
ロシア語IIIA R301	前	金5	堀口 大樹	全	2以上	1	2			
ロシア語IIIB R351	後	金5	堀口 大樹	全	2以上	1	2			
イタリア語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
イタリア語IA(文法) I1101	前	火5	河合 成雄	全	全	1	2			
イタリア語IB(文法) I1101	後	火5	河合 成雄	全	全	1	2			
イタリア語IA(演習) I1201	前	金3	NENCETTI Marco	全	全	1	2			
イタリア語IB(演習) I1201	後	金3	NENCETTI Marco	全	全	1	2			
イタリア語IA(4Hコース) I1301	前	火5・金4	霜田 洋祐	全	全	2	4			
イタリア語IB(4Hコース) I1301	後	火5・金4	霜田 洋祐	全	全	2	4			
イタリア語IIA I2101	前	木3	霜田 洋祐	全	2以上	1	2			
イタリア語IIA I2102	前	金3	霜田 洋祐	全	2以上	1	2			
イタリア語IIB I2151	後	木3	霜田 洋祐	全	2以上	1	2			
イタリア語IIB I2152	後	金3	霜田 洋祐	全	2以上	1	2			
イタリア語IIA(演習) I2201	前	金4	Ida Duretto	全	2以上	1	2			
イタリア語IIA(演習) I2202	前	金5	Ida Duretto	全	2以上	1	2			
イタリア語IIB(演習) I2251	後	金4	Ida Duretto	全	2以上	1	2			
イタリア語IIB(演習) I2252	後	金5	Ida Duretto	全	2以上	1	2			
スペイン語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
スペイン語IA(文法) S1101	前	月3	柿原 武史 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1102	前	火3	駒村 幸他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1103	前	木4	小川 雅美 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1104	前	火2	塚原 信行	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1105	前	火4	駒村 幸他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1106	前	木3	小川 雅美 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1107	前	木2	小川 雅美 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1108	前	月4	柿原 武史 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1109	前	火5	駒村 幸他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1110	前	火5	川添 誠 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1111	前	火5	牛島 万他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法) S1112	前	火5	柿原 武史 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(文法)再履修クラス S1151	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2			
スペイン語IA(文法)再履修クラス S1161	後集	集中	塚原 信行	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1101	後	月3	柿原 武史 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1102	後	火3	駒村 幸他	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
スペイン語IB(文法) S1103	後	木4	小川 雅美 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1104	後	火2	塚原 信行	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1105	後	火4	駒村 幸 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1106	後	木3	小川 雅美 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1107	後	木2	小川 雅美 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1108	後	月4	柿原 武史 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1109	後	火5	駒村 幸 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1110	後	火5	川添 誠 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1111	後	火5	牛島 万 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法) S1112	後	火5	柿原 武史 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(文法)再履修クラス S1151	後集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2			
スペイン語IB(文法)再履修クラス S1161	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2			
スペイン語IA(演習) S1201	前	月3	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1202	前	水4	BAINOTTI, Alberto Emilio 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1203	前	木4	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1204	前	水3	BAINOTTI, Alberto Emilio 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1205	前	月2	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1206	前	金2	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1207	前	金3	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1208	前	木1	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1209	前	金5	Aguilar, Milton 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1210	前	金5	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1211	前	金5	RIOS SALOMA Monica 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習) S1212	前	金5	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio 他	全	全	1	2			
スペイン語IA(演習)再履修クラス S1251	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2			
スペイン語IA(演習)再履修クラス S1261	後集	集中	塚原 信行	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1201	後	月3	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1202	後	水4	BAINOTTI, Alberto Emilio 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1203	後	木4	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1204	後	水3	BAINOTTI, Alberto Emilio 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1205	後	月2	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1206	後	金2	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1207	後	金3	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1208	後	木1	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1209	後	金5	Aguilar, Milton 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1210	後	金5	REINA OLMEDO, Jose Francisco 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1211	後	金5	RIOS SALOMA Monica 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習) S1212	後	金5	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio 他	全	全	1	2			
スペイン語IB(演習)再履修クラス S1251	後集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2			
スペイン語IB(演習)再履修クラス S1261	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2			
スペイン語IA(会話) S1301	前集	集中	塚原 信行	全	全	1	2			
スペイン語IB(会話) S1301	後集	集中	塚原 信行	全	全	1	2			
スペイン語IIA S2101	前	火4	牛島 万 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA S2102	前	火4	川添 誠 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA S2103	前	火4	柿原 武史 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA S2104	前	水4	駒村 幸 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA S2105	前	水5	駒村 幸 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB S2151	後	火4	牛島 万 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB S2152	後	火4	川添 誠 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB S2153	後	火4	柿原 武史 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB S2154	後	水4	駒村 幸 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB S2155	後	水5	駒村 幸 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA(演習) S2201	前	水5	BAINOTTI, Alberto Emilio 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA(演習) S2202	前	木2	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA(演習) S2203	前	金4	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA(演習) S2204	前	金4	Aguilar, Milton 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIA(演習) S2205	前	金4	RIOS SALOMA Monica 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB(演習) S2251	後	水5	BAINOTTI, Alberto Emilio 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB(演習) S2252	後	木2	HEVIA PENNA PABLO ANTONIO 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB(演習) S2253	後	金4	Perez de Camino Fernandez Jose Antonio 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB(演習) S2254	後	金4	Aguilar, Milton 他	全	2以上	1	2			
スペイン語IIB(演習) S2255	後	金4	RIOS SALOMA Monica 他	全	2以上	1	2			

朝鮮語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます

朝鮮語IA(文法) K1101	前	木3	文 斗卓	全	全	1	2			
朝鮮語IA(文法) K1102	前	火5	YOUN SUYEON	全	全	1	2			
朝鮮語IA(文法) K1103	前	金4	YOUN SUYEON	全	全	1	2			
朝鮮語IA(文法) K1104	前	金5	高城 建人	全	全	1	2			
朝鮮語IB(文法) K1101	後	木3	文 斗卓	全	全	1	2			
朝鮮語IB(文法) K1102	後	火5	YOUN SUYEON	全	全	1	2			
朝鮮語IB(文法) K1103	後	金4	YOUN SUYEON	全	全	1	2			
朝鮮語IB(文法) K1104	後	金5	高城 建人	全	全	1	2			
朝鮮語IA(演習) K1201	前	金3	郭 旻錫	全	全	1	2			
朝鮮語IA(演習) K1202	前	金3	高城 建人	全	全	1	2			
朝鮮語IA(演習) K1203	前	金4	高城 建人	全	全	1	2			
朝鮮語IA(演習) K1204	前	金5	郭 旻錫	全	全	1	2			
朝鮮語IB(演習) K1201	後	金3	郭 旻錫	全	全	1	2			
朝鮮語IB(演習) K1202	後	金3	高城 建人	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
朝鮮語IB(演習) K1203	後	金4	高城 建人	全	全	1	2			
朝鮮語IB(演習) K1204	後	金5	郭 旻錫	全	全	1	2			
朝鮮語IIA K2101	前	火5	郭 旻錫	全	2以上	1	2			
朝鮮語IIB K2151	後	火5	郭 旻錫	全	2以上	1	2			
朝鮮語IIA(演習) K2201	前	金4	郭 旻錫	全	2以上	1	2			
朝鮮語IIB(演習) K2251	後	金4	郭 旻錫	全	2以上	1	2			
アラビア語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
アラビア語IA(文法) A1101	前	金3	中道 静香	全	全	1	2			
アラビア語IA(文法) A1102	前	金4	三代川 寛子	全	全	1	2			
アラビア語IB(文法) A1101	後	金3	中道 静香	全	全	1	2			
アラビア語IB(文法) A1102	後	金4	三代川 寛子	全	全	1	2			
アラビア語IA(演習) A1201	前	火5	三代川 寛子	全	全	1	2			
アラビア語IA(演習) A1202	前	金5	三代川 寛子	全	全	1	2			
アラビア語IB(演習) A1201	後	火5	三代川 寛子	全	全	1	2			
アラビア語IB(演習) A1202	後	金5	三代川 寛子	全	全	1	2			
アラビア語IIA A2101	前	金4	中道 静香	全	2以上	1	2			
アラビア語IIB A2151	後	金4	中道 静香	全	2以上	1	2			
アラビア語IIA(演習) A2201	前	木3	三代川 寛子	全	2以上	1	2			
アラビア語IIB(演習) A2251	後	木3	三代川 寛子	全	2以上	1	2			
日本語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます										
日本語初級IA(4Hコース)	前	金4・金5	家本 太郎	留	全	2	4			
日本語初級IB(4Hコース)	後	金4・金5	家本 太郎	留	全	2	4			
日本語初級IIA(4Hコース)	前	金4・金5	川島 信恵	留	全	2	4			
日本語初級IIB(4Hコース)	後	金4・金5	川島 信恵	留	全	2	4			
日本語初級I(8Hコース)	前	月3・月4・ 金1・金2	大和 祐子 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可
日本語初級I(8Hコース)	前	火3・火4・ 金3・金4	河内 彩香 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可
日本語初級I(8Hコース)	後	月3・月4・ 金1・金2	大和 祐子 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可
日本語初級I(8Hコース)	後	火3・火4・ 金3・金4	河内 彩香 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可
日本語初級I(会話)	前	木3	和田 弥恵子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(会話)	前	水2	橋本 佳美	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(会話)	後	木3	和田 弥恵子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(会話)	後	水2	橋本 佳美	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(漢字)	前	月2	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(漢字)	後	月2	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(聴解)	前	水3	橋本 佳美	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(聴解)	後	水3	橋本 佳美	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(読解・作文)	前	木2	阿久澤 弘陽	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級I(読解・作文)	後	木2	阿久澤 弘陽	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(8Hコース)	前	火3・火4・ 木3・木4	湯川 志貴子 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可
日本語初級II(8Hコース)	後	火3・火4・ 木3・木4	湯川 志貴子 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可
日本語初級II(会話)	前	水4	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(会話)	前	木2	大和 祐子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(会話)	後	水4	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(会話)	後	金4	下橋 美和	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(漢字)	前	月3	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(漢字)	後	月3	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(聴解)	前	水3	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(聴解)	後	水3	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(読解・作文)	前	月2	湯川 志貴子	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語初級II(読解・作文)	後	金3	川島 信恵	留	全	1	2			学部正規生履修不可
日本語中級IA(4Hコース)	前	金4・金5	京谷 麻矢	留	全	2	4			
日本語中級IB(4Hコース)	後	金4・金5	京谷 麻矢	留	全	2	4			
日本語中級I(8Hコース)	前	火3・火4・ 木2・木3	河合 淳子 他	留	全	4	8			
日本語中級I(8Hコース)	後	火3・火4・ 木3・木4	河合 淳子 他	留	全	4	8			
日本語中級I(会話)	前	月4	亀川 順代	留	全	1	2			
日本語中級I(会話)	前	火2	大和 祐子	留	全	1	2			
日本語中級I(会話)	後	月4	亀川 順代	留	全	1	2			
日本語中級I(会話)	後	火2	大和 祐子	留	全	1	2			
日本語中級I(漢字)	前	金1	三登 由利子	留	全	1	2			
日本語中級I(漢字)	後	金1	三登 由利子	留	全	1	2			
日本語中級I(聴解)	前	金3	三登 由利子	留	全	1	2			
日本語中級I(聴解)	後	金3	三登 由利子	留	全	1	2			
日本語中級I(読解)	前	水2	阿久澤 弘陽	留	全	1	2			
日本語中級I(読解)	後	月5	バリハワダナ ルチラ	留	全	1	2			
日本語中級I(作文)	前	木4	鈴木 美和子	留	全	1	2			
日本語中級I(作文)	後	水3	鈴木 美和子	留	全	1	2			
日本語中級IIA(4Hコース)	前	金4・金5	真下 恭子	留	全	2	4			
日本語中級IIB(4Hコース)	後	金4・金5	真下 恭子	留	全	2	4			
日本語中級II(8Hコース)	前	月3・月4・ 金3・金4	バリハワダナ ルチラ 他	留	全	4	8			
日本語中級II(8Hコース)	後	月3・月4・ 金3・金4	バリハワダナ ルチラ 他	留	全	4	8			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
日本語中級II(会話)	前	月2	河内 彩香	留	全	1	2			
日本語中級II(会話)	前	木2	和田 弥恵子	留	全	1	2			
日本語中級II(会話)	後	月2	河内 彩香	留	全	1	2			
日本語中級II(会話)	後	木2	和田 弥恵子	留	全	1	2			
日本語中級II(聴解)	前	金2	家本 太郎	留	全	1	2			
日本語中級II(聴解)	後	金2	家本 太郎	留	全	1	2			
日本語中級II(読解)	前	水2	浦木 貴和	留	全	1	2			
日本語中級II(読解)	後	水2	浦木 貴和	留	全	1	2			
日本語中級II(作文)	前	火4	手塚 まゆ子	留	全	1	2			
日本語中級II(作文)	前	木4	半田 佳奈子	留	全	1	2			
日本語中級II(作文)	後	火4	手塚 まゆ子	留	全	1	2			
日本語中級II(作文)	後	木4	半田 佳奈子	留	全	1	2			
日本語上級(会話)	前	火5	湯川 志貴子	留	全	1	2			
日本語上級(会話)	前	木5	半田 佳奈子	留	全	1	2			
日本語上級(会話)	後	火5	湯川 志貴子	留	全	1	2			
日本語上級(会話)	後	木5	半田 佳奈子	留	全	1	2			
日本語上級(聴解)	前	木3	中嶋 容子	留	全	1	2			
日本語上級(聴解)	後	木3	中嶋 容子	留	全	1	2			
日本語上級(読解)	前	金5	大和 祐子	留	全	1	2			
日本語上級(読解)	後	金5	大和 祐子	留	全	1	2			
日本語上級(作文)	前	木2	中嶋 容子	留	全	1	2			
日本語上級(作文)	前	金3	本多 朱里	留	全	1	2			
日本語上級(作文)	後	木2	中嶋 容子	留	全	1	2			
日本語上級(作文)	後	金3	本多 朱里	留	全	1	2			
日本語上級(論文・レポート作成)	前	月2	下橋 美和	留	全	1	2			
日本語上級(論文・レポート作成)	前	水4	手塚 まゆ子	留	全	1	2			
日本語上級(論文・レポート作成)	後	火1	河合 淳子	留	全	1	2			
日本語上級(論文・レポート作成)	後	水4	手塚 まゆ子	留	全	1	2			
日本語上級(講義聴解)	前	金2	本多 朱里	留	全	1	2			
日本語上級(講義聴解)	後	金2	本多 朱里	留	全	1	2			
日本語上級(研究発表)	前	月4	大和 祐子	留	全	1	2			
日本語上級(研究発表)	前	金4	本多 朱里	留	全	1	2			
日本語上級(研究発表)	後	月4	大和 祐子	留	全	1	2			
日本語上級(研究発表)	後	金4	河合 淳子	留	全	1	2			
日本語上級(討論技術)	前	月5	土井 みつる	留	全	1	2			
日本語上級(討論技術)	後	月5	土井 みつる	留	全	1	2			
日本語概論	後	木2	バリハワダナ ルチラ	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語アカデミック・リーディング	後	月2	大和 祐子	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語アカデミック・ライティング I	後	火3	阿久澤 弘陽	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語アカデミック・ライティングII	前	火3	阿久澤 弘陽	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語アカデミック・プレゼンテーション I	後	月3	河内 彩香	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語アカデミック・プレゼンテーションII	前	月3	河内 彩香	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語の歴史	後	金4	本多 朱里	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語教育演習	前	木2	バリハワダナ ルチラ	留	1	1	2			日本語・日本文化研修留学生専用科目
日本語中級IA(総合)	前	金2	高橋 旬子	留	院	1	2			
日本語中級IA(総合)	前	金3	下橋 美和	留	院	1	2			
日本語中級IB(総合)	後	金2	高橋 旬子	留	院	1	2			
日本語中級IB(総合)	後	金3	下橋 美和	留	院	1	2			
日本語中級IIA(総合)	前	木3	阿久澤 弘陽	留	院	1	2			
日本語中級IIB(総合)	後	木3	阿久澤 弘陽	留	院	1	2			
日本語上級A(総合)	前	火3	手塚 まゆ子	留	院	1	2			
日本語上級B(総合)	後	火3	手塚 まゆ子	留	院	1	2			
日本語中級I(6Hコース)	前	火5・金4・金5	佐々木 幸喜 他	留	全	3	6			Kyoto iUP生専用科目
日本語中級II(6Hコース)	前	火5・金4・金5	佐々木 幸喜 他	留	全	3	6			Kyoto iUP生専用科目
日本語中級II(6Hコース)	後	火5・金4・金5	河内 彩香 他	留	全	3	6			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(レポート作成基礎A)	前	金3	真下 恭子	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(レポート作成基礎B)	後	金3	真下 恭子	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(文献講読IA)	前	金5	河合 淳子	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(文献講読IB)	後	月5	河合 淳子	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(文献講読IIA)	前	月5	佐々木 幸喜 他	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(文献講読IIB)	後	月5	佐々木 幸喜 他	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(文献講読IIIA)	前	火5	佐々木 幸喜	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
日本語上級(文献講読IIIB)	後	火5	佐々木 幸喜	留	全	1	2			Kyoto iUP生専用科目
情報学科目群										
基礎										
情報基礎演習[全学向]	前	金5	喜多 一	全	全	1	2			
情報基礎演習[全学向]	前	木2	酒井 博之	全	全	1	2			
情報基礎演習[全学向]	前	月5	日置 尋久	全	全	1	2			
情報基礎演習[全学向]	前	月4	日置 尋久	全	全	1	2			
情報基礎演習[全学向]	後	火3	櫻川 貴司	全	全	1	2			
情報基礎演習[全学向]	後	火4	櫻川 貴司	全	全	1	2			
情報基礎演習[全学向]	後	木2	酒井 博之 他	全	全	1	2			
情報基礎演習[文学部]	前	月1	大浦 真	文	全	1	2			
情報基礎演習[文学部]	前	水1	大浦 真	文	全	1	2			
情報基礎演習[理学部]	後	木4	西村 進 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部	E科目指定	備考
情報基礎演習[理学部]	後	木5	西村 進 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[医学部](人間健康科学科)	前	金3	笹山 哲	全	全	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[薬学部]	前	月5	平澤 明 他	全	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](地球工学科)	前	金4	島田 洋子	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](地球工学科)	前	金4	久保 大樹 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](地球工学科)	前	月4	野口 恭平 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](地球工学科)	前	月4	西垣 友貴 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](建築学科)	前	月1	佐藤 裕一 他	全	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](物理工学科)	前	月1	森下 侑哉 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](物理工学科)	前	月1	森下 侑哉 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](電気電子工学科)	後	水4・水5	島崎 秀昭	理	主1	2	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](電気電子工学科)	後	水4・水5	未定	理	主1	2	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](電気電子工学科)	後	水4・水5	松田 一成	理	主1	2	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](理工化学科)	前	火4	古谷 勉 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](理工化学科)	前	火4	春田 直毅 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](理工化学科)	前	火3	古谷 勉 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[工学部](理工化学科)	前	火3	春田 直毅 他	理	主1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[農学部]	後	木3	仲村 匡司 他	理	1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[農学部]	後	金1	堺 俊之	理	1	1	2*			クラス指定科目
情報基礎演習[農学部]	後	金2	増田 良平	理	1	1	2*			クラス指定科目
Practice of Basic Informatics	前	火4	ZHU Fan 他	理	主1	1	2*			[International Course]クラス指定科目 「情報基礎演習[工学部]」と同一授業
Practice of Basic Informatics-E2	前	火2	CHU, Chenhui	全	全	1	2		E2	
Practice of Basic Informatics-E2	前	金2	Tam Willy Nguyen	全	主1	1	2		E2	
Practice of Basic Informatics-E2	後	金5	HADFI Rafik	全	全	1	2		E2	
情報基礎[全学向]	前	月4	立木 秀樹	全	全	1	2			
情報基礎[全学向]	前	火5	田島 敬史 他	全	全	1	2			
情報基礎[全学向]	後	火5	田島 敬史 他	全	全	1	2			
情報基礎[理学部]	後	水5	西村 進 他	理	主1	1	2			
情報基礎[医学部](人間健康科学科)	前	水3	笹山 哲	全	全	1	2			クラス指定科目
情報基礎[薬学部]	前	月4	平澤 明 他	全	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎[工学部](地球工学科)	後	水5	島田 洋子 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎[工学部](建築学科)	後	金3	田島 敬史 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎[工学部](物理工学科)	後	木4	中村 裕一 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎[工学部](物理工学科)	後	月4	中村 裕一 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎[工学部](電気電子工学科)	前	月4	原田 博司	理	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎[工学部](理工化学科)	後	火4	田島 敬史 他	理	主1	1	2			クラス指定科目
情報基礎[農学部]	前	火3	三宅 武	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
情報基礎[農学部]	前	金2	三宅 武	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
情報基礎[農学部]	前	金3	三宅 武	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
Basic Informatics	後	火4	CHANG, Kai-Chun	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「情報基礎[工学部]」と同一授業
Basic Informatics-E2	前	水2	HADFI Rafik	全	全	1	2		E2	
情報基礎実践	前	月5	山本 章博 他	全	全	1	2			
情報と社会	前	水5	田島 敬史 他	全	主1・2	1	2			
情報と社会	前	火5	藤田 哲雄	全	全	1	2			
Information and Society-E2	前	月5	HADFI Rafik	全	全	1	2		E2	
Information and Society-E2	後	月2	HADFI Rafik	全	全	1	2		E2	
各論										
情報数学I	前	月3	三好 博之	全	全	1	2	H		
情報数学II	後	月3	三好 博之	全	全	1	2	H		
コンピュータサイエンス基礎	前	木5	照井 一成 他	理	全	1	2			
計算機科学概論	前	水5	五十嵐 淳 他	全	全	1	2	T		
情報ネットワーク	前	月1	中村 素典	全	全	1	2			
情報ネットワーク	後	水5	日置 尋久	全	全	1	2			
Information Network-E2	後	水5	THIES, Holger	全	全	1	2		E2	
プログラミング演習(Python)	後	月5	喜多 一	全	全	1	2			
プログラミング演習(Python)	後	木2	岡本 雅子 他	全	全	1	2			
Programming Practice (Python)-E2	前	火5	THIES, Holger	全	全	1	2		E2	
Programming Practice (Python)-E2	前	水5	SEO Stela Hanbyeol	全	全	1	2		E2	
Programming Practice (Python)-E2	前	木5	SEO Stela Hanbyeol	全	全	1	2		E2	
Programming Practice (Python)-E2	後	火5	SEO Stela Hanbyeol	全	全	1	2		E2	
Programming Practice (Python)-E2	後	水5	SEO Stela Hanbyeol	全	全	1	2		E2	
Programming Practice (Python)-E2	後	木5	THIES, Holger	全	全	1	2		E2	
プログラミング演習(Java)	前	火4・火5	立木 秀樹	全	全	2	4			
プログラミング演習(Lisp)	前	水4・水5	櫻川 貴司	全	全	2	4	H		
プログラミング演習(Ruby)	後	月4・月5	日置 尋久	全	全	2	4			
プログラミング演習(数理的应用)	後	火4・火5	立木 秀樹	全	全	2	4			
プログラミング演習(Haskell)	後	金1・金2	新井 潤	全	全	2	4	H		
プログラミング(クラウド計算)	後	月5	瀧美 紀寿	全	全	1	2			
コンピュータグラフィックス実習	前	水1・水2	日置 尋久	全	全	2	2			
イノベーションと情報	前	木5	前川 佳一	全	全	1	2			
情報と知財入門	後	木5	田島 敬史 他	全	全	1	2			
情報企業論	後	月5	松井 啓之 他	全	全	1	2			
Programming Practice (R)-E2:For managing and analysing data	後	月5	Daniel Epron	全	主1・2	1	2		E2	
Processing and Analyzing Data I-E2:Shell-based data processing fundamentals	後	金3	VEALE, Richard Edmund	全	全	1	2		E2	
Information Literacy for Academic Study-E2	後	未定	未定	全	全	1	2		E2	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
Fundamentals of Artificial Intelligence-E2	前	月2	CHU, Chenhui	全	全	1	2		E2	
Fundamentals of Artificial Intelligence-E2	後	未定	未定	全	全	1	2		E2	
Introduction to Algorithms-E2	前	月2	Jesper Jansson	全	全	1	2		E2	
Introduction to Algorithms-E2	後	月2	Jesper Jansson	全	全	1	2		E2	
Introduction to Formal Languages-E2	前	月1	Jesper Jansson	全	全	1	2		E2	
Introduction to Formal Languages-E2	後	月1	Jesper Jansson	全	全	1	2		E2	
健康・スポーツ科目群										
健康・スポーツ科学										
基礎										
運動科学I	前	水3	神崎 素樹 他	全	全	1	2			
運動科学I	前	水4	神崎 素樹 他	全	全	1	2			
運動科学I	後	水3	神崎 素樹 他	全	全	1	2			
運動科学I	後	水4	神崎 素樹 他	全	全	1	2			
健康科学I	前	火3	林 達也	全	全	1	2			
健康科学I	前	木1	林 達也	全	全	1	2			
健康科学I	後	火3	林 達也	全	全	1	2			
健康科学I	後	木1	林 達也	全	全	1	2			
健康心理学I	前	火1	船曳 康子	全	全	1	2			
健康心理学I	後	火1	船曳 康子	全	全	1	2			
Health Psychology I-E2	前	水2	DE ALMEIDA, Igor	全	全	1	2		E2	
運動科学II	前	月5	緑川 光春 他	全	全	1	2			
運動科学II	後	月5	緑川 光春 他	全	全	1	2			
健康科学II	前	金3	奥野 恭史 他	全	全	1	2			
健康科学II	後	金3	木下 彩栄 他	全	全	1	2			
健康心理学II	前	木2	千葉 理恵 他	全	全	1	2			
健康心理学II	後	木2	千葉 理恵 他	全	全	1	2			
脳と生命のシステム科学	前	金4	小村 豊	全	主1・2	1	2			
脳と生命のシステム科学	後	金4	小村 豊	全	主1・2	1	2			
分子スポーツ科学	前	金2	江川 達郎	全	全	1	2			
Introduction to Basic Concepts of Health Psychology-E2:Health Behavior and Behavior Change	前	火3	ANAGNOSTOU, Despoina	全	全	1	2		E2	
Structures and Mechanisms of Human Movement-E2	前	金3	PATAKY, Todd	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Lifestyle Related Diseases-E2	後	火5	RAUDZUS, Fabian	全	全	1	2		E2	
Physiology in Health and Sports-E2	前	火5	RAUDZUS, Fabian	全	全	1	2		E2	
発展										
精神病理学I	前	火4	松本 卓也	全	全	1	2			
精神病理学I	後	金3	藤井 あゆみ	全	全	1	2			
Psychopathology I-E2	後	火5	TAJAN, Nicolas Pierre	全	全	1	2		E2	
精神病理学II	前	水2	松本 卓也	全	全	1	2	H		
生活習慣と生体機能障害	前	金1	林 達也	全	全	1	2	H		
生活習慣と生体機能障害	後	金1	林 達也	全	全	1	2	H		
精神保健福祉概論	前	火3	船曳 康子	全	全	1	2	H		
精神保健福祉概論	後	火4	船曳 康子	全	全	1	2	H		
スポーツ心理学	前	月4	久代 恵介	全	全	1	2	H		
スポーツ心理学	後	月2	久代 恵介	全	全	1	2	H		
運動の生理学	前	火1	神崎 素樹	全	全	1	2	H		
運動の生理学	後	火1	神崎 素樹	全	全	1	2	H		
心の発達と問題行動の理解	後	火3	船曳 康子	全	全	1	2	H		
脳と心の生命機能ゼミナールI	前	水2	小村 豊	全	全	1	2	H		
脳と心の生命機能ゼミナールII	後	水2	小村 豊	全	全	1	2	H		
生体リズムと健康	前	火1	若村 智子 他	全	主1・2	1	2			
医学概論	前	火3	片岡 仁美	全	全	1	2			
健康・生命科学入門	前	金2	竹島 浩	全	主1・2	1	2			
「業の世界」入門	前	月3	山下 富義 他	理	主1	1	2			
人類と放射線	前	金3	山村 朝雄 他	全	全	1	2			
放射線概論	後	金4	角山 雄一 他	全	全	1	2			
学生支援からみた大学生活論	前	月2	和田 竜太 他	全	全	1	2			
体力医科学	前	水2	萩生 翔大	全	全	1	2			
体力医科学	後	水2	萩生 翔大	全	全	1	2			
身体運動の適応と学習	前	木2	萩生 翔大	全	全	1	2	H		
身体運動の適応と学習	後	木2	萩生 翔大	全	全	1	2	H		
脳と身体運動ゼミナール	後	木3	萩生 翔大	全	全	1	2			
脳・生命・心の探究	後	金5	小村 豊	全	全	1	2			
リハビリテーション概論	後	水5	青山 朋樹 他	全	全	1	2			
ピアサポート入門	後	月4	古川 裕之	全	全	1	2			
アダプテッド・スポーツ演習	後	金2	江川 達郎	全	全	1	2			
Introduction to Medical Psychology-E2	後	金4	SAHKER, Ethan Kyle	全	全	1	2		E2	
Cultural Aspects of Health Care-E2	後	木3	ANAGNOSTOU, Despoina	全	全	1	2		E2	
スポーツ実習										
スポーツ実習IA[アダプテッド・スポーツ]	前	月1	江川 達郎	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IA[ソフトボール]	前	月1	松井 知之	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IA[バドミントン]	前	月1	岩中 伸壮	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IA[フィットネス・ウォーキング]	前	月1	岡本 香代子	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IA[アダプテッド・スポーツ]	前	月2	江川 達郎	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IA[ソフトボール]	前	月2	松井 知之	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IA[バドミントン]	前	月2	岩中 伸壮	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
スポーツ実習IB[アダブテッド・スポーツ]	後	金1	伊藤 千草	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IB[テニス]	後	金1	高桑 徹也	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IB[バスケットボール]	後	金1	兵頭 勇太郎	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IB[アダブテッド・スポーツ]	後	金2	竹村 藍	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IB[バスケットボール]	後	金2	兵頭 勇太郎	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IB[アダブテッド・スポーツ]	後	金3	竹村 藍	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
スポーツ実習IB[卓球]	後	金3	杉本 寛恵	全	全	1	1			
スポーツ実習IB[アダブテッド・スポーツ]	後集	集中	江川 達郎	全	全	1	1			
キャリア形成科目群										
国際コミュニケーション										
テストライティングI(全・英)-E3	前	月5	水野 直子	全	全	1	2*		E3	
テストライティングI(全・英)-E3	前	木4	Obermeier Andrew	全	全	1	2*		E3	
テストライティングI(全・英)-E3	前	木5	Obermeier Andrew	全	全	1	2*		E3	
テストライティングI(全・英)-E3	後	月5	水野 直子	全	全	1	2*		E3	
テストライティングI(全・英)-E3	後	木4	Obermeier Andrew	全	全	1	2*		E3	
テストライティングI(全・英)-E3	後	木5	Obermeier Andrew	全	全	1	2*		E3	
テストライティングII(全・英)-E3	前	火3	RYLANDER, John	全	全	1	2*		E3	
テストライティングII(全・英)-E3	後	火3	RYLANDER, John	全	全	1	2*		E3	
クリティカルリスニング(全・英)-E3	前集	集中	金丸 敏幸 他	全	全	1	2*		E3	
クリティカルリスニング(全・英)-E3	前集	集中	RYLANDER, John 他	全	全	1	2*		E3	
クリティカルリスニング(全・英)-E3	後集	集中	金丸 敏幸 他	全	全	1	2*		E3	
クリティカルリスニング(全・英)-E3	後集	集中	RYLANDER, John 他	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングI(全・英)-E3	前	火3	佐藤 龍一	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングI(全・英)-E3	前	火5	柳瀬 陽介	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングI(全・英)-E3	前	木2	佐藤 龍一	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングI(全・英)-E3	後	火3	佐藤 龍一	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングI(全・英)-E3	後	火5	柳瀬 陽介	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングI(全・英)-E3	後	木2	佐藤 龍一	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングII(全・英)-E3	前	水2	吉田 朱美	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングII(全・英)-E3	前	金4	ARMSTRONG, Wesley James	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングII(全・英)-E3	後	水2	吉田 朱美	全	全	1	2*		E3	
アクティブリスニングII(全・英)-E3	後	金4	ARMSTRONG, Wesley James	全	全	1	2*		E3	
アカデミックディスカッションI(全・英)-E3	前	月1	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	全	1	2*		E3	
アカデミックディスカッションI(全・英)-E3	前	金2	Lees, David	全	全	1	2*		E3	
アカデミックディスカッションI(全・英)-E3	後	月1	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	全	1	2*		E3	
アカデミックディスカッションI(全・英)-E3	後	金2	Lees, David	全	全	1	2*		E3	
アカデミックディスカッションII(全・英)-E3	前	水4	LeBlanc Catherine	全	全	1	2*		E3	
アカデミックディスカッションII(全・英)-E3	後	水4	LeBlanc Catherine	全	全	1	2*		E3	
アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3	前	火1	小山 哲春	全	全	1	2*		E3	
アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3	前	水3	SMITHERS, Ryan William	全	全	1	2*		E3	
アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3	後	火1	小山 哲春	全	全	1	2*		E3	
アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3	後	水3	SMITHERS, Ryan William	全	全	1	2*		E3	
アカデミックプレゼンテーションII(全・英)-E3	前	金2	Schipper Sara	全	全	1	2*		E3	
アカデミックプレゼンテーションII(全・英)-E3	後	金2	Schipper Sara	全	全	1	2*		E3	
理系のための英語プレゼンテーション入門(理・英)-E3	月5	神澤 克徳	理	全	全	1	2*		E3	
理系のための英語プレゼンテーション入門(理・英)-E3	後	月5	神澤 克徳	理	全	1	2*		E3	
臨床コミュニケーション(医・英)-E3	前	水1	片岡 仁美	理	2以上	1	2*		E3	クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
臨床コミュニケーション(医・英)-E3	前	水2	片岡 仁美	理	2以上	1	2*		E3	クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
臨床コミュニケーション(医・英)-E3	前	水3	片岡 仁美	理	2以上	1	2*		E3	クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)
科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A-E3	前	月4	MACPHERSON TOM	理	2以上	1	2*		E3	
科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B-E3	後	月4	Martin Robert	理	2以上	1	2*		E3	
科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B-E3	後	月5	Martin Robert	理	2以上	1	2*		E3	
Scientific English II-E3(Presentation & Discussion)	前	金3	ZHU Fan	理	2以上	1	2*		E3	[International Course]クラス指定科目
Advanced Scientific English-E3(Debate)	後	水2	SCHMOECKER, Jan-Dirk 他	理	2以上	1	2*		E3	[International Course]クラス指定科目
Business English-E3	前	火2	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3	
Business English-E3	後	水5	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3	
Business Thinking-E3	前	水2	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3	
Negotiation-E3	後	水4	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3	
Digesting Scientific English-E3	前	金4	Duncan Wilson	全	2以上	1	2*		E3	
Scientific Writing and Presenting in English-E3	後	金4	Duncan Wilson	全	2以上	1	2*		E3	
学芸員課程										
博物館資料保存論	後	火4	村上 由美子 他	全	2以上	1	2			
博物館展示論	前	水3	塩瀬 隆之 他	全	2以上	1	2			
博物館情報・メディア論	前	火3	五島 敏芳	全	2以上	1	2			
博物館教育論	前	火1	本川 雅治 他	全	2以上	1	2			
博物館実習(文化史)	前	木3・木4	下垣 仁志 他	文	3以上	2	2			
博物館実習(館園実務)	前集	集中	岩崎 奈緒子 他	全	3以上	1	1			
博物館実習(館園実務)	後集	集中	甲斐 嘉晃 他	理	3以上	1	1			
多文化理解										
多文化教養演習:見・聞・知@香港	前集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			
多文化教養演習:見・聞・知@ベトナム	前集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			
多文化教養演習:見・聞・知@京都「受容から発信へ」	前集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			
多文化教養演習:見・聞・知@タイ	後集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			
多文化教養演習:見・聞・知@インドネシア	後集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			
多文化教養演習:見・聞・知@韓国	後集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			
多文化教養演習:見・聞・知@台湾	後集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
多文化教養演習:見・聞・知@中国大陸	後集	集中	河合 淳子 他	全	全	1	2			
多文化教養演習:見・聞・知@スペイン	後集	集中	塚原 信行 他	全	全	1	2			
海外実地セミナー:変容する東南アジア-環境・生業・社会と持続的発展	前集	集中	樋口 浩和 他	全	全	1	2			
海外実地セミナー:フランス伝統地域における食を取り巻く環境と農学	前集	集中	谷 史人 他	全	全	1	2			
海外実地セミナー:東南アジアの再生可能エネルギー開発	前集	集中	尾形 清一 他	全	全	1	2			
海外実地セミナー:暮らし・環境・平和-ベトナムに学ぶ	前集	集中	真常 仁志 他	全	全	1	2			
海外実地セミナー:世界の水問題を考える (Conflict Management (Global Water Issues))	前集	集中	Sameh Kantoush 他	全	全	1	2			
その他キャリア形成										
メディアを担う人々	後	金3	喜多 千草	全	全	1	2			
京都大学の歴史	前	火4	西山 伸	全	全	1	2			
日本語・日本文化演習	前	火2	河合 淳子 他	全	全	1	2*			
日本語・日本文化演習	後	火2	河合 淳子 他	全	全	1	2*			
起業と事業創造	前	火4	木谷 哲夫 他	全	全	1	2			
証券投資と企業活動	後	木2	川北 英隆	全	全	1	2			
統合科学科目群										
統合科学										
統合科学:生命と社会(生命科学の進歩と人の生活)	後	月5	松本 智裕 他	全	全	1	2			
統合科学:生命と社会(生命科学の進歩と人の生活)	後	金5	土屋 徹 他	全	全	1	2			
統合科学:生命と社会(生命科学・環境学の進歩と人の生活)	後	火5	細川 浩 他	全	全	1	2			
統合科学:生命と社会(持続的社会・健康社会に向けた技術と倫理の協働)	後	水4	小川 順 他	全	全	1	2			
統合科学:生命と社会(自然と人との関わり)	後	火5	西川 完途 他	全	全	1	2			
統合科学:持続可能な地球社会をめざして(エネルギー・環境・社会の視点から)	後	月5	亀田 貴之 他	全	全	1	2			
統合科学:閉じた地球で生きる(地球環境とエネルギー)	後	金4	前里 光彦 他	全	全	1	2			
統合科学:自然災害の科学	後	月4	田中 賢治 他	全	全	1	2			
統合科学:自然災害の科学	後	火5	清水 以知子 他	全	全	1	2			
統合科学:地球環境と人類とのバランス	後	水5	真常 仁志 他	全	全	1	2			
統合科学:エネルギーを取り巻く環境	後	水4	大垣 英明 他	全	全	1	2			
統合科学:少人数演習付:数学で見る生命現象	前	木4・木5	國府 寛司 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:自然災害の科学	前	月4・月5	竹見 哲也 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:大学で学ぶ YU01	前	月5・水5	楠見 孝 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:大学で学ぶ YU02	前	月5・水5	楠見 孝 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:大学で学ぶ YU03	前	月5・金5	楠見 孝 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:大学で学ぶ YU04	前	月5・水5	楠見 孝 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:実践的・人文社会科学入門 YP01	前	月2・水5	柴山 桂太 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:実践的・人文社会科学入門 YP02	前	月2・月3	藤井 聡 他	全	全	2	4			
統合科学:少人数演習付:実践的・人文社会科学入門 YP03	前	月2・月4	川端 祐一郎 他	全	全	2	4			
Interdisciplinary Sciences-E2:Global Changes	後	木5	Sameh Kantoush 他	全	主1	1	2		E2	
Interdisciplinary Sciences-E2:Foods and Microbes	後	月5	小柳 義夫 他	全	全	1	2		E2	
環境										
環境農学論	前	金4	吉野 章 他	全	主1・2	1	2			
現代技術社会論	後	木5	MCLELLAN, Benjamin 他	全	全	1	2			
地球環境学のすすめ	前	木1	浅野 悟史 他	全	全	1	2			
生存圏の科学概論I	前	月2	高橋 けんし 他	全	全	1	2			
生存圏の科学概論II	後	火4	杉山 暁史 他	全	全	1	2			
環境学	前	月2	平井 康宏 他	全	全	1	2			
Introduction to Food Sustainability-E2	後	木2	HSIANG Tzu-Fan	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Sustainable Development-E2	前	木4	AU Ka Man 他	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Sustainable Development-E2	後	木4	TRENCHER, Gregory 他	全	主1・2	1	2		E2	
Chemistry, Society and Environment-E2	前	水4	AU Ka Man	理	主1・2	1	2		E2	
Natural Disaster Science-E2	後	木4	Sameh Kantoush	全	全	1	2		E2	
Human-environmental Interactions-E2	前	木5	TRENCHER, Gregory	全	主1・2	1	2		E2	
Sustainable Forest Environment-E2	前	金2	SHARMA, Vikas	全	主1・2	1	2		E2	
Introduction to Biogeochemistry-E2	前	月2	Daniel Epron	全	主1・2	1	2		E2	
Environmental Monitoring for Humanosphere-E2:Introduction to Humanosphere	後	金4	Luce, Hubert	全	主1・2	1	2		E2	
Climate Change and Human Activities-E2:Introduction to Humanosphere	前	金4	Luce, Hubert	全	主1・2	1	2		E2	
森里海連環学										
森里海連環学I:森・里・海と人のつながり	前	金4	徳地 直子 他	全	全	1	2			
森里海連環学II:森林学	前	金2	長谷川 尚史 他	全	全	1	2			
森里海連環学実習I:声生研究林-由良川-丹後海のつながりを探る	前集	集中	益田 玲爾 他	全	全	2	2			
森里海連環学実習II:北海道東部の森と里と海とのつながり	前集	集中	小林 和也 他	全	全	2	2			
森里海連環学実習III:暖地性積雪地域における冬の自然環境と人の暮らし	後集	集中	石原 正恵 他	全	全	1	1			
森里海連環学実習IV:沿岸域生態系に与える陸・川・人の影響	後集	集中	下村 通誉 他	全	全	2	2			
その他統合科学										
先進エネルギー概論	後	木2	大垣 英明 他	全	全	1	2			
宇宙総合学	前	火5	浅井 歩 他	全	主1・2	1	2			
総合生存学入門I	前	月3	IALNAZOV, Dimiter Savov 他	全	全	1	2	※		※総合生存学館所属の大学院生は大学院科目として履修してください
総合生存学入門II	後	水4	DEROCHE, Marc-Henri Jean 他	全	全	1	2	※		※総合生存学館所属の大学院生は大学院科目として履修してください
少人数教育科目群										

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
ILASセミナー:社会学I	前	月2	柴田 悠	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:国際政治論	前	月3	齋藤 嘉臣	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:心の発達ゼミ	前	月4	船曳 康子	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:Investigating Cultural Keywords to Understand Human Psychology (異文化コミュニケーションによる人間心理の理解)	前	月5	DALSKY, David Jerome	全	主1	1	2			
ILASセミナー:iPS細胞研究入門	前	月5	堀田 秋津 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:アフリカ史入門	前	月5	中尾 世治	全	主1	1	2			
ILASセミナー:医生物学入門	前	月5	牧野 晶子 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:異文化間教育入門	前	月5	西山 教行	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:宇宙生物学、宇宙医学	前	月5	寺田 昌弘	全	主1	1	2			
ILASセミナー:エンジンの科学	前	月5	川那辺 洋	全	主1	1	2			
ILASセミナー:薬と医療	前	月5	白川 久志 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:群集生態学入門	前	月5	門脇 浩明	全	1	1	2			
ILASセミナー:経済思想	前	月5	大黒 弘慈	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:公共政策論I	前	月5	佐野 亘	全	1	1	2	H		
ILASセミナー:コミュニケーションを考える	前	月5	古川 裕之	全	1	1	2			
ILASセミナー:実力と運と能力主義—私たちに「成功」をもたらすものとは何か?	前	月5	竹澤 祐丈	全	主1	1	2			
ILASセミナー:障害とは何か	前	月5	村田 淳 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:情報リテラシとしてのソーシャルプログラミング	前	月5	瀧美 紀寿	全	1	1	2			
ILASセミナー:神経心理学	前	月5	月浦 崇	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:先進核融合エネルギーセミナー	前	月5	八木 重郎 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:中国史の基礎資料	前	月5	辻 正博	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:中国を地理学から考える	前	月5	小島 泰雄	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:ドイツ文学入門	前	月5	籠 碧	全	主1	1	2			
ILASセミナー:都市地理学	前	月5	久木元 美琴	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:内申書を考える	前	月5	奥村 好美	全	主1	1	2			
ILASセミナー:なんとなくも理屈のうち	前	月5	舟橋 春彦	全	1	1	2			
ILASセミナー:日本古代・中世政治文化論I	前	月5	吉江 崇	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:飲み水を考える	前	月5	伊藤 禎彦 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:博物館と標本を考える	前	月5	本川 雅治	全	主1	1	2			
ILASセミナー:微生物ってなに?—身の回りの微生物	前	月5	宮下 英明	全	1	1	2	H		
ILASセミナー:美ってなんだ—日常生活と身近なカルチャーからの美学入門	前	月5	松永 伸司	全	1	1	2			
ILASセミナー:身のまわりの生活から探求する文化人類学入門	前	月5	酒井 朋子	全	主1	1	2			
ILASセミナー:量子ビームを使ってわかること	前	月5	中嶋 隆 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:労働法	前	月5	小畑 史子	全	1	1	2	H		
ILASセミナー:ロボットとの未来を考える	前	月5	神田 崇行 他	全	1	1	2			
ILAS Seminar-E2:Global Environmental Issues (地球環境問題)	前	月5	Daniel Epron	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to Logic, Proofs and Programs (論理、証明およびプログラムへの入門)	前	月5	THIES, Holger	全	主1	1	2	H	E2	
ILAS Seminar-E2:Methods in Ecology and Natural History (生態学・自然史学的手法)	前	月5	BARNETT, Craig Antony	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Programming for data analysis (データ解析のためのプログラミング)	前	月5	VANDENBON, Alexis	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:The wonderful world of quantum physics (素晴らしい量子物理の世界)	前	月5	PETERS,Robert	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Topics in Frontier Physics (現代物理学の最先端)	前	月5	WENDELL,Roger	全	主1	1	2		E2	
ILASセミナー:ブータンにおける暮しと健康	前	火2	坂本 龍太	全	1	1	2			
ILASセミナー:東洋史入門	前	火3	太田 出	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:日本古辞書データベース構築入門	前	火4	劉 冠偉	全	主1	1	2			
ILASセミナー:2020年以後の「人間の条件」を考える	前	火5	篠原 雅武	全	主1	1	2			
ILASセミナー:Scripts and Written Artefacts (文字と書かれた遺物)	前	火5	Tao PAN	全	主1	1	2			
ILASセミナー:アーカイブ資料管理の実践	前	火5	五島 敏芳	全	主1	1	2			
ILASセミナー:アフリカの自然保護を考える	前	火5	山越 言	全	主1	1	2			
ILASセミナー:医生物学の最前線	前	火5	河本 宏 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:イタリア文学入門	前	火5	村瀬 有司	全	主1	1	2			
ILASセミナー:映画で読み解くアジア	前	火5	山本 博之 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:がんの分子機構の最先端～ショウジョウバエを用いた基礎研究	前	火5	井垣 達史 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:研究思考による課題解決	前	火5	佐々木 努	全	1	1	2			
ILASセミナー:現代社会と法	前	火5	見平 典	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:鯨物の世界への誘い～鯨物好き、大集合!～	前	火5	下林 典正	全	主1	1	2			
ILASセミナー:国際政治経済学と経済工学	前	火5	坂出 健	全	主1	1	2			
ILASセミナー:コントラクトフリッジで身に着ける論理的思考力	前	火5	小杉 賢一朗	全	主1	1	2			
ILASセミナー:最新バイオロジーの論文ゼミ	前	火5	柘植 知彦	全	主1	1	2			
ILASセミナー:再生可能エネルギー政策の調査と計画	前	火5	尾形 清一	全	主1	1	2			
ILASセミナー:ジェンダーと文学	前	火5	川島 隆	全	主1	1	2			
ILASセミナー:人工知能(AI)で発光材料を設計して創ってみよう	前	火5	田中 一生 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:身体運動を考える	前	火5	萩生 翔大	全	主1	1	2			
ILASセミナー:人文研ゼミ ことばの歴史・言語学の歴史	前	火5	伊藤 順二	全	1	1	2			
ILASセミナー:生体情報処理入門	前	火5	熊田 孝恒	全	1	1	2			
ILASセミナー:西洋史学の事例を通じて学ぶ歴史的思考法	前	火5	金澤 周作	全	1	1	2			
ILASセミナー:世界を支える有機化学—役に立つ分子をつくる	前	火5	木村 祐 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:セルロースの合成生物学	前	火5	今井 友也	全	主1	1	2			
ILASセミナー:大学生の学びの自由について考える	前	火5	佐藤 万知	全	主1	1	2			
ILASセミナー:大学図書館から始める研究入門講座	前	火5	北村 由美 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:太陽・地球・惑星探査の科学	前	火5	松岡 彩子	全	主1	1	2			
ILASセミナー:バイソンによる科学現象の可視化	前	火5	MATTONI, Giordano	全	主1	1	2			
ILASセミナー:パンデミック研究	前	火5	小柳 義夫	全	1	1	2			
ILASセミナー:フィールドワーク入門	前	火5	杉江 あい	全	主1	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
ILASセミナー: 防災学入門「高校数学・高校物理からひも解く地球科学現象」	前	火5	土井 一生	全	1	1	2			
ILASセミナー: 民事・家事紛争の解決方法	前	火5	古財 英明	全	1	1	2			
ILASセミナー: 木文化再生ー森林から都市へ	前	火5	小林 広英 他	全	1	1	2			
ILASセミナー: 融合研究のすすめーマテリアル革新とエネルギー問題	前	火5	辻井 敬亘 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: ユルゲン・ヨストの「ポストモダン解析学」を学ぶ	前	火5	前川 泰則 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: ヨーロッパ近現代史入門	前	火5	福元 健之	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: ラプラスの悪魔・マクスウェルの悪魔・采を投げぬ神	前	火5	宮崎 修次	全	1	1	2			
ILASセミナー: 理論化学入門	前	火5	佐藤 啓文 他	全	1	1	2			
ILASセミナー: プログラミングの前提・基礎知識	前	火5	藤田 博昭	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 理工系アートのススメ	前	火5	土佐 尚子	全	主1	1	2			
ILAS Seminar-E2: Contemporary History (現代史)	前	火5	BHATTE, Pallavi Kamlakar	全	主1	1	2	H	E2	
ILAS Seminar-E2: Current issues in palliative care- the International Context (ヨーロッパにおける緩和ケア)	前	火5	ANAGNOSTOU, Despoina	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Decoding the Fundamentals of Cancer Biology (がんの生物学)	前	火5	THUMKEO, Dean	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Food Systems in Asia (アジアにおける食農システム)	前	火5	Hart Nadav FEUER	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Introduction to Quadrotor Unmanned Flight Control: Principles and Applications (クアッドロータ無人飛行制御入門: 原理と応用)	前	火5	Tam Willy Nguyen	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: History and Theory of Modern Architecture (現代建築の歴史と理論)	前	火5	DANIELL, Thomas Charles	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Introduction to Organic Electronics (初心者向け有機エレクトロニクス)	前	火5	MURDEY, Richard James	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Mental Health and Social Isolation in Japan (日本におけるメンタルヘルスとひきこもり)	前	火5	TAJAN, Nicolas Pierre	全	主1	1	2	H	E2	
ILAS Seminar-E2: Nanostructured Materials (ナノ組織材料)	前	火5	GAO, Si	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: What are Liquids? Answers from Physics, Chemistry and Engineering (液体は何? 液体の基礎物理学と化学)	前	火5	THUERMER, Stephan	全	主1	1	2		E2	
ILASセミナー: 哲学	前	水2	戸田 剛文	全	1	1	2	H		
ILASセミナー: 心身医学概論	前	水3	降旗 隆二 他	全	1	1	2			
ILAS Seminar-E2: Introduction to Stem and iPSC Cells (幹細胞とiPS細胞入門)	前	水4	Marco Marques Candeias	全	主1	1	2		E2	
ILASセミナー: "The Economist" を読む	前	水5	原 千秋	全	1	1	2			
ILASセミナー: ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント	前	水5	藤田 哲雄	全	主1	1	2			
ILASセミナー: X線観測衛星による高エネルギー天文学実習	前	水5	内田 裕之	全	1	1	2			
ILASセミナー: アートとコミュニケーションデザイン	前	水5	運行 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: インド仏教思想入門	前	水5	宮崎 泉	全	主1	1	2			
ILASセミナー: エネルギーと地盤工学	前	水5	岸田 潔 他	全	1	1	2			
ILASセミナー: 科学技術を考えるー人文学の視点から	前	水5	瀬戸口 明久	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 科学論	前	水5	青山 拓央	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 教育・社会・国家	前	水5	倉石 一郎	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 来るべき民主主義と平和のかたち	前	水5	藤原 辰史 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 公共政策論II	前	水5	浅野 耕太	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 合成生物学の理論と実習	前	水5	北畠 真	全	主1	1	2			
ILASセミナー: こころの科学セミナー“実験心理学 × 脳神経科学 × データサイエンス”	前	水5	上田 祥行 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: コミュニケーションデザイン	前	水5	塩塚 隆之	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 三枝洋一「数論幾何入門」を読む	前	水5	伊藤 哲史	全	1	1	2			
ILASセミナー: サステナブル・ファイナンス	前	水5	金村 宗	全	主1	1	2			
ILASセミナー: ジェンダー論	前	水5	石岡 学	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 視覚科学	前	水5	齋木 潤	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 社会心理学	前	水5	永田 素彦	全	1	1	2	H		
ILASセミナー: 省エネルギー社会を支える材料とデバイス	前	水5	川山 巖	全	1	1	2			
ILASセミナー: 心理臨床における思春期	前	水5	野口 寿一	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 水防災・減災への科学的アプローチ	前	水5	立川 康人 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 西洋美術の歴史	前	水5	田口 かおり	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 世界を支える無機化学ー環境エネルギー問題への貢献	前	水5	阿部 竜 他	全	1	1	2			
ILASセミナー: 短期地震予知への挑戦	前	水5	梅野 健	全	1	1	2			
ILASセミナー: チームビルディング、リーダーシップ、環境経済・政策	前	水5	森 晶寿	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 地下と上空から探る地殻のしくみ	前	水5	林 為人 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 中国社会思想史の基礎資料	前	水5	福谷 彬	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 日本美術史入門	前	水5	田中 健一	全	1	1	2			
ILASセミナー: 人間の感覚情報処理入門	前	水5	西田 眞也 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 橋の形と力	前	水5	北根 安雄	全	1	1	2			
ILASセミナー: ハビタブル・アースー生命を育む地球史	前	水5	山敷 庸亮	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 文化人類学調査法	前	水5	風間 計博 他	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 法哲学	前	水5	菊池 亨輔	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 民事手続の基礎	前	水5	山田 明	全	1	1	2			
ILASセミナー: 民俗学ゼミ	前	水5	菊地 暁	全	主1	1	2			
ILASセミナー: 有機金属化学への招待ー有機と無機の間が面白い!	前	水5	大木 靖弘 他	全	1	1	2			
ILASセミナー: ヨーロッパ中世史入門	前	水5	佐藤 公美	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー: 歴史地理学	前	水5	山村 亜希	全	1	1	2	H		
ILAS Seminar-E2: A Beginners' guide to Carrying out Field Surveys and Qualitative Research (フィールドワークと定性的研究実施入門)	前	水5	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Chaos theory (カオス理論)	前	水5	DECHANT, Andreas	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Computer simulations in Biology (生物学におけるコンピュータシミュレーション)	前	水5	BRANDANI, Giovanni Bruno	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Critical Thinking in Ethics (倫理学における批判的思考)	前	水5	Campbell, Michael	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2: Frontiers in Theoretical Physics I (理論物理学最前線 I)	前	水5	Antonio De Felice	全	主1	1	2		E2	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
ILAS Seminar-E2:Frontiers of Earthquake Science(地震学の最前線)	前	水5	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to Human Genetics and Genetic Disease(人類遺伝学と遺伝病入門)	前	水5	Marco,Marques Candeias	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to Engineering in Biology and Medicine(医工学の基礎)	前	水5	金 英寛	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Physiological Neuroscience(生理学的神経科学)	前	水5	RAUDZUS, Fabian	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Psychology of Addiction(依存症の心理学)	前	水5	SAHKER, Ethan Kyle	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Regional Disaster Prevention(地域防災学)	前	水5	SHARMA, Vikas	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Sustainable Food Production in the Era of Climate Change and the Role of Interdisciplinary Research(気候変動時代における持続可能な食料生産と学際的研究の役割)	前	水5	YASIR SERAG ALNOR MOHAMMED SERAG ALNOR	全	主1	1	2		E2	
ILASセミナー:社会人類学調査法	前	木2	岩谷 彩子	全	主1	1	2	H		
ILAS Seminar-E2:Introduction to Probability(確率入門)	前	木2	Croydon, David Alexander	全	主1	1	2		E2	
ILASセミナー:Exploring Global Leadership Through the Lens of Diversity, Equity, and Inclusion(多様性、公平性、包括性の視点からグローバルリーダーシップを探る)	前	木5	LeBlanc Catherine	全	主1	1	2			
ILASセミナー:Introduction to Global Issues - Inequality and the Fight for Social Justice(グローバル問題入門-不平等と社会正義のための闘い)	前	木5	Schipper Sara	全	主1	1	2			
ILASセミナー:IoTとセキュリティ入門	前	木5	中村 素典 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:アジア乱読	前	木5	中西 嘉宏	全	主1	1	2			
ILASセミナー:イノベーションと経済社会	前	木5	木谷 哲夫	全	主1	1	2			
ILASセミナー:宇宙への扉-フィクション・コンテンツに見る天文現象-	前	木5	野上 大作 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:英文テキストと実験で学ぶ分子生物学	前	木5	白石 英秋	全	主1	1	2			
ILASセミナー:核融合とプラズマの科学	前	木5	長崎 百伸 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:公文書管理とアーカイブの世界(入門)	前	木5	橋本 陽	全	主1	1	2			
ILASセミナー:こころの科学セミナー“臨床心理学からこころを考える”	前	木5	鈴木 優佳 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:サイエンスジャングルの歩き方	前	木5	古川 修平 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:進化ゲノミクス	前	木5	井上 詞貴 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:進化と生態の博物学	前	木5	角谷 岳彦	全	主1	1	2			
ILASセミナー:地球と資源エネルギー	前	木5	藤本 仁 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:天気予報と気候変動の科学	前	木5	井口 敬雄 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:電波科学概論	前	木5	山本 衛 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:バイク(自動二輪車)の魅力を科学する-理論と実習	前	木5	川端 祐一郎 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:はやぶさ2と隕石から学ぶ太陽系史	前	木5	松本 徹 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:ものづくりの化学工学・化学、情報、数学、物理など多分野フル活用の総合工学	前	木5	佐野 紀彰 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:1×2×3×4=サステナブル	前	木5	徳地 直子 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:アート&ファッション	前	木5	土佐 尚子	全	主1	1	2			
ILAS Seminar-E2:A stroll around materials chemistry - Superconducting materials(材料化学の散歩道 - 超伝導体)	前	木5	Yi Wei	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Encounters with modern arithmetic(現代整数論との出会い)	前	木5	上田 福大	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:How to Read a Scientific Paper(英語科学論文の読み方)	前	木5	Adam Tsuda GUY	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Integrated Disaster Risk Management: An Implementation Perspective(統合災害リスク管理:実施の観点)	前	木5	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to Biomedical Presentation and Debate(医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	前	木5	Walinda, Erik	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to the biology of nematodes(線虫の生物学入門)	前	木5	CARLTON, Peter	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to cross-cultural communication(異文化コミュニケーション入門)	前	木5	LAHOURNAT, Florence	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Logic, critical thinking and argument(自然科学・工学に関する論理的・批判的思考法と議論)	前	木5	AU Ka Man	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Smart Materials (Innovations in Materials Chemistry)(スマートマテリアル-材料化学の革新)	前	木5	LANDENBERGER, Kira Beth	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:The Invisible Universe(不可視の宇宙)	前	木5	LEE, Shiu Hang	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Wonders of semiconductor(半導体のふしぎ)	前	木5	Jorge Luis Puebla Nunez	全	主1	1	2		E2	
ILASセミナー:「憲法上の権利」入門	前	金5	門田 美貴	全	主1	1	2			
ILASセミナー:阿蘇で観る大地の営み	前	金5	大倉 敬宏 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:医学生物学にふれる	前	金5	樽本 雄介 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:化学の視点から生命を覗いてみよう	前	金5	高橋 重成 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:環境リスク工学入門	前	金5	島田 洋子	全	主1	1	2			
ILASセミナー:京都の海の沿岸動物学入門	前	金5	鈴木 啓太 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:こころの科学セミナー“社会・文化心理学の基礎”	前	金5	中山 真孝 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:古代ギリシア哲学入門	前	金5	早瀬 篤	全	1	1	2			
ILASセミナー:コミュニケーションを解き明かす-会話分析研究の入門と実践	前	金5	横森 大輔 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:史実と物語	前	金5	本庄 総子	全	1	1	2			
ILASセミナー:情報デザイン演習	前	金5	小野 英理	全	1	1	2			
ILASセミナー:スケールの科学-ゴジラやBMIから国会まで	前	金5	趙 亮	全	主1	1	2			
ILASセミナー:生物多様性と生態系	前	金5	東樹 宏和	全	主1	1	2			
ILASセミナー:西洋思想史	前	金5	安部 浩	全	1	1	2	H		
ILASセミナー:日本近代文学	前	金5	須田 千里	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:日本古代・中世政治文化論II	前	金5	熊谷 隆之	全	1	1	2	H		
ILASセミナー:脳と機械	前	金5	小村 豊	全	主1	1	2			
ILASセミナー:発達心理学	前	金5	大倉 得史	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:美の思想	前	金5	武田 宙也	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:フランス学に触れる	前	金5	立木 康介 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:湯川秀樹博士の軌跡をたどる	前	金5	早川 尚男 他	全	主1	1	2			

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考
ILASセミナー:倫理学	前	金5	佐藤 義之	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:労働社会学入門	前	金5	Stephane Heim	全	主1	1	2			
ILASセミナー:私たちの暮らしと地球環境	前	金5	田中 周平	全	主1	1	2			
ILAS Seminar-E2:Chemistry in Art(芸術における化学)	前	金5	PINCELLA, Francesca	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Fundamentals of Earth's atmosphere dynamics and climate(地球大気の大気力学と気候の基礎)	前	金5	Luce, Hubert	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:How to make nano-machines(ナノマシンの作り方)	前	金5	BANERJEE, Amit	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:It's a Bug's Life - bacteria and viruses(微生物の世界へようこそ)	前	金5	KIM, Minsoo	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Let's create 3D computer animations(三次元アニメーションを作ってみよう)	前	金5	PATAKY, Todd	全	主1	1	2		E2	
ILASセミナー:DNAシーケンサーを使ってみよう!	前集	集中	東樹 宏和	全	主1	1	2			
ILASセミナー:芦生研究林に棲む動物たちの探索	前集	集中	鈴木 華実	全	主1	1	2			
ILASセミナー:芦生研究林の菌類多様性に触れよう	前集	集中	松岡 俊将	全	主1	1	2			
ILASセミナー:アフリカ地域研究のためのフィールドワーク入門	前集	集中	金子 守恵	全	主1	1	2			
ILASセミナー:遺伝子からみる野生動物	前集	集中	村山 美穂	全	主1	1	2			
ILASセミナー:海を観る・空を観る・波を観る	前集	集中	馬場 康之 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:海洋共生生態学入門	前集	集中	後藤 龍太郎 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:貝類の不思議	前集	集中	中野 智之	全	主1	1	2			
ILASセミナー:化石哺乳類学入門	前集	集中	高井 正成 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:紙の科学	前集	集中	高野 俊幸	全	1	1	2			
ILASセミナー:京都の文化を支える森林-地域の智恵と生態学的知見	前集	集中	石原 正恵 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:現地で学ぶ京都の建築	前集	集中	金多 隆 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:豪雨と気候変動	前集	集中	山口 弘誠 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:甲殻類学入門	前集	集中	下村 通誉	全	1	1	2			
ILASセミナー:里山の物質循環-燃料・肥料・食料から考える-	前集	集中	館野 隆之輔	全	主1	1	2			
ILASセミナー:自然体験の感動を科学する	前集	集中	伊勢 武史	全	主1	1	2			
ILASセミナー:斜面減災のための理学	前集	集中	松四 雄騎	全	主1	1	2			
ILASセミナー:植物園と博物館で学ぶ植物学	前集	集中	布施 静香 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:植物野外実習	前集	集中	瀬戸口 浩彰 他	全	主1	1	2	H		
ILASセミナー:生態学野外実習-動物植物の多様性と種間関係-	前集	集中	今田 弓女 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:地域在住高齢者に関するフィールド医学実習	前集	集中	坂本 龍太 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:窒素・炭素安定同位体比から見る海洋生物の共生関係	前集	集中	山守 瑠奈 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:脳と情報からみる心の病	前集	集中	後藤 幸織	全	主1	1	2			
ILASセミナー:比較認知科学実習-霊長類の行動・認知を探る	前集	集中	足立 幾磨 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:光であそぼ。手作り宇宙観測	前集	集中	榎戸 輝揚 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:ヒトとは何か・・・霊長類の分子や細胞から理解する	前集	集中	今井 啓雄 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:ヒトに常在する微生物を知ろう	前集	集中	橋本 涉 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:フィールド実習"森は海の恋人"	前集	集中	下村 通誉 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:福島県での震災復興支援研究	前集	集中	上田 義勝	全	主1	1	2			
ILASセミナー:物質と量子性	前集	集中	関 修平 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:放射線入門	前集	集中	角山 雄一	全	1	1	2			
ILASセミナー:北海道のきのこの多様性と生き方	前集	集中	杉山 賢子 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:北海道の昆虫相	前集	集中	小林 和也 他	全	主1	1	2			
ILASセミナー:森を育て活かす-林業体験をとおして考える	前集	集中	長谷川 尚史	全	主1	1	2			
ILASセミナー:洛南の歴史景観と河川環境巡検	前集	集中	川池 健司 他	全	1	1	2			
ILASセミナー:霊長類脳神経科学トレーニングコース	前集	集中	宮地 重弘 他	全	主1	1	2			
ILAS Seminar-E2:Experimental short training course in basic life sciences using marine organism(天然海洋生物を用いた基礎生命科学の体験型短期研修コース)	前集	集中	Martin Robert 他	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to Bird Study - Ornithology(鳥類研究のすすめ)	後	月5	BARNETT, Craig Antony	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Food Systems in Asia(アジアにおける食農システム)	後	火5	Hart Nadav FEUER	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:How to Study Atoms and Molecules with the Help of Light(光を使って原子や分子を調べる)	後	火5	THUERMER, Stephan	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Radical Art and Politics in Japan 1960-70(1960年から70年の日本における前衛芸術と政治)	後	火5	DANIELL, Thomas Charles	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Climate Change in the Earth system-Past,Present,Future(地球システムの気候変動-過去、現在、そして未来)	後	火5	ZWINGMANN, Horst Friedrich August	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Discussions in Biomechanics and Biophysics(バイオメカニクス・生物物理セミナー)	後	水5	金 英寛	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Disorders of the Nervous System(神経系障害)	後	水5	RAUDZUS, Fabian	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Frontiers in Theoretical Physics II(理論物理学最前線II)	後	水5	Antonio De Felice	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Geo-Disaster Risk Reduction and Prevention(土砂災害の防災・減災学)	後	水5	SHARMA, Vikas	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Physics of Life(生命の物理学)	後	水5	DECHANT, Andreas	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Biochemistry Principles(生化学の塾)	後	木5	Walinda, Erik	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Earthquakes & Volcanoes - Prediction and Hazards(地震・火山噴火の予知及び防災)	後	木5	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Encounters with modern arithmetic(現代整数論との出会い)	後	木5	上田 福大	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to the biology of nematodes(線虫の生物学入門)	後	木5	CARLTON, Peter	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Qualitative research methods in health care(ヘルスケアにおける質的研究)	後	木5	ANAGNOSTOU, Despoina	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Wonders of magnets(磁石のふしぎ)	後	木5	Jorge Luis Puebla Nunez	全	1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Biochemistry Principles(生化学の塾)	後	金5	Walinda, Erik	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Climate change impacts on the humanosphere(気候変動が生存圏に与える影響)	後	金5	Luce, Hubert	全	主1	1	2		E2	

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学科目	E科目指定	備考
ILAS Seminar-E2:How to make scientific Breakthrough-Learning from Nobel discoveries (基礎生物学の発見から疾患の理解へ)	後	金5	KIM, Minsoo	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Let's simulate human movement(コンピューターで人を動かしてみよう)	後	金5	PATAKY, Todd	全	主1	1	2		E2	
ILAS Seminar-E2:Introduction to Alternative Dispute Resolution (ADR) (裁判外紛争解決手続入門)	後	未定	未定	全	1	1	2		E2	
大学院共通科目群										
社会適合										
研究倫理・研究公正(理工系)	前集	集中	杉山 雅人 他	理	院	1	0.5			
研究倫理・研究公正(人社系)	前集	集中	塩見 淳 他	文	院	1	0.5			
研究倫理・研究公正(生命系)	前集	集中	小柳 義夫 他	理	院	1	0.5			
Research Ethics and Integrity(Science and Technology)	前集	集中	MURDEY, Richard James	理	院	1	0.5			
Research Ethics and Integrity(Humanities and Social Sciences)	前集	集中	Campbell, Michael	文	院	1	0.5			
Research Ethics and Integrity(Life Science)	前集	集中	MURDEY, Richard James	理	院	1	0.5			
Research Ethics and Integrity(Humanities and Social Sciences)	後集	集中	Campbell, Michael	文	院	1	0.5			
Research Ethics and Integrity(General)	後集	集中	Cathy McNamee	全	院	1	0.5			
Research Ethics and Integrity(Sci. & Tech., Life Sci.)	後集	集中	Cathy McNamee	理	院	1	0.5			
知的財産	前集	集中	木谷 哲夫 他	全	院	1	1			
アントレプレナーシップ入門	前集	集中	木谷 哲夫	全	院	1	0.5			
アントレプレナーシップ演習	後集	集中	木谷 哲夫	全	院	1	2			
ベンチャーファイナンス入門	後集	集中	木谷 哲夫 他	全	院	1	0.5			
企業の社会的責任-ESG の取組について-	前集	集中	木村 俊作 他	全	院	1	1			
企業法務概論	前	木2	村中 孝史 他	全	院	1	2			
大学教員になる人のための学生支援論	前集	集中	杉原 保史 他	全	院	1	1			
教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業	通集	集中	杉山 雅人 他	全	院	1	1			
キャリア・アントレプレナーシップ論	前集	集中	木谷 哲夫 他	全	院	1	1			
研究開発型企業経営論	後集	集中	木谷 哲夫	全	院	1	1			
キャリアを広げる研究スキル概論	後集	集中	沼田 英治 他	全	院	1	1			
大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップI	前集	集中	大学院教育支援機構長	全	院	1	1			
大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップI	後集	集中	大学院教育支援機構長	全	院	1	1			
大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップII	前集	集中	大学院教育支援機構長	全	院	1	2			
大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップII	後集	集中	大学院教育支援機構長	全	院	1	2			
情報テクノサイエンス										
学術研究のための情報リテラシー基礎	前集	集中	北村 由美 他	全	院	1	0.5			
Basics of Academic Information Literacy	前集	集中	北村 由美 他	全	院	1	0.5			
情報科学基礎論	前	火4	谷口 忠大 他	全	院	1	2	※		※情報学研究所所属の大学院生は大学院科目として履修してください
データ科学概観	前集	集中	石塚 直樹 他	全	院	1	2			
データ科学:理論から実用へ	前集	集中	中野 慎也	全	院	1	1			
データ科学:理論から実用へ演習	前集	集中	中野 慎也	全	院	1	1			
データ科学展望III	前集	集中	林 和則 他	全	院	1	1			
データ科学展望IV	後集	集中	原 尚幸 他	全	院	1	1			
コミュニケーション										
大学院生のための英語プレゼンテーション	前集	集中	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	院	1	1			
大学院生のための英語プレゼンテーション	前集	集中	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	院	1	1			
大学院生のための英語プレゼンテーション	前集	集中	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	院	1	1			
アカデミックディスカッションI	前	月1	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックディスカッションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックディスカッションI	前	金2	Lees, David	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックディスカッションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックディスカッションI	後	月1	MCCARTHY, Tanya Miranda	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックディスカッションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックディスカッションI	後	金2	Lees, David	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックディスカッションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックディスカッションII	前	水4	LeBlanc Catherine	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックディスカッションII(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックディスカッションII	後	水4	LeBlanc Catherine	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックディスカッションII(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックプレゼンテーションI	前	火1	小山 哲春	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックプレゼンテーションI	前	水3	SMITHERS, Ryan William	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックプレゼンテーションI	後	火1	小山 哲春	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックプレゼンテーションI	後	水3	SMITHERS, Ryan William	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックプレゼンテーションI(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックプレゼンテーションII	前	金2	Schipper Sara	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックプレゼンテーションII(全・英)-E3」と同一授業
アカデミックプレゼンテーションII	後	金2	Schipper Sara	全	院	1	2			学部生向科目「アカデミックプレゼンテーションII(全・英)-E3」と同一授業
大学院横断教育科目群										
別途掲示等により案内します										

IV. 全学共通科目授業時間割

1. 授業時間割について

①クラス指定科目

クラス指定科目とは、所属学部で指定・推薦をしている授業科目や、履修者数を調整するためにあらかじめクラス別の授業時間割が組まれている授業科目をいいます。（「2. クラス別時間割（学部1回生）」（p.170～）および「3. クラス指定科目早見表（学部2回生）」（p.178～）参照）

これらを全て履修するかどうかは各自の選択によりますが、履修する場合は自クラスの指定科目で履修しなければなりません。

【学部1回生の外国語科目の履修について】

入学時に外国語科目履修選択手続きで、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語を選択した場合は、履修するクラスを指定します。KULASISの時間割ページで登録されるクラスを履修してください。選択した外国語の変更、また3か国語以上の外国語の履修を希望する場合は、「II. 全学共通科目の履修について」、「5. 外国語の履修について」の「(2) 学部1回生の履修クラスについて」（p.54）を参照してください。

※令和7年度はアラビア語についても履修するクラスを指定します。

②自由選択科目

自由選択科目とは、クラス指定科目以外の全学共通科目をいいます。これらはクラス指定科目以外の時間で、自由に選択して履修してください。なお、自由選択科目を履修するために、自クラスの指定科目を他クラスに変更することはできません。なお、クラス指定科目であっても自由選択科目を兼ねる科目については他クラスで履修することも可能です。ただし、クラス指定以外の履修者について履修（人数）制限が実施される場合があることに注意してください。クラス指定科目が自由選択科目を兼ねるかどうかは「III. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」（p.126～）の備考を参照してください。

③教室名

ほとんどの授業が吉田南構内の講義室等で行われますが、一部の授業は他の学部、研究科、研究所、センターでも行われます。

教室名に含まれる1共、共東・西・南・北、2共、4共、総人、情報メ、教育院とは、それぞれ吉田南構内の建物を示しています。

1共	：吉田南1号館	共東	：吉田南総合館東棟	共西	：吉田南総合館西棟
共南	：吉田南総合館南棟	共北	：吉田南総合館北棟	2共	：吉田南2号館
4共	：吉田南4号館	総人	：総合人間学部棟	情報メ	：学術情報メディアセンター南館
教育院	：国際高等教育院棟				

授業教室はKULASISで確認してください。また、各教室の位置については、「VII. 建物配置図等」の「4. 吉田南構内教室等配置図」（p.277～）を参照してください。

なお、吉田南構内以外の講義室については、京都大学ホームページのアクセスマップ（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>）等で確認してください。

また、自然科学科目群の実験・実習の教室については、詳細を別途掲示によりお知らせしますので、注意してください。

クラス別時間割(学部1回生)

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によります。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧のとおりです。
- ◆月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群: ILASセミナー / 【後期】統合科学科目群: 統合科学を開講します。(一部除く)
(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(I類)については重複しないよう指定します。)

◆総合人間学部(1-3組)

前期	月	火	水	木	金
1	■文化環境学入門	■人間科学入門A	■国際文明学入門A	E	■言語科学入門
2	ス		E	数基礎	
3	外①	外①		外②	外②
4		数基礎	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1			■国際文明学入門B	E	■人間科学入門B
2	ス		E	数基礎	
3	外①	外①		外②	外②
4		数基礎	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(I類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(II類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※■のついた科目は専門科目です。

◆総合人間学部(理系科目を受講する場合)(1-3組)

前期	月	火	水	木	金
1	基物化	物基礎		E	基礎地 ■数理・情報科学入門
2	数講	ス	E	数講	外① ■自然科学入門A
3	実験	実験	数演※	外①	基有化
4			数演※		外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	基物化	物基礎 ■認知・行動・健康科学入門		E	基礎地
2	数講	ス	E	数講	外① ■自然科学入門B
3		実験	数演※	外①	基有化
4			数演※		外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(I類)について、履修希望のクラス指定科目と重複する場合は、全学共通科目学生窓口まで申し出てください。
- ※初修外国語(II類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※「微分積分学(講義・演義)A/B」と「線形代数学(講義・演義)A/B」は、【月2・水3・木2】または【月2・水4・木2】のどちらか一方のセットで受講してください。
- ※実験は、以下の時間割を参考にしてください。
 >地球科学実験を履修する場合 物理学実験【前期 月3・4】 / 基礎化学実験【後期 火3・4】 / 地球科学実験【前期 火3・4】
 >地球科学実験を履修しない場合 物理学実験【前期 月3・4】 / 基礎化学実験【後期 火3・4】
- ※■のついた科目は専門科目です。

◆文学部(1-6組)

前期	月	火	水	木	金
1					
2		ス		E	
3	外①	外①		外②	外②
4	E		外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1					
2		ス		E	
3	外①	外①		外②	外②
4	E		外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(I類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(II類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。

クラス別時間割(学部1回生)

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によります。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧のとおりです。
- ◆月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群: ILASセミナー／【後期】統合科学科目群: 統合科学を開講します。(一部除く)(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(I類)については重複しないよう指定します。)

◆教育学部(1,2組)

前期	月	火	水	木	金
1		■教育研究入門Ⅰ		■情報学Ⅰ	ス
2	数講	E		数講	E
3	外①	外①	数演	外②	外②
4			外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1			■教育研究入門Ⅱ	■情報学Ⅱ	ス
2	数講	E		数講	E
3	外①	外①	数演	外②	外②
4			外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(I類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(II類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※■のついた科目は必修または学部が履修を推奨する専門科目です。

◆法学部(1-8組)

前期	月	火	水	木	金
1		■法学入門			
2	E		■政治学入門Ⅰ	微積	ス
3	外①	外①	■家族と法	外②	外②
4	■民法(総論・総則・親族)	E	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1				■法学政治学基礎演習A・B	
2	E	■法学政治学基礎演習A・B	■特別講義「現代社会と弁護士」	■憲法(統治機構)	ス ■政治学入門II
3	外①	外①	■法学政治学基礎演習A・B	外②	外②
4	■民法(総論・総則・親族)	E	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(I類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(II類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※■のついた科目は1回生配当の専門科目です。法学政治学基礎演習A・Bは複数クラス開講されます。

◆経済学部(1-6組)

前期	月	火	水	木	金
1	■情報処理入門	■会計学入門	□入門演習	■統計学Ⅰ	E
2				微積	
3	外①	外①	■現代経済事情	E	外②
4	■ミクロ経済学入門	線形	外①	外①	外①②
5	■マクロ経済学入門	外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1			■社会経済学入門	■統計学Ⅰ	E
2			■経営学入門		■経済史・思想史入門
3	外①	外①		E	外②
4	■マクロ経済学入門	線形	外①	外①	外①②
5	■ミクロ経済学入門	外①②			外①②

- ※初修外国語(I類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(II類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※■のついた科目は1回生配当の専門科目(選択必修科目)です。ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門及び統計学Ⅰは、同じ科目を前期と後期に開講します。他の履修希望科目を勘案し、計画的に履修してください。
- ※□のついた科目は1回生配当の専門科目(推奨科目及び事前確定科目)です。
- ※経済学部の学生には、微分積分学[文系]、線形代数学A・B[文系]をクラス指定していますが、理系入試による入学及び理論的分析やデータ科学分野に関心のある学生は、微分積分学(講義・演習)A・B、線形代数学(講義・演習)A・Bを履修することを強く推奨しています。詳細は、全学共通科目履修の手引き(<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/zenkyo/guidance>)の各学部の修得すべき全学共通科目の単位数(平成28年度以降入学者)を確認してください。

クラス別時間割(学部1回生)

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によります。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧のとおりです。
- ◆月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群: ILASセミナー／【後期】統合科学科目群: 統合科学を開講します。(一部除く)(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆理学部(1-8組)

前期	月	火	水	木	金
1	E	ス	生	数演(1-4) E(5-8)	基礎地
2	数講	外①	基物化	E(1-4) 数演(5-8)	数講
3		実験 物(6-8) 地(1, 2, 4, 5)	外①		実験 物(1-3) 化(4-6) 外②
4	物基礎		基有化		
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	E	ス	個体	数演(1-4) E(5-8)	基礎地
2	数講	外①	基物化	E(1-4) 数演(5-8)	数講
3	力学 (3, 6, 7, 8)	力学(1, 2, 4, 5) 実験化(3, 7, 8)	外①		実験 物(4, 5) 化(1, 2) 地(3, 6-8) 外②
4	物基礎	実験化(3, 7, 8)	細胞	情演 (1-4)	
5		外①②		情演 (5-8)	外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」／化「基礎化学実験」／地「地球科学実験」を表し、それぞれクラス指定します。
- ※初修外国語(11類)を【後期 金4】に履修する際(クラス指定のアラビア語を履修する場合を含む)は、以下の時間割を参考にしてください。
 - >物理学実験と地球科学実験を履修する場合 物理学実験【後期 木3・4】／地球科学実験【前期 火3・4】
 - >地球科学実験のみを履修する場合 地球科学実験【前期 火3・4】

◆医学部医学科(1-3組)

前期	月	火	水	木	金
1	基有化	物基礎	数演(1a, 2) E(3)	統計	
2	E	細胞	数演(1b, 3) E(2)	数講	
3		□医学概論	E(1)		数講
4		■特別講義・MD 研究者育成PG・ 早期体験実習I	■医療情報 リテラシー	外①	外①
5		■MD研究者育成PG			

後期	月	火	水	木	金
1	基有化	物基礎	E(3)		
2	E	□Introduction to Biochemistry	E(2)		
3		□Introduction to Biochemistry	E(1)		
4		□分子遺伝学		外①	外①
5		■MD研究者育成PG			

- ※数演「微積分学(講義・演義)A」、「線形代数学(講義・演義)A」の演義は、2クラスに編成し、別途、通知します。
- ※□のついた科目は、クラス指定されていませんが必修の全学共通科目です。後期火曜2限・3限は、いずれか1クラスを指定します。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆医学部人間健康科学科(4-6組)

前期	月	火	水	木	金
1	基有化	物基礎	数演(4, 6a) E(5, 6b)	数講	ス
2	外①	数講	数演(5, 6b) E(4, 6a)	■人間健康科 学Ⅰ・Ⅱ	□健康・生命 科学入門
3	□「薬の世界」 入門	E	情	実験 化(4)	情演
4		外①	統計		外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		物基礎	数演(4, 6b) E(5, 6a)	数講	ス
2	外①	数講	数演(5, 6a) E(4, 6b)	■人間健康科 学Ⅲ・Ⅳ	
3		E	実験 物		実験 化(5, 6)
4	細胞	外①		実験 化(5, 6) 外②	
5		外①②	□リハビリテー ション概論		外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」／化「基礎化学実験」を表します。
- ※初修外国語(11類)を【後期 金4】に履修する際(クラス指定のアラビア語を履修する場合を含む)は、以下の時間割を参考にしてください。
 - >基礎化学実験を履修する場合 基礎化学実験【前期 木3・4】
- ※数演「微積分学(講義・演義)A・B」、「線形代数学(講義・演義)A・B」の演義は、2クラスに編成し、別途、通知します。
- ※□のついた科目は、学科が履修することを推奨する全学共通科目です。
- ※■のついた科目は、1回生必修の専門科目です。

クラス別時間割(学部1回生)

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によります。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧のとおりです。
- ◆月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群: ILASセミナー／【後期】統合科学科目群: 統合科学を開講します。(一部除く)(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆工学部建築学科(5,6組)

前期	月	火	水	木	金
1	情演	数演(5) E(6)		ス	数講
2		E(5) 数演(6)	数講	物基礎	外①
3	■建築造形 実習	■日本都市史	E	外①	
4		自数	図学		外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	■建築工学概 論	数演(5) E(6)		ス	数講
2		E(5) 数演(6)	数講	物基礎	外①
3	■世界建築史	実験 物	E	外①	情
4			■設計演習 基礎	図学	
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(11類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」を表します。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆工学部物理工学科(7-12組)

前期	月	火	水	木	金
1	情演		ス (7-9)	物基礎	数演(7-9) E(10-12)
2	ス (10-12)			外①	E(7-9) 数演(10-12)
3	実験(7-10) E(11,12)	数講	数講	E(7-10) 実験(11,12)	外①
4	実験(7-10)	自数	基物化	実験(11,12)	外②
5		外①②	■物理工学 総論A		外①②

後期	月	火	水	木	金
1		■物理工学 総論B	ス (7-9)	物基礎	数演(7-9) E(10-12)
2	ス (10-12)			外①	E(7-9) 数演(10-12)
3	実験(7-10) E(11,12)	数講	数講	E(7-10) 実験(11,12)	外①
4	実験(7-10) 情(11,12)		基物化	情(7-10) 実験(11,12)	外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(11類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、以下のとおりクラス指定します。
【前期 月3・4】「基礎化学実験」T7-9／「物理学実験」T10
【前期 木3・4】「基礎化学実験」T11,12
【後期 月3・4】「物理学実験」T7-9／「基礎化学実験」T10
【後期 木3・4】「物理学実験」T11,12
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆工学部電気電子工学科(13-16組)

前期	月	火	水	木	金
1			ス		数演(13,14) E(15,16)
2				外①	E(13,14) 数演(15,16)
3	E	数講	数講	実験 物	外①
4	情		物基礎		外②
5		外①② ■電気回路基礎論	自数		外①②

後期	月	火	水	木	金
1			ス		数演(13,14) E(15,16)
2				外①	E(13,14) 数演(15,16)
3	E	数講	数講		外①
4		力学	情演※		外②
5	■電気電子 回路	外①②	■電気電子 工学概論		外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(11類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」を表します。
- ※情報基礎演習は、必修(または同等)の専門科目「電気電子工学概論」と交互に隔週開講されます。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。その科目を履修してください。

クラス別時間割(学部1回生)

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によります。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧のとおりです。
- ◆月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群: ILASセミナー／【後期】統合科学科目群: 統合科学を開講します。(一部除く)(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆工学部理工化学科(17-22組)

前期	月	火	水	木	金
1	ス	数演(17-19) E(20-22)	■理工化学 概論	基物化	物基礎
2		E(17-19) 数演(20-22)	数講	基有化	外①
3	数講	情演 (20-22)	実験 物(17-19) 化(20-22)	外①	E
4		情演 (17-19)		自数	外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	ス	数演(17-19) E(20-22)		○基有化 ●基物化	物基礎
2		E(17-19) 数演(20-22)	数講	○基物化 ●基有化	外①
3	数講		実験 化(17-19) 物(20-22)	外①	E
4		情			外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(11類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」/化「基礎化学実験」を表します。
- ※【前期 木1・2】「基礎物理化学」「基礎有機化学」は、4クラスを編成します。
- ※【後期 木1・2】「基礎物理化学」「基礎有機化学」は、4クラスを編成し、2クラスごと交互に開講します。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆工学部情報学科(23,24組)

前期	月	火	水	木	金
1			ス (23)	■プログラミ ング入門	E (24)
2	ス (24)	■数理工学 概論	自数	外①	E (23)
3	E	微積	線形	実験 物	外①
4			物基礎		外②
5	□情報基礎 実践	外①②	■計算機科学 概論		外①②

後期	月	火	水	木	金
1			ス (23)		E (24)
2	ス (24)		力学	外①	E (23)
3	E	微積	線形		外①
4			物基礎	■最適化入門	外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(11類)のアラビア語は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」を表します。
- ※□のついた科目は、クラス指定されていませんが必修(または同等)の全学共通科目です。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆農学部資源生物科学科/森林科学科(1-4組)

前期	月	火	水	木	金
1	生	物基礎	■農学概論I	外①	■資源生物科学 概論B(資)
2	数講	数講	■資源生物科学 概論A(資)/■森林 科学概論A(森)	ス	基有化 (資1,2,森)
3		実験 化(資)	数演(1,3) E(2,4)		基有化(資3,4) 基物要(森)
4	外①		数演(2,4) E(1,3)		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	細胞	物基礎	■農学概論II	外①	情演(資) ス(森)
2	数講	数講	■森林基礎 科学A(森)	ス(資)	個体(森)
3		実験化(森) ■資源生物科学基礎(資)	数演(1,2) E(3,4)	情演(森)	■森林基礎 科学B(森)
4	外①	実験化(森) 個体(資)	数演(3,4) E(1,2)		E 外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、化「基礎化学実験」を表します。
- ※資: 資源生物科学科、森: 森林科学科を表します。
- ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際(クラス指定のアラビア語を履修する場合を含む)は、英語を【月4】で履修してください。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

クラス別時間割(学部1回生)

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によります。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧のとおりです。
- ◆月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群: ILASセミナー／【後期】統合科学科目群: 統合科学を開講します。(一部除く)(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆農学部食料・環境経済学科(5組)

前期	月	火	水	木	金
1	生	■食料・環境経済基礎論	■農学概論Ⅰ	外①	ス
2				微積	
3			■食料・環境経済学概論		
4	外①	線形	E		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		■社会経済学入門	■農学概論Ⅱ	外①	ス
2		■応用ミクロ経済学入門			
3		■経営学基礎	E	情演	
4	外①	線形			E 外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際(クラス指定のアラビア語を履修する場合を含む)は、英語を【月4】で履修してください。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆農学部地域環境工学科(6組)

前期	月	火	水	木	金
1	生	物基礎	■農学概論Ⅰ	外①	■地域環境工学概論Ⅰ
2	数講	数講	■地域環境工学概論Ⅱ	ス	
3		実験物	E		
4	外①		数演		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		物基礎	■農学概論Ⅱ	外①	
2	数講	数講	■地域環境工学概論Ⅲ	ス	情演
3			E		
4	外①		数演		E 外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」を表します。
- ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際(クラス指定のアラビア語を履修する場合を含む)は、英語を【月4】で履修してください。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆農学部応用生命科学科/食品生物科学科(7,8組)

前期	月	火	水	木	金
1	生	物基礎	■農学概論Ⅰ	外①	■応用生命科学入門Ⅰ(応)/■食品生物科学概論(食)
2	数講	数講	■応用生命科学入門Ⅱ(応)/■食品基礎統計学(食)	ス	基物要(食)
3	■基礎生化学Ⅰ(食)	実験(食)	数演(7) E(8)		基有化(食)
4	外①		数演(8) E(7)		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	■基礎生化学Ⅱ(食)	物基礎	■農学概論Ⅱ	外①	■応用生命科学入門Ⅲ(応)/■食品物理化学Ⅰ(食)
2	数講	数講	■応用生命科学入門Ⅳ(応)/■食品有機化学Ⅰ(食)	ス	情演
3		実験(応)	数演		
4	外①		E		E 外②
5		外①②	■農林水産省特別講義(食)		外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、以下のとおりクラス指定します。
【前期 火3・4】「基礎化学実験」(食)
【後期 火3・4】「基礎化学実験」(応)
- ※応: 応用生命科学科、食: 食品生物科学科を表します。
- ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際(クラス指定のアラビア語を履修する場合を含む)は、英語を【月4】で履修してください。
- ※■のついた科目は、必修(または同等)の専門科目です。

◆◆科目名略称一覧

略称	科 目 名
E	「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニングA・B」
外①	初修外国語（I類）： 「ドイツ語IA・IB（文法・演習）」・「フランス語IA・IB（文法・演習）」 「中国語IA・IB（文法・演習）」・「スペイン語IA・IB（文法・演習）」
外②	初修外国語（II類）： 「ロシア語IA・IB（文法・演習）」・「イタリア語IA・IB（文法・演習）」 または「イタリア語IA・IB（4Hコース）」・ 「朝鮮語IA・IB（文法・演習）」・「アラビア語IA・IB（文法・演習）」
数講	「微分積分学（講義・演義）A・B」・ 「線形代数学（講義・演義）A・B」の講義
数演	「微分積分学（講義・演義）A・B」・ 「線形代数学（講義・演義）A・B」の演義【原則隔週開講】
微積	「微分積分学A・B」・「微分積分学」
線形	「線形代数学A・B」・「線形代数学」
数基礎	「数学基礎A・B」
自数	「自然現象と数学」
統計	「統計入門」
物基礎	「物理学基礎論A・B」
力学	「力学統論」
基有化	「基礎有機化学I・II」
基物化	「基礎物理化学（熱力学）・（量子論）」
基物要	「基礎物理化学要論」
生	「生物・生命科学入門」
個体	「個体と集団の基礎生物学」
細胞	「細胞と分子の基礎生物学」
基礎地	「基礎地球科学A・B」
情	「情報基礎」
情演	「情報基礎演習」
図学	「図学A・B」
ス	「スポーツ実習IA・IB」
実験	「物理学実験」・「基礎化学実験」・「地球科学実験」

3. クラス指定科目早見表（学部2回生）

学部	組	総人		理								医			薬		農								
												医			薬科・薬		資源・森林				食料		地環		応用・食品
曜	時	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8		
月	1																								
	2				確率			数統			確率			数統											
	3																								
	4																								
	5																								
火	1				電																				
	2	線統		微積続II				微積続I																	
	3												情(資源)				情								
	4				線統																	微積続			
	5																								
水	1												臨床												
	2												臨床												
	3				微積続I				微積続II				臨床												
	4																								
	5																								
木	1																								
	2																								
	3	微積続		統計				統計				統計		統計(森林除く)											
	4																								
	5																								
金	1												確率(食品除く)				数統(食品除く)								
	2												情				情								
	3				線統								情(森林)				情								
	4																								
	5																								

微積続	線統	確率	数統	統計
微積分学統論I/II	線形代数学統論	確率論基礎	数理統計	統計入門

電	情	臨床
電磁気学統論	情報基礎	臨床コミュニケーション(医・英)-E3

前期	を
後期	

 を表す。

学部 曜	組	工																										
		地球					建築			物理						電気電子				理工化学						情報		
日	月	1	2	3	4	25	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
月	1								確率		数統																	
	2														確率		数統								線統			
	3																微積統II											
	4																微積統I											
	5																微積統I											
火	1																		統計		統計							
	2		線統				熱力				電		電		関数													
	3								統計																			
	4						微積統								線統													
	5					地質																						
水	1																統物											
	2	微積統							電		確率				数統													
	3																											
	4																		微積統									
	5					微積統																						
木	1						確率																		確率			
	2																								数統			
	3								微積統												微積統		微積統					
	4						振動 波動																					
	5																											
金	1																											
	2	線統					線統	振動波動																				
	3																											
	4										微積統																	
	5																											

微積統	線統	確率	数統	関数	統計	統物
微分積分学統論I/II	線形代数学統論	確率論基礎	数理統計	関数論	統計入門	統計物理学

電	熱力	振動波動	地質	英語
電磁気学統論	熱力学	振動・波動論	地質工学入門	Advanced Scientific English-E3, Scientific English II-E3

前期
後期 を表す。

V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

京都大学において学士の学位を取得するためには、各学部により定められた全学共通科目と学部科目の単位数を修得する必要があります。本章では、卒業に必要な全学共通科目の単位数等を記載しています。学部科目の単位数及び詳細については、各学部の便覧を参照してください。

(注意)

- ◇ 本章記載内容以外にも、全学共通科目の履修について各学部で指示する事項がある場合がありますので、各学部の便覧を必ず参照してください。
- ◇ 本章記載の単位数は、卒業までに修得すべき単位数です。何回生時に何単位修得するかは各自の判断によりますが、学部によっては、全学共通科目の単位修得が進級等の要件になっている場合がありますので注意してください。
- ◇ 平成 28 年度より、全学共通科目の群が再編されました。なお、平成 27 年度以前入学者については、従来どおりの科目群（現代社会適応科目群・拡大科目群等）により修得すべき単位数が定められています。
- ◇ 平成 29 年度から KUINEP 科目は廃止されました。

1. 平成28年度以降入学者用

総合人間学部

総合人間学部では、多様な学問分野の教員が数多くの全学共通科目を担当しており、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供しています。このため、外国語科目群を除いて、修得すべき全学共通科目の単位数を定めていません。多くの全学共通科目が、総合人間学部の主専攻科目または副専攻科目として指定されています。詳細は、「総合人間学部便覧」を参照してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	※詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。
自然科学科目群	
情報学科科目群	
健康・スポーツ科目群	
キャリア形成科目群	
統合科学科目群	
少人数教育科目群	<p>(令和6年度以降入学者)</p> <p>「主専攻科目」として、所属する講座の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から46単位以上修得すること。</p> <p>「副専攻科目」として、所属する講座以外の1講座の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。</p> <p>「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること（※一部認められない科目もある。詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。）。</p> <p>(平成28年度～令和5年度入学者)</p> <p>「主専攻科目」として、所属する学系の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から48単位以上修得すること。</p> <p>「副専攻科目」として、所属する学系以外の副専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。</p> <p>「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること（※一部認められない科目もある。詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。）。</p>
外国語科目群	<p>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから、2ヶ国語または3ヶ国語を履修すること。ただし、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。また、外国人留学生の母語の科目は、外国語科目に含まれない。</p> <p>2ヶ国語を履修する場合、両外国語それぞれから12単位以上を修得すること。</p> <p>3ヶ国語を履修する場合、1外国語から12単位以上、その他の2外国語から計12単位以上を修得すること。</p> <p>2ヶ国語、3ヶ国語いずれを履修する場合でも、英語から12単位以上を修得する場合は、「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング-リスニング A・B」各2単位計4単位、計8単位を含むこと。残りの4単位は「英語リーディング」またはE科目（科目群、E科目のカテゴリーは問わない）から修得すること。</p> <p>日本語を選択する場合、平成28年度入学者は日本語中級、日本語上級、「経済・経営日本語（上級）I・II」（令和2年度より廃止）から8単位まで（上級科目を少なくとも4単位含めることが望ましい）、平成29年度以降入学者は日本語上級、「経済・経営日本語（上級）I・II」（令和2年度より廃止）から8単位まで修得を認める。</p>

E科目	外国語科目群で英語を選択した場合、E科目で修得した単位を英語の単位に読み替えることができる。その場合、それらの単位は元の開講科目群の修得単位としては認められない。
-----	---

2. 履修登録単位数・コマ数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「総合人間学部便覧」を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1学期につき20コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H(総合人間学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 外国語科目群について

その他の2外国語の1つとして英語を履修する場合、内訳や科目の指定はありません。

これは例えば「ドイツ語12単位、フランス語6単位、英語6単位」のように、3ヶ国語を履修する場合で、英語以外の1外国語で12単位以上修得し、その他の2外国語の1つとして、英語を修得する場合に該当します。

(3) 情報学科目群における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕および〔演習科目〕を履修することを推奨します。

講義科目	情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究所の教員が担当する授業の履修を推奨します。
演習科目	情報基礎演習 [全学向]	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究所の教員が担当する授業の履修を推奨します。

(4) 京都大学国際教育プログラム(KUINEP)科目(平成29年度より廃止)は、1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成28年度入学者のみ該当)

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	※詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。
自然科学科目群	
情報学科目群	
健康・スポーツ科目群	
キャリア形成科目群	
統合科学科目群	
少人数教育科目群	<p>(令和2年度～令和5年度入学者)</p> <p>「主専攻科目」として、所属する学系の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から48単位以上修得すること。</p> <p>「副専攻科目」として、所属する学系以外の副専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。</p> <p>「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること(※一部認められない科目もある。詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。)</p>

外国語科目群	24 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから、2ヶ国語または3ヶ国語を履修すること。 ただし、外国人留学生の母語の科目は、外国語科目に含まれない。 2ヶ国語を履修する場合、両外国語それぞれから12単位以上を修得すること。 3ヶ国語を履修する場合、1外国語から12単位以上、その他の2外国語から計12単位以上を修得すること。 2ヶ国語、3ヶ国語いずれを履修する場合でも、英語から12単位以上を修得する場合は、「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング-リスニング A・B」各2単位計4単位、計8単位を含むこと。残りの4単位は「英語リーディング」またはE科目（科目群、E科目のカテゴリーは問わない）から修得すること。
--------	---------	--

E 科目	外国語科目群で英語を選択した場合、E 科目で修得した単位を英語の単位に読み替えることができる。その場合、それらの単位は元の開講科目群の修得単位としては認められない。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「総合人間学部便覧」を参照してください。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H（総合人間学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 外国語科目群について

その他の2外国語の1つとして英語を履修する場合、内訳や科目の指定はありません。

これは例えば「ドイツ語12単位、フランス語6単位、英語6単位」のように、3ヶ国語を履修する場合で、英語以外の1外国語で12単位以上修得し、その他の2外国語の1つとして、英語を修得する場合に該当します。

(3) 情報学科目群における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕および〔演習科目〕を履修することを推奨します。

講義科目	情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学 研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。
演習科目	情報基礎演習 [全学向]	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学 研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。

文学部

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。詳細は、「文学部学生便覧」の「学士の学位取得に必要な単位」を参照してください。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 12単位以上 英語を選択しない場合： 8単位以上	(令和2年度以降入学者) 英語を選択する場合： 32単位以上 英語を選択しない場合： 24単位以上	(令和2年度以降入学者) 人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学 科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科 目群、統合科学科目群、少人数教育科目群からE1・ E3に指定されている科目を除き、計24単位以上修 得すること。ただし、人文・社会科学科目群から E1に指定されている科目を除き計8単位以上、自 然科学科目群から計6単位以上修得すること。 外国語科目群で英語を選択する場合は、上記の要 件に加えて「外国文献研究(文・英)A・B-E1」各 2単位計4単位、その他のE1・E3に指定されてい る科目から計4単位以上修得し、計32単位以上修 得すること。	
		(平成28～31年度入学者) 英語を選択する場合： 44単位以上 英語を選択しない場合： 36単位以上	(平成28～31年度入学者) 人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学 科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科 目群、統合科学科目群、少人数教育科目群からE1・ E3に指定されている科目を除き、計36単位以上修 得すること。ただし、人文・社会科学科目群から E1に指定されている科目を除き計8単位以上、自 然科学科目群から計6単位以上修得すること。 外国語科目群で英語を選択する場合は、上記の要 件に加えて「外国文献研究(文・英)A・B-E1」各 2単位計4単位、その他のE1・E3に指定されてい る科目から計4単位以上修得し、計44単位以上修 得すること。	
		自然科学科目群	6単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、 イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の うちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一 つを含む2か国語を履修すること。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計4単 位、「英語ライティングーリスニングA・B」各2 単位計4単位、計8単位修得すること。 英語以外の外国語を選択する場合、初級から8単 位以上、中・上級から8単位以上、1か国語につき 計16単位以上修得すること。
		情報学科目群		
		健康・スポーツ科目群		
		キャリア形成科目群		
		統合科学科目群		
少人数教育科目群				
外国語科目群	英語を選択する場合： 24単位以上 英語を選択しない場合： 32単位以上			
合計	(令和2年度以降入学者) 56単位以上 (平成28～31年度入学者) 68単位以上			

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（文・英）A・B-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E1・E3 に指定されている科目から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	---------------------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、文学部学生便覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『L（文学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学科目群について

① 外国語科目群で英語を履修する場合、「外国文献研究（文・英）A・B-E1」（いずれも 2 回生以上対象科目）は各 1 科目計 4 単位が卒業に必要な単位として認定され、原則として自身の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に分属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。

② 「日本史Ⅰ・Ⅱ」、「中国歴史風土論」（令和 7 年度不開講）、「中国歴史地理論」（令和 7 年度不開講）、「西洋史Ⅰ・Ⅱ」、「人文地理学各論Ⅰ～Ⅲ」、「地域地理学各論Ⅰ～Ⅲ」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学科目群に変更することができます。手続き期間は 4 月及び 10 月のみです。締切日等詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲載されます。

(3) 外国語科目群について

① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。

② 英語以外の外国語を履修する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得しなければなりません。「フランス語Ⅰ（8H コース）」は、16 単位のうち 8 単位のみ、「ドイツ語Ⅰ（6H コース）」、「ドイツ語Ⅱ（6H コース）」、「フランス語Ⅱ（6H コース）」は、12 単位のうち 8 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

なお、スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

(4) E 科目について

外国語科目群で英語を選択しない場合、E1・E3 に指定されている科目を履修しても卒業に必要な単位としては認定しません。

【令和5年度以降入学者用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 32 単位以上	英語を選択しない場合： 24 単位以上	①外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計32 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各2 単位を含めてE 科目計8 単位以上を含むこと。 ②人文・社会科学科目群から、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各2 単位を含めて、計20 単位以上修得すること。また、人文・社会科学科目群の7つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から4つ以上の異なる分野の科目の単位を修得すること。 ③自然科学科目群から計6 単位以上修得すること。その際、自然科学科目群の7つの分野（「数学」、「データ科学」、「物理学」、「化学」、「生物学」、「地球科学」、「図学」）から2つ以上の異なる分野の科目の単位を修得すること。 ④情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計6 単位以上修得すること。	
	英語を選択する場合： 20 単位以上			
	英語を選択しない場合： 12 単位以上			
	自然科学科目群			6 単位以上
	情報学科目群			6 単位以上
	健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群				
統合科学科目群	6 単位以上			
少人数教育科目群				
外国語科目群	英語を選択する場合： 24 単位以上	英語を選択しない場合： 24 単位以上	①外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計24 単位以上修得すること。 ②人文・社会科学科目群から計12 単位以上修得すること。また、人文・社会科学科目群の7つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から4つ以上の異なる分野の科目の単位を修得すること。 ③自然科学科目群から計6 単位以上修得すること。その際、自然科学科目群の7つの分野（「数学」、「データ科学」、「物理学」、「化学」、「生物学」、「地球科学」、「図学」）から2つ以上の異なる分野の科目の単位を修得すること。 ④情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計6 単位以上修得すること。	
	英語を選択する場合： 24 単位以上		英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む2 か国語を履修すること。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各2 単位計4 単位、計8 単位修得すること。	

	英語を選択しない場合：32 単位以上	英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語は外国人留学生のみ履修することができる。 外国人留学生は日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級から 16 単位まで修得を認める。
合計	56 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目の履修を推奨します。

「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」、「情報基礎 [全学向]」、「情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」、「数理・データ科学のための数学入門 I・II」、「データ分析基礎」、「データ分析演習 I・II」

- (2) 人文・社会科学科目群について

人文・社会科学科目群の 7 つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から 4 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得する必要があります。また、外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。

- (3) 人文・社会科学科目群科目「教育学 I」および「心理学 I」の履修について

- ① 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、教育学部専門科目として履修してください。教育学部専門科目として履修し単位を修得した場合、卒業要件の単位としては専門科目の選択科目に数えます。
- ② 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修してください。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 「教育学 I」または「心理学 I」において、全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

- (4) 自然科学科目群について

自然科学科目群の 7 つの分野（「数学」、「データ科学」、「物理学」、「化学」、「生物学」、「地球科学」、「図学」）から 2 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得する必要があります。また、「統計入門（文系向き）」を履修することを強く推奨し、「統計と人工知能」を履修することを推奨します。

- (5) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していた

が英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。

② スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

【平成 28 年度～令和 4 年度入学者用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 18 単位以上	英語を選択する場合： 48 単位以上	外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 48 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて E 科目計 8 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて人文・社会科学科目群から計 18 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。		
	英語を選択しない場合： 14 単位以上				
	自然科学科目群			6 単位以上	
	情報学科目群			英語を選択しない場合： 40 単位以上	外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 40 単位以上修得すること。なお、人文・社会科学科目群から計 14 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
	健康・スポーツ科目群				
	キャリア形成科目群				
	統合科学科目群				
少人数教育科目群					
外国語科目群	英語を選択する場合： 24 単位以上	英語を選択する場合： 24 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。		
	英語を選択しない場合： 32 単位以上			英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語は外国人留学生のみ履修することができる。 【令和 3 年度以降入学の外国人留学生】 日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級から 16 単位まで修得を認める。 【平成 28 年度～令和 2 年度入学の外国人留学生】 日本語の単位を、英語を除く 1 か国語 16 単位のうちの中・上級の 8 単位までに読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語上級、「経済・経営日本語（上級）I・II」（令和 2 年度より廃止）から 8 単位まで修得を認める。	
合計		72 単位以上			

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき34単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目の履修を推奨します。

「微積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」、「情報基礎 [全学向]」、「情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」、「数理・データ科学のための数学入門Ⅰ・Ⅱ」、「データ分析基礎」、「データ分析演習Ⅰ・Ⅱ」

(2) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」（2回生以上対象科目）各2単位計4単位を修得しなければなりません。

(3) 人文・社会科学科目群科目「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」の履修について

- ① 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、令和5年度以降全学共通科目として履修することができません。
- ② 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修することができます。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 令和4年度以前に「教育学Ⅰ」または「心理学Ⅰ」を全学共通科目として履修し単位を修得している場合（教育学部の教員が担当するクラスも含む）、令和5年度以降に教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）を履修して単位を修得すると、令和4年度以前に修得した全学共通科目としての単位は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されなくなります）。
- ④ 令和5年度以降、「教育学Ⅰ」または「心理学Ⅰ」において全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

(4) 自然科学科目群について

「統計入門」（文系向き）及び「統計と人工知能」を履修することを推奨します。

(5) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

【Kyoto iUP 生（令和5年度以降入学者）用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数（科目履修にあたっては担当教員と相談することが望ましい。）

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 20単位以上	英語を選択する場合： 32単位以上	①外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計32単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各2単位を含めてE科目計8単位以上を含むこと。 ②人文・社会科学科目群から、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各2単位を含めて、計20単位以上修得すること。
------------	----------------------	----------------------	---

	英語を選択しない場合：12 単位以上	英語を選択しない場合：24 単位以上	<p>③自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。</p> <p>④情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 6 単位以上修得すること。</p> <p>①外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 24 単位以上修得すること。</p> <p>②人文・社会科学科目群から計 12 単位以上修得すること。</p> <p>③自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。</p> <p>④情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 6 単位以上修得すること。</p>
自然科学科目群	6 単位以上	共通事項：外国語科目群の日本語中級、日本語上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認める。また、人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 7 年度不開講）は 2 単位まで認める。	
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群	英語を選択する場合：24 単位以上 英語を選択しない場合：32 単位以上	<p>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。</p> <p>英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。</p> <p>英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。</p> <p>日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。</p> <p>日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級の修得を認める。</p>	
合計	56 単位以上		

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

3. 指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

- ① 外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。
- ② 外国語科目群の「日本語」中・上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認めます。
- ③ 人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 7 年度不開講）は 2 単位まで修得すべき全学共通科目の単位

として認めます。

(2) 人文・社会科学科目群科目「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」の履修について

- ① 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、教育学部専門科目として履修してください。教育学部専門科目として履修し単位を修得した場合、卒業要件の単位としては専門科目の選択科目に数えます。
- ② 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修してください。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 「教育学Ⅰ」または「心理学Ⅰ」において、全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

(3) 自然科学科目群について

- ① 「統計入門」（文系向き）または「Introductory Statistics-E2」を履修することを強く推奨し、「統計と人工知能」または「Second Course in Statistics-E2」を履修することを推奨します。

(4) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

【Kyoto iUP 生（令和 3 年度～令和 4 年度入学者）用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数（科目履修にあたっては担当教員と相談することが望ましい。）

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合：48 単位以上 英語を選択する場合：18 単位以上 英語を選択しない場合：14 単位以上	英語を選択する場合：48 単位以上 英語を選択しない場合：40 単位以上	外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 48 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位を含めて E 科目計 8 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位を含めて人文・社会科学科目群から計 18 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上		外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 40 単位以上修得すること。なお、人文・社会科学科目群から計 14 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
情報学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		共通事項：外国語科目群の日本語中級、日本語上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認める。また、人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 7 年度不開講）は 2 単位まで認める。	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。

	英語を選択する場合：24 単位以上	英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。
	英語を選択しない場合：32 単位以上	英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級の修得を認める。
合計	72 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

3. 指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

- ① 外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。
- ② 外国語科目群の「日本語」中・上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認めます。
- ③ 人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 7 年度不開講）は 2 単位まで修得すべき全学共通科目の単位として認めます。

(2) 人文・社会科学科目群科目「教育学 I」および「心理学 I」の履修について

- ① 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、令和 5 年度以降全学共通科目として履修することができません。
- ② 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修することができます。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 令和 4 年度以前に「教育学 I」または「心理学 I」を全学共通科目として履修し単位を修得している場合（教育学部の教員が担当するクラスも含む）、令和 5 年度以降に教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）を履修して単位を修得すると、令和 4 年度以前に修得した全学共通科目としての単位は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されなくなります）。
- ④ 令和 5 年度以降、「教育学 I」または「心理学 I」において全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

(3) 自然科学科目群について

「統計入門（文系向き）または「Introductory Statistics-E2」及び「統計と人工知能」または「Second Course in Statistics-E2」を履修することを推奨します。

(4) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処

- 理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

法 学 部

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群※1	(平成 31 年度以降入学者) 16 単位以上	「外国文献講読 (法・英) I・II-E1」各 2 単位計 4 単位を修得すること。ただし、「法・政治・経済」分野の科目は 8 単位まで卒業に必要な単位として認める。
	(平成 28～30 年度入学者) 24 単位以上	「外国文献講読 (法・英) I・II-E1」各 2 単位計 4 単位を修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上	
統合科学科目群		
外国語科目群	24 単位以上	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること) のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 16 単位以上、計 24 単位以上修得すること。
情報学科目群	6 単位まで	
健康・スポーツ科目群	6 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	(平成 31 年度以降入学者) 56 単位以上※2	
	(平成 28～30 年度入学者) 64 単位以上	

※1 平成 31 年度までの入学者については、人文・社会科学科目群及び法学部基礎演習【学部教養科目】。

なお、法学部基礎演習は令和 2 年度より廃止された (令和 3 年度から新設の専門科目「法学政治学基礎演習」とは、別科目であるため混同しないこと)。

※2 法学部教養科目「法学部生のためのコンピュータ・プログラミング」を履修し修得した場合、4 単位まで含めることができる。詳細は、法学部教務掛で確認すること。

E 科目	上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献講読 (法・英) I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目 (科目群、E 科目のカテゴリーは問わない) から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、『法学部便覧』を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。

※なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J (法学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学科目群について

- ① 「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」（2回生以上対象科目）各2単位計4単位を修得しなければなりません。
- ② 平成31年度まで開講されていた法学部基礎演習は、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学科目群の科目と同じに扱われます。

なお、法学部基礎演習は、令和2年度より廃止されました（令和3年度から新設の専門科目「法学政治学基礎演習」は、別科目です）。

(3) 外国語科目群について

「フランス語Ⅰ（8Hコース）」は、16単位のうち12単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	・吉田カレッジオフィスが Kyoto iUP 留学生ごとに指定する外国語科目群日本語科目は、卒業に必要な単位として認める。 ・人文・社会科学科目群の「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各2単位計4単位を修得すること。 ・外国語科目群の「英語リーディング」計4単位を修得すること。
自然科学科目群	
統合科学科目群	
外国語科目群	
情報科学科目群	
健康・スポーツ科目群	
キャリア形成科目群	
少人数教育科目群	
合計	56 単位以上※

※法学部教養科目「法学部生のためのコンピュータ・プログラミング」を履修し修得した場合、4単位まで含めることができる。詳細は、法学部教務掛で確認すること。

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、法学部で確認してください。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J（法学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 履修や卒業要件において上記以外に学部の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和4年度以降入学者】

卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数は、2 回生以降に初修外国語（中・上級）を継続する場合と、データ科学分野選択制度（初修外国語（中・上級）に代えて「データ科学分野」科目を選択できる制度）を利用する場合とで、修得すべき外国語科目群、自然科学科目群の単位数が異なります。データ科学分野選択制度に関する手続きおよび注意点については「学生便覧（経済学部）」を参照してください。

初修外国語の継続を選択する場合

人文・社会科学科目群	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」計4単位を含む14単位以上	32 単位以上 (各科目群が個別に求める最少単位数の合計28単位より4単位多い)	32 単位の中に、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」以外の任意の科目群のE科目4単位以上を含むこと。 (このE科目は科目群の区別なく自由に選べるので、全体では28単位より4単位多い。E科目については下欄の表を確認すること。) ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計4単位を超えて修得することはできない。
自然科学科目群	8 単位以上		
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群	24 単位以上	「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング・リスニングA・B」各2単位計4単位、合わせて8単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）は、初級から8単位以上、中・上級から8単位以上、1か国語につき計16単位以上修得すること。 日本語（外国人留学生のみ選択可能）は、日本語上級から計16単位修得すること。	
合計	56 単位以上		

E 科目	上記の単位数のうち8単位以上含むこと	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」から4単位、それ以外のE科目（科目群、E科目のカテゴリーは問わない）から4単位以上、計8単位以上を含めなければならない。 ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計4単位を超えて修得することはできません。
------	--------------------	--

データ科学分野選択制度を利用する場合

人文・社会科学科目群	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」計4単位を含む14単位以上	40 単位以上 (各科目群が個別に求める最少単位数の合計36単位より4単位多い)	40 単位の中に、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」以外の任意の科目群のE科目4単位以上を含むこと。 (このE科目は科目群の区別なく自由に選べるので、全体では36単位より4単位多い。E科目については下欄の表を確認すること。) ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計4単位を超えて修得することはできない。
自然科学科目群	データ科学分野（「統計入門」、「Introductory Statistics-E2」を除く）8 単位以上を含む16 単位以上		
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			

外国語科目群	16 単位以上	「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、合わせて 8 単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）は、初級から 1 か国語 8 単位以上修得すること。 日本語（外国人留学生のみ選択可能）は、日本語上級から計 8 単位修得すること。
合計	56 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」から 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。 ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計 4 単位を超えて修得することはできません。
------	----------------------	---

【令和 3 年度以前入学者】

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 14 単位以上 英語を選択しない場合： 10 単位以上	英語を選択する場合： 32 単位以上 （左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計ではない。右記に従うこと） 英語を選択しない場合： 24 単位以上 （左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計である）	英語を選択する場合： 各科目群が要求する最少の単位数の合計 28 単位に加えて、外国語科目群を除く任意の科目群から 4 単位以上を修得すること。人文・社会科学科目群においては「外国文献研究（経・英）A・B-E1」計 4 単位を含むこと。かつ、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」以外の任意の科目群の E 科目 4 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計 4 単位を超えて修得することはできない。 （E 科目については下欄の表を確認すること）
自然科学科目群	8 単位以上		
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 2 か国語を履修すること。 ただし、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 英語は、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）は、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語は、日本語上級、「経済・経営日本語（上級）I・II」（令和 2 年度より廃止）から計 16 単位を修得すること。	
合計		56 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」から 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	---------------------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位（全学共通科目の上限は 26 単位）です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「学生便覧（経済学部）」を参照してください。学部科目の入門科目と専門基礎科目について、選択必修制度を導入しているため、学部科目及び全学共通科目のバランスを考え、履修登録することが必要です。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 各群における指示事項

（令和 4 年度以降入学者）

(1) 人文・社会科学科目群について

必ず「外国文献研究（経・英）A・B-E1」（2 回生以上対象科目）の単位を修得してください。ただし、計 4 単位を超えて修得することはできません。

(2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記 a. の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による入学者および理論的分析やデータ科学分野に関心のある学生は、理系学部指定の数学の講義 b. を履修することを強く推奨します。

a. 文系用数学講義（経済学一般の学習やデータ科学分野を学ぶ上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

「線形代数学 A・B [文系]（合せて 4 単位）」「微分積分学 [文系]（2 単位）」または「数学基礎 A・B（合せて 8 単位）」を履修してください。ただし、令和 7（2025）年度以降入学者は、1 回生で「線形代数学 A・B [文系]」「微分積分学 [文系]」がクラス指定となっています。

b. 理系用数学講義（理論的分析やデータ科学分野を学ぶ上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

「微分積分学（講義・演義）A・B（合せて 6 単位）」、「線形代数学（講義・演義）A・B（合せて 6 単位）」を履修してください。なお、1 回生がこれらの科目を履修する場合は、特別履修の手続き（p.49～参照）が必要になりますので、所定の期間内に履修手続きを行ってください。2 回生以上は担当教員の許可を得て履修登録をしてください。

上記 b. を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論 I・II（合せて 4 単位）」「線形代数学統論（2 単位）」を履修することを推奨します。

なお、データ科学分野のうち、「統計入門」「Introductory Statistics-E2」はデータ科学分野選択制度の対象から除外し、通常自然科学科目群として取り扱います。（「統計入門」の内容を含みながら、より経済学に即した講義内容である、学部入門科目の「統計学 1」の履修をすすめます。）詳しくは「学生便覧（経済学部）」を参照してください。

(3) 外国語科目群について

① 英語について、外国語科目群から「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、合わせて 8 単位修得してください。なお入学時点で高い英語能力を持つ者は、後者の科目に代えて、「英語ライティングーリスニング A・B（上級）」の履修を認める場合があります。詳細は、本誌「II. 全学共通科目の履修について」や KULASIS での広報を参照してください。

② 「フランス語 I（8H コース）」は 16 単位中 8 単位のみ、「ドイツ語 I（6H コース）」「ドイツ語 II（6H コース）」「フランス語 II（6H コース）」は 12 単位中 8 単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。

③ 「スペイン語 I（会話）」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。

④ 初修外国語の履修において、「初修外国語初級免除」の場合は、卒業に必要な単位数を中級以上で修得してください。なお、初級免除を受けた場合は、必ず経済学部教務掛へ申し出てください。

(4) E科目について

- ① 英語の学習は、外国語科目群（英語）に加え、E科目の履修によって行ってください。E科目は8単位以上修得してください。ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計4単位を超えて修得することはできません。
- ② 「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は重複履修が認められます。例えば「外国文献研究（経・英）A-E1」を4単位修得した場合、4単位とも、修得すべき全学共通科目の単位として認められます。ただし、同一科目かつ同一教員の科目の履修は避けてください。1開講期に履修できるのは、1科目のみです。
- ③ E科目を修得すると、そのE科目が属する科目群の単位数としてカウントされます。したがってE科目を修得するほど、各科目群の要求する単位数を満たすことができます。
- ④ 外国語科目群を除く7科目群について、各科目群が求める最少の単位数の合計と、7科目群が全体として求める単位数は、後者の方が4単位多く定められています。これは、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」を除くE科目に求める最少4単位を、科目群の制約なく自由に選べるようにするためです。4単位の差に注意してください。

例 初修外国語の継続を選択した場合、7科目群の各科目群の合計は28単位、7科目群が全体として求める単位数は32単位です。またデータ科学分野選択制度を利用した場合、7科目群の各科目群の合計は36単位、7科目群が全体として求める単位数は40単位です。両ケースにおいて、仮に各科目群が求める各単位数をすべてE科目以外で満たした場合、さらに7科目群の任意のE科目4単位以上を修得する必要があります。（逆に、仮に各科目群が求める各単位数をすべてE科目で満たしたとしても、7科目群が全体として求める単位数には足りません。）

（令和3年度以前入学者）

(1) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群において英語を選択しない場合でも「外国文献研究（経・英）A・B-E1」（2回生以上対象科目）は修得できますが、修得すべき全学共通科目の単位としては認めません。

(2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記a.の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学の講義b.を履修することを強く推奨します。

a. 文系用数学講義（経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す）

「線形代数学A・B [文系]（合せて4単位）」「微分積分学 [文系]（2単位）」または「数学基礎A・B（合せて8単位）」を履修してください。ただし、令和7（2025）年度以降入学者は、1回生で「線形代数学A・B [文系]」「微分積分学 [文系]」がクラス指定となっています。

b. 理系用数学講義（理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

「微分積分学（講義・演義）A・B（合せて6単位）」、「線形代数学（講義・演義）A・B（合せて6単位）」を履修してください。なお、2回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。

上記b.を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論Ⅰ・Ⅱ（合せて4単位）」、「線形代数学統論（2単位）」を履修することを推奨します。

(3) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② 「フランス語Ⅰ（8Hコース）」は16単位中8単位のみ、「ドイツ語Ⅰ（6Hコース）」「ドイツ語Ⅱ（6Hコース）」「フランス語Ⅱ（6Hコース）」は12単位中8単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。
- ③ 「スペイン語Ⅰ（会話）」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。
- ④ 初修外国語の履修において、「初修外国語初級免除」の場合は、卒業に必要な単位数を中級以上で修得してください。なお、初級免除を受けた場合は、必ず経済学部教務掛へ申し出てください。

(4) E科目について

- ① 外国語科目群において英語を選択するか否かにかかわらず、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は4単位を超えて修得することはできません。

② 「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は重複履修が認められます。例えば「外国文献研究（経・英）A-E1」を4単位修得した場合、4単位とも、修得すべき全学共通科目の単位として認められます。ただし、同一科目かつ同一教員の科目の履修は避けてください。1開講期に履修できるのは、1科目のみです。

③ E科目を修得すると、そのE科目が属する科目群の単位数としてカウントされます。したがってE科目を修得するほど、各科目群の要求する単位数を満たすことができます。そのため、英語を選択する場合、E科目を8単位以上修得しながら、各科目群の要求する単位数を最少単位数で満たした場合、先の表に述べられている通り、7科目群で計32単位以上という要件を満たさないことに注意してください。

例 人文・社会科学科目群から、E科目「外国文献研究（経・英）A・B-E1」を4単位、その他E科目を4単位修得しながら（E科目計8単位）、人文・社会科学科目群の単位数を最少単位数の14単位で満たし、かつ、他の6科目群の要求する単位数を最少単位数で満たしても、これらの合計単位数は28単位に過ぎません。この場合、さらに任意の科目を7科目群の中から4単位以上修得する必要があります。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	24 単位以上	人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和7年度不開講）は2単位まで認める。
自然科学科目群	8 単位以上		
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群	32 単位以上	下記の中から選択し32単位を修得すること。 ・「英語リーディング」 ・「英語ライティングーリスニング A・B」 ・初修外国語（母国語を除く。ただし日本語については、経済学部が指定する日本語上級及び Kyoto iUP 生専用日本語科目のみ認める。）	
合計	56 単位以上		

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。
------	------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

（令和2年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位（全学共通科目の上限は26単位）です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「学生便覧（経済学部）」を参照してください。学部科目の入門科目と専門基礎科目について、選択必修制度を導入しているため、学部科目及び全学共通科目のバランスを考え、履修登録することが必要です。

3. 各群における指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和7年度不開講）は2単位まで修得すべき全学共通科目の単位として認めます。「外国文献研究（経・英）A・B-E1」（2回生以上対象科目）は修得できますが、修得すべき全学共通科目の単位としては認めません。

(2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記 a. の講義を履修することを強く推奨します。また、理論的分析やデータ科学分野に関心のある学生は、理系学部指定の数学の講義 b. を履修することを強く推奨します。

a. 文系用数学講義（経済学一般の学習やデータ科学分野を学ぶ上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

「線形代数学 A・B [文系] (合せて 4 単位)」「微分積分学 [文系] (2 単位)」または「数学基礎 A・B (合せて 8 単位)」を履修してください。ただし、令和 7 (2025) 年度以降入学者は、1 回生で「線形代数学 A・B [文系]」「微分積分学 [文系]」がクラス指定となっています。

b. 理系用数学講義 (理論的分析やデータ科学分野を学ぶ上で最低限必要な数学力の修得を目指す)

「微分積分学 (講義・演義) A・B (合せて 6 単位)」、「線形代数学 (講義・演義) A・B (合せて 6 単位)」を履修してください。なお、1 回生がこれらの科目を履修するときは、特別履修の手続き (p.49~参照) が必要になりますので、所定の期間内に履修手続きを行ってください。2 回生以上は担当教員の許可を得て履修登録をしてください。

上記 b.を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論 I・II (合せて 4 単位)」、「線形代数学統論 (2 単位)」を履修することを推奨します。

(3) 外国語科目群について

- ① 外国語の履修については、学生の日本語レベルに応じて履修指導を行います。
- ② 「フランス語 I (8H コース)」は 16 単位中 8 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」「ドイツ語 II (6H コース)」「フランス語 II (6H コース)」は 12 単位中 8 単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。
- ③ 「スペイン語 I (会話)」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上 24 単位まで	令和 6 年度 以降 入 学 者	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から3つ以上の異なる分野の科目の単位を修得することを必要要件とする。 ・人文・社会科学科目群において、卒業単位として認める上記の7つの分野に含まれるE科目について、「基礎」科目の履修を推奨する。 ・外国人留学生が留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な3つ以上の異なる分野の1つとしては認めないが、卒業に必要な単位としては認める。
		平成 28～ 令和 5 年度 入 学 者	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から3つ以上の異なる分野の科目の単位を修得することを必要要件とする。 ・人文・社会科学科目群において、卒業単位として認める上記の7つの分野に含まれるE科目は4単位まで卒業に必要な単位として認める。 ・平成29年度以降入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な3つ以上の異なる分野の1つとしては認めないが、卒業に必要な単位としては認める。 ・平成28年度入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な3つ以上の異なる分野の1つとしても、卒業に必要な単位としても認めない。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 8 単位以上 12 単位まで。計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。ただし、日本語は外国人留学生のみとし、日本語中級・日本語上級を修得した場合、卒業に必要な単位として認める。
情報学科目群	4 単位まで		専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	4 単位まで		
専門基礎科目	24 単位以上 38 単位まで		理学部が専門基礎科目に指定した全学共通科目及び理学部学部科目
合計	52 単位以上		

E 科目

上記の卒業に必要な単位として認定される E 科目は、開講科目群の単位（専門基礎科目の場合は専門基礎科目の単位）及び E 科目の単位として認定される。専門基礎科目の単位として認定される科目については、次表の「理学部が専門基礎科目に指定した E2 科目」を参照。（理学部冊子「2025 年度教科の手引き」の「2025 年度開講専門基礎科目」にも掲載。）上記の単位として認定されない E 科目であっても、E 科目の単位としては認定される。E 科目を計 4 単位以上修得することを卒業要件とする。

理学部が専門基礎科目に指定した E2 科目

科目名	単位数	科目名	単位数
自然科学科目群			
Honors Mathematics A-E2	2	Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	2
Honors Mathematics B-E2	2	Organic Chemistry of Life-E2	2
Advanced Linear Algebra-E2 (令和7年度不開講)	2	Fundamental Chemical Experiments-E2	2
Mathematical Statistics-E2 ※	2	Introduction to Surface Chemistry-E2	2
Introductory Statistics-E2	2	Thermodynamics in Everyday Life-E2	2
Second Course in Statistics-E2 ※	2	Introduction to Earth Science B-E2	2
Nonlinear Mathematics-E2 (令和7年度不開講)	2	Advanced Practice of Earth Science-E2 (令和7年度不開講)	4
Function Theory of a Complex Variable-E2	2	Field Earth Science-E2	2
Fundamental Physics A-E2	2	Introduction to Mineral Resources-E2	2
Fundamental Physics B-E2	2	Fundamentals of Organismal and Population Biology-E2	2
Elementary Course of Physics A-E2	2	Fundamentals of Cell and Molecular Biology-E2	2
Elementary Course of Physics B-E2 (令和7年度不開講)	2	Introduction to Biology and Life Science-E2	2
Thermodynamics-E2	2	Introduction to Plant Science-E2	2
Elementary Experimental Physics-E2	2	Introduction to Biochemistry-E2	2
Theory of Special Relativity-E2	2	Principles of Genetics-E2	2
Advanced Course of Electromagnetism-E2	2	Basic Plant Science-E2 (令和7年度不開講)	2
Soft Matter Physics-E2:From Condensed Matter to Life	2	Introductory Plant Ecology-E2	2
Introduction to General Astronomy-E2	2	Basic Biology-E2	2
Introduction to Cosmology-E2	2	Introduction to Genetics and Evolution-E2	2
Essentials of Basic Physical Chemistry-E2	2	Introduction to Ecology and Evolution-E2	2
Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	2	Animal Behavior-E2 (令和7年度より廃止)	2
Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	2	Biological Sciences through Scientific Articles I-E2	2
Basic Organic Chemistry I-E2	2	Biological Sciences through Scientific Articles II-E2	2
Basic Organic Chemistry II-E2	2	Introduction to Ecology-E2 (令和2年度より廃止)	2
Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	2	Introduction to Evolution-E2 (令和2年度より廃止)	2
統合科学科目群			
Interdisciplinary Sciences-E2:Global Changes ※	2		

※令和4年度以降に履修し修得した場合、理学部専門基礎科目として認定されます。

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位(1回生前期のみ34単位)です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、理学部冊子「2025年度教科の手引き」を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき34単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

本年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2025年度 教科の手引き』の「系登録および卒業のための履修要件、科目区分、専門基礎科目」のページを参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上 24 単位まで	<ul style="list-style-type: none"> ・修得した外国語科目群の「日本語 初級・中級・上級」の単位のうち 8 単位まで、人文・社会科学科目群の科目として認める。これに加えて、指導教員及び学部教務委員会が認めた場合、さらに 12 単位まで「日本語 初級・中級・上級」の単位を人文・社会科学科目群の単位として認めることがある。また、人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 7 年度不開講）は 2 単位まで認める。 ・上記に加えて、人文・社会科学科目群から 2 単位以上修得することとし、そのうち 2 単位は日本語で開講される科目の履修を推奨する。 ・令和 5 年度入学者については、人文・社会科学科目群の E 科目は 4 単位までを卒業単位として認める。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、日本語 8 単位を修得すること。上記に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語から 4 単位まで修得を認める。
情報学科目群	4 単位まで	専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群	4 単位まで	
専門基礎科目	24 単位以上 38 単位まで	理学部が専門基礎科目に指定した全学共通科目及び理学部学部科目
合計	52 単位以上	

E 科目	上記の卒業に必要な単位として認定される E 科目は、開講科目群の単位（専門基礎科目の場合は専門基礎科目の単位）及び E 科目の単位として認定される。上記の単位として認定されない E 科目であっても、E 科目の単位としては認定される。E 科目を計 4 単位以上修得することを卒業要件とする。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位（1 回生前期のみ 34 単位）です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、理学部冊子「2025 年度教科の手引き」を参照してください。

3. 指示事項

本年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2025 年度 教科の手引き』の「系登録および卒業のための履修要件、科目区分、専門基礎科目」のページを参照してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	18 単位以上		うち 2 単位は情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群の科目で代替可能。	
自然科学科目群	平成 30 年度以降入学者：18 単位以上	平成 30 年度以降入学者：44 単位以上	平成 31 年度以降入学者： 必修科目 8 単位及び選択必修科目 4 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上を含む計 18 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(1) 自然科学科目群について 参照】	
	平成 28,29 年度入学者：20 単位以上	平成 28,29 年度入学者：46 単位以上	平成 30 年度入学者： 必修科目 8 単位及び選択必修科目 8 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上を含む計 18 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(1) 自然科学科目群について 参照】	
			平成 28, 29 年度入学者： 必修科目 14 単位及び選択必修科目 4 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上、計 20 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(1) 自然科学科目群について 参照】	
	健康・スポーツ科目群	2 単位以上		必修科目「医学概論」2 単位を含む。
	キャリア形成科目群	2 単位以上		必修科目「臨床コミュニケーション (医・英) -E3」2 単位を含む。
情報学科目群				
統合科学科目群				
少人数教育科目群				
外国語科目群		16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語またはフランス語から 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(2) 外国語科目群について 参照】	
合計		平成 30 年度以降入学者：60 単位以上 平成 28, 29 年度入学者：62 単位以上	上記の各科目群の必要単位数を満たし、下記 E 科目欄の指示に従って E 科目を平成 31 年度以降入学者は計 6 単位以上、平成 28～30 年度入学者は計 4 単位以上含んで、平成 30 年度以降入学者は計 60 単位以上、平成 28, 29 年度入学者は計 62 単位以上修得すること。	

E 科目	平成 31 年度以降入学者： 上記の単位数のうち 6 単位以上含むこと	平成 31 年度以降入学者： E 科目の選択必修科目 4 単位以上を含む計 6 単位以上を含めなければならない（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）。 なお、以下の科目は卒業に必要な E 科目として認定しない。 ・ Introduction to Biochemistry-E2（自然科学科目群の必修科目） ・ Introductory Statistics-E2（自然科学科目群必修科目「統計入門」に対応する科目） ・ 臨床コミュニケーション (医・英) -E3（キャリア形成科目群必修科目）
	平成 28～30 年度入学者： 上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	平成 28～30 年度入学者： E 科目の選択必修科目 2 単位以上を含む計 4 単位以上を含めなければならない（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）。

		<p>なお、以下の科目は卒業に必要な E 科目として認定しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Introduction to Biochemistry-E2 (自然科学科目群の必修科目) ・ Introductory Statistics-E2 (自然科学科目群必修科目「統計入門」に対応する科目) ・ Introduction to Molecular Biotechnology-E2 (自然科学科目群選択必修科目) ・ Principles of Genetics-E2 (自然科学科目群選択必修科目) ・ 臨床コミュニケーション (医・英) -E3 (キャリア形成科目群必修科目) <p>【3. 指示事項(3) E 科目について 参照】</p>
--	--	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、30単位を目安に各回生の学期によって異なります。

各回生、学期の上限単位数は、1回生前期 36 単位、後期 34 単位、2回生前期・後期 36 単位、3回生以降は 30 単位です。

あわせて、上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、医学部医学科の教科の手引きを参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 自然科学科目群について

① 「Ⅲ. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.126～)において対象学生が「文系向」となっている科目、及び「数学」「物理学」「化学」「生物学」分野以外の科目については、医学部医学科では自然科学科目群として認められませんので、注意してください。

② 必修科目

【平成30年度以降入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1回生クラス指定科目
細胞と分子の基礎生物学	2	1回生クラス指定科目 ※
分子遺伝学	2	
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時限は医学部医学科より別途指定

※「細胞と分子の基礎生物学」は、医学科指定クラス以外は必修科目として認めません。

【平成28,29年度入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1回生クラス指定科目
細胞と分子の基礎生物学	2	1回生クラス指定科目 ※
分子遺伝学	2	
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時限は医学部医学科より別途指定
物理学基礎論 A	2	1回生クラス指定科目
物理学基礎論 B	2	1回生クラス指定科目
基礎有機化学 I	2	1回生クラス指定科目

※「細胞と分子の基礎生物学」は、医学科指定クラス以外は必修科目として認めません。

③ 選択必修科目

【平成31年度以降入学者】

下記、講義科目より4単位以上、修得してください。

	科目名	単位数	備考
講義科目	物理学基礎論A	2	1回生クラス指定科目
	物理学基礎論B	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 II	2	1回生クラス指定科目

【平成 30 年度入学者】

下記、講義科目①より 4 単位以上、講義科目②より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 8 単位以上修得してください（◎は選択履修することを特に推奨する科目）。

	科目名	単位数	備考
講義科目①	物理学基礎論A	2	1回生クラス指定科目
	物理学基礎論B	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 II	2	1回生クラス指定科目
講義科目②	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

【平成 28, 29 年度入学者】

下記、講義科目より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 4 単位以上修得してください（◎は選択履修することを特に推奨する科目）。

	科目名	単位数	備考
講義科目	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

- ④ 「数学」分野の科目から 2 単位以上修得しなければなりません。

医学のあらゆる領域で数学の必要性が高いため「微分積分学（講義・演義）A」「線形代数学（講義・演義）A」の履修を推奨します。

- (2) 外国語科目群について

初修外国語はドイツ語、又はフランス語から次のとおり修得してください。

- ✧ ドイツ語を選択する場合

「ドイツ語 IA（文法）・IB（文法）」と「ドイツ語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計 8 単位以上。

- ✧ フランス語を選択する場合

「フランス語 IA（文法）・IB（文法）」と「フランス語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計 8 単位以上。

- (3) E 科目について

【平成 31 年度以降入学者】

下記選択必修科目より 4 単位以上を含み、E 科目から計 6 単位以上修得してください。

科目名	単位数	備考
Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
Principles of Genetics-E2	2	
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	2	3回生以上の履修推奨※

Introduction to Medical Psychology-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Processing and Analyzing Data I-E2 : Shell-based data processing fundamentals	2	
ILAS Seminar-E2 : Project-based data analysis seminar (プロジェクト型データ解析)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Global Health (グローバルヘルス)	2	令和7年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Socio-epidemiology in health research (ヘルスリサーチにおける社会疫学)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Disease (人類遺伝学と遺伝病入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Stem and iPS Cells (幹細胞と iPS 細胞入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Biochemistry Principles (生化学の塾)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Biomedical Presentation and Debate (医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	2	
ILAS Seminar-E2 : Decoding the Fundamentals of Cancer Biology (がんの生物学)	2	ILAS Seminar-E2 : Decoding Human Diseases & Medicine(病気のバイオメディカルサイエンス) より科目名 (副題) 変更
ILAS Seminar-E2 : Introduction to life science and scientific conversation (生命科学へのいざない)	2	令和6年度より廃止
アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3	2	令和7年度不開講
Fundamentals of Neuroscience-E2	2	令和3年度より廃止
Introduction to Human Physiology-E2	2	令和3年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Computational Neuroscience (計算論的神経科学入門)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Minds and Machines- Can a Machine Think (心と機械)	2	令和6年度より廃止
Nutrition and Health-E2	2	令和7年度不開講
Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	2	令和7年度不開講
ILAS Seminar-E2 : Ethical issues in Health sciences (健康科学における倫理的課題)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Critical thinking and Communication skills (批判的思考とコミュニケーション・スキル)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Applying Data Science to Healthcare - Novel Approaches in Modern Epidemiology (データサイエンスで見る医療-進化している疫学の新たなアプローチ)	2	令和7年度不開講
ILAS Seminar-E2 : From Traditional Herbal Remedies to Robotics and Gene Editing: Breakthroughs in Medical Treatments (漢方からロボット手術と遺伝子編集まで: 治療におけるブレイクスルー)	2	令和7年度不開講
ILAS Seminar-E2 : It's a Bug's Life - bacteria and viruses (微生物の世界へようこそ)	2	
Microorganisms in our Lives-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : How to make scientific Breakthrough- Learning from Nobel discoveries (基礎生物学の発見から疾患の理解へ)	2	
Introduction to Immunology-E2 : The body's defense system	2	
ILAS Seminar-E2 : Psychology of Addiction (依存症の心理学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Physiological Neuroscience (生理学的神経科学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Disorders of the Nervous System (神経系障害)	2	

※医学科専門科目との順次性を考慮し、医学科生の履修を推奨する回生を記載しています。

【平成 28～30 年度入学者】

下記選択必修科目より 2 単位以上を含み、E 科目から計 4 単位以上修得してください。

科目名	単位数	備考
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Medical Psychology-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Processing and Analyzing Data I-E2 : Shell-based data processing fundamentals	2	
ILAS Seminar-E2 : Project-based data analysis seminar (プロジェクト型データ解析)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Global Health (グローバルヘルス)	2	令和7年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Socio-epidemiology in health research (ヘルスリサーチにおける社会疫学)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Disease (人類遺伝学と遺伝病入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Stem and iPS Cells (幹細胞と iPS 細胞入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Biochemistry Principles (生化学の塾)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Biomedical Presentation and Debate (医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	2	
ILAS Seminar-E2 : Decoding the Fundamentals of Cancer Biology (がんの生物学)	2	ILAS Seminar-E2 : Decoding Human Diseases & Medicine(病気のバイオメディカルサイエンス) より科目名 (副題) 変更

ILAS Seminar-E2 : Introduction to life science and scientific conversation (生命科学へのいざない)	2	令和6年度より廃止
アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3	2	令和7年度不開講
Fundamentals of Neuroscience-E2	2	令和3年度より廃止
Introduction to Human Physiology-E2	2	令和3年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Computational Neuroscience (計算論的神経科学入門)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Minds and Machines- Can a Machine Think (心と機械)	2	令和6年度より廃止
Nutrition and Health-E2	2	令和7年度不開講
Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	2	令和7年度不開講
ILAS Seminar-E2 : Ethical issues in Health sciences (健康科学における倫理的課題)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Critical thinking and Communication skills (批判的思考とコミュニケーション・スキル)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Applying Data Science to Healthcare - Novel Approaches in Modern Epidemiology (データサイエンスで見る医療-進化している疫学の新たなアプローチ)	2	令和7年度不開講
ILAS Seminar-E2 : From Traditional Herbal Remedies to Robotics and Gene Editing: Breakthroughs in Medical Treatments (漢方からロボット手術と遺伝子編集まで: 治療におけるブレイクスルー)	2	令和7年度不開講
ILAS Seminar-E2 : It's a Bug's Life - bacteria and viruses (微生物の世界へようこそ)	2	
Microorganisms in our Lives-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : How to make scientific Breakthrough- Learning from Nobel discoveries (基礎生物学の発見から疾患の理解へ)	2	
Introduction to Immunology-E2 : The body's defense system	2	
ILAS Seminar-E2 : Psychology of Addiction (依存症の心理学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Physiological Neuroscience (生理学的神経科学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Disorders of the Nervous System (神経系障害)	2	

※医学科専門科目との順次性を考慮し、医学科生の履修を推奨する回生を記載しています。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	8 単位以上※	履修することが望ましい科目は下表を参照。 英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。	
自然科学科目群	10 単位以上			
外国語科目群	16 単位以上			
情報学科目群	10 単位以上			履修することが望ましい科目は下表を参照。
健康・スポーツ科目群				履修することが望ましい科目は下表を参照。
キャリア形成科目群				
統合科学科目群				
少人数教育科目群				
合計	54 単位以上			

※各科目群の必要単位数を満たしたうえで、8 科目群より自由選択で 8 単位以上修得すること。

（総合医療科学コースでは、うち 8 単位を自然科学科目群から選択すること。）

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。 うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むこと。 （学科が推薦する E 科目（E2）は次表を参照）
------	-------------------------	---

履修することが望ましい科目

科目名	単位数	選択履修区分	群
微分積分学（講義・演義）A	3	○	自然科学科目群
微分積分学（講義・演義）B	3	○	同上
線形代数学（講義・演義）A	3	○	同上
線形代数学（講義・演義）B	3	○	同上
物理学基礎論 A	2	○※1	同上
物理学基礎論 B	2	○※1	同上
物理学実験	2	○※2	同上
基礎化学実験	2	○※2	同上
基礎有機化学 I	2	○	同上
細胞と分子の基礎生物学	2	◎	同上
統計入門	2	○	同上
情報基礎演習	2	◎	情報学科目群
情報基礎	2	◎	同上
スポーツ実習 I A または I B	1	○	健康・スポーツ科目群
健康・生命科学入門	2	◎	同上
「薬の世界」入門	2	○	同上
リハビリテーション概論	2	○	同上

◎：履修することを強く推奨する科目 ○：履修することが望ましい科目

※1：総合医療科学コースでは、高校で物理を選択しなかった学生には、物理学基礎論 A および B に替えて初修物理学 A および初修物理学 B の履修を強く推奨する。

※2：総合医療科学コースでは選択必修（総合医療科学コースでは物理学実験または基礎化学実験のどちらかの単位を修得することが卒業要件となっているため、同コースを選択する可能性がある場合には履修し、単位を修得すること。総合医療科学コースにて臨床検査教育プログラムを履修しない令和 6 年度以降入学者は、物理学実験の単位の修得が総合医療科学特別セミナーI の履修要件となっているため、物理学実験の単位を修得すること。なお、高校で物理を選択しなかった学生には、※1 の通り初修物理学 A および初修物理学 B の履修を強く推奨する。）

学科が推薦する E 科目 (E2) ※

科目名	単位数	群
Data Analysis Practice II-E2	2	自然科学科目群
Structures and Mechanisms of Human Movement-E2	2	健康・スポーツ科目群
Introduction to Basic Concepts of Health Psychology-E2 : Health Behavior and Behavior Change (Introduction to Basic Concepts of Health Psychology-E2 : Communication Issues and Decision-making in Patient Care より 科目名 (副題) 変更)	2	同 上
Cultural Aspects of Health Care-E2	2	同 上

※E2 科目は人数制限があるので注意すること。

学科が推薦する E 科目 (ILAS Seminar-E2) ※

科目名	単位数	群
ILAS Seminar-E2: Let's create 3D computer animations (三次元アニメーションを作ってみよう)	2	少人数教育科目群
ILAS Seminar-E2: Let's simulate human movement (コンピューターで人を動かしてみよう)	2	同 上
ILAS Seminar-E2 :Current issues in palliative care- the International Context (ヨーロッパにおける緩和ケア)	2	同 上
ILAS Seminar-E2 : Qualitative research methods in health care (ヘルスケアにおける質的研究)	2	同 上

※ILAS Seminar-E2 は少人数教育科目群のため人数制限があるので注意すること。

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、SCHOOL LIFE 2025 を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

工学部地球工学科国際コース向け科目は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群の科目を卒業に必要な単位として認定します。

薬学部 <各学科共通>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	必修科目 10 単位、選択必修科目および選択科目 22 単位以上（選択必修科目 12 単位以上を含む）、計 32 単位以上修得すること。
自然科学科目群	32 単位以上	
情報科学科目群		
健康・スポーツ科目群		
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
キャリア形成科目群	6 単位以上	キャリア形成科目群の必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）を含め計 6 単位以上修得すること。
統合科学科目群		
少人数教育科目群		
合計	64 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	----------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「薬学部 学生便覧・シラバス」を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 自然科学科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群について
必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、下表のとおりです。

【令和 4 年度以降入学者】

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学（熱力学）	2	薬学部開講科目（自然科学科目群）
	基礎有機化学 I	2	同上（同上）
	基礎有機化学 II	2	同上（同上）
	基礎化学実験	2	（自然科学科目群）
	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目（健康・スポーツ科目群）
選択必修科目	微分積分学（講義・演義）A	3	（自然科学科目群）
	微分積分学（講義・演義）B	3	（同上）
	線形代数学（講義・演義）A	3	（同上）
	線形代数学（講義・演義）B	3	（同上）
	物理学基礎論 A	2	（同上）
	物理学基礎論 B	2	（同上）
	熱力学	2	（同上）
	物理学実験	2	（同上）
	生物学実習 III	2	（同上）
	統計入門	2	（同上）
	Introduction to Molecular Cell Biology-E2 ※	2	（同上）

	Basic Biology and Metabolism-E2	2	(同 上)
	Introduction to Biosciences-E2	2	(同 上)
	Introduction to Biological Data Analysis-E2	2	(同 上)
	Introduction to Computational Molecular Biology-E2	2	(同 上)
	健康・生命科学入門	2	薬学部開講科目 (健康・スポーツ科目群)
	情報基礎 [薬学部]	2	薬学部開講科目 (情報学科目群)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同 上 (同 上)
選択科目	上記以外の科目		

※令和7年度不開講

【平成30年度～令和3年度入学者】

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学 (熱力学)	2	薬学部開講科目 (自然科学科目群)
	基礎有機化学 I	2	同 上 (同 上)
	基礎有機化学 II	2	同 上 (同 上)
	基礎化学実験	2	(自然科学科目群)
	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目 (健康・スポーツ科目群)
選択必修科目	微分積分学 (講義・演義) A	3	(自然科学科目群)
	微分積分学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) A	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	物理学基礎論 A	2	(同 上)
	物理学基礎論 B	2	(同 上)
	熱力学	2	(同 上)
	物理学実験	2	(同 上)
	生物学実習Ⅲ	2	(同 上)
	統計入門	2	(同 上)
	健康・生命科学入門	2	薬学部開講科目 (健康・スポーツ科目群)
	薬用植物学 (令和6年度より廃止)	2	同 上 (同 上)
	情報基礎 [薬学部]	2	薬学部開講科目 (情報学科目群)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同 上 (同 上)
	選択科目	上記以外の科目	

【平成28,29年度入学者】

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学 (熱力学)	2	薬学部提供科目 (自然科学科目群)
	基礎有機化学 I	2	同 上 (同 上)
	基礎有機化学 II	2	同 上 (同 上)
	「薬の世界」入門	2	同 上 (健康・スポーツ科目群)
	健康・生命科学入門	2	同 上 (同 上)
選択必修科目	微分積分学 (講義・演義) A	3	(自然科学科目群)
	微分積分学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) A	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	物理学基礎論 A	2	(同 上)
	物理学基礎論 B	2	(同 上)
	熱力学	2	(同 上)
	物理学実験	2	(同 上)
	基礎化学実験	2	(同 上)
	生物学実習Ⅲ	2	(同 上)
	統計入門	2	(同 上)
	薬用植物学 (令和6年度より廃止)	2	薬学部提供科目 (健康・スポーツ科目群)
	情報基礎 [薬学部]	2	同 上 (情報学科目群)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同 上 (同 上)
	選択科目	上記以外の科目	

- (2) 平成 30 年度以降入学者について、自然科学科目群の「統計入門」(2 回生担当)は履修することが望ましいです。
- (3) 平成 28, 29 年度入学者について、自然科学科目群の「基礎化学実験」、「統計入門」(2 回生担当)は履修することが望ましいです。
- (4) 自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群の選択必修科目の卒業必要単位数 12 単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。
- (5) キャリア形成科目群について
薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A・B-E3」(2 回生以上対象科目)各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	E1 科目を除く。
自然科学科目群	32 単位以上	必修科目 10 単位、選択必修科目および選択科目 22 単位以上(選択必修科目 12 単位以上を含む)、計 32 単位以上修得すること。
情報学科目群		
健康・スポーツ科目群		
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位(「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)に加えて、母国語以外のドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語(原則、日本語上級から修得すること)のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。 なお、英語能力によっては英語の単位を日本語(中級以上)で読み替えを認めることがある。
キャリア形成科目群	6 単位以上	キャリア形成科目群の必修科目(薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A・B-E3」各 2 単位)を含め計 6 単位以上修得すること。
統合科学科目群		
少人数教育科目群		
合計	64 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	必修科目(薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A・B-E3」各 2 単位)4 単位、それ以外の E 科目(科目群、E 科目のカテゴリーは問わない)から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	----------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「薬学部 学生便覧・シラバス」を参照してください。

3. 指示事項

自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群について
必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、下表のとおりです。

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学(熱力学)	2	薬学部開講科目(自然科学科目群)
	基礎有機化学 I	2	同上(同上)
	基礎有機化学 II	2	同上(同上)
	基礎化学実験	2	(自然科学科目群)
	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目(健康・スポーツ科目群)
選択必修科目	微分積分学(講義・演義)A	3	(自然科学科目群)
	微分積分学(講義・演義)B	3	(同上)

線形代数学（講義・演義）A	3	（ 同 上 ）
線形代数学（講義・演義）B	3	（ 同 上 ）
物理学基礎論 A	2	（ 同 上 ）
物理学基礎論 B	2	（ 同 上 ）
熱力学	2	（ 同 上 ）
物理学実験	2	（ 同 上 ）
生物学実習Ⅲ	2	（ 同 上 ）
統計入門	2	（ 同 上 ）
Introduction to Molecular Cell Biology-E2 ※	2	（ 同 上 ）
Basic Biology and Metabolism-E2	2	（ 同 上 ）
Introduction to Biosciences-E2	2	（ 同 上 ）
Introduction to Biological Data Analysis-E2	2	（ 同 上 ）
Introduction to Computational Molecular Biology-E2	2	（ 同 上 ）
健康・生命科学入門	2	薬学部開講科目（健康・スポーツ科目群）
情報基礎〔薬学部〕	2	薬学部開講科目（情報学科目群）
情報基礎演習〔薬学部〕	2	同 上 （ 同 上 ）
選択科目	上記以外の科目	

※令和7年度不開講

上記の科目のうち、「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目については、英語で開講される科目を修得した場合も卒業に必要な単位として認定する。

ただし、英語で開講される科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。もしそれらを同じ学期に修得した場合、日本語で開講される科目のみ卒業に必要な単位として認定する。卒業に必要な単位として認定されなかったほうの科目は、E 科目の単位としても認定されない。

工 学 部 <地球工学科>

【土木工学コース、資源工学コース、環境工学コース】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和5年度以降入学者】

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	4 単位まで卒業に必要な単位として認めるが、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 7 年度開講科目なし）および「国際コミュニケーション」分野の科目ならびに「起業と事業創造」のみ、4 単位まで卒業単位として認める。 ※「起業と事業創造」は「その他キャリア形成」分野の科目
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	卒業要件に指定する全学共通科目の E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目から認められるのは自然科学科目群および情報学科目群を除く 2 単位まで。詳細は工学部履修要覧を確認すること。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部履修要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語（E2 科目・国際コース科目）で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規単位として認定する。
------	-----------------------	---

【平成 29 年度～令和 4 年度入学者】

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。

外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	4 単位まで卒業に必要な単位として認めるが、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 7 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。 ※上記の他、「その他キャリア形成」分野の科目のうち「起業と事業創造」を令和 5 年度開講分より卒業に必要な単位として認定する。令和 4 年度以前入学者は同一科目を修得していない場合に限り、卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	令和 3 年度以降入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目から認められるのは自然科学科目群および情報学科目群を除く 2 単位まで。詳細は工学部履修要覧を確認すること。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部履修要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語（E2 科目・国際コース科目）で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方を正規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規単位として認定する。 令和 2 年度入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目から卒業に必要な単位として認められるのは 2 単位までであり、「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部履修要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語（E2 科目・国際コース科目）で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方を正規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規単位として認定する。
------	-----------------------	---

		<p>平成 31 年度入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目の単位を上記 68 単位に含める場合は学科長の承認が必要である（承認されるのは 2 単位までであり、E2 科目とそれに対応する日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。同点の場合は E2 科目を卒業に必要な単位として認定する。）。</p> <p>平成 29, 30 年度入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目からは 2 単位まで含むことを認める。人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めることを強く推奨する。</p>
--	--	--

【平成 28 年度入学者】

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	「外国文献研究（全・英）-E1」を 2 単位以上、計 4 単位まで含むこと。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語中級、日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 7 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。 ※上記の他、「その他キャリア形成」分野の科目のうち「起業と事業創造」を令和 5 年度開講分より卒業に必要な単位として認定する。 令和 4 年度以前入学者は同一科目を修得していない場合に限り、卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位以上含めなければならない。ただし、「外国文献研究（全・英）-E1」から 2 単位以上含むこと。
------	-------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【国際コース生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

国際コースについては、英語で提供される科目のみ卒業に必要な単位として認定する。ただし、「スポーツ実習」分野の科目、初修外国語科目を除く。

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	「外国文献研究」分野の E1 科目を除く。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。 なお、同一科目名の E2 科目は卒業に必要な単位として認定しない。
外国語科目群	18 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位 (「Scientific English IA・IB」各 4 単位計 8 単位を修得すること)、英語以外の外国語 (初修外国語) から 10 単位以上、計 18 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。 日本語を母国語とする学生は、初修外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語から 10 単位以上修得すること。 日本語を母国語としない学生は、初修外国語として日本語から 10 単位以上修得すること。ただし、日本語を母国語としない学生で日本語能力試験の N1 を保持する者に限り、初修外国語 10 単位のうち、母国語以外のドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の単位を 6 単位まで、日本語の単位に読み替えることができる。
情報学科目群	4 単位まで	「Basic Informatics」、「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「Basic Informatics-E2」、「Practice of Basic Informatics-E2」は卒業に必要な単位として認定しない。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度以降入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	令和 2 年度以降入学者 : 2 単位以上 4 単位まで 平成 31 年度以前入学者 : 4 単位以上 8 単位まで	令和 2 年度以降入学者 : 「Scientific English II-E3」(2 単位)、「Advanced Scientific English-E3」(2 単位) から 2 単位以上 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。 平成 31 年度以前入学者 : 「Scientific English II-E3」(2 単位※)、「Advanced Scientific English-E3」(2 単位※) から 4 単位以上 8 単位までを卒業に必要な単位として認める。 ※令和 2 年度までは 4 単位
統合科学科目群	4 単位まで	「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 令和2年度以降入学者：2単位以上 平成31年度以前入学者：4単位以上 を含むこと	令和2年度以降入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野のE3科目「Scientific English II-E3」(2単位)、「Advanced Scientific English-E3」(2単位)から2単位以上含めなければならない。 平成31年度以前入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野のE3科目「Scientific English II-E3」(2単位※)、「Advanced Scientific English-E3」(2単位※)から4単位以上含めなければならない。 ※令和2年度までは4単位
------	---	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき1回生では34単位、2回生以上では30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12単位以上 16単位まで	「外国文献研究」分野のE1科目を除く。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	18単位以上 20単位まで	英語8単位(「Scientific English IA・IB」各4単位計8単位を修得すること)、日本語から10単位以上、計18単位以上20単位までを卒業に必要な単位として認める。 ただし、日本語能力試験のN1を保持する者に限り、日本語10単位のうち、母国語以外のドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の単位を6単位まで、日本語の単位に読み替えることができる。
情報学科目群	4単位まで	「Basic Informatics」、「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4単位まで	「スポーツ実習」分野の科目については、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	令和2年度以降入学者： 2単位以上 4単位まで	令和2年度以降入学者： 「Scientific English II-E3」(2単位)、「Advanced Scientific English-E3」(2単位)から2単位以上4単位までを卒業に必要な単位として認める。

	平成 31 年度入学者： 4 単位以上 8 単位まで	平成 31 年度入学者： 「Scientific English II-E3」(2 単位※)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位※) から 4 単位以上 8 単位までを卒業に必要な単位として認 める。 ※令和 2 年度までは 4 単位
統合科学科目群	4 単位まで	「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目		<p>令和 3 年度以降入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目 「Scientific English II-E3」(2 単位)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位) から 2 単位以上含めなければならない。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目 または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した 場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単 位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部 履修要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語 (E2 科目・国際コ ース科目) で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正 規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を 正規単位として認定する。 ただし、自然科学科目群の E2 科目は工学部履修要覧の『表 6 (土木工 学コース)、表 7 (資源工学コース)、表 8 (環境工学コース)』で指定 する科目のみ卒業に必要な単位として認める。</p>
	上記の単位数のうち 令和 2 年度以降入学者： 2 単位以上	<p>令和 2 年度入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目 「Scientific English II-E3」(2 単位)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位) から 2 単位以上含めなければならない。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目 または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した 場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単 位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部 履修要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語 (E2 科目・国際コ ース科目) で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正 規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を 正規単位として認定する。</p>
	平成 31 年度以前入学 者：4 単位以上 含むこと	<p>平成 31 年度入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目 「Scientific English II-E3」(2 単位※)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位※) から 4 単位以上含めなければならない。 ※令和 2 年度までは 4 単位 E2 科目または国際コース科目の単位を上記 68 単位に含める場合は学 科長の承認が必要である (E2 科目または国際コース科目とそれに対応 する日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒 業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目または国際コース 科目とそれに対応する日本語科目の両方を修得した場合、成績の良い 方のみを卒業に必要な単位として認定する。同点の場合は E2 科目また は国際コース科目を卒業に必要な単位として認定する。)</p>

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成31年度入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (3) 情報学科目群について
E2科目は卒業に必要な単位として認めません。

工 学 部 <建築学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和3年度以降入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位	E1 科目以外。
	2～4 単位	E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目。
外国語科目群	英語	8 単位 「英語リーディング」4 単位、 「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位。
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、*日本語	同一外国語 8 単位以上 *日本語は外国人留学生のみ選択可。（上級科目のみを卒業に必要な単位として認定するが、プレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級科目を卒業に必要な単位として認定することがある。）
情報学科目群	4 単位	工学部履修要覧で指定する科目。
	0～2 単位	上記科目以外。
健康・スポーツ科目群	0～4 単位	「スポーツ実習」分野は 2 単位まで。
キャリア形成科目群	0～2 単位	
統合科学科目群	0～2 単位	
少人数教育科目群	0～2 単位	
合計	66 単位以上	

E 科目 上記の単位数のうち右記 ①+②で、E 科目を 4 単位 含むこと	①	2 単位	人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」
	②	2 単位	以下①～⑤のいずれか 2 単位。（②または③を推奨する。） ①人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」 ②人文・社会科学科目群「Contemporary Japanese Architecture-E2」 ③人文・社会科学科目群「Theory of Landscape Design-E2: House and Gardens of Kyoto」 ④キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野の E3 科目 ⑤自然科学科目群のうち工学部履修要覧で指定する E2 科目

【平成 31 年度、令和 2 年度入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位	E1 科目以外。		
	2～4 単位	E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」。		
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目。		
外国語科目群	英語	8 単位 「英語リーディング」4 単位、 「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位。		
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、*日本語	同一外国語 8 単位以上 *日本語は外国人留学生のみ選択可。（上級科目のみを卒業に必要な単位として認定するが、プレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級科目を卒業に必要な単位として認定することがある。）		
情報学科目群	「情報基礎[工学部]」または「Basic Informatics」	①	左記 2 科目を含む 4 単位以上	①の科目群・分野では、合わせて 8 単位までを、卒業に必要な単位として認定する。ただし、「情報学科目群」を 4 単位以上含むこと。
	「情報基礎演習[工学部]」または「Practice of Basic Informatics」			
健康・スポーツ科目群	「健康・スポーツ科学」分野	①	2 単位まで	*キャリア形成科目群の E 科目の卒業要件については E 科目欄を参照。
	「スポーツ実習」分野			

キャリア形成科目群	「コンプライアンス」分野（令和7年度開講科目なし）	④		
	「国際コミュニケーション」分野		E3科目2単位 合計4単位まで	
統合科学科目群	「統合科学」分野 「環境」分野	④		
少人数教育科目群			2単位まで	
合計			66単位以上	

E科目	4単位以上	<p>各科目群のE科目は、1)～4)のいずれかの組み合わせで4単位以上修得すること。なお、専門科目の関連から、1)の組み合わせを推奨する。</p> <p>1) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」2単位と、人文・社会科学科目群のE2科目のうち、以下に指定する科目を2単位以上。 「Theory of Landscape Design-E2: House and Gardens of Kyoto」 「Contemporary Japanese Architecture-E2」</p> <p>2) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」4単位。</p> <p>3) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」2単位と、キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野のE3科目から2単位。</p> <p>4) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」2単位と、自然科学科目群のうち工学部履修要覧で指定するE2科目から2単位。</p>
-----	-------	--

【平成30年度入学者】

人文・社会科学科目群	16単位以上	<ul style="list-style-type: none"> ・E1科目以外で14単位を修得すること。このとき、三つ以上の分野からそれぞれ2単位以上修得することが望ましい。 ・「外国文献研究(全・英)-E1」のE1科目を2単位以上修得すること。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	16単位以上	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング・リスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成28年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成29年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから1か国語8単位以上、計16単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4単位以上 8単位まで	計4単位以上修得すること。「情報基礎[工学部]」（または「Basic Informatics」）、及び「情報基礎演習[工学部]」（または「Practice of Basic Informatics」）計4単位を修得することが望ましい。
健康・スポーツ科目群 「健康・スポーツ科学」分野		
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野 (令和7年度開講科目なし)		
統合科学科目群		「統合科学」分野及び「環境」分野のみ卒業に必要な単位として認める。

健康・スポーツ科目群 「スポーツ実習」分野	平成29, 30年度入学者： 2単位まで 平成28年度入学者： 4単位まで	
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野	4単位まで	ただし、E3科目から2単位まで、E3科目以外から2単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2単位まで	
合計	66単位以上	

E科目	上記の単位数のうち 4単位以上含むこと	<p>1) ~ 3) のいずれかの組み合わせで修得すること。 なお、専門科目の関連から、1) の組み合わせを推奨する。</p> <p>1) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」から2単位以上と、人文・社会科学科目群のE2科目のうち、以下に指定する科目を2単位以上。 「Theory of Landscape Design-E2 :House and Gardens of Kyoto」 「Contemporary Japanese Architecture-E2」</p> <p>2) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」から4単位以上。</p> <p>3) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」から2単位以上と、キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野のE3科目から2単位。</p>
-----	------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき1回生では34単位、2回生以上では30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について、E2科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期にE2科目・日本語科目の両方を修得した場合、日本語科目のみ卒業に必要な単位として認定します。卒業に必要な単位として認定されない場合、E科目の単位としても認定されません。
「情報基礎(工学部)」、「情報基礎演習(工学部)」のE2科目は、卒業に必要な単位として認定はしますが、E科目としては認定しません。
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目(工学部履修要覧参照)のみ卒業に必要な単位として認定します。
- (4) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和3年度以降入学者】

人文・社会科学科目群		14 単位	E1 科目以外。 *外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位数に認めることがある。
		2～4 単位	E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」。
自然科学科目群		28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目。
外国語科目群	英語	8 単位	「英語リーディング」4 単位、 「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位。
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、*日本語	同一外国語 8 単位以上	*日本語は上級科目のみを認定するが、プレースメントテストの結果等により、学科長が個別に中級科目を卒業に必要な単位として認定することがある。 なお、初修外国語 1 か国語 8 単位以上に、日本語科目の修得単位を加えて、合計 20 単位までを卒業に必要な単位として認めることがある。
情報科学科目群		4 単位	工学部履修要覧で指定する科目。
		0～2 単位	上記科目以外。
健康・スポーツ科目群		0～4 単位	「スポーツ実習」分野は 2 単位まで。
キャリア形成科目群		0～2 単位	
統合科学科目群		0～2 単位	
少人数教育科目群		0～2 単位	
合計		66 単位以上	

E 科目 上記の単位数のうち右記 ①+②で、E 科目を 4 単位 含むこと	①	2 単位	人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」
	②	2 単位	以下①～⑤のいずれか 2 単位。（②または③を推奨する。） ①人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」 ②人文・社会科学科目群「Contemporary Japanese Architecture-E2」 ③人文・社会科学科目群「Theory of Landscape Design-E2: House and Gardens of Kyoto」 ④キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野の E3 科目 ⑤自然科学科目群のうち工学部履修要覧で指定する E2 科目

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について、E2 科目または地球工学科国際コース科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみ卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に E2 科目または地球工学科国際コース科目と日本語科目の両方を修得した場合、日本語科目のみ卒業に必要な単位として認定します。卒業に必要な単位として認定されない場合、E 科目の単位としても認定されません。
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目（工学部履修要覧参照）のみ卒業に必要な単位として認定します。

(4) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

工 学 部 <物理工学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・「外国文献研究 (全・英) -E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること) に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語 (平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること) のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度以降入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野 (令和 7 年度開講科目なし)、 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目を除く)		
統合科学科目群 「統合科学」分野、 「環境」分野、 「その他統合科学」分野		
少人数教育科目群		
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目)		
合計	66 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究 (全・英) -E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。なお、計 4 単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位としては認めない。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録

してください。

(2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目 (平成 29 年度より廃止) は、人文・社会科学科目群 (6 単位まで) 及び自然科学科目群 (4 単位まで) のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)

(3) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

(4) E2 科目について

日本語、英語 (E2 科目) の両方で開講される全学共通科目を、どちらも修得した場合の単位認定の取り扱いについては、物理工学科では先に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同学期に修得した場合は、成績の良い方を卒業に必要な単位として認定します。自然科学科目群で卒業に必要な単位として認定される E2 科目については、平成 31 年度以降入学者は工学部履修要覧を参照してください。平成 30 年度以前の入学者は物理工学科事務室にお問い合わせください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・ E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・ 「外国文献研究 (全・英) -E1」 から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること) に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語 (日本語上級から修得すること) のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」、「情報基礎演習 [工学部]」、「Basic Informatics」、及び「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野 (令和 7 年度開講科目なし)、 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目を除く)		
統合科学科目群 「統合科学」分野、 「環境」分野、 「その他統合科学」分野		
少人数教育科目群		
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目)	4 単位まで	
合計	66 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究 (全・英) -E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。なお、計 4 単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位としては認めない。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

(3) E2科目について

日本語、英語(E2科目)の両方で開講される全学共通科目を、どちらも修得した場合の単位認定の取り扱いについては、物理工学科では先に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同学期に修得した場合は、成績の良い方を卒業に必要な単位として認定します。自然科学科目群で卒業に必要な単位として認定されるE2科目については、工学部履修要覧を参照してください。

「情報基礎(工学部)」、「情報基礎演習(工学部)」のE2科目は、卒業要件として認めません。

これらの科目を英語で履修する場合は、地球工学科国際コースにて開講している科目を履修してください。

工 学 部 <電気電子工学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	E1 科目以外から 16 単位（うち 2 単位は統合科学科目群の「統合科学」分野の科目で代替可能。）修得すること。これに加えて「外国文献研究（全・英）-E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。	
自然科学科目群	30 単位以上 42 単位まで	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上 40 単位まで修得すること。（うち 2 単位までは工学部履修要覧の指定科目以外の科目でもよい。）これに加えて、E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員（令和 7 年度以降）Jorge Luis Puebla Nuez、（令和 6 年度以前）DE ZOYSA, Menaka）2 単位を修得してもよい。	
外国語科目群	英語	8 単位	「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語	同一外国語 8 単位を含む 16 単位まで	日本語は外国人留学生のみ選択することができる。（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること※） ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	2 単位以上 4 単位まで	工学部履修要覧で指定する「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。	
健康・スポーツ科目群	平成 29 年度以降入学者： 2 単位まで、 平成 28 年度入学者： 4 単位まで	「スポーツ実習」分野のみ卒業に必要な単位として認める。	
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 7 年度開講科目なし）から 2 単位まで、「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位まで、計 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。	
少人数教育科目群	2 単位まで		
合計	68 単位以上 78 単位まで		

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	（平成 31 年度以降入学） 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」及び E2 科目、自然科学科目群の E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員（令和 7 年度以降）Jorge Luis Puebla Nuez、（令和 6 年度以前）DE ZOYSA, Menaka）及び工学部履修要覧で指定する E2 科目、並びにキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位以上含めなければならない。 （平成 28 年度入学～平成 30 年度入学） 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」、自然科学科目群の E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員（令和 7 年度以降）Jorge Luis Puebla Nuez、（令和 6 年度以前）DE ZOYSA, Menaka）、及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき1回生では34単位、2回生以上では30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム(KUINEP)科目(平成29年度より廃止)は、人文・社会科学科目群のみ2科目4単位までを卒業に必要な単位として認定します。(平成28年度入学者のみ該当)
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。ただし、外国人留学生については認めることがありますので、学科長に相談してください。
- (4) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目及びE2科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (5) 外国語科目群について
ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語は、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので注意してください。(クラス別時間割(学部1回生)ページも確認してください。)
- (6) 「全学共通科目一覧」の「英語授業の有無」欄に○が付された科目について、日本語科目と英語科目の重複履修は認めません。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12単位以上 20単位まで	12単位(うち2単位は統合科学科目群の「統合科学」分野の科目で代替可能。)修得すること。
自然科学科目群	30単位以上 40単位まで	工学部履修要覧で指定する科目から計30単位以上40単位まで修得すること。(うち2単位までは工学部履修要覧の指定科目以外の科目でもよい。)
外国語科目群	英語	8単位 「英語リーディング」計4単位、「英語ライティングーリスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること。
	日本語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語	同一外国語8単位を含み20単位まで 日本語を選択する場合は、日本語上級から修得すること。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。 また、同一外国語8単位に加えて、さらに日本語科目の修得単位を卒業に必要な単位として12単位まで認めることがある。
情報学科目群	2単位以上 4単位まで	工学部履修要覧で指定する「情報基礎[工学部]」、「情報基礎演習[工学部]」、「Basic Informatics」、「Practice of Basic Informatics」、「Basic Informatics-E2」、「Practice of Basic Informatics-E2」を卒業に必要な単位として認める。

健康・スポーツ科目群	2 単位まで	「スポーツ実習」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 7 年度開講科目なし）から 2 単位まで、「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位まで、計 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上 78 単位まで	

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目（工学部履修要覧参照）に対応する英語科目のみ卒業に必要な単位として認定します。
- (3) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目（E2 科目含む）は工学部履修要覧を参照してください。
- (4) 外国語科目群について
 - ・英語の能力によっては日本語科目の修得単位を英語科目の単位として認める場合があります。
 - ・ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語は、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので注意してください。（クラス別時間割（学部 1 回生）ページも確認してください。）
- (5) 「全学共通科目一覧」の「英語授業の有無」欄に○が付された科目について、日本語科目と英語科目の重複履修は認めません。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16単位	E1科目以外から16単位修得すること。
	4単位まで	E1科目から4単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	16単位	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティングーリスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成28年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成29年度以降入学者は日本語上級から修得すること※）のうちから1か国語8単位、計16単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	8単位まで	「スポーツ実習」分野の科目のみ、平成29年度以降入学者は2単位まで、平成28年度入学者は4単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		（令和5年度以降入学者）E科目及び工学部履修要覧で指定する科目のみ卒業に必要な単位として認める。 （令和4年度以前入学者）E科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		2単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群		2単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	令和2年度以降入学者：67単位以上 平成31年度以前入学者：71単位以上	

E科目	上記の単位数のうち4単位以上含むこと	科目群を問わず計4単位以上を含めなければならない。うち2単位はE2に指定されている科目を含むことを推奨する。
-----	--------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和2年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

（平成31年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき1回生では34単位、2回生以上では30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目 (平成29年度より廃止) は、1科目2単位までを卒業に必要な単位

として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)

(3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。

(4) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位	E1 科目以外から 16 単位修得すること。
	4 単位まで	E1 科目から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎[工学部]」、「情報基礎演習[工学部]」、「Basic Informatics」、及び「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	8 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目のみ、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		（令和 5 年度以降入学者）E 科目及び工学部履修要覧で指定する科目のみ卒業に必要な単位として認める。 （令和 4 年度以前入学者）E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	令和 2 年度以降入学者：67 単位以上 平成 31 年度以前入学者：71 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むことを推奨する。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

（平成 31 年度入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録

してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。学科が指定する科目及び工学部地球工学科国際コースの科目を卒業要件として認定します。

(3) 情報学科目群について

工学部地球工学科国際コースの科目を卒業要件として認定します。

(4) 学科長の判断で、外国語科目群の日本語を英語に最大 8 単位読み替えることがあります。また、外国語科目群の卒業に必要な単位(卒業要件)として日本語を最大 20 単位まで(英語に読み替えた単位を除く)認めることがあります。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上 26 単位まで	
情報学科目群	2 単位以上 8 単位まで		計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。ただし、令和 5 年度以降入学者は、「情報基礎」、「情報基礎演習」は除く。
健康・スポーツ科目群			平成 29 年度以降入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群			「コンプライアンス」分野（令和 7 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群			
少人数教育科目群			日本語で実施される「ILAS セミナー」は、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28 単位以上		工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
合計	65 単位以上		

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

- (3) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について E2 科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に内容が同一とみなされる E2 科目・日本語科目を両方修得した場合、E2 科目を卒業に必要な単位として認定します。ただし「Information and Society-E2」は増加単位としてのみ認めます。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和 6 年度以降入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上 26 単位まで	人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 7 年度不開講）は 2 単位まで認める。
情報学科目群	2 単位以上 8 単位まで		計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。
健康・スポーツ科目群			「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群			「コンプライアンス」分野（令和 7 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群			
少人数教育科目群			日本語で実施される「ILAS セミナー」は、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群		28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群		16 単位	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。英語の能力によっては日本語の修得単位を英語の単位として読み替えることを認める場合がある。また、英語 8 単位（日本語を読み替えた単位を含む）、その他の同一外国語 8 単位に加えて、さらに日本語科目の修得単位を 12 単位まで卒業に必要な単位として認めることがある。 日本語は原則として上級科目のみを認定する。ただし入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
合計		65 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	--

【令和 4・5 年度入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上	人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 7 年度不開講）は 2 単位まで認める。
情報学科目群	2 単位以上 8 単位まで	26 単位まで	計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。

健康・スポーツ科目群		「スポーツ実習」分野の科目については、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		「コンプライアンス」分野（令和7年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		
少人数教育科目群		日本語で実施される「ILASセミナー」は、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	16単位	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティングーリスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから1か国語8単位、計16単位修得すること。英語の能力によっては日本語の修得単位を英語の単位として読み替えることを認める場合がある。また、英語8単位（日本語を読み替えた単位を含む）、その他の同一外国語8単位に加えて、さらに日本語科目の修得単位を12単位まで卒業に必要な単位として認めることがある。日本語は原則として上級科目のみを認定する。
合計	65単位以上	

E科目	上記の単位数のうち4単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群のE2に指定されている科目から計4単位を含めなければならない。
-----	------------------	--

【令和3年度以前入学者】

人文・社会科学科目群	14単位以上		外国語科目群日本語科目の修得科目を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位として13単位まで認める。また、人文・社会科学科目群のKyoto iUP生専用科目（令和7年度不開講）は2単位まで認める。
情報学科目群	2単位以上 8単位まで		計算機科学コースでは必修科目2単位を含むこと。
健康・スポーツ科目群		21単位以上 26単位まで	「スポーツ実習」分野の科目については、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群			「コンプライアンス」分野（令和7年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群			
少人数教育科目群			日本語で実施される「ILASセミナー」は、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群		28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。

外国語科目群	16 単位	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。
合計	65 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (3) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について E2 科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に内容が同一とみなされる E2 科目・日本語科目を両方修得した場合、E2 科目を卒業に必要な単位として認定します。ただし「Information and Society-E2」は増加単位としてのみ認めます。
- (4) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目（工学部履修要覧参照）に対応する科目のみ卒業に必要な単位として認定します。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 8 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する情報基礎及び情報基礎演習を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	各科目群に課される要件を最小単位数で満たすと 56 単位となるが、卒業までに修得すべき全学共通科目の最小単位数 60 単位に不足する 4 単位については、卒業に必要な単位であれば科目群を問わない。ただし、卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、(1) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目、(2) 1 科目を超えて後に修得した統合科学科目群の統合科学分野の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 II	2
物理学基礎論 A ※1	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B ※1	2	基礎化学実験	2
基礎物理化学（熱力学）	2	遺伝学概論	2
基礎物理化学（量子論）	2	生物学実習 I ※3	2

統計入門 ※2	2	
---------	---	--

※1 令和4年度以降入学者については、入学試験の一般選抜の個別学力検査で物理を選択しなかった者、または特色入試による入学者で、大学入学共通テストで物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学 A・B」で代えることができる。

※2 平成28～令和3年度入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※3 平成28～29年度入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※4 上記推薦科目に対応する英語授業のE2科目（「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及びE科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位に認めることがある。
自然科学科目群	16 単位以上	令和7年度入学者については下表①-1で推薦する科目、令和6年度までの入学者については下表①-2で推薦する科目から計8単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語中級以上から修得すること）のうちから1か国語8単位以上、計16単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語8単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する情報基礎及び情報基礎演習を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは1科目のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した2単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	各科目群に課される要件を最小単位数で満たすと56単位となるが、卒業までに修得すべき全学共通科目の最小単位数60単位に不足する4単位については、卒業に必要な単位であれば科目群を問わない。ただし、E科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

①-1 自然科学科目群（令和7年度入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Calculus with Exercises A	数学	3	微分積分学（講義・演義）A	3
Calculus with Exercises B	数学	3	微分積分学（講義・演義）B	3
Linear Algebra with Exercises A	数学	3	線形代数学（講義・演義）A	3
Linear Algebra with Exercises B	数学	3	線形代数学（講義・演義）B	3
Fundamental Physics A ※1-2	物理学	2	物理学基礎論 A ※1	2
Fundamental Physics A-E2 ※1-2	物理学	2	〃	〃
Fundamental Physics B	物理学	2	物理学基礎論 B ※1	2
Fundamental Physics B-E2	物理学	2	〃	〃
Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	化学基礎	2	基礎物理化学（熱力学）	2
Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	化学基礎	2	基礎物理化学（量子論）	2
Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	化学発展	2	無機化学入門 A	2
Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	化学発展	2	無機化学入門 B	2
Basic Organic Chemistry I -E2	化学基礎	2	基礎有機化学 I	2
Basic Organic Chemistry II -E2	化学基礎	2	基礎有機化学 II	2
Fundamentals of Organismal and Population Biology-E2	生物学	2	個体と集団の基礎生物学	2
Fundamental Chemical Experiments-E2	化学基礎	2	基礎化学実験	2
生物学実習 I に対応する英語で開講される科目はなし			生物学実習 I	2
Principles of Genetics-E2	生物学	2	遺伝学概論	2
Introductory Statistics-E2	データ科学	2	統計入門	2

※1 予備教育課程で物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学 A・B」で代えることができる。

※1-2 予備教育課程で物理を選択しなかった者に限り、「Elementary Course of Physics A-E2」で代えることができる。

①-2 自然科学科目群（令和6年度以前入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Calculus with Exercises A	数学	3	微分積分学（講義・演義）A	3
Calculus with Exercises B	数学	3	微分積分学（講義・演義）B	3
Linear Algebra with Exercises A	数学	3	線形代数学（講義・演義）A	3
Linear Algebra with Exercises B	数学	3	線形代数学（講義・演義）B	3
Fundamentals of Organismal and Population Biology-E2	生物学	2	個体と集団の基礎生物学	2
Fundamental Chemical Experiments-E2	化学	2	基礎化学実験	2
生物学実習 I に対応する英語で開講される科目はなし			生物学実習 I	2
Principles of Genetics-E2	生物学	2	遺伝学概論	2
Introductory Statistics-E2	データ科学	2	統計入門	2

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Basic Informatics-E2 / Basic Informatics ※2	2	情報基礎 [農学部]	2
Practice of Basic Informatics-E2/ Practice of Basic Informatics ※2	2	情報基礎演習 [農学部]	2

※2 令和7年度入学者については、工学部国際コースのクラス指定科目も推薦科目の対象とする。

英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは1科目のみ）を含めることができる。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、(1) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(2) 2 単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、(3) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
線形代数学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
確率論基礎	2	基礎化学実験	2
統計入門 ※1	2	細胞と分子の基礎生物学 ※2	2
		生物・生命科学入門 ※1	2

※1 平成 28～30 年度入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※2 平成31年度以降入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※3 上記推薦科目に対応する英語授業のE2科目（「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及びE科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは1科目のみ）を含めることができる。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。なお、外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位に認めることがある。
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語中級以上から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語 8 単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	E 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群 ※1

科目名	分野名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Calculus with Exercises A	数学	3	微分積分学（講義・演義）A	3
Calculus with Exercises B	数学	3	微分積分学（講義・演義）B	3
Linear Algebra with Exercises A	数学	3	線形代数学（講義・演義）A	3

Linear Algebra with Exercises B	数学	3	線形代数学（講義・演義）B	3
Elementary Probability -E2	数学	2	確率論基礎	2
Introductory Statistics-E2	データ科学	2	統計入門	2
Fundamental Physics A	物理学	2	物理学基礎論 A	2
Fundamental Physics A-E2	物理学	2	同上	2
Fundamental Physics B	物理学	2	物理学基礎論 B	2
Fundamental Physics B-E2	物理学	2	同上	2
Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	化学	2	無機化学入門 A	2
Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	化学	2	無機化学入門 B	2
Fundamental Chemical Experiments-E2	化学	2	基礎化学実験	2
Introduction to Biology and Life Science-E2	生物学	2	生物・生命科学入門	2

※1 化学分野および生物学分野の E2 科目について、教育上有益と認められる場合は、修得した単位を学部選択科目として認定することがあります。ただし、その場合は、卒業までに必要な全学共通科目の単位とはみなしません。詳細は農学部学部教務掛へ問い合わせてください。

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Basic Informatics-E2	2	情報基礎 [農学部]	2
Practice of Basic Informatics-E2	2	情報基礎演習 [農学部]	2

英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科科目群	16 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		（令和 7 年度以降入学者） 「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目（2 単位または 4 単位）のみである。 （令和 6 年度以前入学者） 「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 2 単位のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、2 単位を超えて後に修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、および、2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
線形代数学（講義・演義）A	3	確率論基礎	2
線形代数学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学実験	2
数理統計	2		

※ 上記推薦科目に対応する英語授業の E2 科目（Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧参照）は自然科学科目群及び E 科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。なお、外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位に認めることがある。
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語中級、日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語 8 単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	16 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 2 単位のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	E 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	分野名	単位数	科目名 (対応する日本語で開講される科目)	単位数
Linear Algebra with Exercises A	数学	3	線形代数学 (講義・演義) A	3
Linear Algebra with Exercises B	数学	3	線形代数学 (講義・演義) B	3
Calculus with Exercises A	数学	3	微分積分学 (講義・演義) A	3
Calculus with Exercises B	数学	3	微分積分学 (講義・演義) B	3
Mathematical Statistics -E2	データ科学	2	数理統計	2
Elementary Probability -E2	数学	2	確率論基礎	2
Fundamental Physics A	物理学	2	物理学基礎論 A	2
Fundamental Physics A-E2	物理学	2	同上	2

Fundamental Physics B	物理学	2	物理学基礎論 B	2
Fundamental Physics B-E2	物理学	2	同上	2
Elementary Experimental Physics -E2	物理学	2	物理学実験	2

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名 (対応する日本語で開講される科目)	単位数
Basic Informatics-E2	2	情報基礎 [農学部]	2
Practice of Basic Informatics-E2	2	情報基礎演習 [農学部]	2

英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	20 単位以上	(令和 7 年度以降入学者) 下表①-1 で推薦する科目から 6 単位以上修得すること。 (令和 6 年度以前入学者) 統合科学科目群の「統合科学」分野の科目(複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみ)を含めることができる。令和 6 年度入学者については、下表①-1 で推薦する科目から、令和 5 年度入学者については、下表①-2 で推薦する科目から 6 単位以上修得すること。令和 3 年度・令和 4 年度入学者については、下表①-3 で推薦する科目から 10 単位以上修得すること。平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者については、下表①-4 で推薦する科目を極力履修すること。
自然科学科目群	12 単位以上	「数学」分野、「データ科学」分野及び「生物学」分野から計 12 単位以上修得すること。令和 7 年度以降入学者については、下表②-1 で推薦する科目から 6 単位以上修得すること。令和 3 年度以降かつ令和 6 年度以前入学者については、下表②-2 で推薦する科目から 6 単位以上修得すること。平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者については、下表②-3 で推薦する科目を極力履修すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位(「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語(平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること)のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	12 単位以上	令和 3 年度以降入学者については下表③-1 で推薦する科目を、平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者については下表③-2 で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		(令和 7 年度以降入学者) 統合科学科目群の全ての分野の科目を卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野は 1 科目のみ卒業に必要な単位として認める。 下表④-1 で推薦する科目を極力履修すること。 (令和 6 年度以前入学者) 「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。令和 3 年度以降入学者については下表④-1 で推薦する科目を、平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者については下表④-2 で推薦する科目を極力履修すること。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。 令和 6 年度以降入学者については、下表⑤で推薦する科目の履修を推奨する。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目(下記を参照)の単位は除く。

E 科目	<p>E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 6 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。</p> <p>なお、(1) 自然科学科目群の「数学」、「データ科学」及び「生物学」以外の分野の E 科目、(2) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(3) 2 単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」の E 科目、(4) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。</p>
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

①-1 人文・社会科学科目群 (令和 6 年度以降入学者)

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学 I	2	Contemporary Economics I -E2	2
社会学 II	2	Contemporary Economics II -E2	2
経済学 I	2	Food and Globalization I -E2	2
経済学 II	2	Introduction to Management-E2	2
社会経済システム論 I	2	Contemporary Management-E2	2
社会経済システム論 II	2		
環境と法	2		
統計リテラシー	2		

①-2 人文・社会科学科目群 (令和 5 年度入学者)

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学 I	2	Contemporary Economics I -E2	2
社会学 II	2	Contemporary Economics II -E2	2
経済学 I	2	Food and Globalization I -E2	2
経済学 II	2	Food and Globalization II -E2 ※	2
社会経済システム論 I	2	Introduction to Management-E2	2
社会経済システム論 II	2	Contemporary Management-E2	2
環境と法	2		
統計リテラシー	2		

※令和 7 年度不開講

①-3 人文・社会科学科目群 (令和 3 年度・令和 4 年度入学者)

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学 I	2	Contemporary Economics I -E2	2
社会学 II	2	Contemporary Economics II -E2	2
社会経済システム論 I	2	Food and Globalization I -E2	2
社会経済システム論 II	2	Food and Globalization II -E2 ※	2
環境と法	2	Introduction to Management-E2	2
統計リテラシー	2	Contemporary Management-E2	2

※令和 7 年度不開講

①-4 人文・社会科学科目群（平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者）

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学Ⅰ	2	Contemporary EconomicsⅠ-E2	2
社会学Ⅱ	2	Contemporary EconomicsⅡ-E2	2
統計リテラシー	2	Food and GlobalizationⅠ-E2	2
		Food and GlobalizationⅡ-E2 ※	2

※令和 7 年度不開講

②-1 自然科学科目群（令和 7 年度以降入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名	分野名	単位数
微分積分学[文系]	数学	2	統計入門	データ科学	2
線形代数学 A[文系]	数学	2	データ分析基礎	データ科学	2
線形代数学 B[文系]	数学	2	数理・データ科学のための数学	データ科学	2
確率論基礎	数学	2	入門Ⅰ		
数学探訪Ⅰ	数学	2	数理・データ科学のための数学	データ科学	2
数学探訪Ⅱ	数学	2	入門Ⅱ		

②-2 自然科学科目群（令和 3 年度以降かつ令和 6 年度以前入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名	分野名	単位数
数学基礎 A	数学	4	統計入門	データ科学	2
数学基礎 B	数学	4	データ分析基礎	データ科学	2
確率論基礎	数学	2	数理・データ科学のための数学	データ科学	2
数学探訪Ⅰ	数学	2	入門Ⅰ		
数学探訪Ⅱ	数学	2	数理・データ科学のための数学	データ科学	2
			入門Ⅱ		

②-3 自然科学科目群（平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名	分野名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	数学	3	確率論基礎	数学	2
微分積分学（講義・演義）B	数学	3	数理統計	データ科学	2
線形代数学（講義・演義）A	数学	3	数学探訪Ⅰ ※1	数学	2
線形代数学（講義・演義）B	数学	3	数学探訪Ⅱ ※2	数学	2

※1 平成 29 年度以前に開講されていた「数学探訪Ⅰ」または「数学探訪Ⅲ」の単位を既修得の場合、平成 30 年度以降の「数学探訪Ⅰ」は履修しても卒業単位とならないので注意すること。

※2 平成 29 年度以前に開講されていた「数学探訪Ⅱ」または「数学探訪Ⅳ」の単位を既修得の場合、平成 30 年度以降の「数学探訪Ⅱ」は履修しても卒業単位とならないので注意すること。

③-1 情報学科目群（令和 3 年度以降入学者）

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	イノベーションと情報	2
情報基礎演習 [農学部]	2	情報企業論	2

③-2 情報学科目群（平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者）

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

④-1 統合科学科目群（令和 3 年度以降入学者）

科目名	分野名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	統合科学	2
統合科学：持続可能な地球社会をめざして（エネルギー・環境・社会の視点から）	統合科学	2
環境農学論	環境	2

④-2 統合科学科目群（平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者）

科目名	分野名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	統合科学	2

⑤ 少人数教育科目群（令和 6 年度以降入学者）

科目名	単位数
ILAS Seminar-E2: Food Systems in Asia（アジアにおける食農システム）	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	20 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみ）を含めることができる。令和 5 年度入学者については、下表①で推薦する科目から 6 単位以上修得すること。なお、外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位に認めることがある。
自然科学科目群	12 単位以上	「数学」分野、「データ科学」分野及び「生物学」分野から計 12 単位以上修得すること。令和 5 年度入学者については、下表②で推薦する科目から 6 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語 8 単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	12 単位以上	令和 5 年度入学者については、下表③で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。令和 5 年度入学者については、下表④で推薦する科目を極力履修すること。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	E 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 人文・社会科学科目群（令和 5 年度入学者）

科目名	単位数	科目名（英語で開講される科目）	単位数
経済学 I	2	Sociology I-E2 *1	2

経済学Ⅱ	2	Contemporary Economics I-E2	2
社会学Ⅰ*1	2	Contemporary Economics II-E2	2
社会学Ⅱ	2	Food and Globalization I-E2	2
社会経済システム論Ⅰ	2	Food and Globalization II-E2 ※	2
社会経済システム論Ⅱ	2	Introduction to Management-E2	2
環境と法	2	Contemporary Management-E2	2
統計リテラシー	2		

*1 は使用言語の異なる同じ科目（相対する科目）

※令和7年度不開講

② 自然科学科目群（令和5年度入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名（対応する英語で開講される科目）	単位数
数学基礎 A	数学	4		
数学基礎 B	数学	4		
確率論基礎	数学	2	Elementary Probability -E2	2
数学探訪Ⅰ	数学	2	Quest for Mathematics I-E2	2
数学探訪Ⅱ	数学	2	Quest for Mathematics II-E2	2
統計入門	データ科学	2	Introductory Statistics-E2	2
データ分析基礎	データ科学	2	Basic Data Analysis-E2	2
数理・データ科学のための数学入門Ⅰ	データ科学	2		
数理・データ科学のための数学入門Ⅱ	データ科学	2		

③ 情報学科目群（令和5年度入学者）

科目名	単位数	科目名（対応する英語で開講される科目）	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	Basic Informatics-E2	2
情報基礎演習〔農学部〕	2	Practice of Basic Informatics-E2	2
イノベーションと情報	2		
情報企業論	2		

④ 統合科学科目群（令和5年度入学者）

科目名	分野名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	統合科学	2
統合科学：持続可能な地球社会をめざして（エネルギー・環境・社会の視点から）	統合科学	2
環境農学論	環境	2

英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報科学科目群	12 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		下表③で推薦する科目を極力履修し、計 4 単位以上修得すること。なお、「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、統合科学科目群の「統合科学」の E 科目、および 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎物理化学要論	2
微分積分学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎化学実験	2
線形代数学（講義・演義）B	3	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 A	2	細胞と分子の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	水と緑と土の科学 ※1	2
物理学実験	2		

※1 平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者のみ学科が推薦する科目として認める。令和 3 年度以降入学者は学科が推薦する科目として認めない。

※2 上記推薦科目に対応する英語授業の E2 科目（Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧）参照）は自然科学科目群及び E 科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科目群

科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2

③ 統合科学科目群

科目名	分野名	単位数
環境学	環境	2

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみ）を含めることができる。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	令和 5 年度以降入学者については、下表で推薦する科目から計 16 単位以上修得すること。平成 28 年度以降かつ令和 4 年度以前入学者については、下表で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	（令和 7 年度以降入学者） 「統合科目」分野以外の統合科学科目群の科目を卒業に必要な単位として認める。「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。 （令和 6 年度以前入学者） 「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 なお、(1)統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(2)2 単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、(3)2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎化学実験	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A ※2	2

線形代数学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B ※2	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎物理化学要論 ※1	2
基礎物理化学（熱力学） ※1	2	基礎有機化学 I	2
基礎物理化学（量子論） ※1	2		

※1 「基礎物理化学（熱力学）」または「基礎物理化学（量子論）」を修得した場合、後に「基礎物理化学要論」を修得しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になる）。

「基礎物理化学要論」を修得した場合、後に「基礎物理化学（熱力学）」および「基礎物理化学（量子論）」を修得しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になる）。

同一開講期に「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」「基礎物理化学要論」を修得した場合は、「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」が卒業単位として認められる（「基礎物理化学要論」は増加単位になる）。

※2 入学試験の一般入試の個別学力検査で物理を選択しなかった者、または特色入試による入学者で大学入学共通テスト（令和2年度以前入学者は、「大学入試センター試験」と読み替える）で物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学 A・B」で代えることができる。

※3 上記推薦科目に対応する英語授業の E2 科目（「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及び E 科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

2. カリキュラム再編に伴う科目群の読み替えおよび単位の取り扱いについて

平成 28 年度に科目群が再編される等、カリキュラムが変更されました。この項では、平成 25 年度～27 年度学部入学者に向けて、全学共通科目の履修や単位の取り扱い上、特に注意を要する点を説明します。

(1) 科目群の読み替え

①平成 25 年度～平成 27 年度学部入学者

平成 25 年度～平成 27 年度の卒業要件が適用される学部生が、平成 28 年度以降の群・分野で開講されている科目を履修し、単位を修得した場合には次の表のとおり、平成 25 年度～平成 27 年度に設定されていた科目群に読み替えられます。なお、読み替えなしの科目は、卒業に必要な単位としては認定されません。

科目群	分野		平成 25～27 年度入学者に対する読替
人文・社会科学科目群	哲学・思想	→	人文・社会科学系科目群
	歴史・文明		
	芸術・文学・言語		
	教育・心理・社会		
	地域・文化		
	法・政治・経済		
	日本理解	→	外国語科目群
外国文献研究			
自然科学科目群	数学	→	自然・応用科学系科目群
	データ科学 ※1		
	物理学		
	化学		
	生物学		
	地球科学		
	図学		
外国語科目群		→	外国語科目群
情報学科目群		→	現代社会適応科目群
健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科学	→	現代社会適応科目群
	スポーツ実習	→	拡大科目群
キャリア形成科目群	コンプライアンス	→	拡大科目群
	国際コミュニケーション	→	(E 科目指定) 外国語科目群 (E 科目指定以外) 拡大科目群
	学芸員課程	→	拡大科目群
	多文化理解		
	地域連携 ※3		
その他キャリア形成			
統合科学科目群	統合科学		読み替えなし
	環境	→	現代社会適応科目群
	森里海連環学		
	その他統合科学		
少人数教育科目群		→	読み替えなし

※1 平成 30 年度より統計から分野名変更

※2 ただし、平成 28 年度に履修し、修得した国際コミュニケーション分野の単位は拡大科目群に読み替えられます。

※3 平成 30 年度より COCOLO 域から分野名変更

②外国語科目群への読み替え

群の読替は上記①のとおりですが、「外国文献研究 (全・英) -E1」や「アクティブリスニング (全・英) -E3」のように「全・英」と表示されている科目を履修した場合には、英語Ⅱと同様に取り扱われます。それ以外の「外国文献研究 (文・英) A-E1」や、「Business English-E3」等、「全・英」の表示のない科目を履修した場合には、総合人間学部以外が提供する英語と同様に取り扱われます。履修にあたっては、総合人間学部以外が提供する英語が卒業要件上、

認められているか確認してください。なお、平成 28 年度まで総合人間学部以外が提供する英語として開講されていた科目について、所属学部を対象とする科目を履修し、単位を修得した場合の取り扱いは、「各学部の指示事項」(p.263～)を参照してください。

(2) 単位の取り扱い

①人文・社会科学科目群外国文献研究分野の単位数

平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が、当該分野の科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として算入されます。

②外国語科目群初修外国語の単位数

「5. 外国語の履修について」(p.53～)の各初修外国語の履修上の注意に記載されているとおり、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が、平成 28 年度以降に初修外国語の初級科目(ただし、平成 28 年度に履修し、単位を修得した「日本語(初級)Ⅱ」を除く)、平成 29 年度以降に初修外国語の中級以上の科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として算入されます。

③情報学科目群の一部科目の単位数

平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が、「全学共通科目授業一覧」(p.126～)の単位数に「* (アスタリスク)」が表示されている科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として算入されます。該当する科目は、平成 27 年度以前に 1 コマあたり 1 単位の演習科目として開講されていた科目(平成 28 年度に科目名変更されたものを含む)です。

④キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野の単位数

◇ 平成 25 年度～平成 27 年度の卒業要件が適用される学部生

- ・当該分野の E 科目を履修し、単位を修得した場合には、外国語科目群に読み替えられ、各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として算入されます。
- ・当該分野の E 科目に指定されていない科目を履修し、単位を修得した場合には、拡大科目群に読み替えられ、各科目の単位数が卒業に必要な単位として算入されます。

⑤キャリア形成科目群その他キャリア形成分野の単位数

平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が、「全学共通科目授業一覧」(p.126～)の単位数に「* (アスタリスク)」が表示されている科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として算入されます。該当する科目は、平成 30 年度以前に 1 コマあたり 1 単位の演習科目として開講されていた科目です。

3. 平成25～27年度入学者用 (1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

学部	入学年	外国語科目群の略号は次の通りです。 E…英語、D…ドイツ語、F…フランス語、I…イタリア語、S…スペイン語、K…朝鮮語、A…アラビア語、日…日本語				備考
		人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	
文	平成27	8単位以上	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から自由で計36単位以上(ただし、人文・社会科学系科目群から8単位、自然・応用科学系科目群から6単位以上修得すること)	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のうち2単位については、文学部提供全学共通科目「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語を履修する場合、初級から4単元以上、中・上級から4単位以上修得すること。なお、スペイン語I(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しない。 ※アラビア語は平成26年度以降入学者のみ卒業に必要な単位として認定する。
		上記必要単位数を含め、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から自由で計36単位以上修得すること	EDFCRISKA※のうちからEDFEいづれか一つを含め2カ国語それぞれ8単位以上	6単位以上	20単位以上	
法	平成27	20単位以上	6単位以上	16単位以上	法学部基礎演習を修得した場合は、人文・社会科学系科目群の単位として扱う。	※E8単位のうち2単位については、「法学政治学英語I・II」各1単位を修得すること。「法学政治学英語I・II」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。
		1.0単位以上	8単位以上	16単位以上	E8単位、およびDFFCRISKAのうち、いづれか1カ国語8単位以上	
経	平成26	1.0単位以上	8単位以上	16単位以上	EDFCRISKAのうちから2カ国語それぞれ8単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のうち2単位については、「経済英語A・B」いづれかで修得すること。「経済英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※スペイン語I(会話)は、卒業単位として認めない。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語(上級)・「経済・経営日本語(上級)I・II」(令和2年度より廃止)から8単位を修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ
		2単位以上	2単位以上	4単位以上	単位互換科目は卒業に必要な単位として認定しない ただし、単位互換科目は認めない	
理	平成27	1.2単位以上2.0単位まで	2.4単位以上3.8単位まで	1.0単位以上1.3単位まで	自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群および拡大科目群のうち、理学部が指定した科目を専門基礎科目とする。専門基礎科目については、2.4単位以上3.8単位まで卒業に必要な単位として認める。	※京都大学国際教育プログラム(KUINEP)(平成29年度より廃止)は、自然・応用科学系科目群以外の科目を履修した場合に、それぞれの群で卒業に必要な単位として認める。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級・日本語上級から4単位以上6単位まで修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ
		1.0単位以上2.0単位まで	4単位まで	4.6単位以上7.5単位まで	現代社会適応科目群及び拡大科目群(少人数教育科目(ボケット・ゼミ)、単位互換等科目を除く)から合計4単位まで。ただし、専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。	

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
工 〈地球工〉 【国際→4以 外】	平成27	人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上)、現代社会 適応科目群(情報基礎 〔工学部〕、情報基礎演習 〔工学部〕を除く)、拡大 科目群(単位互換科目除 く)から1.6単位以上2.0 単位まで	自然・応用科学系科目群、 現代社会適応科目群(情報 基礎〔工学部〕、情報基礎 演習〔工学部〕のみ)で指 定する科目から3.1単位以 上(※1)	E7単位以上、およびDF CRISKA日のうちから 1か国語4単位以上(※ 2)	人文・社会科学系科目群、現代社会適 応科目群(情報基礎〔工学部〕、情報基礎演習〔工学部〕 を除く)、拡大科目群(単位互換科目除く)から1.6単位以 上2.0単位まで	58単位以上	(※1) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で指定する 科目については、(2) 各学部の指示事項の一覧を確認すること。 (※2) E7単位のうち1単位については、科学英語(地球)等1 単位を含むこと。 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級か ら4単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択 することができる。	
		人文・社会科学系科目群お よび拡大科目群(1.2単位 以上)、現代社会適応科目 群(情報基礎〔工学部〕、 情報基礎演習〔工学部〕を 除く)、拡大科目群(単位 互換科目除く)から1.6単 位以上2.0単位まで	自然・応用科学系科目群、 現代社会適応科目群(情報 基礎〔工学部〕、情報基礎 演習〔工学部〕のみ)で指 定する科目から3.1単位以 上(※1)	日6単位以上、Scientific English及びAdvanced Scientific Englishから6 単位以上 日本人学生は、日の代わり にDFCRISKAのうち から6単位以上	人文・社会科学系科目群および拡大科目群(1.2単位以 上)、現代社会適応科目群(情報基礎〔工学部〕、情報基 礎演習〔工学部〕を除く)、拡大科目群(単位互換科目除 く)から1.6単位以上2.0単位まで			59単位以上
工 〈理工 化学〉 ※令和5年度 以前の学科名称 は工業化学科	平成26	1.6単位	2.8単位以上	E6~7単位〔科学英語 (創成化学)(工業基礎化 学)(化学工学)は平成2 7年度より工学部科目(専 門科目)2単位へ変更する が、取り扱いは全学共通科 目外国語科目群1単位とす る。〕、およびDFCRIS KA日のうちから1か国 語4単位以上(※2)	選択(3単位まで)	61単位以上	(※1) 自然・応用科学系科目群で指定する科目については、 (2) 各学部の指示事項の一覧を確認すること。 (※2) 外国語科目群のEでは、総合人間学部以外が提供する他学 部他学科提供の英語科目は認めない。 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級か ら4単位以上を修得すること。なお、日本語を選択できるのは外国 人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINEP)科目(平成29年度より廃止)は、 1科目2単位まで、卒業に必要な単位数に含める。 ※工学部地球工学国際コースの科目は卒業に必要な単位として認 定しない。	
		指定する科目から必修科目 8単位及びその他科目2.0 単位以上、計2.8単位以上 (※1)	1.0単位~1.1単位	情報基礎〔工学部〕・情報 基礎演習〔工学部〕のみ卒 業に必要な単位として認め る	選択(6単位まで)			スポーツ実習科目、少人数 教育科目(ポケット・ゼ ミ)のみ卒業に必要な単位 として認める
	平成27			E6単位、およびDFCR ISKA日のうちから1か 国語4単位(※2)				

(2) 各学部の指示事項

全学共通科目の履修については、以下の各学部の指示によるほか、各学部の便覧等を必ず参照してください。

文学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『L (文学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群について

「日本古代・中世政治文化論」(平成28年度より廃止)、「日本古代・中世の歴史社会」(平成28年度より廃止)、「日本史Ⅰ・Ⅱ」、「中国歴史風土論」(令和7年度不開講)、「中国歴史地理論」(令和7年度不開講)、「西洋史Ⅰ・Ⅱ」、「人文地理学各論Ⅰ～Ⅲ」、「地域地理学各論Ⅰ～Ⅲ」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目(自由選択)として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学系科目群に変更することができます。手続き期間は4月及び10月のみです。締切日等詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示します。

(3) 外国語科目群について

① 英語を履修する場合、8単位のうち2単位については、「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位ずつ)(平成29年度より廃止)を修得しなければなりません。なお、「文学部英語A」・「文学部英語B」は2科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として各自の所属する系(基礎現代文化学系は志望する専修)を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に所属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。「文学部英語A」の単位未修得者は「外国文献研究(文・英)A-E1」を、「文学部英語B」の単位未修得者は「外国文献研究(文・英)B-E1」を履修し、単位を修得してください。ただし、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

② 英語以外の外国語を履修する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上を修得してください。「フランス語Ⅰ(8Hコース)」は、16単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅰ(6Hコース)」は、12単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅱ(6Hコース)」、「フランス語Ⅱ(6Hコース)」は、12単位のうち4単位のみ卒業に必要な単位として認めます。なお、スペイン語Ⅰ(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

③ 文学部の学部科目として開講している[フランス語中級、上級]を全学共通科目「フランス語ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB」の外国語科目群として履修する場合は、全学共通科目で履修登録(事前申込(外国語予備登録、先着順申込)が必要)してください。学部科目として履修する場合は、文学部での履修登録等の手続となりますので注意してください。

④ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

法学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J (法学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群

法学部基礎演習は、法学部が法学部1回生に提供する教養科目です(後期に開講、2単位)。ただし、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学系科目群の科目と同じに扱われます。

(3) 外国語科目群

- ① 英語8単位のうち2単位については、「法学政治学英語Ⅰ・Ⅱ」(各1単位)(平成29年度より廃止)の2単位で修得しなければなりません。「法学政治学英語Ⅰ」の単位未修得者は「外国文献講読(法・英)Ⅰ-E1」を、「法学政治学英語Ⅱ」の単位未修得者は「外国文献講読(法・英)Ⅱ-E1」を履修し、単位を修得してください。ただし、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② 「フランス語Ⅰ(8Hコース)」の修得単位数については、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めるので注意してください。
- ③ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

経済学部

1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1学期につき15コマ(30単位)です。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。なお、通年科目については、前期・後期の両方とも履修登録コマ数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 自然・応用科学系科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記①の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学講義②を履修することを強く推奨します。

- ① 文系用数学講義(経済学一般の学習やデータ科学分野を学ぶ上で最低限必要な数学力の修得を目指す)
「線形代数学A・B[文系](合せて4単位)」「微分積分学[文系](2単位)」または数学基礎A・B[文系](合せて8単位)を履修してください。
- ② 理系用数学講義(理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す)
微分積分学(講義・演義)A・B(合せて6単位)、線形代数学(講義・演義)A・B(合せて6単位)を履修してください。なお、2回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。
- ②を履修した学生は、引き続き、微分積分学統論Ⅰ・Ⅱ(合せて4単位)、線形代数学統論(2単位)も履修することを推奨します。

(2) 外国語科目群について

- ① 英語は、「英語Ⅰ」(平成28年度より廃止)又は「英語Ⅱ」(平成31年度より廃止)から6単位、「経済英語A・B」(平成29年度より廃止)いずれか2単位を含む計8単位を修得してください。「英語Ⅰ・Ⅱ」の単位未修得者は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。「経済英語A・B」の単位未修得者は、「外国文献研究(経・英)A・B-E1」を履修し、単位を修得してください。いずれも、単位修得した場合は、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
- ② ドイツ語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。「ドイツ語Ⅰ(6Hコース)」は、12単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めますが、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の修得が必要です。
- ③ フランス語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。「フランス語Ⅰ(8Hコース)」は、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めますが、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の修得が必要です。
- ④ スペイン語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。
なお、スペイン語Ⅰ(会話)は、卒業に必要な単位に算入しません。
- ⑤ 中国語・ロシア語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。

- ⑥ 日本語は、外国人留学生を対象とし、日本語（上級）、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」（令和2年度より廃止）から計8単位を修得してください。
- ⑦ 初修外国語の履修において、「初修外国語初級免除」の場合は、卒業に必要な単位数を中級以上で修得してください。なお、初級免除を受けた場合は、必ず経済学部教務掛へ申し出てください。

理学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 指示事項

(1) 人文・社会科学系科目群について

人文・社会科学系科目群で開講される「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」の各分野の科目を履修し、単位を修得した場合、それぞれ「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・言語文化」、「行動科学」、「地域・文化」、「社会科学」の各系の科目と読み替えます。

平成29年度から留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目を履修し、単位を修得しても、単位修得が必要な3つ以上の異なる系の1つとしても、卒業に必要な単位としても認めません。

(2) 外国語科目群について

① 理学部において卒業までに必要とされる外国語科目群は「平成25～27年度入学者用（1）各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」（p.261）の表のとおりとします。

② 理学部では、英語について、外国語科目の英語として読み替えられる科目全てを、卒業要件を満たす科目として認めています。

ただし、平成28年度まで開講されていた「科学英語（理学）」と「Frontiers and Paradoxes of Science」および平成29年度から令和6年度まで開講されていた「科学コミュニケーション（理・英）-E3」は同一科目と見なし、いずれか一つしか卒業単位として認めないので、注意してください。（複数科目の単位を修得した場合は、後に修得した方は増加単位となり卒業単位としては認められません。）

また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングーリスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

(3) 本年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2025年度 教科の手引き』の「Ⅲ. 系登録および卒業のための履修要件」のページを参照してください。

工学部〈地球工学科〉

1. 履修登録単位数の上限について

平成27年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

「各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」の一覧表に示された各科目群に関する指示事項を下記に示します。ただし、その表に示された科目群は、平成27年度までの旧分類であり、平成28年度からは新しい科目群名称となっており、科目によっては所属する分類が大きく変わっている場合がありますので、注意して下さい。各授業科目の群分類は、p.259にその新旧の対応が記載されています。

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群、現代社会適用科目群、拡大科目群について

これらの科目群から人文・社会科学科目群 12 単位以上を含んで合計 16 単位以上 20 単位までを履修する必要があります。ただし、情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部] は含められません。

国際コースの学生は人文・社会科学科目群および拡大科目群から 12 単位以上を含んで合計 16 単位以上 20 単位までを履修する必要があります。ただし、情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部] は含められません。

各授業科目がこれらの旧科目群分類のどれに属するかは p.259 で確認して下さい。

(3) 自然・応用科学系科目群について

平成 28 年度より「環境生物・化学」は、学部専門科目として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい（ただし、修得単位は全学共通科目の自然・応用科学系科目群として認定されます）。

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

この表は平成 28 年度以降の新しい科目名で示しています。

科目名	単 位	必選択等			科目名	単 位	必選択等		
		土木・資源・環境	国際				土木・資源・環境	国際	
自然現象と数学	2	◎		◎	基礎有機化学Ⅱ	2	○		—
微分積分学（講義・演義）A	3	◎		◎	基礎化学実験	2	○		—
微分積分学（講義・演義）B	3	◎		◎	図学 A	2	○		—
線形代数学（講義・演義）A	3	◎		◎	図学 B	2	○		—
線形代数学（講義・演義）B	3	◎		◎	微分積分学統論Ⅰ	2	◎		◎
基礎物理化学（熱力学）	2	◎		—	微分積分学統論Ⅱ	2	◎		◎
基礎物理化学（量子論）	2	◎		—	線形代数学統論	2	○		○
物理学基礎論 A	2	◎		◎	振動・波動論	2	○		○
物理学基礎論 B	2	◎		◎	無機化学入門 A	2	○		—
熱力学	2	○		○	無機化学入門 B	2	○		—
力学統論	2	○		○	生物自然史Ⅰ ※3	2	○		—
物理学実験	2	○		—	生化学入門	2	○		—
基礎地球科学 A ※1	2	○		○	細胞と分子の基礎生物学	2	○		—
基礎地球科学 B ※2	2	○		—	地質工学入門	2	◎		◎
基礎有機化学Ⅰ	2	○		—					

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

○ 印は、履修することを勧める科目

— 印は、卒業に必要な単位として認定しない科目

※1 「基礎地球科学 A（地球システムの歴史と変遷）」及び「基礎地球科学 A（現在の地球の活動と私たち）」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※2 「基礎地球科学 B（地球システムと環境）」及び「基礎地球科学 B（地球誕生から現在まで）」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※3 令和 6 年度より廃止。

(4) 外国語科目群（英語）における「科学英語（地球）」（平成 29 年度より廃止）について

国際コース以外の学生には、英語は 7 単位（「科学英語（地球）」等を含む）の修得が定められています。平成 28 年度より「科学英語（地球）」は、学部専門科目（クラス指定）として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい（ただし、修得単位は、全学共通科目の外国語科目群（英語）として認定されます）。

また、英語Ⅱは平成 30 年度をもって廃止となりました。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニング A・B を履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

(5) 現代社会適用科目群における「情報基礎（工学部）」「情報基礎演習（工学部）」について

平成 28 年度からの新分類で情報学科目群に属する上記 2 科目は、(3) に示した「学科が指定した自然・応用科学系科目群の科目」と見なします。すなわち、それらとの合計で修得単位数 31 単位以上が卒業要件となっています。また、現代社会適用科目群の単位にはなりません。なお、「情報基礎演習（工学部）」は、平成 28 年度より 2 単位科目として開講されますが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定されます。

(6) 国際コースについて

国際コースは、英語で提供される同コース向けの全学共通科目（(3)～(5)については、授業一覧の備考欄に [InternationalCourse] と記載のあるもの）のみ単位認定します。指定科目については、学部の履修要覧を参照してください。

また、国際コースの「Scientific English II (Presentation & Discussion)」の未修得者が「Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)」を、「Advanced Scientific English (Debate)」の未修得者が「Advanced Scientific English-E3 (Debate)」を、それぞれ履修し、単位を修得した場合、外国語科目群の「Scientific English II (Presentation & Discussion)」、「Advanced Scientific English (Debate)」の単位として認定します。ただし、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認めます。

工学部<理工化学科>

※令和5年度以前の学科名称は工業化学科

1. 履修登録単位数の上限について

平成26、27年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	基礎物理化学 (熱力学)	2	必
微分積分学 (講義・演義) A	3	◎	基礎有機化学 I	2	必
微分積分学 (講義・演義) B	3	◎	基礎有機化学 II	2	必
線形代数学 (講義・演義) A	3	◎	基礎化学実験	2	◎
線形代数学 (講義・演義) B	3	◎	微分積分学統論 I	2	
統計入門	2		微分積分学統論 II	2	
物理学基礎論 A	2	◎	熱力学	2	
物理学基礎論 B	2	◎	振動・波動論	2	
物理学実験	2	◎	力学統論	2	
基礎物理化学 (量子論)	2	必	解析力学	2	

必 は必修科目

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

* 基礎物理化学 (量子論)・(熱力学)、基礎有機化学 I・II を再履修する場合は、理工化学科 (令和5年度以前の学科名称は工業化学科) の前年度と同じクラスで履修することが望ましい。

VI. その他

1. 転学部および転学科

転学部および転学科は、学部により転入の取扱い条件が異なります。希望する場合は、所属学部の教務掛で所定の手続きをしなければなりません。出願は1学部(学科)に限られており、出願後の取消しはできませんので十分検討したうえで出願してください。

転学部および転学科の手続きは、「資格照会手続き」の後、有資格者には出願書類が交付されます。各学部の取扱い条件及び手続きの詳細については、9月中旬に掲示によりお知らせします。

2. 教育職員免許状の取得について

将来、高等学校、中学校または特別支援学校の教員になることを希望する学生は、所属学部の便覧を参照するとともに、4月に実施予定の教職課程オリエンテーションを必ず受講してください。詳細は別途通知します。また、教育職員免許状取得について不明な点があれば、所属学部の教務掛へ問い合わせてください。

教育免許状取得希望者は、平成28年11月に改正された教育職員免許法(昭和24年法律第147号)に定められている「教科及び教職に関する科目」及び「全学共通科目」から指定された科目の単位を修得することによって、教員の免許状を取得する資格を得ることができます。

「教科及び教職に関する科目」に含まれる「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、教科に関する専門的事項の単位は所属学部等で開講している授業科目の中から、これに対応する科目の単位を充当します。

教科に関する専門的事項以外の単位については、教育学部で開講されている授業科目の中から、指定された科目を履修し、単位を修得してください。

なお、平成30年度以前の学部入学者は、教育職員免許法の改正に伴う経過措置の適用を受ける場合があります。

適用を受ける学生は、改正前の教育職員免許法に定められた「教科に関する科目」、「教科または教職に関する科目」、「教職に関する科目」及び「全学共通科目」から指定された科目の単位を修得することによって、教員の免許状を取得する資格を得ることができます。

「教科に関する科目」の単位については、所属学部等で開講している授業科目の中から、これに対応する科目の単位を充当します。

「教科または教職に関する科目」については、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の必要単位数を超えて修得した場合、その単位を当該単位として充当します。

「教職に関する科目」の単位については、教育学部で開講されている授業科目の中から、指定された科目を履修し、単位を修得してください。

履修が必要な授業科目の詳細については、所属学部で交付している「履修カルテ(単位修得状況)」で確認してください。

全ての教科《国語、社会、地理歴史、公民、理科、数学、英語等》について「教科及び教職に関する科目」のほかに全学共通科目から次の科目を履修してください。

- ・「日本国憲法」2単位：日本国憲法
- ・「体育」3単位以上：健康科学I(旧「健康科学」平成27年度科目名変更)・II、健康心理学I・II、運動科学I(旧「運動科学」平成27年度科目名変更)・II、運動医科学、体力医科学、の中から1科目とスポーツ実習(IA・IB・IIAまたはIIBの中から1科目)の両方とも必要、なお、旧「健康科学」と運動医科学は平成24年度修得分から認定。
- ・「外国語コミュニケーション」2単位：英語リーディング、英語ライティング・リスニング(平成27年度以前入学者は英語I・II)、ドイツ語I・II、フランス語I・II、中国語I・II、ロシア語I・IIから選択
ただし、英語I・IIが未修得の平成27年度以前の入学者については、平成31年度以降、ドイツ語I・II、フランス語I・II、中国語I・II、ロシア語I・IIから選択
- ・「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位：統計入門 ※
- ・「情報機器の操作」2単位：該当科目を所属学部を確認すること ※

※「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」及び「情報機器の操作」については、どちらか1科目(2単位)を履修してください(本学では「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位を履修することを推奨しています)。

中学校教諭免許状取得希望者は、特別支援学校での2日間と社会福祉施設等での5日間、合計7日間の「介護等体験」が必要になります。

3. 学芸員となる資格取得について

(1) 学芸員の職務

博物館法（昭和26年法律第285号）に基づく専門的職員で、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

(2) 学芸員の資格

学芸員となるには、学士の学位を有し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得していなければならない。

(3) 大学において修得すべき博物館に関する科目の単位

博物館法第5条第1項第1号の規定により大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と本学において開講される科目との関係を示すと以下のとおりである。

法令上の科目	単位数	本学該当科目	開講部局	備考
生涯学習概論	2	生涯学習概論I 生涯学習概論II	教育学部	教育学部専門科目 ※どちらか一方選択必修。 (令和7年度は生涯学習概論I不開講)
博物館概論	2	博物館学I	文学部	文学部専門科目
博物館経営論	2	博物館学II		
博物館資料論	2	博物館学III		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	全学共通 科目	
博物館展示論	2	博物館展示論		
博物館教育論	2	博物館教育論		
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		
博物館実習	3	博物館実習（自然史） ：2単位	理学部	※博物館実習（文化史）とどちらか一方選択必修。 ※履修要件は定めないが、学芸員資格取得に必要なその他の科目（特に博物館学I・II・IIIのうち2科目以上）を履修して受講することを推奨する。 ※博物館実習（自然史）は令和4年度より理学部専門科目として開講。 ※理学部の学生が令和4年度以降に本科目を修得した単位は卒業単位に算入される（令和3年度以前に修得した単位は卒業単位に算入されない）。理学部以外の学生については、増加単位となる（卒業単位には算入されない）。
		博物館実習（文化史） ：2単位	全学共通 科目	※博物館実習（自然史）とどちらか一方選択必修。 ※博物館学I・II・IIIのうち2科目修得済みであること。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。）
		博物館実習（館園実務） ：1単位		※博物館実習（文化史または自然史）を修得済みであること。詳細については、シラバスを参照のこと。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。）

4. 吉田南総合図書館の利用案内

吉田南総合図書館は、吉田南構内関連部局の図書館であると同時に、全学共通科目にも対応した図書館です。充実した新書・文庫コーナーや東西の名著を集めたグレート・ブックスコーナー、映画やドキュメンタリー等の映像ソフトを備えた視聴覚室をはじめ、幅広いジャンルの資料を提供しています。72万冊の資料とサービスでみなさんの学習・研究活動をサポートします。



・ホームページ：<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>



開館日と開館時間

- ・月-金 9:00 - 20:00
- ・土 10:00 - 15:00

休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ・本学創立記念日（6月18日）
- ・12月29日～1月3日 卒業式の翌日～4月3日
- ・8月11日～8月20日 定例休館日

※定例休館日および臨時休館は、その都度、図書館ホームページやX（旧 Twitter (@yoshidasouthlib)）、掲示でお知らせします。

入館・退館

- ・入館ゲートを通るには利用証が必要です。
- ・学生証が利用証となります。
- ・手続きなしで図書館資料を持ち出された場合はアラームが鳴ります。



入館ゲート



自動貸出機

貸出（学生）

カウンター及び自動貸出機で貸出手続きができます。

開架図書	10冊 / 1ヶ月
書庫内図書	30冊 / 1ヶ月
雑誌	5冊 / 1週間

※参考図書や新聞のバックナンバーは当日の開館時間内に限り、館外へ持ち出すことができます。

※新着雑誌（最新号）の貸出はできません。

※特別貸出：夏季には、休館等に応じて貸出期間の延長を行います。

返却

返却はカウンターまでお願いします。休館時は図書館入口前のブックドロップに返却してください。

※返却期限日を過ぎても返却されない場合、新たな貸出はできません。

資料の探し方

京都大学で所蔵している図書や雑誌を京都大学蔵書検索システム KULINE（クライン）で検索することができます。

- ・KULINE

<https://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



オンラインサービス（MyKULINE マイクライン）

Web から図書の予約や貸出更新、文献の取り寄せ申込み等ができる便利なサービスです。

オンラインサービスのログイン ID は情報環境機構のアカウント（ECS-ID. a0*****）です。

- ・オンラインサービス（MyKULINE）について

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/12718>



貸出中資料の予約

必要とする資料が他の利用者に貸出されている場合、予約することができます。ご希望の方は、MyKULINE でお申し込みください。

借用中資料の更新

借りている図書は予約が入っていない場合に限り更新（貸出期間の延長）することができます。返却期限日前までに MyKULINE で手続きするか、利用証をカウンターまでご持参ください。雑誌の更新はできません。

電子ジャーナル・電子ブック・データベース

京都大学では、Web で利用できる資料がたくさんあります。文献収集に活用してください。

※初回は認証システムの設定が必要です。詳細は京都大学図書館機構サイトをご確認ください。

- ・電子ジャーナル

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13502>

- ・データベース

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13501>

- ・電子リソースへのアクセスについて

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13505>

- ・自宅学習のための電子リソースの活用について

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/1385204>



調査・相談

資料の見つけ方が分からないとき、必要な資料が図書館にないときは、文献の入手方法についてご案内します。お気軽にスタッフまでご相談ください。メール (a30yslib@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) でも受付しています。

閲覧室（1階・2階）

1階及び2階に閲覧席があります。自由にご利用ください。

- ・利用時間：月-金 9：00-20：00（2階は19：30まで）
土 10：00-15：00（2階は14：30まで）

和書（新分類：日本十進分類表新訂8版）と洋書（新分類）、新着雑誌を配架しています。

参考図書、大型本、各種文庫・新書、グレート・ブックス、英語学習、授業用参考図書、吉田南構内関連部局の教員及び関係者図書等は別置しています。

カウンター近くには新着図書、選書、KULINE 検索用 PC があります。

雑誌書架近くには、国内外の主要な新聞があります。

（バックナンバーは1年分を保存しています。ご利用希望の方はカウンターまでお申し出ください。）

所蔵新聞：朝日新聞 / 毎日新聞 / 読売新聞 / 京都新聞 / 日本経済新聞 / 産経新聞 / 日刊工業新聞 / 図書新聞 / 週刊読書人 / The Japan Times / The Times / Le Monde / Frankfurter Allgemeine / International New York Times



2階 英語学習コーナー



2階 大閲覧室



1階 KULINE 検索用 PC



1階 グレート・ブックスコーナー

情報環境機構 OSL（2階）

情報環境機構（学術情報メディアセンター）のオープン・スペース・ラボラトリ（OSL）として、インターネットに接続できる PC 端末 5 台と、電源席があります。館内には無線 LAN を敷設しており、持ち込み PC 等をインターネットに接続することができます。



2階 OSL



2階 ベランダ

ドリンクポリシー

OSL・視聴覚室を除く館内の閲覧室等では、ふた付きの容器（ペットボトルや水筒）に入った飲料に限り、飲むことができます。喫煙、食事はできません。館内環境の維持にご協力をお願いします。

視聴覚室（1階）

映画、ドキュメンタリー、語学資料の DVD 等、視聴覚資料が利用できます。

※視聴覚室内の資料は館外貸出できません。

※持ち込み資料のご利用はできません。



1階 視聴覚室 2

地下書庫（地階）

和洋図書（新・旧分類）、和雑誌等を配架しています。カウンターで入庫手続きが必要です。

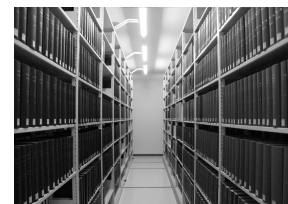
南棟書庫（吉田南総合館地階）

洋図書（新・旧分類）、洋雑誌を配架しています。カウンターで入庫手続きが必要です。

- ・利用時間：月-金 9：00-18：45



地階 地下書庫



吉田南総合館地階 南棟書庫

環 on（わおん）（人間・環境学研究科棟 1階東）

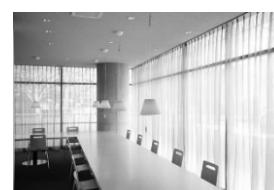
「環 on」は個人・グループでの学習や研究会での利用を目的とした「話せる図書館」です。カウンター席やくつろぎスペース、グループ学習室があります。電源席を備え、無線 LAN を敷設しています。オンライン授業の受講場所としてもご利用ください。

- ・利用時間：月-金 8：40-18：30

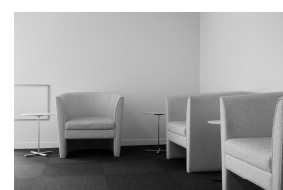
※定例休館日は17：00まで



環 on 多目的スペース



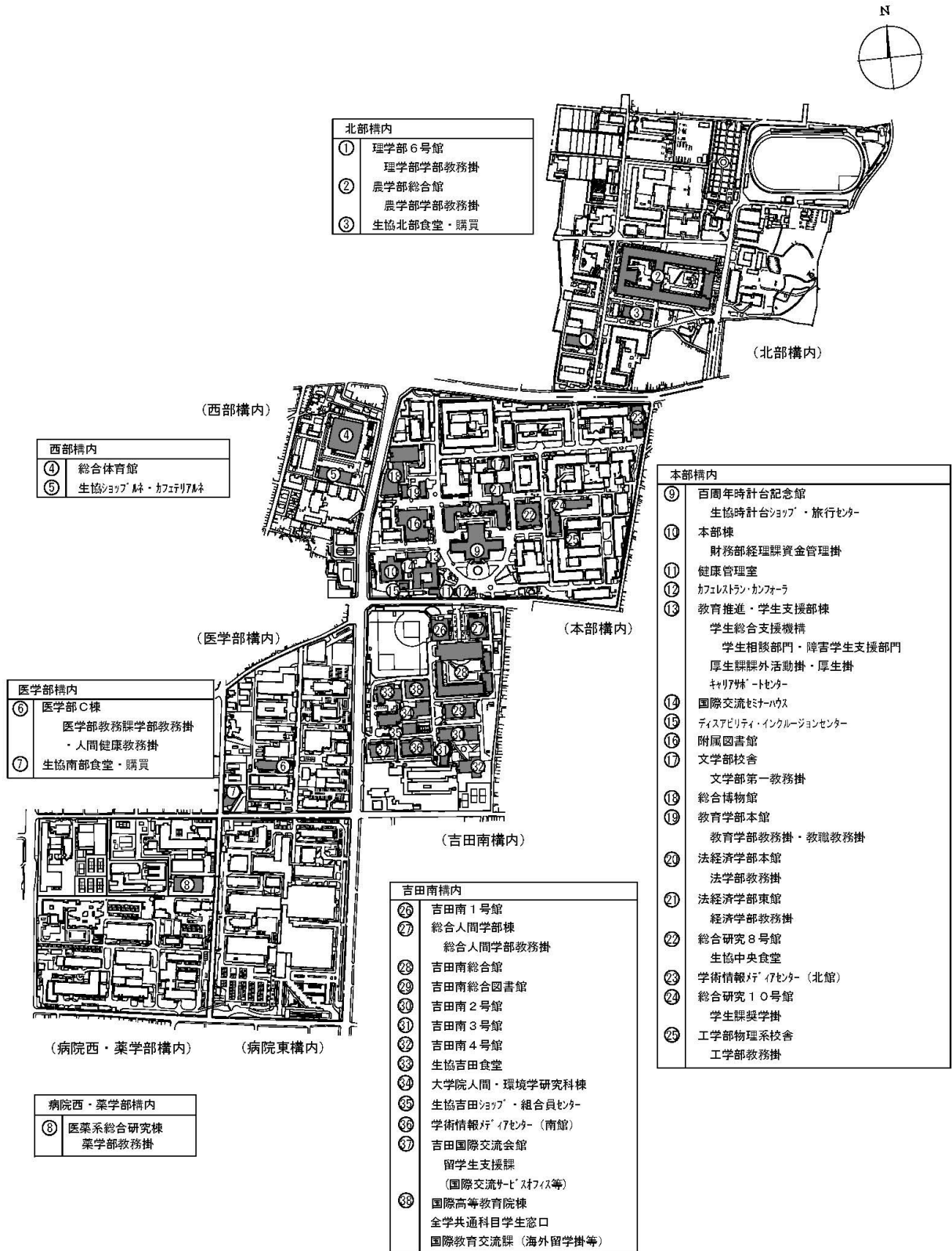
環 on L型カウンター



環 on くつろぎスペース

VII. 建物配置図等

1. 京都大学吉田キャンパス建物配置図



2. 吉田南構内の安全通行について

(1) 吉田南構内への出入構の方法

吉田南構内への出入りは通常、次の6つの門から行うことになります。各所に構内整理員がいて指示を行いますので、それに従ってください。なお、各門からの出入構にはそれぞれ制約がありますので、出入構できる対象を確認してください。

出入構可能対象	開門時間
1. 正門…… 歩行者	1. 正門…… 終日
2. 北門…… 歩行者、自転車	2. 北門…… 終日
3. 東門…… 歩行者、自転車	3. 東門…… 7:00～19:00
4. 西門…… 歩行者、自転車	4. 西門…… 7:00～19:00
5. 東南門… 歩行者、自転車、バイク	5. 東南門… 7:00～19:00
6. 西南門… 歩行者、自転車、バイク及び自動車	6. 西南門… 7:00～21:00

上記の開門時間は授業のある平日の場合です。土、日、祝日は東門、東南門、西門は常時閉鎖となります。

(2) 駐車・駐輪場所

自転車は、構内各所の自転車置場に整然と並べてください。バイクは、西門及び東南門の近くに設けてあるバイク置場を使用することとし、構内を走行することはたいへん危険であり、かつ発生する騒音が授業等の支障になるので絶対にしないでください。やむを得ず構内でバイクを移動させる必要がある場合は、エンジンを止めて押して歩くようにして下さい（この際も歩行者、自転車に十分に注意を払うこと）。

◎生協吉田食堂付近は昼食時間帯、非常に混雑します。昼食をとりに来るときはなるべく自転車は控えてください。

(3) 通学のための自動車

吉田南構内では、学生などの自動車による登校は原則的に禁止されています。身体状況等により自動車の使用が必要と認められる場合には、全学共通科目学生窓口申し出たうえで、吉田南構内交通委員会の承認を得て使用することができます。

(4) 構内における常時駐車・駐輪禁止の場所

①法令により定められている駐車・駐輪禁止場所に関して：

- ✧ 消火栓、消防隊進入口の周辺（黄色画線で表示してあります）
- ✧ 緊急車両の進入口（各入構門）
- ✧ 各建物の緊急用通り抜け通路（次項参照）

②その他の駐車・駐輪禁止場所：

駐車・駐輪に当たっては原則として各指定場所（吉田南構内 交通規制・駐輪駐車図参照）を使用しますが、たとえやむを得ない場合でも次の場所に停めてはいけません。

- ✧ 図書館前の広場。図書館へ書籍納入に訪れる書店の車や、各研究室の手押し車の停車スペースです。
- ✧ 各棟の一階部分に設けられている通り抜け通路付近（東門から吉田南総合館中庭への通路や、吉田南2号館と3号館の間の通路など）。緊急車両の通り抜け口になっています。

(5) 不正駐車等一般ルールを守らない行為に対する処置

➤ 緊急用施設等、常時駐車禁止場所に停めた場合

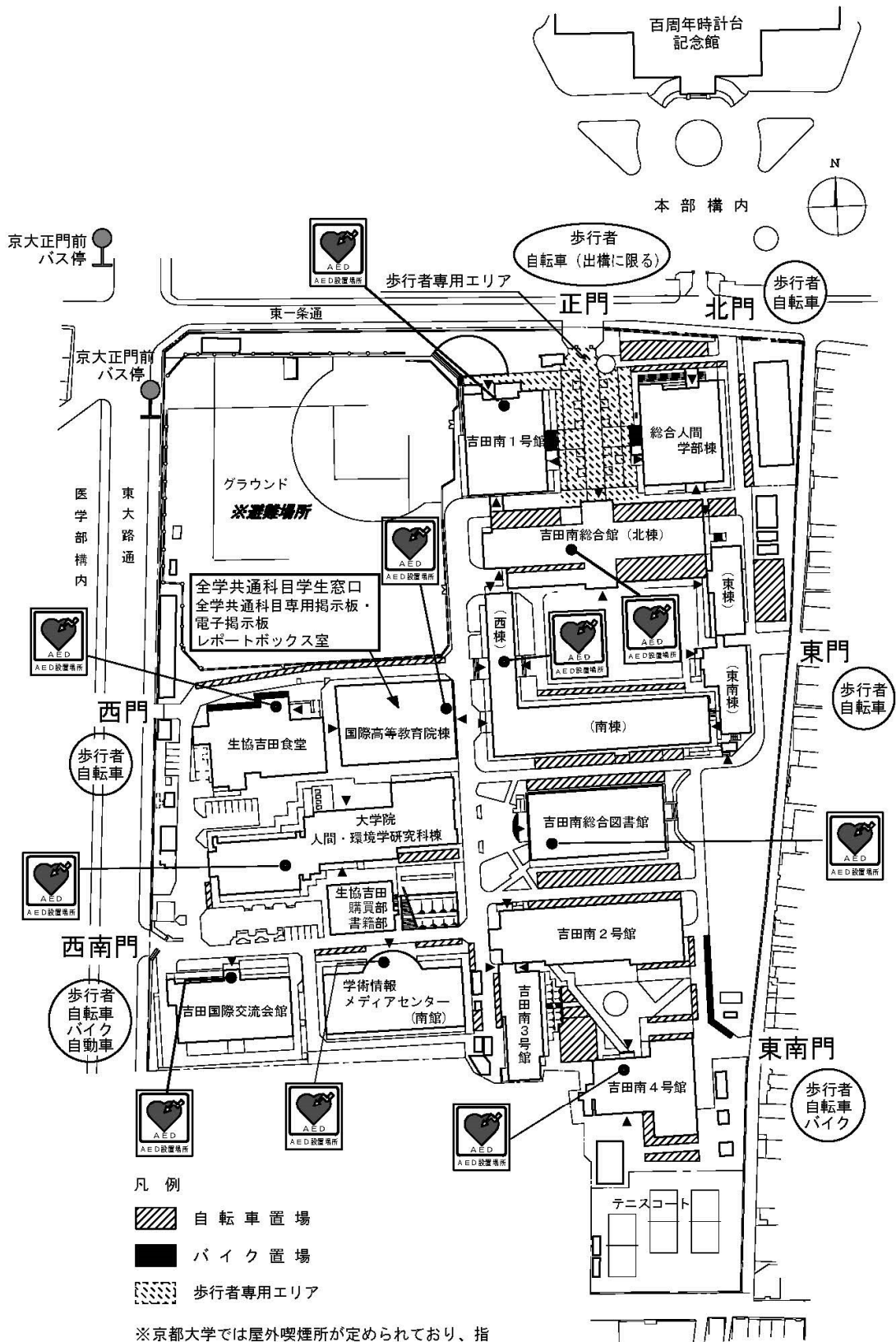
自動車、バイク及び自転車に対しては予告なしに車輪止め（チェーン・ロック）を行うことがあります。また、これらの車両は他の場所へ移動させる処置を併せてとることもあります。この際、移動に要した（レッカー車・駐車場は業者に依頼する）費用は行為者本人の個人負担となり、料金は業者の請求に基づいて直接各人が業者に払い込む必要があります。

前記ケース以外は注意書き貼付、車止め予告の後、チェーン・ロックします。

➤ 車止め（チェーン・ロック）の解除手続き

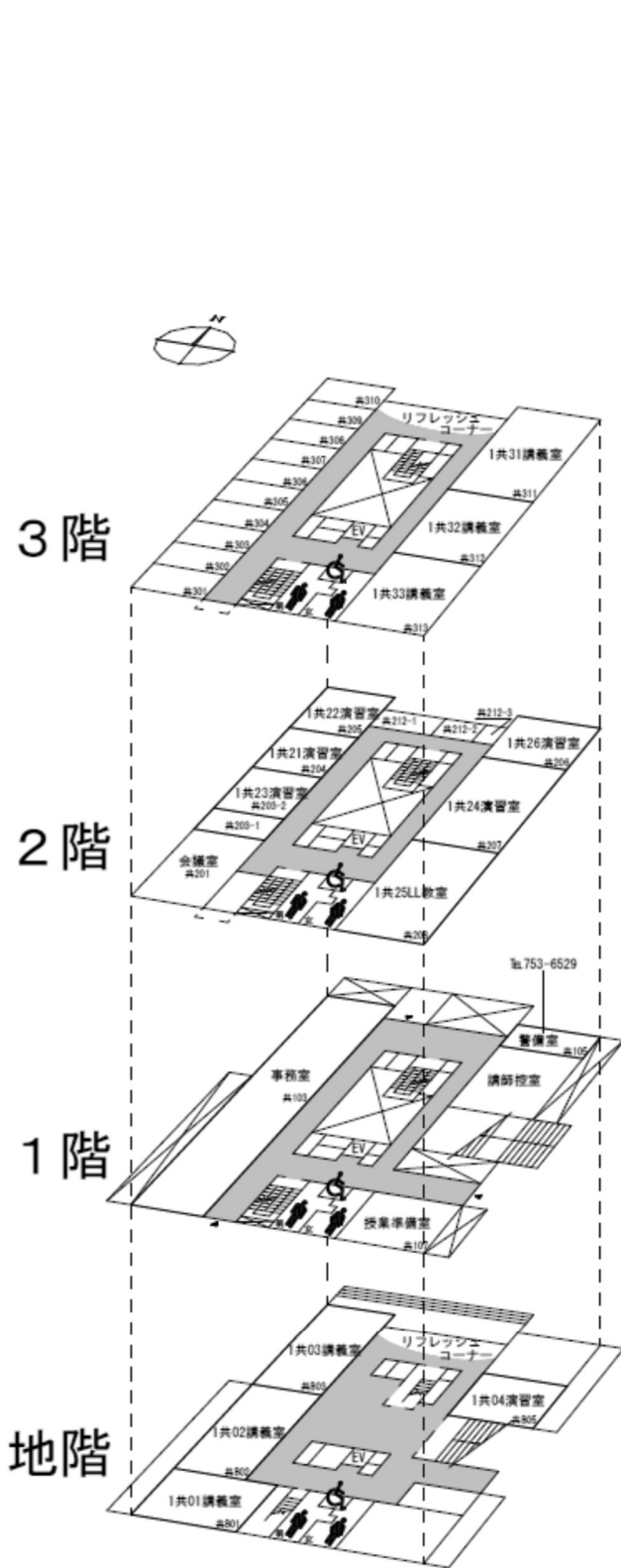
ルール違反によって車止め処置を受けた車両の持ち主は、資産・用度掛（吉田南1号館1階）に申し出、その指示に従って吉田南構内交通委員会に解錠申請を行ってください。委員会の解錠許可を受け、委員会立ち会いで解錠します。許可がなければ解錠、移動を行うことができないので注意してください。

3. 吉田南構内建物等配置図・交通規制・駐輪駐車図

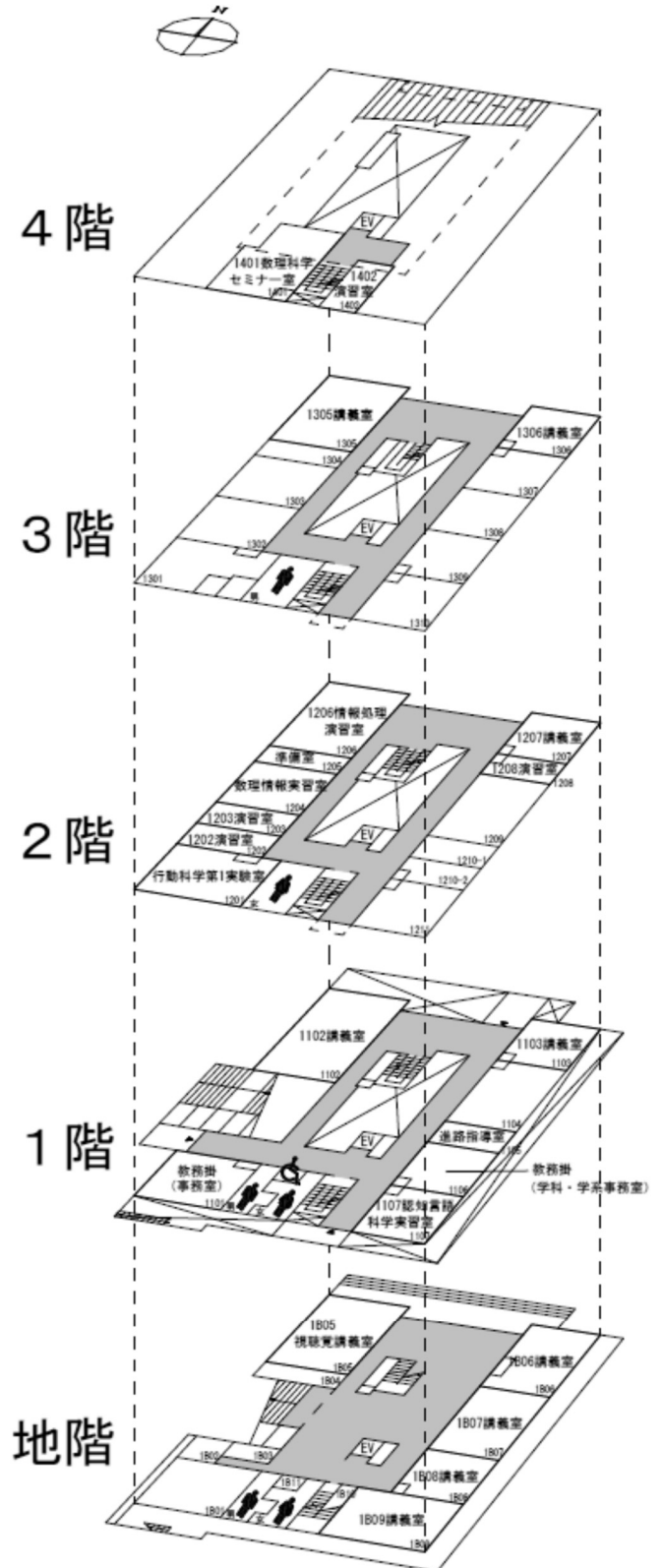


4. 吉田南構内教室等配置図

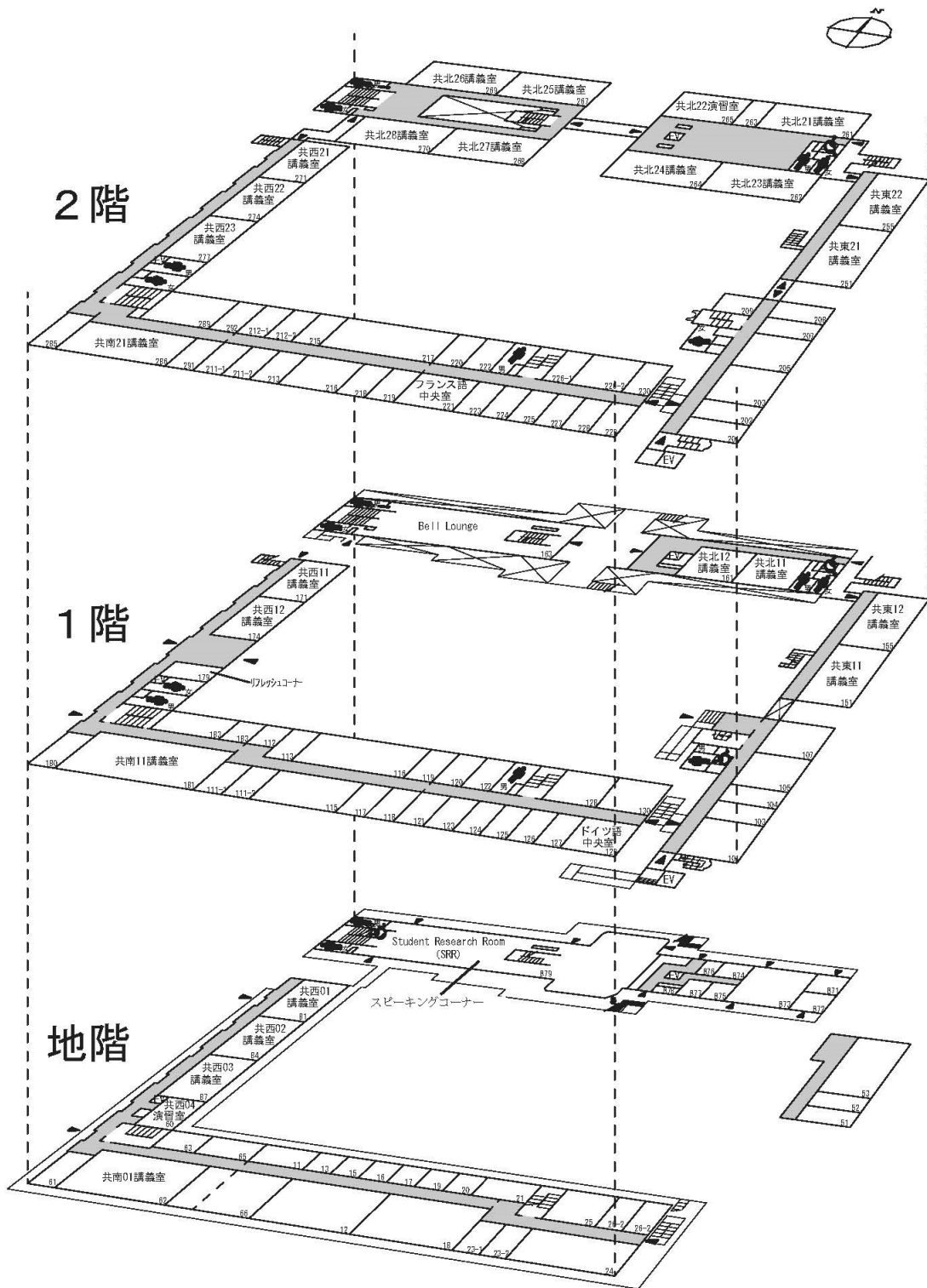
吉田南 1 号館

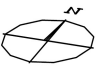


総合人間学部棟

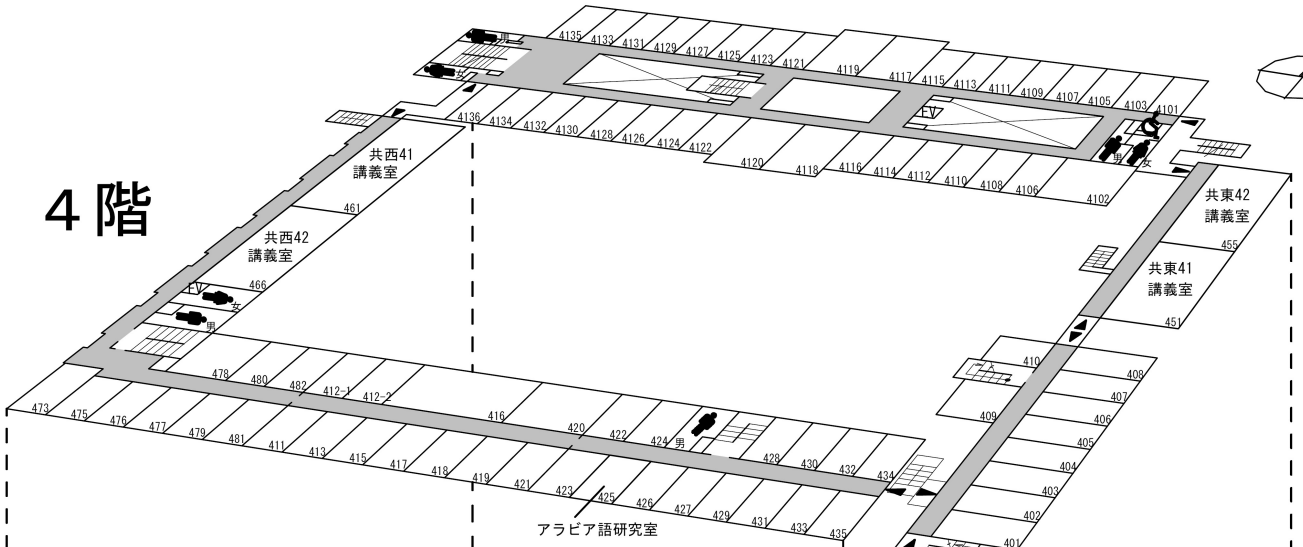


吉田南総合館

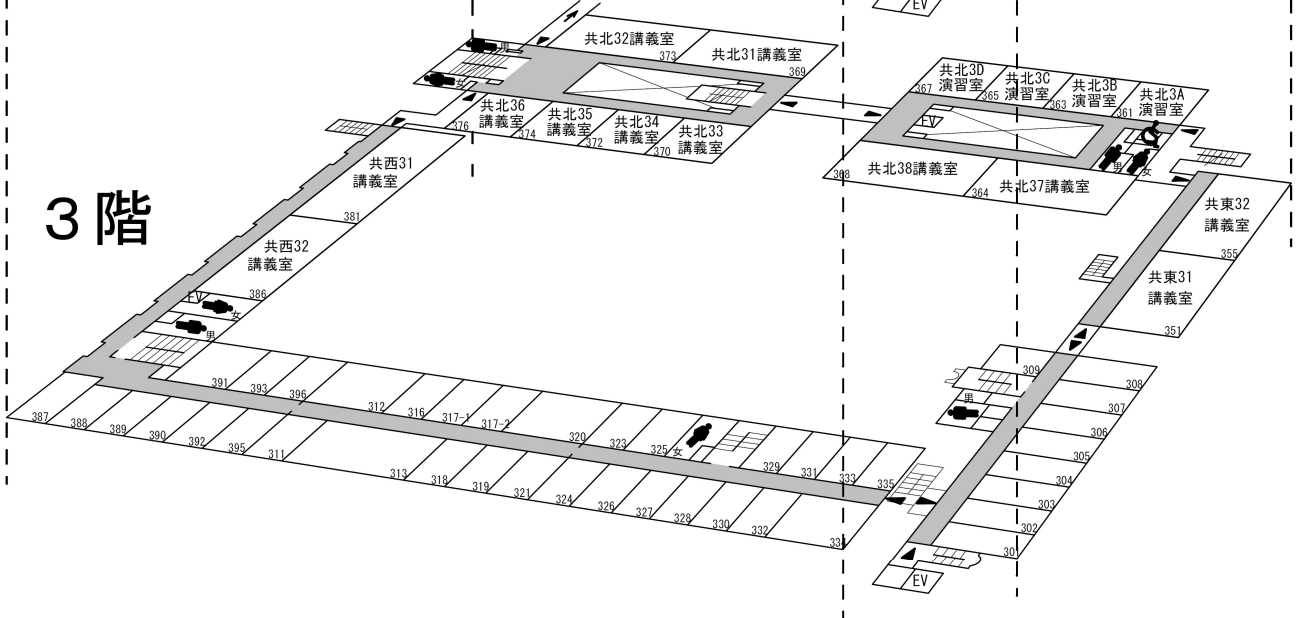




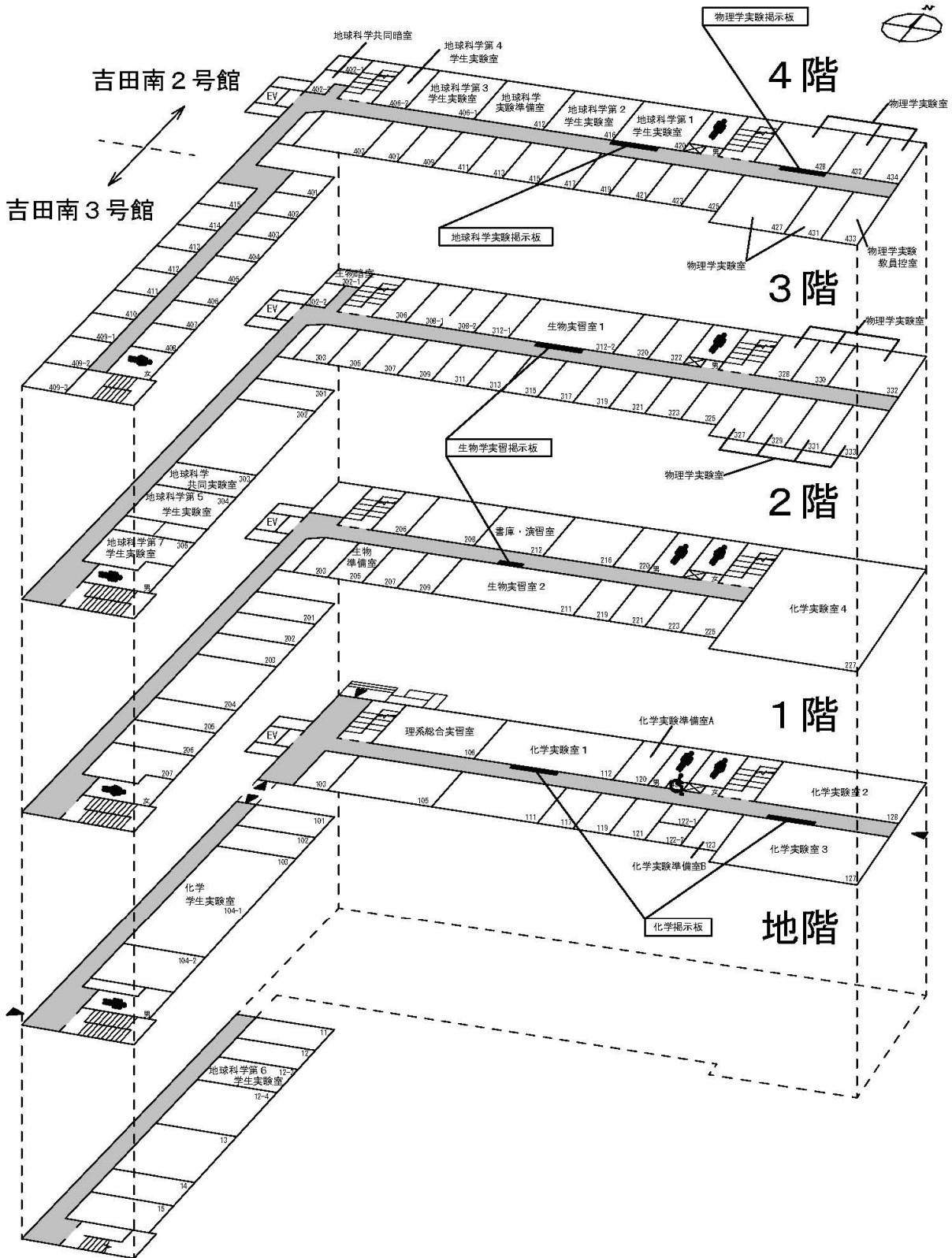
4階



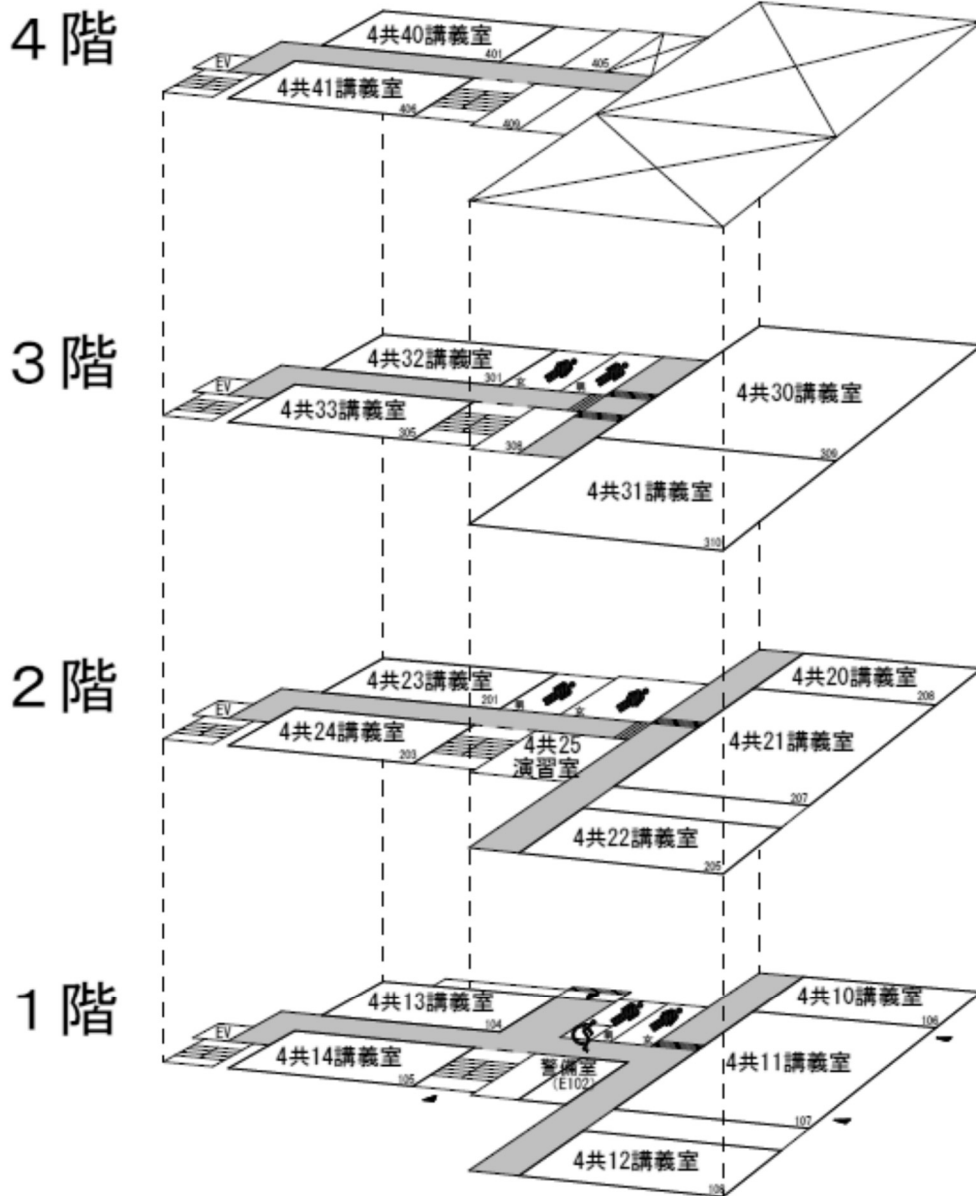
3階



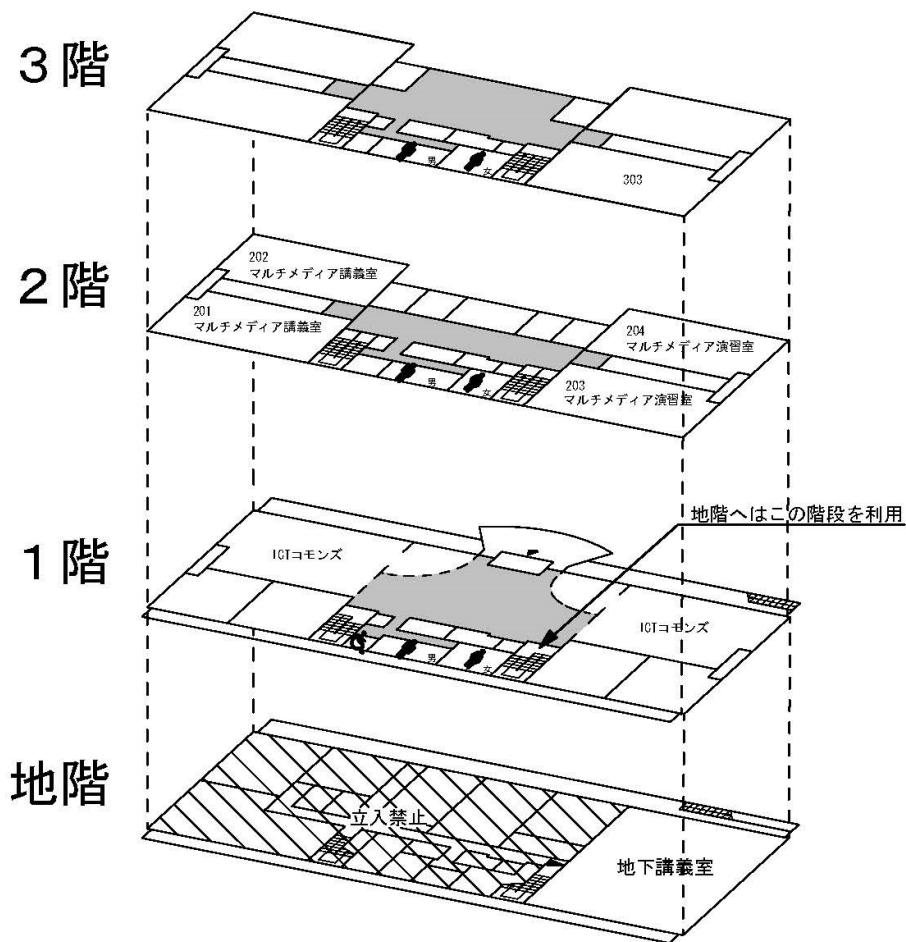
吉田南2・3号館



吉田南 4 号館



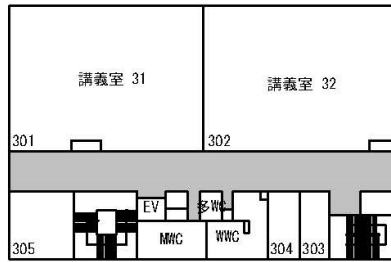
学術情報メディアセンター(南館)



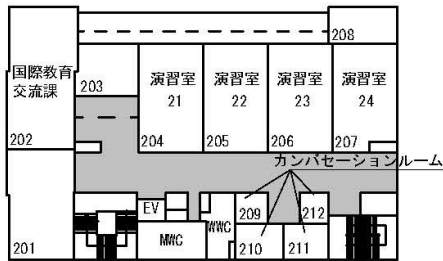
国際高等教育院棟



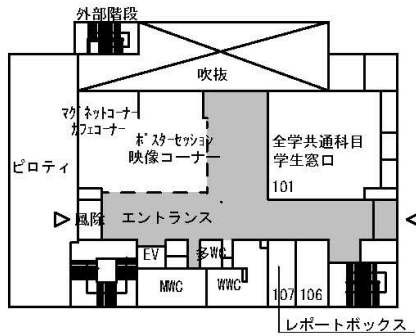
3階



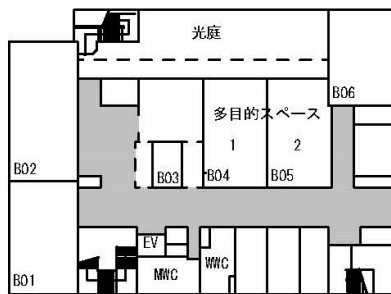
2階



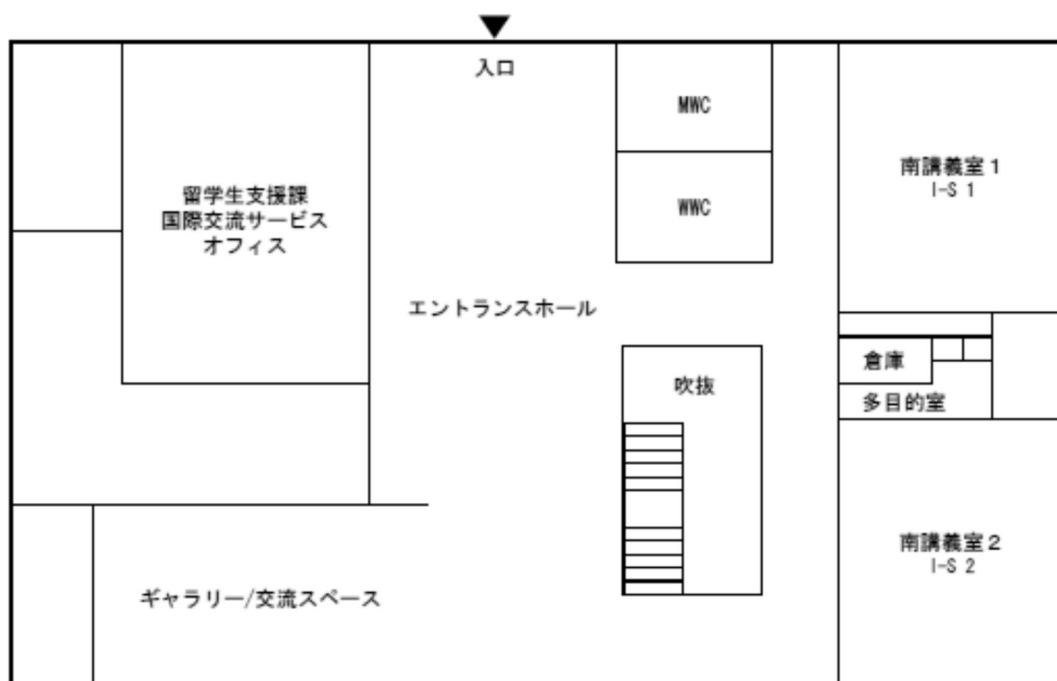
1階



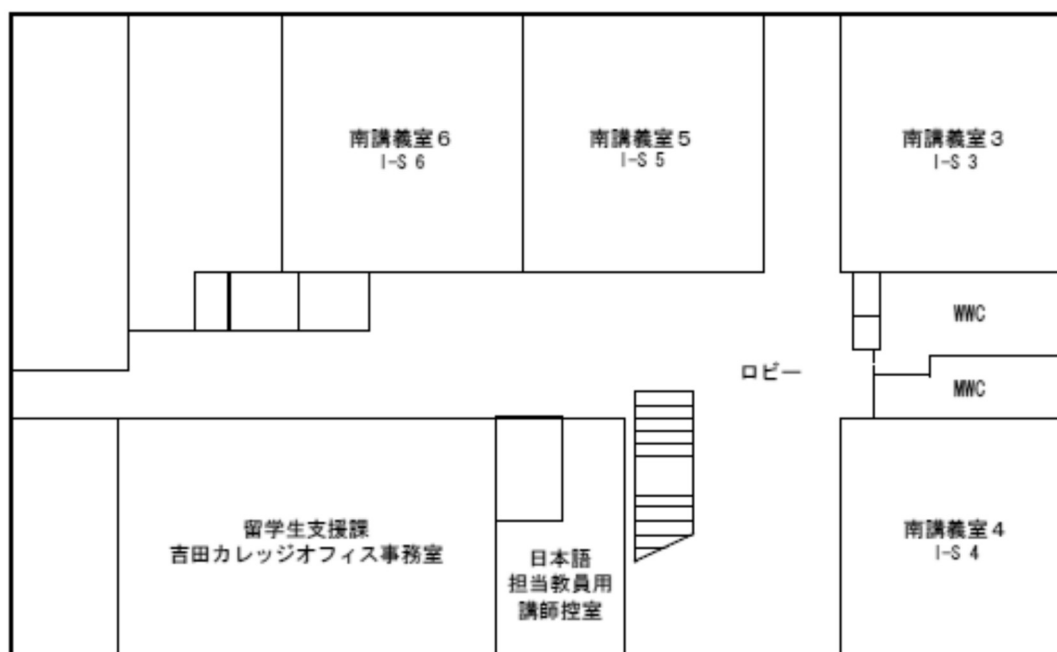
地階



吉田国際交流会館



1階



地下1階



京都大学「全学共通科目履修の手引き」(令和7(2025)年度版)

編集発行 京都大学国際高等教育院

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

Tel : 075-753-6509~6511

URL : <https://www.z.kyoto-u.ac.jp>